

# 第5章 地域放送局

- ①全国8地域のそれぞれの冒頭で、2012年度のその地域の放送局の特記事項を要約した。
- ②「地域放送番組編集計画」(⇒p.590)

## I. 地域放送番組の編成

12年度は、地域放送番組の内容の充実とともに、震災からの復興を支援する番組を各地域で放送した。さらに、全国に向けた情報発信も強化し、存在感ある放送サービスの提供に努めた。

### 1. 地域の実情に応じた放送サービスの充実

12年度も各放送局は、それぞれ地域の実情に応じた編成に取り組んだ。総合テレビ午前の情報番組では、『ひるはび』(東北ブロック)、『エキヨコこまち』(秋田県域)、『かいなび』(山梨県域)、『ときめきとちぎ』(栃木県域)、『いちおし情報便』(鳥取県域)を新設。夕方のニュース・情報番組では『ニュースやまがた6時』(山形県域)、『ほっとぐんま640』(群馬県域)、『とちぎ640』(栃木県域)、『しんけんワイド大分』(大分県域)を新設した。

また、『北海道クローズアップ』「受け入れますか？震災がれき」「よみがえる地方路線バス～斜陽産業復活のカギは」(北海道ブロック)、『クローズアップ東北』「岐路に立つ消防団～被災地の新たな危機」「震災不明者”2800人～密着特別捜査班」(東北ブロック)、『ナビゲーション』「巨大津波にどう備える」(中部ブロック)、『かんさい熱視線』「通報続出いじめをなくせるか」(近畿ブロック)、『フェイス』「ふるさとの紙芝居～福島に送る広島の心」(中国ブロック)、『四国羅針盤』「耐震化が命を守る～広がる“震度7”的衝撃」(四国ブロック)、『特報フロンティア』「知っていますか？PM2.5の正体」(九州・沖縄ブロック)等、震災からの復興を支援する番組をはじめ、防災意識の向上など地域が直面している課題等を取り上げる多様な定時番組、特集番組を放送した。

また、ラジオ第1で『ゴジだっちゃ』(宮城県域)、『がんばろう！いわて』(岩手県域)、『よってけし！ハートプラザ』(山梨県域)、『ぶち☆なま』(広島県域)、FMでは『D+ラジオ』(北海道ブロック)、『ココロウタ』(北海道ブロック)、『おうみi（アイ）』(滋賀県域)を新設した。

### 2. 地域発全国放送番組の充実

地域を舞台に地域放送局が制作した地域発ドラマでは、『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイ

ス』(津局)、『神様の赤ん坊』(札幌局)、『今日も地獄でお待ちしています』(大分局)、『歩く、歩く、歩く～四国遍路道』(松山局)、『命のあしあと』(宮崎局)、『石坂線物語』(大津局)をBSプレミアムで全国に発信した。

地域からの全国発信枠として、総合テレビでは、日本各地の食べ物を紹介し、その魅力を再発見し、生産地を元気にする『うまいッ！』を新設するとともに、地域の旬の話題を生放送で紹介する『ひるのブラ』を継続した。毎週土曜午前の『目撃！日本列島』では、地域の課題や奮闘する人々を密着取材したドキュメンタリーを放送するとともに、

『ろーかる直送便』では、各地の文化や風土、土地に暮らす人々、直面している課題への取り組みなど、地域放送局が制作した番組を全国に発信した。ラジオ第1では、引き続き水曜午後9時台に、札幌発の『もぎたて！北海道』、仙台発の『ぬくだまりの宿 みちのく亭』、名古屋発の『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』、福岡発の『博多屋台こまっちゃん』、沖縄発の『沖縄熱中俱楽部』を編成し、地域の魅力をたっぷりと伝えたほか、『ここはふるさと旅するラジオ』では地域からの中継や、その土地にまつわる歌を紹介した。

## II. 地域放送局の組織

### 1. 地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、松山の7つの放送局を地域拠点局と位置づけ、域内各放送局の支援・調整機能を持たせている。

地域拠点局の組織・業務体制は、放送部（大阪・名古屋は編成部、制作部、報道部）、技術部、広報・事業部（大阪・名古屋は広報部、事業部）、営業推進部、企画総務部である。なお、これに加えて、大阪には考查部が、また、大阪に4か所、名古屋に2か所、札幌に1か所の営業センターがある。

地域拠点局は、各組織の緊密な連携のもと、地域サービス充実のための業務運営を推進している。

### 2. 放送局

放送局の組織・業務体制は、放送部、技術部、営業部の各部が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

## 北海道

- ◇北海道では、道内7局が連携して、地域の未来を創造するキャンペーン“いっしょにつくろう未来”を11年度から引き続き展開し、北海道の自然や食の魅力、地域の課題や人々の姿を、多彩な番組・ニュースで全国に発信した。
- ◇北海道の新たな「津波想定」の公表を受けて、防災の現状と課題を、ニュースや地域放送で多角的に伝えた。『ラジオ特集～命を守るために』では、3時間にわたる放送で巨大津波への備えを呼びかけるなど、防災に関する情報発信に取り組んだ。
- ◇データ放送の双方機能を活用した番組『クイズ防災力向上委員会』の開発や地元の大学を舞台にしたミニドラマ『Smile Days』を放送するなど、より多くの視聴者に見てもらえる番組の開発・放送に取り組んだ。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

北海道の各放送局は「北海道はひとつ」の基本方針のもと、7つの放送局が緊密に連携し、放送サービスを行っている。

報道では、道民の安心・安全を守るために、地震・津波関連の報道や、大雨情報などをデータ放送やインターネットでもきめ細かく伝えた。12月の衆議院議員選挙では、正確かつ迅速な報道を行った。

番組では12月に函館を舞台にした『北海道発スペシャルドラマ～神様の赤ん坊』をBSプレミアムで放送、2月には再構成した『北海道発スペシャルドラマ～僕が父親になるまで』を北海道向けに放送した。大間原発の建設再開をめぐる問題を取り上げた『北海道クローズアップ』を青森局と、ツイッターを活用した視聴者参加型番組『穴場ハンター』を沖縄局とインターローカルで制作・放送した。

#### (1) ニュース・報道番組の強化

3年目となった平日午後6時台の『ネットワーキニュース北海道』では、道内7局のネットワークを活用し、地域のニュースや話題をきめ細かく分かりやすく伝えた。

金曜午後7時台には『北海道クローズアップ』を原則毎週編成し、震災がれきの受け入れ、津波新想定の対策、TPP交渉参加の影響など、北海道

が直面する課題に向き合い、未来へのヒントを探った。

2月2日に北海道で震度5強を記録した地震に際しては、全国放送に続き北海道ブロックで特設ニュースを放送した。また、2月から3月に相次いだ暴風雪に際しても、放送とホームページで警戒を呼びかけた。

12月の衆議院議員選挙に際しては、選挙の結果をきめ細かく放送したほか、選挙戦の最新情報を届ける『北海道クローズアップ』を放送し、有権者の関心に応えた。

日本ハムファイターズのリーグ優勝に際しては、優勝決定直後に特別番組を放送したほか、優勝パレードも生中継し、視聴者の期待に応えた。

#### (2) 幅広い視聴者層に向けた番組の充実

金曜午後8時台は家族で楽しめるゾーンと位置づけ、午後7時半から移設した『北海道中ひざくりげ』、吉幾三さんが道内各地を旅する『いくぞ～！北の出会い旅』や地域密着バラエティー『ホリホリX』など、道内各地の魅力を紹介する多彩な番組を発信した。

土曜午後11時台は、若い世代に向けた多彩な番組ゾーンと位置づけ、ツイッター活用の双方機能『穴場ハンター』をはじめ、北海道のアーティストを応援する音楽番組『D+TV』などを放送し、視聴者層の拡大を図った。

また、大学生とともに制作したスポット枠のドラマ『Smile Days』や、高校生とともに制作した『高校生×北クロ』などを通じて、若い世代との接触を増やした。

#### (3) 北海道の魅力を全道、全国へ発信

函館を舞台とした『北海道発スペシャルドラマ～神様の赤ん坊』では函館の街の魅力をふんだんに盛り込んだことに加え、地元市民がエキストラとして参加するなど、ドラマを地域と共に盛り上げた。

また、10月にはBS1『ワールドWave トウナイト』枠内で、北極海航路開通が北海道にもたらす可能性を全国に紹介した。

3月には、アジアを渡り歩くサッカー選手に密着した『ボールひとつで、どこへでも』、究極の滑降への挑戦を描いた『厳冬・利尻富士 究極のスキーダブル滑降』と、北海道出身のアスリートの魅力をBS1で全国放送した。

北海道の魅力を全道へ発信するために「各局スペシャル」を設け、各地の魅力を紹介した。

#### (4) デジタルサービスの強化

インターネットでは、道内のニュースを提供す

る「NEWS WEB」を他の地方局に先駆けて7月に開設した。また、2月には、子どもたちの防災教育に役立つコンテンツとして北海道教育委員会と共同開発した「防災IT教室」を立ち上げるなど、安全・安心に役立つ情報を提供した。

データ放送では、北海道の生活に密接に関わる「雪道NAVI」や「除雪情報」「飛行機・JR空席情報」などを提供した。

番組連動では、定時の『穴場ハンター』のほか、『ネットワークニュース北海道』での双方方向クイズ、『つながる@きたカフェ』の「川柳サロン」コーナーでの投票システムを開発、また、日本ハムファイターズ優勝特番などでは、ツイッターでメッセージを投稿してもらう演出を実施した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

『NHKニュース おはよう北海道』 G  
月～金 7:45～ 8:00

『NHKニュース おはよう北海道 土曜プラス』 G  
土 7:30～ 8:00

第1回93.4.5／北海道ブロック／北海道の朝の最新ニュースと詳しい気象情報を丁寧にまとめた地域密着のニュース情報番組。暮らしに役立つリポートのほか、全道各地からの中継や天気カメラで北海道の朝の表情を生き生きと伝えた。

土曜は、『土曜プラス』として地域の課題を掘り下げる「土曜プラス特集」、各局のリポーターが道内各地を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などで、地域の話題を多彩に伝えた。

『つながる@きたカフェ』 G  
月～金 11:30～12:00

第1回10.4.2／北海道ブロック／「つながる」をコンセプトに、視聴者からの写真やお便りを随時紹介、道内各局のネットワークを生かし、北海道各地の旬の話題、各地のイベント情報を生放送で届けた。

『ネットワークニュース北海道』 G  
月～金 18:10～18:59

第1回10.3.29／北海道ブロック／道内7局のネットワークを生かし、北海道のその日1日のニュース、深く掘り下げた特集のほか、各局をリレーで結び道内各地の話題もテンポよく紹介した。

『ネットワークニュース845』 G  
月～金 20:45～21:00

第1回10.3.29／北海道ブロック／北海道の1日のニュースを伝えるニュース番組。午後7時以降の新たなニュースや、きめ細かい気象情報を分か

りやすく伝えた。

### 『ネットワークニュース645』 G

土・日 18:45～18:59

第1回10.4.3／北海道ブロック／土曜、日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。1日の北海道のニュースや、きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

### 『北海道クローズアップ』 G

金 19:30～19:55

㊂日 8:00～ 8:25

第1回93.4.1／北海道ブロック／北海道の“いま”を見つめ、“これから”を問う番組。防災・減災をはじめ、TPP参加の影響や、北海道新幹線の札幌延伸の動向、北方領土、人口減少など、北海道で起こるさまざまな出来事や、直面する課題について継続的に取材、放送した。また、地域で生き生きと輝く人々に密着した「ヒューマンストーリー」も随時放送した。

主な内容／「その時 どう逃げ切るか～津波新想定の衝撃」「なぜ建設再開？～大間原発 搖れる2つの町から」「よみがえる地方路線バス～斜陽産業 復活のカギは」「揺れる“国境”的島～北方領土 色丹島民の本音」「緊急報告 TPP交渉参加へ～どうなる！？北海道」など

### 『北スペシャル』 G

金 20:00 (19:30) ～20:43

㊂土 10:35～11:18

※「北海道中ひざくりげ」は㊂日 8:00～ 8:25

第1回10.4.2／北海道ブロック／“家族みんなで楽しめる番組”をコンセプトに、午後7時台から移設した「北海道中ひざくりげ」、吉幾三さんが北海道の魅力に出会う旅番組、北海道の知られざる魅力を探し出すバラエティー番組、北海道の豊かな自然を描くドキュメンタリーなど多彩な番組を編成した。

#### 「北海道中ひざくりげ」

札幌局

「女子力で拓け オシャレ解放区～室蘭工業大学」 4.20／20:00～20:25

「発電所は地域の宝～帯広市」

5.18／20:00～20:25

「恵みの火山 いとしき我が家～渡島半島・恵山」 6.29／20:00～20:25

「ひつじの里に夢を結ぶ～美深町・仁宇布」 9.7／20:00～20:25

「廃校ルネサンス進行中～新冠町」

10.26／20:00～20:25

「町の小さな映画館～浦河町」

11.30／20:00～20:25

「酪農ヘルパー奮闘記～中標津町」	
	1.25／20:00～20:25
「小さな水族館の大きな夢～北見市」	
	2.22／20:00～20:25
「いくぞ～！北の出会い旅」	札幌局
「そうだ、石狩に行こう！」	
	4.27／20:00～20:43
「ギューギュー十勝」	6. 1／20:00～20:43
「あま～い！道南」	7.20／20:00～20:43
「ピュアだね！道北」	9.28／20:00～20:43
「あれや、これや、とうや！」	
	11.16／20:00～20:43
「吉様は赤ん坊」	12.21／20:00～20:43
「おい！スター登場 厚岸」	
	2. 8／20:00～20:43
「ワンだふる！札幌」	3. 1／20:00～20:43
「ホリホリX」	札幌局
第1回	5.11／20:00～20:43
第2回	7.13／20:00～20:43
第3回	10.12／20:00～20:43
第4回	12. 7／20:00～20:43
第5回	3.15／20:00～20:43
「ありがとう、給食のお母さん」	
	札幌局 4.13／20:07～20:50
「闘え！巨鳥 オオワシ」	
	札幌局 6.15／20:00～20:43
「世界自然遺産 知床 エゾシカの命 角がつなぐ」	札幌局 7. 6／20:00～20:43
「クイズ・防災力向上委員会」	
	札幌局 8.31／19:55～20:44
「ビッキの森の小さな学校」	
	札幌局 9.21／20:00～20:43
「すべてはこの日のために～江差追分全国大会50年」	函館局 10.19／20:00～20:43
「北の大地を歩きつくそう2012～ぶらりみてある記スペシャル」	
	札幌局 11. 2／20:00～20:43
「北海道ミステリー～動物たちとの2万年物語」	旭川局 12.14／20:00～20:43
「知床ヒグマ 母と子の渚」	
	札幌局 1.11／20:00～20:43
「不思議の庭の野菜たち」	
	札幌局 1.18／19:55～20:43
「北海道から届けよう！歌の力コンサート2013」	札幌局 3.29／19:30～20:43
『Generation H』 G	
	土 23:30～23:59
第1回	11.5.13／北海道ブロック／30～40代以下

の若い視聴者に向けて、音楽、旅、アウトドアなどさまざまなジャンルの番組、ツイッターやデータ放送の双方向機能を使った生放送の番組、新しい題材や演出に挑戦する開発番組などを編成し、視聴者層の拡大を図った。

### 「穴場ハンター」

札幌局	土	23:30～23:59
「日本はじっこ対決 北海道VS沖縄」		4. 7, 14
「日高地方で“みなみvs三好”のガチンコ穴場対決！」		5.12
「無茶ぶり 新説！函館とは○○の街」		(※23:40～24:09) 7.14
「目指せ！わらしへ長者！MC物々交換対決in北見」		9.15
「三好アナをもっと○○な男にしたい」		10. 6
「積丹で旅行プラン対決！」		11. 3
「札幌で“これぞ道産子”を探し出せ！」		1.26
「総集編 名場面一挙大公開」		3. 2
「D+TV」 新	札幌局	
4.21, 5.19, 7.21, 8.25, 11.17, 12.22,		
2.23, 3.16／23:30～23:59		
6.29／22:55～23:24		
1.19／23:31～24:00		

「We Love DSK（ドサンコ）Music！！」を合言葉に、北海道ゆかりのアーティストを取り上げ、その魅力を紹介する道産子アーティスト応援番組。

### 「ネイチャリング北海道」

札幌局	土	23:30～23:53
「積丹の海で春釣りガール！」		(※23:40～24:03) 4.28
「洞爺湖畔でガールズキャンプ」		6. 2
「士別の牧場で羊ガール」		6.16
「旭岳で山ガール」		9. 1
「カレーライスマラソンに挑戦」		10.13
「満喫！サロベツ原野の秋」		10.20
「スポーツクライミングに挑戦」		11.10
「鍋尽くして冬を楽しめ！」		2. 9
「リュージュに挑戦」(※16:20～16:43)		2.11
「Small Trip～ちいさな荷物で週末旅」	札幌局	土 23:30～23:53
「稚内編」		6.30
「札幌編」		10.27
「セッションやろうぜ！」 新	札幌局	土 23:30～23:59
「吉幾三～俺ら東京を行ぐだ」		6. 9

- 「吉幾三～俺ら東京さ行ぐだ2012～シーズン  
2」 9.8  
 「吉幾三～俺ら東京さ行ぐだ2012～シーズン  
2at 函館」 12.15  
 「クリエイティブフロンティア2012」  
 札幌局 5.26／23:00～23:54  
 「ヒグマ撮って来た！」  
 札幌局 9.22／23:30～23:54  
 「♂と♀（オスとメス）season 2」 札幌局  
 「陸の生きもの編」 11.24／23:40～24:09  
 「海の生きもの編」 12.1／23:30～23:59  
 「脳内ドキュメンタリー 考える人」  
 札幌局 12.8／23:30～23:58  
 「アナプロスペシャル」  
 札幌局 1.12／23:30～23:53  
 「北海道100年ニュース」  
 札幌局 2.16／23:30～23:59  
 「MODERN TIMES 北海道、昭和の彩り—  
建築家 田上義也」  
 札幌局 3.9／23:30～23:53  
**『アナプロ』 G**  
 札幌局 土 12:40～12:45  
 第1回10.4.2／北海道ブロック／NHK北海道各局のアナウンサーがスポーツやレジャーに挑戦するほか、特技や趣味を披露した。札幌局ホームページのブログと連動。  
**『ドキュメンタリー5』 G**  
 札幌局ほか 土 12:40～12:45  
 第1回11.5.20／北海道ブロック／さまざまな人生、各地の暮らしの中にある、大切な“物語”を5分のドキュメンタリーで紹介した。  
**『久保田茂の酒国漫遊記』 G** 札幌局 随時  
 第1回11.5.19／北海道ブロック／自然や食材の宝庫・北海道で釀され、親しまれてきたバラエティー豊かな酒。久保田茂アナウンサーが酒を通して、地域の風土やそこに暮らす人々の思いに触れる。  
**『おはようもぎたてラジオ便』 R1**  
 月～土 7:40～8:00  
 第1回02.4.1／北海道ブロック／ニュース、気象情報、交通情報など各種の情報を分かりやすく的確に伝えた。また、道内の多様な取り組みや自然、イベント、スポーツ情報などを日替わりのテーマで伝えた。  
**『トゥデイ・リポート北海道』 R1**  
 月～金 19:45～20:00  
 第1回95.4.3／北海道ブロック／北海道の1日分のニュースを分かりやすく伝えるほか、きめ細

- かい気象情報を伝えた。  
**『どどんと道南ラジオ』 R1**  
 木 14:00～15:00  
 第1回03.4.10／函館単／函館局会館ロビーからの公開生放送。地域の活性化に取り組んでいる人たちの活動や、生活に役立つ情報を紹介した。地元を中心に活躍する音楽家の生演奏も楽しめる地域情報番組。  
**『道北♥LOVEラジオ』 新 R1**  
 金 14:05～14:35  
 第1回12.4.6／旭川単／道北各地のタイムリーナ話題や週末のイベントを伝える情報番組。学生と一緒に作る「キャンパスなう」というコーナーも設けた。  
**『つながるラジオ@とかち』 R1**  
 木 14:05～15:00  
 第1回11.4.28／帯広単／十勝各地の話題を伝える情報番組。十勝で活躍する人物をゲストに招き、話を聞くほか、イベントの紹介やお知らせなどでつづった。  
**『D+RADIO』 新 FM**  
 (最終週除く) 金 18:00～18:50  
 第1回12.4.6／北海道ブロック／札幌局のホームページに投稿されたアマチュア楽曲の週間ランキングを中心に、北海道ゆかりの音楽を取り上げる道産子アーティスト応援ラジオ。  
**『ココロウタ』 新 FM**  
 (最終週) 金 18:00～18:50  
 第1回12.4.27／北海道ブロック／東日本大震災後、北海道に避難してきている人たちの思いに向き合い、リクエスト曲とメッセージを届けるDJ番組。  
**(2) 特集番組**  
 [北海道ブロック]  
**『北の文芸館～井上靖スペシャルat旭川』 R1**  
 旭川局 6.9／9:05～9:55  
**『体験！体感 ロンドンオリンピックin さっぽろ街なかスポーツフェスタ』 G**  
 札幌局 7.29／13:05～13:20  
**『北海道 戦争の記憶～忘れられた犠牲者たち～北海道と朝鮮人労務労働員』 G**  
 札幌局 8.21／22:00～22:43  
**『D+TV another tracks』 G**  
 札幌局 9.24／0:25～0:54  
**『リーグ優勝おめでとう！ファイターズ』 G**  
 札幌局 10.3／0:25～1:25  
**『LIVE H』 G**  
 札幌局 10.20／1:31～2:29

『PMF2012コンサート』 FM  
札幌局 10. 8／10:00～11:30

『札響FMコンサート』 FM  
札幌局 11. 3／19:20～21:00  
札幌局 12. 8／14:00～16:30

『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコンテスト2012～北海道地区大会』 G  
札幌局 11.23／13:05～13:59

『ありがとう！ファイターズ～優勝パレード生中継』 G 札幌局 11.24／10:55～11:54

『北の文芸館2012～朗読と音楽のライブセッション』 札幌局 G 12. 1／10:35～11:30  
R1 12. 8／16:05～16:55  
12.15／15:05～15:55

『コンサドーレ札幌 ラジオ特番～巻き返せ！コンサドーレ』 R1  
札幌局 12. 2／15:05～15:55, 16:05～16:55

『ネットワークニュース北海道～ハイライト2012』 G 札幌局 12.28／17:54～18:59

『NHK北海道発スペシャルドラマ～僕が父親になるまで～「神様の赤ん坊」アナザーストーリー』 G 札幌局 2.15／19:30～20:43

『北の音楽隊～音と楽器のワンダーランド』 G 札幌局 2.23／16:25～17:24

『巻き返せ！コンサドーレ～さあ開幕 めざせJ1！』 R1  
札幌局 2.24／17:05～17:55, 18:05～18:50

『つながるラジオ@とかち～防災スペシャル～地震・津波 冬の避難をどうする？』 R1  
帯広局 3.14／14:05～14:55, 15:10～15:55

『ラジオ特集～命を守るために』 R1  
札幌・釧路局 3.16／13:05～13:55,  
14:00～14:55, 15:00～15:55

『とかちスペシャル～クニ河内 十勝をうたう』 G 带広局 3.31／ 8:00～ 8:24

[各局単]  
[函館単]

『NHKのど自慢予選会in函館市』 G 12.27～28／15:15～16:00

『特集！！きらり☆道南』 G 3.15／11:05～11:30

[旭川単]  
『なつかしの旭川映像セミナー』 G 4.14, 21, 28／10:35～11:18

[釧路単]  
『FM歌謡スペシャル～NHK釧路放送局 開局75周年記念番組』 FM 2.24／16:00～17:00

『NHK釧路開局75周年～道東今昔物語』 G 3.17／13:50～14:44

[北見単]  
『北見放送局開局70周年記念番組～懐かしのオホーツク』 G 12. 9／ 8:00～ 8:25

『NHKのど自慢予選会in北見』 G 9.25, 10. 2／15:15～15:59

[室蘭単]  
『密着！のど自慢予選会in室蘭～みんなのうた声』 G 7.30, 8. 6／15:15～16:00

『新たなものづくりの道をひらく～鉄のまち室蘭の中小企業の挑戦』 G 2.25／15:15～15:45

[各局共通]  
『NHK全国学校音楽コンクール』  
「北海道ブロックコンクール」 E  
※北海道ブロック  
札幌局 9.30／14:00～17:00  
「札幌地区大会 小学校の部・中学校の部A・B」 FM 札幌局 8.25／14:00～18:00  
「小樽・後志・空知地区大会 小学校の部, 中学校の部」 FM 札幌局 8.26／14:00～16:00  
「札幌・小樽・後志地区大会 高等学校の部」 FM 札幌局 9. 1／14:00～16:00  
「道南地区大会」 FM 函館局 8.25／14:00～15:37  
「道北地区大会」 旭川局  
G 8.31／11:30～11:54  
FM 9. 1／14:00～16:21  
「十勝地区大会」 帯広局  
G 8.24, 28～31, 9. 3／11:50～11:54  
FM 9. 1／13:00～14:00  
「釧根地区大会」 釧路局  
G 8.24, 28～29／11:50～11:54  
FM 9. 2／14:00～16:00  
「北見地区大会」 北見局  
G 8.22／16:05～16:49  
FM 8.25／14:00～16:00  
「室蘭地区大会」 室蘭局  
FM 8.25／14:00～16:05  
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』  
札幌局 E  
1.12, 19, 26, 2. 2, 9, 16, 23／18:20～18:25  
1.12, 19, 26, 2. 2, 9, 16／20:50～20:55  
1.16, 23, 30, 2. 6, 13, 20／19:50～19:55  
函館局 G 3.12／11:05～11:30

旭川局 G 12.25／15:12～15:59  
 帯広局 G 2.21～22, 25, 27,  
 3. 1, 4, 6, 11～12, 15, 19  
 /11:50～11:54

釧路局 G 2.21～22／10:55～11:00  
 北見局 G 1.21～23, 28／11:50～11:54

室蘭局 G  
 12.10～11, 14, 17～20, 25～26／10:55～11:00

### 3. スポーツ中継

#### 〔高校野球〕

第51回春季北海道高校野球大会 決勝 R1／6. 3  
 第94回全国高校野球選手権大会 南北海道大会地

区代表決定戦  
 札幌地区代表決定戦 R1／7.1～2  
 小樽地区代表決定戦 R1／7. 1  
 函館地区代表決定戦 R1／6.30  
 室蘭地区代表決定戦 R1／6.30

第94回全国高校野球選手権大会 北北海道大会地  
 区代表決定戦

空知地区代表決定戦 R1／7. 1  
 名寄地区代表決定戦 R1／6.30  
 旭川地区代表決定戦 R1・FM／7. 1  
 十勝地区代表決定戦 R1／6.30  
 鈎根地区代表決定戦 FM・R1／7. 1  
 北見地区代表決定戦 FM・R1／7. 1

第94回全国高校野球選手権大会 南北海道大会  
 1回戦～決勝 R1・FM／7.16～22  
 準決勝・決勝 G・E／7.21～22

第94回全国高校野球選手権大会 北北海道大会  
 1回戦～決勝 R1・FM／7.14～20  
 準決勝・決勝 G・E／7.19～20

第65回秋季北海道高校野球大会 代表決定戦  
 函館地区代表決定戦 R1／9.19  
 十勝地区代表決定戦 R1／9.17  
 鈎根地区代表決定戦 R1・FM／9.16

第65回秋季北海道高校野球大会  
 準決勝・決勝 R1／10.6～7  
 決勝 G／10. 7

〔プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦〕  
 対「楽天」 G 4.30／13:05～16:05  
 対「中日」 G (サブ) 5.25／19:00～21:52  
 G /19:30～20:44

対「ソフトバンク」 G (サブ) 6.22／18:00～21:08  
 G /19:30～20:44

対「ソフトバンク」 G (サブ) 9.14／18:10～21:00  
 G /20:00～20:44

対「楽天」 G 10. 5／19:55～20:44  
 G (サブ) /19:55～22:00

対「ソフトバンク」 R1 10.17／18:00～18:50, 19:30～21:12  
 対「ソフトバンク」

R1 10.18／18:00～18:50, 19:30～21:34  
 [Jリーグ コンサドーレ札幌戦]

対「川崎フロンターレ」 G 4.21／13:53～16:00  
 対「ガンバ大阪」 G 6.23／14:00～16:00  
 対「栃木SC」 FM 3.10／16:00～18:00

[その他のスポーツ]

[北海道ブロック]

第30回知事杯全道サッカー選手権大会～天皇杯北海道代表決定戦

G 8.26／13:55～16:00

フットサルFリーグ

「エスボラーダ北海道」対「府中アスレティックFC」

E 12. 9／13:00～14:50

アジアリーグアイスホッケー

「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」

R1 12.15／15:55～18:25

第65回北海道高校アイスホッケー選手権決勝「白樺学園」対「駒大苫小牧」

G 12.21／9:55～11:30

ジャンプ女子ワールドカップ

第9戦 札幌大会

G 2. 2／17:15～18:00

ジャンプ女子ワールドカップ 蔵王大会

G 2.10／16:45～18:00

[帯広単]

第52回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会 小学生決勝

G 2.23／10:05～11:20

[釧路単]

第44回NHK杯アイスホッケー大会 決勝

小学校の部 G 11. 4／11:15～11:53

中学校・高校の部 /13:05～17:35

G (サブ) /11:15～12:15

小学校の部 G 11. 9／0:25～1:45

[室蘭単]

第27回NHK杯中学・高校アイスホッケー大会  
 決勝 G 11.11／10:05～11:54, /13:05～14:40

## II. 技 術

### 1. 地上デジタル放送の受信環境整備

北海道は地形等の影響により地上デジタル放送が受信できない難視世帯が全国でも多い地域である。この難視については、12月に北芦別局、北見仁頃局の2中継局を整備するとともに、高性能アンテナや共同受信設備による対策を進め、12年度は約4,200世帯の対策を完了した。

NHK共聴施設のデジタル化については、衛星セーフティネット受信となっていた白糠町などの6施設でデジタル化工事を完了した。

### 2. 地域放送番組の充実

北海道発地域ドラマ『神様の赤ん坊』(12.23 BSプレミアムにて全国放送)とそのアナザーストーリー『僕が父親になるまで』(2.15)、北海道ゆかりのアーティストを取り上げた若者向け音楽番組『D+TV』『D+RADIO』、道民の関心が高いプロ野球日ハム戦やFIS「ジャンプワールドカップ」(1.20男子、2.2女子)、「NHK杯ジャンプ大会」(1.27)をはじめとしたウインタースポーツなど、北海道の魅力あふれる番組や地域に根差した番組、質の高い中継番組を制作し、全国・全道に発信した。

12月の衆院選では大規模な選挙システムを構築し、迅速で正確な「開票速報」(12.16)を放送した。

### 3. データ放送コンテンツの開発

札幌局では「クロスメディア推進プロジェクト」が核となり、積極的にコンテンツ開発に取り組み、多彩なサービスを提供した。

双方向番組では、北海道の穴場を視聴者からのツイッターやメール投稿と連動して伝える「穴場ハンター」を年間9回放送したほか、11時台『つながる@きたカフェ』の「川柳さろん」での川柳人気投票、18時台『ネットワークニュース北海道』の「ライブほっかいどう」中継での双方向クイズを定時番組として定着させた。

独立データ放送では、4月に「河川情報」を開始し、冬季には主要な峠の気象情報等を伝える「雪道NAVY」や「札幌市除雪情報」「電力情報」など雪国の生活に密着したサービスを実施した。

釧路局では、11時台『つながる@タンチョウ』で地元アイスホッケーチームに関する双方向クイ

ズ「クレインズ☆クエスチョン」を、18時台『ネットワークニュース釧路』で気象に関する双方双方向クイズ「教えて！予報官」を実施した。

室蘭局では、自治体と連携した胆振・日高地方の「お出かけ情報」を開発し、独立データ放送として7月から放送を開始した。

### 4. 緊急報道・災害報道への対応

十勝岳の火口異変(7.1)、室蘭・登別の大規模停電(11.27)、道東の震度5強地震(2.2)などの災害やJR江差線の貨物列車脱線(9.12)、JR神居トンネルでの特急列車発煙(2.12)などの事件・事故に迅速に対応し、CSKによる生中継と映像伝送を行った。

3月上旬の記録的な暴風雪では、長時間の逆L字放送を行い、気象・防災情報を手厚く伝えた。

原発事故に備えた対応マニュアルの整備、新たな津波浸水予想に伴う28か所の中継ポイント調査を実施し、原発事故や津波災害に対する緊急報道態勢を強化した。

### 5. 放送設備の整備

放送の機能強化として、函館と釧路の放送会館およびラジオ放送所8局の自家発燃料タンクを増量するとともに、函館放送会館屋上に簡易自家発電機設備を設置し、災害時における電源確保を強化した。また、函館と釧路のホテル屋上に津波監視カメラを整備した。

放送サービスの充実として、札幌駅前や紋別岳など15か所の天気カメラと広尾・苦小牧・網走の3報道室をハイビジョン化した。また、データ放送設備を刷新し、コンテンツ開発機能の向上を図った。

放送の安定送出・電波確保では、函館・旭川・帶広のラジオ基幹局および名寄ラジオ局の放送機、小樽など7局のFM放送機、札幌と旭川の放送会館の無停電電源装置(UPS)、札幌のハイビジョンCSKを更新した。また、7局の地上デジタルテレビ中継局の送信機を2台化した。

### 6. 視聴者活動

南幌町(4.29)、室蘭(7.14)、北見(9.2)の『のど自慢』では、予選会終了後に出場者が自分の歌唱映像を見ることができる「予選会時差再生上映」や「出場者写真プレゼント」「カメラマン体験」などを実施し、多くの参加者から好評を得た。

11月の「冬の動物園わくわくナイト」イベントでは、高感度ハイビジョンカメラなどを用いて動

物の生態を撮影するカメラマン体験を実施し、放送機器を有効に活用して視聴者とのふれあいを深めた。

公共放送の役割や放送局の仕事についての理解促進を目的とした「NHK出前授業」を道内7校9クラス274人の小学5年生を対象に実施し、大変好評であった。会館見学者への中継車公開は約1,700人に上り、充実したCS活動が展開できた。

### III. 視聴者

#### 1. イベント事業

北海道事業では12年度、オール北海道として展開する「いっしょにつくろう 未来」キャンペーンを踏まえ、地域の文化拠点として、NHKならではの活動に加え、地域の自治体や関係団体との連携のもとに環境・食料・防災などをテーマにイベント活動を展開した。また、若年層を中心とした接触機会の拡大を図ることで、幅広い層の視聴者の皆さんに向けた理解促進活動にも取り組んだ。

##### (1) 公共放送ならではの活動強化

8月に、4年ぶりとなった「N響北海道公演」を旭川・札幌・帯広・釧路の4会場で開催し、全会場ではほぼ満席となり盛況であった。防災・環境・福祉・食料など、社会的なテーマに基づき全国展開しているキャンペーンにも積極的に取り組んだ。防災では、地域防災の研究を推進している北海道教育大学や札幌管区気象台と連携し、子どもと保護者向けイベント「どーもくんとみんなの防災劇場」を釧路市（10月）・札幌市（3月）で実施したほか、函館局では消防本部の協力のもと「NHK防災広場」（7月）を行った。環境では、札幌局が札幌市円山動物園との共催で「冬の動物園わくわくナイト！」（11月）を、函館局では地域が行っている「エコフェスタ」への環境ブース出展（9月）を、釧路局が環境省釧路自然環境事務所との共催で「わくわく！湿原体感教室」（8・10月）をそれぞれ実施した。福祉関係では「公開すこやか長寿」公開録画を北見局管内の津別町で実施（6月）したほか、「NHKハート展」を室蘭局（8月）・函館局（9月）で実施した。また、釧路局では「NHKハートフォーラム・高齢者福祉」の開催（9月）に合わせて「介護百人一首2012パネル展」を釧路町で開催した。食料キャンペーンでは、旭川局が8月に道北地区の食関連イベントと連携した展開を行ったほか、釧路局では

消費者協会や物産協会の協力を得ながら地域で生産が盛んな蕎麦を題材にしたイベント「75の食材からつくる“わたしのガレット”」を行った。営業との連携で行う大学・フレッシャーズ対策では、札幌局が北海道大学構内を会場に、Eテレ『サイエンサー』初の出張公開収録を実施し、大学生をはじめ小中学生の親子連れで賑わった。併せて、番組出演者と制作者による学生向けトークセミナーも開催。番組ができるまでや、番組作りの裏側をつぶさに紹介し、NHKへの理解を深めてもらった。旭川局では地域の6大学連携組織「はしづくす」と共同でホームページや放送での展開に取り組み、北見局では『英語でしゃべらナイト』の出演者による「大学セミナー」を実施。室蘭局では専門学校生とともに番組作りを行い、それぞれ接触者拡大とNHKへの理解促進に努めた。

##### (2) 地域視聴者との結び付きを強める活動

12年度の新規企画イベントは、札幌局・旭川局・室蘭局の3局の提案が採択され実施した。札幌局ではロンドンオリンピックの視聴促進イベントとして「さっぽろ街なかスポーツフェスタ」を、札幌市やスポーツ関係団体との共催で7月から8月にかけて実施した。旭川局は10月に「愛されて100年 常磐公園の歩み展」を、アーカイブス映像を活用しながら展開した。室蘭局では開局70周年を記念して地元文化に触れる企画「アイヌの神様ものがたり」を12月に白老町で実施した。いずれの企画も、共催団体等から高い評価をもらった。地域文化の振興・活性化を目指して、札幌交響楽団と共に企画した「北の音楽隊」を北見局管内・西興部村（10月）、札幌局管内・由仁町（1月）、旭川局管内・鷹栖町（1月）、函館局管内・七飯町（3月）の4会場で実施したのに加え、全道放送で特集番組として放送した。各放送局独自の企画として、札幌局では2月に開かれた「さっぽろ雪まつり」期間中に「NHKゆきんこフェスタ」を実施した。NHKキャラクターによるステージショーのほか、環境・食料キャンペーンの参加型イベントも行い、約3万人の家族連れで賑わった。函館局では毎週木曜にハートプラザで公開放送を行っている『どどんと道南ラジオ』の出前公開放送を五稜郭公園（5月）、旧函館区公会堂（9月）、せたな町（3月）でそれぞれ実施し、地域の視聴者との結び付きを図った。旭川局では日本で初めて作られた歩行者天国・旭川買物公園の40周年を記念した展示イベントを6月に実施。市民の要望に応えて7～8月にはアンコール開催も行った。帯広局では公開番組やイベントを派遣していない

地域を対象にアーカイブス番組出前上映会を管内3市町村（7・9・12月）で実施した。釧路局では9月に地元の代表的な祭りの会場でNHKのキャラクターショーやブース展開などのふれあい活動を行った。北見局では2月に流水観光で多くの観光客が集まる紋別市で、「BSミニステージ」や「アナウンサートークショー」を実施し、接触者拡大を図った。室蘭局は開局70周年記念で、番組関連イベント・企画イベントを合わせて10本管内市町村で展開し、ステーションイメージの向上に努めた。

### （3）受信料制度の理解を深める活動強化

受信料制度に理解を深めてもらう活動として、「BSミニステージ」や「BS体感ランド」「出場記念写真サービス」などの活動を、『のど自慢』の4会場（4月南幌町・7月室蘭市・9月北見市・11月函館市）で展開したほか、帯広局では1月の「おびひろ氷まつり」会場で実施した。札幌局が7月から8月にかけて実施した「街なかスポーツフェスタ」では、競技体験コーナーやステージショーの実施に加え、市内7か所にクイズラリーのポイントを設けたほか、札幌市内で最も人通りが多い駅前通り地下歩行空間にオリンピック放送情報ステーションを設置し、1万6,000人を超える市民の参加が得られ、放送PRに貢献できた。12年度に北海道管内で実施した全国放送公開番組は27本。このうち旭川局が6月に実施した『BS日本のうた』を受信料支払い者限定で観覧募集を行った。また、支払い者限定イベント「ポコポッティト小劇場」は道内6局全てで実施し、計8会場・16公演を行った。いずれの会場も応募多数による抽選となり、キャラクターの人気の高さがうかがえた。札幌局では「第54回NHK杯ジャンプ大会」の会場で、「BS体感ランド」や「BSウインタースポーツキャンペーン」を展開し、BSの視聴促進を図った。室蘭局管内の洞爺湖町で5月に開かれた「洞爺湖マラソン」では、BS1の番組『ラン×スマ』のロケが行われたのを機に、参加者や周辺の市町村を中心に広く全道に向けて番組PR・理解促進活動を展開した。

## 2. 営業

12~14年度の3か年経営計画の初年度となる12年度は、受信料支払率の向上に向けて、大学生協の取り次ぎ向上に向けた対応強化等のフレッシュアーズ対策の強化をはじめ、訪問要員による契約・収納活動の強化と合わせて、経営計画に基づく外部委託化（法人委託）の拡大に向けた取り組みを

強化した。また、10月からの受信料の値下げに伴い、値下げ実施以前からリーフレットをはじめとしたさまざまな媒体による新たな受信料額の周知や受信料PRを積極的に展開する等、受信料の支払い者の増加に努めた。加えて、ホテル・旅館の宿泊施設や病院関係等の事業所開発に向けて、全局体制による取り組みを実施しながら事業所契約の増加対策の強化を図った。

これらの活動の結果、北海道ブロック全体で営業収納額をはじめとした全ての営業目標を達成することができた。

## 3. 広報

### （1）経営広報・番組広報

函館市を舞台にした地域制作ドラマ『神様の赤ん坊』を制作し、12年12月23日、BSプレミアムで放送した。

○ドラマ制作発表記者会見	10.3	函館市内
○札幌市・小樽市ロケ	10.22~24	
○函館市ロケ	10.25~11.8	
○ロケ現場取材会	11.5	函館市・市電駒場車庫
○ロケ写真展	12.1~10	五稜郭タワー
	—	
○完成試写会	12.16	東京・放送センター

この他、函館市の金森倉庫にドラマ出演者を招き、『BSコンシェルジュ』を収録し、12月21日に放送した。また、BSプレミアムドラマでは描けなかったエピソードを織り込んだアナザーストーリー『僕が父親になるまで』を制作し、総合テレビで13年2月15日、北海道地方向けに放送した。

札幌局では、地上波放送に向け、さっぽろ雪まつりの期間（2月5~11日）にギャラリーでロケ写真展を行った。

### （2）視聴者ふれあい活動

BSプレミアムで放送している『にっぽん縦断こころ旅』の出演者によるトークショーとふれあいミーティングを7月7日、小樽市で開催した。

7月13日には、札幌市の公共施設などが参画し、通常の閉館時間を延長して、広く市民の方々に地域の文化活動に触れてもらう「カルチャーナイト2012」を行った。札幌局の1階ロビーを開放し、「大河ドラマ『平清盛』展」などを行った。

ロンドンオリンピックの開催に合わせ、オリンピックに関連した体感イベント「さっぽろ街なかフェスタ」を実施した。

札幌局第1スタジオで「女子サッカー予選第2

戦「対スウェーデン」のパブリックビューイングや、地下歩行空間ではオリンピック視聴促進のためのPRブース展開を行った。

### (3) 地域独自の視聴者活動、広報展開

函館局では、開局80年を記念して、アーカイブス映像で函館の今と昔を伝える広報映像を制作し、リムジンバス車内、観光施設、ホテルなどで上映した。同時にホームページでも懐かしい映像を公開し、函館局の存在感を高めた。

また、渡島・桧山地方で活躍する人たちの魅力を伝えるミニ番組『きらり道南』は11年間継続、また、元気な子供たちの姿を紹介してきた1分スポット『輝け！道南Kids』は8年間継続し、それぞれ制作数が100本となった。

旭川局では、視聴者から旭川・道北地方の風景写真・スナップ写真などを寄せてもらう「道北LOVEスナップ」を新たに企画。送ってもらった写真をホームページと携帯サイト上で公開しているほか、地域番組『つながる@きたカフェあさひかわ』でも紹介。放送とホームページの連携を図りながら、視聴者の皆さんとの交流に積極的に取り組んだ。

帶広局では、女子サッカー「なでしこリーグ」の試合開催に合わせて、「NHKおびひろ・ピーもくんひろば」を帶広の森運動公園陸上競技場前で開催。「シュートで決めよう！デジタルクイズ」や「ジャイアントピーもくん」との記念撮影コーナーを設置。試合開始前から終了後まで、ゲームに挑戦することの列が途切れないほど、高い人気となった。

釧路局では開局75周年を記念した番組を放送した。50分番組の『道東今昔物語』は、地域の町並、自然、産業などのテーマごとに著名人ゲストとともに振り返ったほか、各分野で活躍する地元の人々をスタジオに招き、釧根地域のこれからを展望した。1分のミニ番組シリーズ『あの日あの時』は、テーマ曲に地元音楽家によるオリジナル演奏を使用し、これまでNHKが取材した映像とともに道東の生活・産業・文化などを振り返る内容である。

北見局では開局70周年を記念して、地元の特産品である玉ねぎをモチーフにしたオリジナルのキャラクター人形「たまねぎピーもくん」を制作し、番組の中継や地域のイベント等と連動して、着ぐるみのお披露目や撮影会を開催するとともに、オリジナルポケットティッシュを配付し、親近感の醸成を図った。

室蘭局では、11年から2年間にわたって放送を

したミニ番組『いぶり・ひだかミニ紀行』で胆振・日高地方の18市町を紹介した。開局70周年を伝える5秒のクラッチを登別の日本工学院と共同制作し、記念事業の周知などに活用した。北海道の歌手が出演し、北海道と被災地のきずなを伝える室蘭発『花は咲く』を制作・放送した。

# 東 北

- ◇12年度は、引き続き東日本大震災からの復興支援に東北一丸となって取り組み、津波被害や原発事故の検証と復興への課題などを全国へ発信し続けた。また、被災地を応援し元気づける放送やイベントを積極的に展開し、震災からの復興を地域とともに推し進めた。
- ◇金曜夜間の『クローズアップ東北』と『東北Z』では、震災後の現状と課題を伝えるとともに、過去の大災害から復興への道筋を探る新シリーズを放送したほか、地域の手仕事を訪ねる紀行番組など、東北の魅力を伝える番組も放送した。また、秋田局『ウォッチA』、青森局「シリーズ防災特集」など、各局で東北の課題に迫る番組を制作し、地域放送サービスの充実に取り組んだ。
- ◇大規模災害時の長時間停電や燃料供給停滞に備え、青森放送会館や福島・秋田の放送所・中継局の燃料タンクを増量したほか、老朽化したロボットカメラやFPU基地局を更新するとともに、「自然エネルギー利用ロボットカメラ」の試験運用を開始した。また、地上デジタル放送への移行に伴う「新たな難視」対策として東北域内に5局の中継局を建設したほか、約3万3,000世帯の受信対策を実施した。さらに秋田親局をはじめ域内18局でチャンネル変更を実施した。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

東北の各放送局は、引き続き東日本大震災からの復興を支援することを最優先事項とし、放送サービスの充実に全力で取り組んだ。

被災した人々の思いを伝えるため、震災直後に開始した番組『被災地からの声』を継続するとともに、各局の夕方6時台のニュース・情報番組では、被災地をはじめ各地域の諸課題を深く掘り下げて伝えた。平日午前11時台に新設した情報番組『ひるはぴ』でも、暮らしに密着した話題とともに、震災からの復興に向けた動きを伝えた。金曜夜間の『クローズアップ東北』『東北Z』では、被災地の現状を伝え、復興への課題と向き合う番組や、次なる災害に備えて東日本大震災を検証する番組を中心に編成し、東北の魅力を伝えて地域

を元気づける番組も放送した。

年度後期からは、東北を応援するBSプレミアムの番組『きらり！えん旅』を総合テレビの東北ブロックで定時編成し、宮城、岩手、福島の3県では『あの日 わたしは～証言記録 東日本大震災』の独自編成を開始した。

震災から1年半の特別番組は福島県二本松市に、2年の特別番組は岩手県大槌町にキーステーションを置き、被災各地と中継を結びながら長時間の生放送を行った。『ゆく年くる年』は、宮城県仙台市の大崎八幡宮をキーステーションに放送した。

11年度に引き続き、「がれき “2000万トン” の衝撃」(7.7) や「追跡 復興予算19兆円」(9.9)、など、震災関連の『NHKスペシャル』を仙台局、福島局、盛岡局で合わせて12本制作した。震災から2年となる3月に放送した「“いのちの記録”を未来へ～震災ビッグデータ」(3.3)、「何が命をつないだのか～発掘記録・知られざる救出劇」(3.7)、「わが子へ～大川小学校 遺族たちの2年」(3.8)、「福島のいまを知っていますか」(3.9)、「故郷を取り戻すために～3年目への課題」(3.11)では、知られざる震災時のドキュメントから今後の課題、防災に向けた新たな動きまで、詳細に伝えた。このほか、『クローズアップ現代』や『明日へ～支えあおう』『震災ドキュメンタリー』など、多数の震災関連番組を東北各局が制作し、全国に放送し続けた。

東日本大震災を機に、災害への関心が飛躍的に高まったことを受け、地域の安全・安心を守るために備えを各局で進めた。東北地方で大きな地震や台風、大雨などの自然災害が発生した場合には、東北ブロックや各県域で速やかにニュースを特設し、逆L字も利用しながら、きめ細かな報道を行った。

#### 〔仙台局〕

東日本大震災からの復興支援に全力を尽くすとともに、震災報道の成果と課題を検証し、地域の安全・安心を守るために取り組みを強化した。

次なる大規模災害に備えて、ハード面を整備し、ライフライン情報の迅速な送出のための訓練を2回実施した。

夕方6時台の『てれまさむね』は、復興への課題に真摯に向き合い、深い取材に基づくりポートや解説で宮城の課題を分かりやすく伝えたほか、暮らしに役立つ最新情報やスポーツ、レジャーなどの情報も取り上げ、視聴者に“笑顔”を届けた。

東日本大震災を機に見直されたラジオの重要性

を踏まえ、新たに平日の夕方5時台に『ゴジだっちゃ！』を開始し、地域に密着した情報を伝えるとともに、リスナーとのつながりを強化した。

6月に放送した『ふるさと宮城の復興は～放射線にどう向き合うか』では、関心の高い宮城県への放射線の影響をテーマに、県知事や有識者、関係団体のトップなどを招き、視聴者からの意見を交えながら生放送で討論を伝えた。

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やサッカー「ベガルタ仙台」、バスケットボール「仙台89ERS」などの地元プロスポーツチームの試合を積極的に取り上げた。11月に宮城県利府町で開催された「NHK杯フィギュア」では、ニュース企画や「花は咲く フィギュアスケートVer.」の制作に加え、関連イベントの実施、ホームページやツイッターの独自展開などで、大会を盛り上げた。

### 〔秋田局〕

夕方6時台の『ニュースこまち』では、“秋田を早く！”“秋田を詳しく！”をコンセプトに県内のニュース・最新の情報を伝えた。県内25市町村を訪ねて地域の魅力を紹介する企画も新設した。衆議院選挙では有権者の判断のよりどころとなる地域の課題や争点などを分かりやすく伝えた。

昼前の生活情報番組『エキヨコこまち』は、視聴者と触れ合う公開番組として、秋田駅のすぐ横（エキヨコ）にある放送局1階ロビースタジオから、秋田での暮らしをより豊かにする生活情報を生放送で届けた。

金曜夜間は『ウォッチA』にタイトルを変え、秋田の「ひと」「もの」「現場」に徹底的にこだわり、AkitaをとことんWatchする（見つめる）番組としてパワーアップ。県内の製造業や後継者不足など、秋田が抱える深刻な課題に迫ったほか、秋田の自然、文化を多角的に捉えた番組を放送した。

5分間のドキュメンタリー番組として、秋田に暮らす人々の心を、その人が発した珠玉の言葉からひも解く『コトノハ』をスタート。秋田に暮らすさまざまな人々の言葉に耳を傾けた。

東日本大震災から2年となる3月には、地元民放ラジオ局と共同で「防災を楽しく学ぶ」をコンセプトに視聴者参加型のラジオ公開番組を放送したほか、アニメのテーマソングをたっぷりと紹介するFMの公開収録も行いラジオの魅力を伝えるなど、視聴者が放送に触れ合う取り組みを積極的に行なった。

### 〔山形局〕

夕方6時台のニュース番組を『ニュースやまがた6時』と変更し、番組セットやキャスター陣を一新、県内のニュースや話題を取材者の解説を交えながらタイムリーに分かりやすく伝えた。

昼前の情報番組『やまモリ！』では、イベント情報など県内の生活に役立つ情報を発信した。

金曜夜間の『やまがたスペシャル』では、開業20周年を迎えた山形新幹線にまつわる情報を伝えた。また、山形県内の頑張っている人やその取り組みなどを紹介する「ねづづぐ！！やまがた調査隊」を新設し、初回放送では、県内で活躍するものづくりのエキスパートを取り上げ、視聴者を元気づけるバラエティー番組を届けた。

全編山形弁のみのトーク番組『今夜はなまらナイト』は、山形県内の桜をテーマとし、各地のお花見スポットなどを総合テレビで伝えた。10月以降は月1回、県内各地の公民館から地域に密着したラジオ番組を公開生放送で計6回放送するなど、地域に根ざした放送を実現した。

県域放送のラジオワイド番組を年2本放送し、ラジオ番組の制作機能強化を図った。

J1復帰が期待された「モンテディオ山形」のテレビ中継や、ニュース番組の中でアマチュアスポーツを取り上げるなど、地域スポーツを積極的に取り上げた。また、2月に蔵王で開催されたジャンプ女子ワールドカップ蔵王大会では、日本人選手の活躍で注目の集まる大会のもようを放送した。

### 〔盛岡局〕

東日本大震災後の県内の復興状況や課題、行政の動きなどを中心に、各番組を通して迅速に情報を発信した。

夕方6時台の『おばん下さいわて』は、被災地復興の現状と課題、そこで暮らす人々の姿を伝えた。被災者の証言を放送するコーナーを、発災直後から継続して設け、震災を後世に伝える貴重な証言として、アーカイブスをホームページに動画として掲載した。

昼前の情報番組『ひるっこいわて』では、趣味・料理、エンターテインメント、旅・イベント情報など暮らしに役立つ情報を取り上げた。

金曜夜間は『シリーズいわて』など、震災後の人々に密着したドキュメンタリーや討論番組を作成、震災復興を視聴者とともに考え、応援する番組作りに取り組んだ。

また、被災時にいち早く生活情報を提供することを想定した県域ラジオ番組『がんばろう！いわ

て』の放送を開始した。

震災以外にも岩手県の多彩な魅力を取り上げるべく、『いわてみんなのうた』は、岩手ディスティネーションキャンペーンとタイアップし、岩手県のキャラクターを歌った「わんこきょうだいえかきうた」を放送した。また、没後100年となる石川啄木のミニ番組『ふるさとに向ひて』を10本制作、放送した。

#### 〔福島局〕

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から2年目を迎えた12年度も引き続き、夕方6時台の『はまなかあいづToday』を中心に、震災・原発事故について、現状や課題、復旧・復興に向けた動きなどを、迅速かつ詳しく伝えるとともに、インターネットで関連の県内ニュースを動画配信し、県外に避難する県民への情報提供も行った。

『はまなかあいづToday』では、震災・原発事故に関する視聴者の関心の高いニュースについて、取材記者が詳しく分かりやすく解説するコーナー「そこが知りたい」、県内の復興のキーパーソンなどにキャスターが直接インタビューする「この人に聞きたい」の2コーナーを放送するなど、県民の視点に立って、震災・原発事故の及ぼすさまざまな影響、復旧・復興に向けた動きや課題をきめ細かく伝えた。また、放射線測定値については11年度に引き続き、テレビ・ラジオのニュースの中だけでなく、データ放送やインターネットでも伝えた。12年10月からは、『大河ドラマ』『八重の桜』に関して、地元の期待、主人公・新島八重にまつわる歴史秘話、出演者からのメッセージなど、さまざまな情報を伝えるコーナー「週刊八重の桜マガジン」をスタートし、さまざまな形で「八重の桜」の魅力を伝え、県民を元気づけた。

昼前の情報番組『ふくみみ』は、趣味・料理、エンターテインメント、旅・イベント情報など暮らしに役立つ情報を取り上げるとともに、復旧・復興に向けた市民の取り組みも伝えた。また、10月以降、『はまなかあいづToday』とも連動し、「八重の桜」の魅力をさまざまな形で伝えた。

第92回天皇杯全日本サッカー選手権で、ベスト16進出を果たした「福島ユナイテッドFC」の4回戦の試合や、13年シーズンから昇格を果たした日本フットボールリーグ（JFL）のホーム開幕戦を生中継し、高まる県民の関心に応えた。

また、東日本大震災・福島第一原発事故に関し、『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代』など全国放送番組の制作に多数携わり、被災地の視点に立った情報を全国に発信した。

#### 〔青森局〕

東日本大震災で被災した沿岸部の復旧・復興の現状や津波の想定浸水域の変更に伴う防災の課題、それに国の原子力政策に揺れる青森県の現状などについて全国発信を含めて継続的に伝えた。

夕方6時台の『あっぷるワイド』では、4月から毎月「防災特集」放送を開始し、計19本の防災企画を放送した。また、『あっぷるワイド』で放送した企画を金曜夜間の『あっぷるワイドPlus』や『クローズアップ東北』に展開し、番組を4本制作した。

さらに、被災した八戸市の朝市で新たな仕事に挑戦する人々を取材した紀行番組などを全国発信したほか、震災で観光客が減少した地域を支援するため、桜の開花を伝える弘前公園からの公開生放送や、秋田局と共同で十和田湖の遊覧船から伝えるFM特集を放送した。建設工事が再開された大間原発をめぐり、原子力をテーマにした初のインターローカル番組も札幌・函館局と連携して制作した。

12年12月の衆議院選挙では、県内のマスコミで最も迅速・正確に当確を伝えた。

青森県で毎年繰り返される雪の事故を減らすため、雪下ろしの注意について制作したスポットを放送するとともにホームページにも動画を掲載し、注意喚起を図った。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう宮城』 G

月～金 7:45～ 8:00

第1回00.4.3／宮城県域（一部東北ブロック）／県内のニュースのほか、東北各地の話題や中継などで朝の表情を生き生きと伝えた。

#### 〔各局タイトル〕

『おはよう秋田』 『おはようやまがた』

『おはよういわて』『おはようふくしま』

『おはよう青森』

#### 『ウイークエンド東北』 G 土 7:30～ 8:00

第1回85.10.12／東北ブロック（一部県域）／東北各県のニュースや問題に迫るリポートのほか、各地を旅してその魅力を伝えるコーナーなど、NHKのネットワークを生かして東北のさまざまな動きや話題を伝えた。

#### 『ひるはび』 新 G

（ブロック）月～金 11:05～11:45

（各県域） 11:45～11:54

第1回12.4.3／東北ブロック、各県域／暮らし

に役立つ情報や旬の話題を届ける情報番組。家庭で手軽にできる料理を地元の料理人や管理栄養士とともに伝えたほか、美容や健康、イベント、地域活動など、暮らしを豊かにする多彩な情報を、ゲストを交えて楽しく届けた。また、震災で被災した各地からの電話リポートで、復興に向けた動きや課題を分かりやすく伝えた。

## 〔各局タイトル〕

- (秋田局)『エキヨコこまち』 新
- (山形局)『やまモリ!』
- (盛岡局)『ひるっこいわて』
- (福島局)『ふくみみ』
- (青森局)『情報ランチ』

## 『てれまさむね』 G 月～金 18:10～18:59

第1回03.3.31／宮城県域／被災地をヘリコプターで空撮し、被災地の様子を被災前と比較して伝える「空から見た被災地」や、被災者が当時の様子を現地で証言する「あの時 わたしは」をシリーズで伝えた。畠山キャスターが県内各地を訪ねる新コーナーや視聴者からの投稿写真を紹介するコーナーに加え、年末には公開生放送を実施するなど、視聴者との関わりをさらに充実させた。震災関連のニュースやリポートは、ホームページにも動画で掲載した。

## 〔各局タイトル〕

- (秋田局)『ニュースこまち』
- (山形局)『やまがた6時』 新
- (盛岡局)『おばん下さいわて』
- (福島局)『はまなかあいづToday』
- (青森局)『あっぷるワイド』

『クローズアップ東北』 G 金 19:30～19:55  
（再）土 10:05～10:30

第1回02.4.5／東北ブロック／被災地の“今”を徹底的に見つめ、震災後の地域の現状と課題に鋭く迫るとともに、復興に向けて専門家の提言を伝えた。被災地以外からも、地域に密着したテーマをタイムリーに取り上げた。

## 「岐路に立つ消防団～被災地の新たな危機」

仙台局 / 4.20

## 「桜のちから」

青森局 / 4.27

## 「あれからの日々」を力に～被災地から巣立った高校生」

盛岡局 / 5.18

## 「帰ってはみたけれど～南相馬 旧警戒区域のいま」

仙台局 / 6.15

## 「緊急報告 中高年のひきこもり」

秋田局 / 7. 6

## 「それでも海に生きる～磯浜漁港・漁師たちの日々」

仙台局 / 7.20

## 「市民パワー」が復興を支える」

仙台局 / 9.17

## 「老舗よ、変わら～ある水産加工会社の再建」

青森局 / 9.28

## 「“震災不明者”2800人～密着 特別捜査班」

仙台局 / 10. 5

## 「なぜ、救急車は出動しなかったのか」

山形局 / 10.12

## 「23歳 この町で生きる～被災地に移住した青年」

盛岡局 / 10.19

## 「子どもの成長に何が～被災地からの緊急報告」

仙台局 / 11. 9

## 「天杉、絶えず」

秋田局 / 11.17

## 「本当のことが知りたい～福島 大熊町の放射線教育」

福島局 / 1.11

## 「検証 “釜石の悲劇”」

盛岡局 / 1.18

## 「ワタシがこけしに恋した訳」

青森局 / 2. 8

## 「子どものために福島へ～“自主避難者”はいま」

山形局 / 3.15

## 『東北乙』 G

金 20:00～20:43

（再）土 10:30～11:13

第1回11.6.3／東北ブロック／東日本大震災の現状と課題を伝えるドキュメントを中心に、東北に関わる話題を深く掘り下げる番組や、人物や文化を豊かに描く番組を展開した。歌謡番組や『大河ドラマ』『八重の桜』の関連番組など、地域を元気にする番組も放送した。新たなシリーズとして、過去の大災害から復興への道筋を探る「災害から未来へ」と、東北各地の“メンコイ”ものを調査する「TOHOKUメンコイらぼ」を開始した。6年間、43回にわたって東北の“技”を紹介してきた「ここに技あり」は、3月1日の総集編をもってシリーズを終了した。

## ◇災害から未来へ／仙台局

「駆け足の復興 その光と影」 4.20

「チェルノブイリ～低線量汚染地帯からの報告」 7.20

「悲しみの残響～インド洋大津波 8年後の被災者たち」 11.9

## ◇TOHOKUメンコイらぼ／仙台局

「メンコイもの」 11. 2

「東北のコナモノお調べします！」 1.25

## ◇ここに技あり／仙台局

「守りぬく この手の仕事～福島県郡山市周辺」 7. 6

「磨いて紡いで 手仕事の道～岩手・盛岡市」 10. 5

「手仕事 街をあたためて～仙台市周辺」

	12.14
「潮風の町で 手しごと貫いて～山形・酒田市」	2.8
「最終回スペシャル この手に宿る 技への情熱」	3.1／19:30～20:43
◇その他	
「忠司と義明～南三陸 ふたりの29歳」	
	仙台局／ 4.27
「東北Zスペシャル 空とぶリンゴ」	
	仙台局／ 5.2／19:30～20:43
「本当は悲しいけれど 第三章 証」	
	仙台局／ 5.11／19:30～20:43
「めざせ津軽三味線 “日本一”」	
	青森局／ 5.18
「再起の先へ～三陸漁業は生まれ変われるか」	
	盛岡局／ 6.15
「遠いふるさと～石巻 長面浦の人々」	
	仙台局／ 6.22
「第6仮設住宅の人々」	
	仙台局／ 9.14
「つむぐ～閑上中学校 その言葉の記録」	
	仙台局／10.12／19:55～20:42
「往診先生の挑戦～石巻 広がる在宅医療の可能性」	
	仙台局／10.19
「花は咲くコンサート」	
	仙台局／10.26／19:30～20:43
「中国企業と生き残る～世界一を目指す工場長の挑戦」	
	山形局／11.16
「東北Zスペシャル～住民合意への道～誰もがいち早い復興を願っていた」	
	仙台局／11.30／19:30～20:43
「八重の桜 会津旅～大河ドラマの舞台を訪ねて」	
	福島局／12.21／19:30～20:43
「絵がつなぐ私のふるさと」	
	仙台局／ 1.11
「ふるさとの記憶～岩手県田野畠村羅賀地区」	
	盛岡局／ 2.15
「雪峠を越えて～羽後の花嫁道中」	
	秋田局／ 2.22
「北国からのコンサート2013」	
	仙台局／ 3.8／19:30～20:43
『被災地からの声』 G	
	木 12:20～12:43
第1回11.3.20／東北ブロック／被災者が今一番伝えたいことを直接カメラに向かって話してもらう番組。被災地に暮らす人たちや他の地域へ避難している人たちの声を、被災地・石巻出身のアンサーが伝え続けた。震災直後に開始した番組を、12年度は放送日時を変更して継続した。	
『東北ラジオあさいちばん』 R1	
	月～土 7:40～ 8:00

第1回99.4.1／東北ブロック／東北各地のニュースや話題、交通情報、気象情報などを盛り込んだ地域情報番組。視聴者による地域リポーターやコミュニティFM局からの電話リポート、スポーツ情報、週末情報などをコンパクトに伝えた。

### 『ゴジだっちゃ！』 新 R1

月～金 17:00～18:00

第1回12.4.2／宮城県域／ニュースや気象、交通情報に加え、さまざまな分野のゲストを招いたトークや、県内各地の「だっちゃ通信員」からの電話リポートなど、視聴者のお便りを交えながら宮城の情報を軽快に伝えた。県内各地からの公開生放送や、愛好家を集めての川柳・短歌大会も実施した。

### 『民謡をどうぞ』 R1・FM 金 12:30～12:55

第1回54.11／東北ブロック／1954（昭和29）年にスタートした東北の最長寿番組。東北ならではの民謡を、季節に応じたテーマで放送した。

### 『特選・ぬくだまりの宿 みちのく亭』 R1

（年4回）日 16:05～16:55

第1回10.5.30、最終回13.2.10／東北ブロック／東北にこだわって熱く生きる魅力的な人々を、伊奈かつpeiさんとともに紹介するトークバラエティー。全国放送2話分を再構成して伝えた。

### 『仙台音楽倶楽部』 FM

（月1回）土 16:00～18:00

宮城県域／中学生、高校生を中心とする若者のリスナーに向けて、仙台の最新の音楽情報を伝える番組。毎月1回、NHK仙台放送局のスタジオから、ライブとトークで仙台の「旬」の音楽をいち早くリスナーに届けた。3月には公開収録を行い、ダイジェスト版を総合テレビでも放送した。

### 『サバトセーラ東北』 FM 土 18:00～18:50

第1回11.5.14／東北ブロック／音楽ファンとミュージシャンを結ぶ生放送番組。東北ゆかりのアーティストの情報や震災復興に元気を届けたいと活動するミュージシャンの話題を絡めながら、懐かしの名曲から最新の曲まで、幅広い音楽ジャンルを取り上げた。9月と12月には時間を拡大して局外から公開生放送を行った。

### （2）特集番組

#### 〔東北ブロック〕

#### 『震災ドキュメンタリー～釜石 ある家族の記録～巨大津波から1年の日々』 G

仙台局 4.13／19:42～20:55

#### 『復興カレッジ in 仙台～建築家と考える新生東北のデザイン』 E

仙台局 4.15／15:00～15:50

『ジャズの力で東北に元気を～小曾根真とジュニアジャズの仲間たち』 G  
仙台局 9. 8／10:05～11:04

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012～東北地区大会』 G  
仙台局 11.23／13:05～13:59

『荒川静香「花は咲く」を舞った日』 G  
仙台局 12. 8／11:05～11:20

『ジャンプ女子ワールドカップ蔵王大会』 G  
仙台局, 山形局 2.10／16:45～18:00

『第34回NHK東北民謡コンクール～各県大会』 FM  
18:00～18:50  
山形 2.12, 宮城 2.13, 秋田 2.14,  
福島 2.15, 岩手 2.18, 青森 2.19

『第34回NHK東北民謡コンクール優勝大会』 G  
仙台局 3.22／19:30～20:43  
[県域番組]  
[仙台局]  
『ふるさと宮城の復興は～放射線にどう向き合うか』 G  
6. 1／19:30～20:43

『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』 E  
10.16～18, 22～23, 1.15～17, 21～23  
／12:55～13:00

『てれまさむね 年末スペシャル2012』 G  
12.28／17:05～19:00  
[秋田局]  
『ウォッチA』 G 新  
「地名探訪 古の声が響く」  
4.20／19:30～19:55  
「歴史再発見！角館」 5.11／19:30～20:43  
「激論 秋田経済～どうする製造業」  
6. 1／19:30～20:43  
「後継者がいない～進まぬ “事業承継”」  
9.14／20:00～20:30  
「鳥海山ろく ユカイな旅」  
10.19／19:30～19:55  
「小さな旅」アンコール 「湖 なお恵みあり～秋田県八郎湖」 11. 9／19:30～19:56  
「ベコとばばと 365日」 3.22／19:30～20:13

『コトノハ』 G 新 土 13:50～13:55  
「第1章 “2人の幸せだ この時間が”」  
4. 7  
「第2章 “忘れると また次の船に乗れる”」  
4.21  
「第3章 “地名は、地球の声”」 5.12  
「第4章 “ゆっくり 日暮をつけなさい”」  
5.19  
「第5章 “1匹1匹 顔が違う”」 6. 9

「第6章 “命あっての人間だ”」 6.23  
「第7章 “最期は いちばん近い時間”」  
7. 7  
「第8章 “できない壁は つくるな”」 7.21  
「第9章 “一生懸命な姿は 笑顔”」 9. 1  
「第10章 “海が 教えてくれる”」 9.22  
「第11章 “笑って帰る材料あるか”」 10.20  
「第12章 “写真する”」 11.17  
「第13章 “人生 責任の積み重ね”」 12. 8  
「第14章 “支えられたり 支えたり”」 1.19  
「第15章 “あまりにも 神秘の世界”」 2. 2  
「第16章 “小さなことでも やり続けたい”」  
2.16  
「第17章 “私が忘れちゃいけない”」 3. 2  
「第18章 “人生の針を止めたくない”」 3.16  
『秋田アイドル最強伝説！！～ガチで会いたかったよアキタ』 FM  
8.25／13:00～14:00  
『AKITAアニソン大運動会FINAL』 FM  
12.22／14:00～16:28  
『スーパーこまち2012』 G  
12.28／18:00～19:00  
『なかいち防災ステーション～たのしくそなえるラジオのじかん』 R1  
3. 2／12:15～13:00, 14:00～14:55  
[山形局]  
『今夜はなまらナイト』 G・R1  
「山形にたえて桜のなかりせばスペシャル」  
G 4.20／19:30～20:43  
「公民館でなまらナイト」 R1  
10. 1, 11.26, 12.21, 1.28,  
2.26, 3. 8／17:00～17:55  
「なまら親方、聞いてけろ我が子がなんだかわからない」 R1  
2.17／15:30～16:55  
『やまがたスペシャル』 G  
「ひるブラ総集編～とよた真帆とゆく初夏の山形」  
6. 1／20:00～20:43  
「つばさ二十歳～知られざる山形新幹線の魅力」  
7. 6／20:00～20:43  
「ねっづぐ！！やまがた調査隊」  
3. 1／19:30～20:43  
『ラジオ特集～山形新幹線20周年やまがたグルメぐり』 R1  
7. 1／13:05～15:30  
『ニュースやまがた6時～年末ハイライト2012』 G  
12.28／18:00～19:00  
[盛岡局]  
『がんばろう！いわて』 R1 新  
月 19:45～20:00

『いわてみんなのうた』 G・E		
4.30～	6.29／E	月～金 15:35～15:40
	G	土 13:50～13:55
『ふるさとに向ひて…』 G		
4.11～	7.1／水	22:45～22:50
	土	12:40～12:45
	日	5:45～ 5:50
第1回	生い立ち編・渋民	4.11
第2回	漂泊編・釧路	4.25
第3回	望郷編・盛岡駅	5.5
第4回	成長編・盛岡城	5.9
第5回	成長編・高田松原	5.16
第6回	望郷編・渋民	5.23
第7回	漂泊編・函館	6.2
第8回	漂泊編・小樽	6.6
第9回	終焉編・上野駅	6.13
第10回	終焉編・浅草等光寺	6.27
『第2回いわて復幸会議』 G		
	6.1／	20:00～20:43
『シリーズいわて』 G 新		
「だから今、野球がしたい」		
	7.6／	19:30～19:55
「釜石最後の芸者、育む絆」		
	11.2／	19:30～19:55
『ストップ・ザ・交通事故2012』 R1		
	9.20／	15:05～16:00
『おばん下さいわて～ニュースハイライト』 G		
	12.28／	18:10～19:00
『おばん下さいわて～震災から2年』 G		
	3.11／	18:00～19:00
〔福島局〕		
『NHKアーカイブス～新日本紀行が見つめた福島・浪江～完全版』 G 5.1／ 8:15～ 9:50		
『NHKアーカイブス～相馬野馬追～復興を願う騎馬武者たち～特別編』 G		
	9.1／	10:05～11:19
『NHKのど自慢・予選会～いわき市』(前後編)		
G	9.14, 21／	0:25～ 1:45
『届け！福島の声～はまなかあいづ2012』		
G	12.28／	17:57～19:00
〔青森局〕		
『お国ことばで川柳 なもあんだも』 G		
	19:30～	19:55
お題「け」「噂」	6.1	
お題「水」「はで・へで」	7.6	
お題「あべ・あばさい・よむ」	10.5	
お題「はける」「星」	1.11	

『あっぷるワイドPlus』 G 新 19:30～19:55		
「地域防災力を高めるために」	6.15	
「プレミアム特産品を生み出せ」	9.7	
「子どもたちの考える力を育てる」	11.9	
『第6回津軽三味線日本一決定戦』 G		
	6.9／	10:05～11:20
『青森の祭2012』 G 8.25／15:00～17:00		
『NHKが伝えた青森』 G		
	1.11／	20:00～20:33
	1.12／	10:30～11:03
	1.19／	10:30～11:00
	1.26／	10:30～11:02
『FM版あっぷるワイド～弘前キャンパススペシャル』 FM 4.7／14:00～16:00		
『十和田湖七夕物語』 FM 7.7／14:00～16:00		
『100%あおもり豊饒ラジオ』 R1 10.13／13:05～16:00		
『あおもり防災ラジオ』 R1 2.23／13:05～15:00		
〔各局共通〕		
『第79回 NHK全国学校音楽コンクール』		
「宮城県」	E 9.1／FM	9.2
「秋田県」	FM	9.1
「山形県」	E 8.25／FM	9.1
「岩手県」	E 9.15／FM	9.1
「福島県」	E 9.22, 28	
「青森県」	E 8.25／FM	9.1
「東北ブロック」	E 9.29～30／FM	9.29
3. スポーツ中継 (地域放送)		
* ブロックと記した以外は県域		
〔高校野球〕		
第94回全国高等学校野球選手権 地区大会		
宮城県 4回戦	FM	7.18～19
準々決勝	G・E・R1・FM	7.20
準決勝	G・E・R1	7.22
決勝	G・R1	7.23
秋田県 3回戦～準々決勝		
	R1・FM	7.19～21
準決勝	G・E・R1・FM	7.23
決勝	E・FM	7.24
山形県 3回戦～準々決勝		
	R1・FM	7.19～22
準決勝	E・FM	7.24
決勝	E・FM	7.25
岩手県 3回戦～準々決勝		
	R1・FM	7.11, 13～14, 17～18

準決勝	E・FM	7.19	第92回天皇杯サッカー・四回戦（福島）
決勝	E・R1	7.26	「ジェフ千葉」対「福島ユナイテッド」
福島県 3回戦～準々決勝	R1・FM	7.21, 23～24	G 12.15
準決勝	G・E・R1	7.26	<b>プロ野球</b>
決勝	E・FM	7.28	(東北ブロック)
青森県 3回戦～準々決勝	R1・FM	7.19	「楽天イーグルス」
	R1	7.20～22	対「オリックス」 R1 4.26
準決勝	G・R1	7.23	対「日本ハム」 G 4.30
決勝	G・R1	7.26	対「ソフトバンク」 G 5.4
<b>第65回秋季東北地区高等学校野球</b>			対「西武」 R1 5.10
◇地区大会（準決勝、3位決定戦・決勝）			対「広島」 R1 5.17
宮城	R1	9.23～25	対「中日」 R1 5.23
秋田	R1・FM	9.22～23	対「広島」 R1 6.3
山形	R1	9.22～23	対「ヤクルト」 R1 6.14
岩手	R1	9.22～23	対「ソフトバンク」 G 6.29
福島	R1	9.24～25	対「ソフトバンク」 G 7.1
青森	R1	9.22/R1・FM 9.23	対「日本ハム」 G 7.13
◇東北大会（ブロック）			対「オリックス」 G 8.31
1～2回戦	R1	10.5～6	対「西武」 G 9.7
準々決勝	R1	10.7	対「ソフトバンク」 G 9.21
準決勝	R1	10.8	対「西武」 R1 10.4
決勝	R1	10.9	対「ソフトバンク」※開幕戦 G 3.29
〔その他のスポーツ〕			<b>Jリーグ</b>
<b>NHK杯東北高校ラグビー選手権・決勝</b>			(県域)
「秋田工」対「青森北」（ブロック）	G	6.17	「ベガルタ仙台」（仙台）
<b>NHK杯東北高校サッカー選手権・決勝</b>			対「ジュビロ磐田」 G 4.7
「東北」対「盛岡商」（ブロック）	E	6.18	対「清水エスパルス」 G 5.6
<b>NHK杯東北高校バスケットボール選手権・決勝</b>			対「ヴァンフォーレ甲府」※開幕スペシャル G 3.2
「能代工」対「明成」（ブロック）	E	6.24	「モンテディオ山形」J2（山形）
<b>第92回天皇杯サッカー各県代表決定戦</b>			対「ギラヴァンツ北九州」 G 4.22
宮城県代表決定戦（仙台）			対「ギラヴァンツ北九州」 G 10.21
「ソニー仙台」対「仙台大学」	G	8.26	対「ジェフユナイテッド千葉」 G 10.28
秋田県代表決定戦（秋田）			対「ファジアーノ岡山」 G 11.11
「ブラウブリッツ秋田」対「秋田F.Cカンビアーレ」	G	8.26	<b>サッカーJFL</b>
山形県代表決定戦（山形）			「福島ユナイテッド」対「横河武藏野」（福島）
「日大山形」対「羽黒」	G	8.26	G 3.17
岩手県代表決定戦（盛岡）			<b>チャレンジリーグ</b>
「グルージャ盛岡」対「富士大学体育会サッカ一部」	G	8.26	「ベガルタ仙台レディース」対「日本体育大女子」（ブロック） G 11.4
福島県代表決定戦（福島）			<b>バスケットボール bjリーグ</b>
「福島ユナイテッド」対「JFAアカデミー福島」	G	8.26	「秋田ノーザンハピネッツ」対「東京サンレーヴス」（秋田） G 11.3
青森県代表決定戦（青森）			「秋田ノーザンハピネッツ」対「仙台89ERS」（仙台、秋田） G 2.17
「八戸大」対「ヴァンラーレ八戸FC」	G	8.26	<b>女子ジャンプワールドカップ戦王大会</b>
			(ブロック) G 2.10

## II. 技術

### 1. 公共放送の機能強化に向けた設備整備の推進

大規模災害時の長時間停電や燃料供給の停滞に備えるため、放送会館（青森）や放送所（信夫丘R）、中継局（横手R等6局）などの燃料タンク増量や、BF局の発電機化（田子R）整備を行った。併せて、テレビ親局の非常用プログラム回線機器やNHK共聴の緊急対応用放送機材（各局）の整備とともに、老朽化したロボットカメラ（松島等7か所）やFPU基地局（国見等5か所）を更新した。

また、新たに開発した自然エネルギーロボットカメラを宮城県亘理町に設置し、今後の全国展開に向けて検証と機能改善を行った。

### 2. 報道対応と放送の安定確保

生活情報送出訓練や、定期的に実施している地震一報送出訓練に積極的に参画するとともに、円滑な運用に向けた設備面の改善に取り組むなどして緊急報道に備えた。また、12月の衆議院選挙に際しても、政見経歴放送、関連取材等での域内局支援、多数の事務所中継を行った開票速報など、全体にわたって的確に取り組みミスなく対応することができた。

また、代替系切替手順の全国統一化を基にした、運行バックアップ訓練や、個別テーマを設定しての独自訓練を実施し、番組送出業務の習熟向上を図った。これらの取り組みの結果、仙台局は12年11月に無事故継続7年を達成した。

### 3. 地域放送サービスの充実

ニューススタジオのセット更新や『てれまさむね』の新演出である玄関前中継など、12年度新番組にコンパクトな要員、機材で確実に対応した。また、大震災から2年目を迎えた12年度も、テレソンや中継番組、ロケ番組など多種多様な番組の制作に、全国支援を受けながら域内技術パワーを結集して取り組み、被災地の現状と課題の発信に努めた。

一方で、プロ野球をはじめとするスポーツ中継に継続して取り組み、NHK杯国際フィギュアスケート競技大会では、ハイスピードカメラやスパイダーカム、水中マイク等を積極的に活用し国際信号を含め多彩な映像音声表現を実現した。

12年度に開始されたラジオのローカル定時番組『ゴジだっちゃ！』では、キャラバン中継や公開生放送など、リスナーとのネットワークを強化する取り組みとともに、新たな伝送手段の開発に当たった。

### 4. 新たな難視対策と安定したネットワークの確立

12年度は新たな難視世帯への対策として、送信対策、共聴対策、アンテナ対策などで約3万3,000世帯の恒久対策を実施した。また、域内で5局の中継局を建設し、域内のデジタル放送所は305局となった。

NHK共聴17施設で光化による大規模改修工事を実施し、受信環境インフラの安定化を促進した。また、秋田親局をはじめ域内で18局のリパック（チャンネル変更）を実施し、周波数再編・デジタル混信対策を推進した。

東日本大震災で被災したNHK共聴施設を、太陽光発電と23GHzの無線伝送設備を用いて復旧させた。また、高台移転先での受信環境確保のための、NHKの支援スキームを作成するなど、地域の復興へ向けて取り組んだ。

## III. 視聴者

### 1. イベント事業

#### (1) 復興支援イベントの実施

被災地に元気を届け、復興の力になる放送イベントを東北全体で計251回実施した。

##### ①北からの“ありがとう”モザイクアート

国内外から寄せられた支援に対して感謝の思いを届けようと、一般から写真を募集しモザイクアートを作成。集まった1万840枚の写真を組み合わせ6m×3mの巨大な幕にして、11月23日から25日まで被災地・宮城県で開催された「NHK杯フィギュア」の会場に展示したほか、特殊技術でアイスリンクに投影し“ありがとうスケーティング”を実施し、東北からの感謝のメッセージを全国・全世界に発信した。また、3月9日と10日に東京で開かれた「ふるさとの食にっぽんの食全国フェスティバル」でも展示了。

##### ②明日へ～絵がつなぐ私のふるさと

東日本大震災から1年が過ぎた今だからこそ見えてくるふるさとの姿を、自由に絵に描いてもらい募集した。東北を中心に全国11都県から265点の応募があり、3人の選者で67点を選考した。応

募作品の中からエピソードを基に取材を行い、ドキュメンタリー番組を制作し1月に『東北Z』で放送した。放送後、東京、大阪、仙台、福島で6回にわたり作品展を開催し、2万7,750人が来場した。

### ③番組と一体となったイベント展開

復興に向けた思いを伝える「あなたが主役50ボイス」(9.6、気仙沼市)、復興支援ソング「花は咲く」を参加者全員で歌い上げる「花は咲くコンサート」(10.17、登米市)、東北に元気を届ける『北国のコンサート』(2.7、仙台市)、さまざまあした番組を一堂で実施した「公開復興サポート明日へin 東北大學」(2.11、仙台市)、など数多くの番組を公開実施し、復興への思いを伝えた。

### ④公開番組の実施など

津波で大きな被害を受けた沿岸部や、原発事故による影響が続く福島県などで公開番組を71本実施したほか、11年に引き続き被災地応援イベントキャラバンを被災県を中心に青森、山形でも実施し、2年間で178公演2万4,590人が参加した。

## (2) コンクール等

### ①第79回NHK全国学校音楽コンクール

各県コンクールと東北ブロックコンクール（名取市9.8～9）を実施。東北各県から小学校209校、中学校233校、高等学校39校が参加。東北代表に岩手大学教育学部附属小学校、会津若松市立第四中学校、郡山市立郡山第二中学校、福島県立橘高等学校が選ばれた。

### ②第59回NHK杯全国放送コンテスト

6月に各県大会を開催。アナウンス、朗読ドキュメント（テレビ・ラジオ）、創作ドラマ（テレビ・ラジオ）の6部門に東北各県から147校が参加。

### ③第29回NHK杯中学校放送コンテスト

7月に各県大会を開催。アナウンス、朗読、テレビ番組、ラジオ番組の4部門に東北各県から56校が参加。

### ④アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012

11年度に予定していた福島県での開催が東日本大震災の影響で見合わされ、12年度に改めて開催した（10.28、いわき市）。優勝した一関工業高等専門学校Bチームと、審査員から推薦された仙台高専（広瀬）Aチーム、仙台高専（名取）Aチームが全国大会にエントリーされた。

## 2. 営業

12年度は、受信料の値下げと「3年間で支払率3ポイント向上」「収納率3年後97%」の目標を

掲げた3か年経営計画の初年度であった。

東北ブロックでは、12年度のみならず13年度以降も視野に入れた戦略的な体制構築への取り組みを最重要課題としてスタートを切った。

地域スタッフの少数精銳化に向けた指導を徹底しながら、法人委託の積極的な開発と導入に向けた取り組みを進めた。また、職員による事業所対策を計画的かつ精力的に進めるとともに、業績の確保に最大限こだわった活動も進めた。さらに、東日本大震災で延期していた被災県の民事対策の再開や仮設住宅対策についても本格的に力を入れて実施した。

その結果、12年度の営業諸目標は東北ブロック全局が全ての営業目標を達成し、12年度末の東北地方の放送受信契約数は309万7,349件、衛星契約は145万3,210件となり、11年度末比、放送受信契約数は3万1,605件の増加となった。また、営業収納額については受信料の値下げにも関わらず対前年比20億836万円の増収を確保した。

## 3. 広報

### (1) 視聴者との結び付きを強化する活動

東北各局では、公開番組・イベント実施の機会をとらえて「ふれあいミーティング」を実施し、NHKへの理解促進・視聴者意向の把握に努めた。

（仙台局：6月、石巻市『民謡をたずねて』、秋田局：5月、鹿角市『NHKのど自慢』、山形局：11月、長井市『真打ち競演』、盛岡局：4月、大槌町『よみがえりひょっこりひょうたん島』、福島局：6月、郡山市『BS日本のうた』、青森局：7月、平川市『ふるさと自慢うた自慢』）

また、会館公開イベントを秋田局（8・11月）、山形局（11月）、盛岡局（9月）、福島局（7・10月）、青森局（10月）で実施し、視聴者とのふれあいを深めた。

### (2) 番組広報

福島局では、13年『大河ドラマ』『八重の桜』の番組広報活動として「ロケ記者取材」（9月、会津若松市）、「番組パネル展」（12月、東京ほか）、「関係者向け先行上映会」（12月、福島市）、「トークショー」（1月、福島市ほか）、「スーパーハイビジョン八重の桜メイキング上映」（1～3月、福島市、郡山市）、「福島の桜フォトコンテスト巡回展」（福島県内、東京）等多面的な展開を図った。

盛岡局では、『連続テレビ小説』『あまちゃん』の番組広報活動として「盛岡さんさ踊り会場でのPR山車」（8月、盛岡市）、「ロケクランクイン取材会」（11月、久慈市）、「関係者向け先行上映会」

(3月、久慈市)、「ロケ使用潜水器具展示」(3月、久慈市)、「盛岡版番組ポスター製作」等積極的な展開を図った。

また、「大曲全国花火競技会パブリックビューイング」(8月、秋田局)、「独自キャラクターけろ班長をツールにした広報展開」(山形局)、「中高生から20代向けフリーペーパーとのタイアップ広報展開」(青森局)と各局で特色ある活動を展開した。

### (3) ロンドンオリンピック放送広報

7月から8月に開催されたロンドンオリンピックの広報活動として、各局とも「のぼり・懸垂幕等掲出」「チラシ配布、うちわ配布」「電器店、スポーツ店での広報ツール配布・掲出」を県内で行った。仙台局では「楽天イーグルスホームゲームでのNHKブース出店広報活動」(7月、仙台市)等のPR活動を実施した。福島局では350インチの大画面による「スーパーハイビジョンパブリックビューイング」を実施した。

## 関東甲信越

- ◇5月22日、東京・墨田区に建設された高さ634メートルの世界一高いタワー「東京スカイツリー」が開業した。地上デジタル放送に対応した電波塔として建設されたこのタワーには、高さ350メートルと450メートルのところに展望台が設けられ、東京の新たな観光名所となった。
- ◇6月15日、地下鉄サリン事件など、オウム真理教の一連の事件で特別手配されていた最後の一人、高橋克也元信者が東京・大田区内の漫画喫茶から出てきたところを捜査員に確保され、殺人などの疑いで逮捕された。17年間に及ぶ逃亡生活の末の逮捕だった。その後、高橋元信者は、目黒公証役場事務長の監禁致死事件など4つの罪で起訴された。これらの起訴によって、17年以上に及んだオウム真理教に対する捜査は終結した。
- ◇7月5日、東京・上野動物園のメスのジャイアントパンダのシンシンが赤ちゃんを出産した。上野動物園のパンダの赤ちゃんの誕生は24年ぶり、自然交配による2世誕生は初めてであり、その後の成長に大きな期待がかけられたが、6日後、肺炎のために死んだ。
- ◇国の重要文化財に指定されているJR東京駅の丸の内駅舎は、約100年前の駅舎の姿に復元する5年にわたる工事が終り、10月1日、リニューアルオープンした。丸の内駅舎は、太平洋戦争末期の空襲で焼失したドーム型の屋根が復活するなど、1914（大正3）年に建設された当時の姿がよみがえった。
- ◇1997年に東京電力の女性社員が東京・渋谷区内で殺害された事件の再審で、11月7日、東京高等裁判所は、「犯人はDNA鑑定で新たに明らかになった別の男の可能性が高い」と指摘し、無期懲役が確定していたネバール人のゴビンダ・プラサド・マイナリさんに無罪を言い渡した。東京高等検察庁が上告をしない手続きを取り、逮捕以来15年間身柄を拘束されたマイナリさんの無罪が確定した。死刑か無期懲役が確定した後に再審によって無罪となったのは、戦後発生した事件では8件目となった。
- ◇東京都の石原慎太郎知事が国政復帰を目指して10月に辞職し、12月16日、都知事選挙の投票が衆議院議員選挙とともに行われ、前東京都副知事の猪瀬直樹氏が過去最も多い430万票余りを獲得して、初めて当選した。

# I. 放送

## 1. 放送の概要

約4,800万人が暮らす関東甲信越地域において、東京の本部と9県の各放送局が取材・制作した番組・ニュースを発信、各時間帯で多様な情報を提供している。

12年度は、特に防災や医療に関して、全国向け番組を数多く放送した。

4月、東京都が首都直下地震の新たな被害想定を公表した翌日、『クローズアップ現代』「首都直下 震度7の衝撃～どう命を守るか」(4.19)を放送。最悪の場合、東京全体で約9,700人の死者、15万人近い負傷者という想定を踏まえ、自分たちの命をどのように守っていくのか、具体的な対策などを紹介した。

終末期医療の現状に関して、患者本人の意思を確認できない中で、医師や看護師は患者の人生や家族の願いにどう寄り添えばいいのか、患者の腹に穴を開け、胃に直接栄養を流し込む胃ろうの在り方に悩む家族や、模索を続ける医療現場を取材し、『クローズアップ現代』「人生の最期 どう迎える？～岐路に立つ延命医療」(5.17)を放送した。

6組に1組の夫婦が不妊の悩みを抱え、体外受精の実施数、不妊治療のクリニック数ともに世界最多という日本の不妊社会の実態を『NHKスペシャル』「産みたいのに産めない～卵子老化の衝撃」(6.23)で放送した。番組では、不妊治療を行う全国の医療機関と不妊治療経験者8,000人への大規模アンケートを実施、女性の社会進出が進む中、30代後半になると妊娠しづらくなる「卵子の老化」を知らずに、出産適齢期を逃してしまった女性が多数いること、不妊の原因の半数は実は男性側にあることなど、知られざる現実を明らかにした。これまで、日本では個人の問題と捉えられてきた不妊が、男女を問わず社会全体で向き合わなければ解決できない問題であることを指摘し、放送後、20～40代の女性を中心に多くの反響を得た。

この不妊についての取材を継続し、不妊に悩む女性の中で、海外に渡り、第三者から卵子の提供を受ける人が急増している実態と、卵子提供による出産のリスクや課題を『クローズアップ現代』「急増 卵子提供」(1.10)で放送した。

また、日本のがん医療の実態についても多角的

な取材をして、『NHKスペシャル』「今ふたたび日本のがん医療を問う」(6.30)を放送。がん対策基本法の施行から5年が経過した今も、取り残される患者が多数いる実態を伝え、がん医療のさまざまな課題とどう向き合っていくべきか、専門家や患者とともに考えた。

超高齢社会を迎える、独居の高齢者が500万人を突破した中で、住まいを追われ、人生の最後の場所を求めて漂流する高齢者の深刻な実態を取材し、『NHKスペシャル』「終の住処はどこに～老人漂流社会」(1.20)を放送した。誰もがひと事とは言えない老後の現実を描いたこの番組に対して、視聴者から多数の反響が寄せられた。

一方、12年度は、東京の首都圏放送センターと関東甲信越の9つの放送局が連携して取材・制作する「プロジェクト2030」を企画し、継続的に放送した。人口減少、高齢化、単身世帯化などが深刻になる2030年を見据え、希望ある未来を迎るために、今、何をすべきかを視聴者とともに考えるキャンペーン放送である。夕方の『首都圏ネットワーク』や朝の『おはよう日本（関東甲信越向け放送枠）』などで、2030年に社会の中核を担う現在の若者たちが直面する就労の難しさや社会からの孤立などの現実、超少子高齢社会の進展によるコミュニティー崩壊の危機や高齢者の生活困窮など、多様なテーマで放送し、特集番組として『首都圏スペシャル』でも2回にわたって放送した。

◇長野局では、関係局とも連携し、9月に『NHKスペシャル』「激走！日本アルプス大縦断」を放送するなど地域の魅力を全国に発信し続けた。震度6強の地震から丸2年となった栄村の現状と課題を中継も交えて伝えるとともに、相次いだ台風通過や記録的な豪雨などに対して減災に向けて注意喚起の放送を分厚く展開した。

◇新潟局では、過去の大きな地震や水害、11年度に相次いだ豪雨や豪雪などの時期に合わせて防災企画を集中的に放送し、注意喚起に努めた。また、『徹底討論 どうする原発再稼働』(5月)や『私たちの“震災2年”』(3月)などの特集番組で地域の課題を掘り下げた。

◇甲府局では、中央自動車道笛子トンネル天井板崩落事故のニュースや、事故で明るみになったインフラ老朽化の検証番組を放送した。また、富士山の世界文化遺産登録に向けた動きや富士山の魅力を伝える番組を手厚く放送した。

◇横浜局では、「日揮」社員などがアルジェリアで標的となった人質事件で、本社（横浜）に入ってくる情報を中継等で伝えるとともに、東京

と連携し『NHKスペシャル』「なぜ日本人が…」(2月)を制作した。また、世界文化遺産登録がかかる「鎌倉」の話題を、歴史、中継、紀行番組と角度を変えて全国に伝えた。

◇前橋局では、4月に県域テレビ放送を開始し、記念番組『ぐんまふるさとテレビ誕生祭』を4時間余りにわたって放送した。大型連休に関越道で7人が死亡したバス事故では、県域で初めて速報スーパーし、特設ニュースで伝えた。

◇水戸局では、開局70年を記念して茨城県の知られざる魅力を紹介する双方向クイズ番組や5日間に及ぶ「610キャラバン」を実施。震災復興の応援ソング『茨城のうた』の5分番組の継続的な編成や震災特番への参加など被災地支援に努めた。

◇千葉局では衆院選・県知事選で他社に先駆けて正確迅速な当確を伝え、声価を高めた。また、県域テレビ波が無い分、積極的なデジタルサービスに取り組み、ツイッターやブログを災害時や選挙でも情報発信に活用した。ワンセグ2のゆるキャラ図鑑、ユーチューブへの動画公開にも取り組んだ。

◇宇都宮局では、4月から県内向けのテレビ放送を開始。ニュース、東日本大震災からの復興の動き、スポーツなどを積極的に取り上げて放送。J2のサッカー中継や独自の番組も放送した。

◇さいたま局では、東日本大震災の原発事故で役場ごと埼玉に避難している福島県双葉町の住民の厳しい現状を伝えた。鉄道路線が多い埼玉の魅力を鉄道を通して再発見するキャンペーン「てったま！」を実施し、年間を通して放送やウェブ、イベントを開催した。

#### [長野局]

地域で暮らす人々の生命と財産を守る防災・減災報道を柱に位置づけて、その充実と強化に取り組んだ。

また、白馬岳遭難事故の検証、食害が拡大する鹿との共存に向けた課題、急増する除雪事故の実態など地域の課題を掘り下げた番組を発信。J2に昇格して2年目の「松本山雅FC」など県内のスポーツチームの活躍をニュースで伝えつつ、中継でも放送した。データ放送を使って視聴者に参加してもらう双方向のスペシャル番組を放送し、デジタル放送ならではの特性を生かした番組開発に取り組んだ。『ひるとくテレビ プラザN』は、県内を拠点に活動する人たちのミニコンサートや地元の人が出演して直接、地域の情報を発信するコーナーを会館1階ロビーから生放送。夕方のニ

ュース番組『イブニング信州』は、1日のニュースを掘り下げるリポートや記者解説、カメラマン企画を伝え、関心の高い問題についてはシリーズで厚く放送し、年間の平均視聴率は14.9%でよく見られた。『知るしん。』は信州の今にこだわり、県内の課題を掘り下げる特集と県内各地をキャスターが訪ねるコーナーで構成。年16本の平均視聴率は14.6%で高い支持を得た。

#### [新潟局]

12年度の新潟県は、11年度に比べて災害は少なかったが、地震・水害・豪雪など過去に災害に見舞われた時期を中心に、「防災」「減災」につながる情報をさまざまな角度から取材し、『新潟ニュース610』のニュース企画として集中的に放送した。柏崎刈羽原発の再稼働問題については、5月に『金よう夜 きらっと新潟』で73分の討論番組を放送したほか、福島の原発事故で新潟県内に避難している6,000人近くの人たちを対象にアンケートを定期的に行い、被災者の暮らしや心情をニュースや番組で丁寧に伝えた。

38年ぶりに自然界で巣立ちをしたトキについては、ひなの誕生から巣立ちまでを密着取材。環境省佐渡自然保護官事務所の舞台裏を含めて、迅速にニュースと番組で地域と全国に伝えた。

県民に人気の高いJ1リーグ「アルビレックス新潟」の試合は、5試合を生放送。『金よう夜 きらっと新潟』での応援番組など、地域を代表するスポーツチームの情報を詳しく取り上げた。

国内のみならず海外でも評価の高い製品を生み出す県内の中小企業を、『新潟ニュース610』で毎月紹介して『金よう夜 きらっと新潟』にまとめたほか、「カワイイ」をテーマに新たな商品開発に取り組む町工場の男たちの姿を、『ホリデードキュメンタリー』で全国に向けて放送した。

#### [甲府局]

ニュース情報番組『まるごと山梨』では、笛子トンネル天井板崩落事故で明らかになったインフラ老朽化の問題や、富士山噴火に備えた対応や課題を検証した。「ヴァンフォーレ甲府」の全試合を伝えたほか、「がんばる甲州人」のコーナーで、各分野で活躍する山梨県ゆかりの人物を紹介した。

『金曜山梨』は、視聴者獲得のため放送開始を午後7時30分からに前倒しし、時間は25分にコンパクト化した。富士山の噴火やインフラ老朽化を検証した番組のほか、「ヴァンフォーレ甲府」のJ2優勝特番を双方向機能を使用して放送した。

全国放送番組は、『小さな旅』が「いのち湧き

出でて～山梨県・忍野村」「輝く岩峰～山梨県瑞牆山」「印を刻む～山梨県市川三郷町六郷」の3本を制作。シリアで殺害された山本美香さんの活動を追った『クローズアップ現代』「戦場の市民を見つめて」、富士吉田市の若者群像を描いた『目撃！日本列島』「フジヨシダグラフィティ」、NPOフードバンク山梨の活動を通して現代の貧困問題を浮かび上がらせた『ハートネットTV』「シリーズ貧困拡大社会～見過ごされた貧困」など多くの全中番組を放送した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『こんにちは いっと 6 けん』 G

月～金 11:05～11:54

第1回93.4.5／最終回13.3.21／関東ブロック／関東地方1都6県の地域の話題や身近な生活情報を放送した。月曜は1都6県すべての放送局から地域の話題と1週間のイベントなどの予定を紹介。火曜は横浜・水戸局、水曜は千葉・宇都宮局、木曜はさいたま・前橋局から地域に根ざしたリポートを放送。東京からは月～水曜に文化・健康情報などを伝える「ホットdeいっと」、木曜に地域に元気を与える人たちを紹介する「笑顔見つけ隊」、毎月第1金曜に視聴者の投稿川柳を紹介する「きらり☆川柳」、金曜はこのほかに旬の魚・野菜・花の情報を伝える「フレッシュいと便」、関東各地を訪ねる「ぶらり散歩日和」などの企画も放送した。また、おいしい料理を手軽に作る方法を紹介する「かんたんごはん」を月～金曜に放送、視聴者の好評を得た。／キャスター：結城さとみアナ／首都圏放送センター

#### 『ゆうどきネットワーク』 G

月～金 16:50～18:00

第1回97.4.1／近畿地方を除く全国向け放送。「生活者目線で旬の話題をとことん掘り下げる」ことをテーマに、幅広い取材を行った。健康長寿の秘けつを伝える「偉大なるお年寄り」、ふだんは入れない現場を取材し社会的な課題を伝える「密着！」などの新たな企画を12年度にスタートさせた。以前から放送していた全国の駅弁を訪ねる「駅弁が食べた～い」や「番組マスコット・ニヤン太郎の旅」は番組独自の紀行企画として定着、好評を得た。竜巻、豪雨などの際には防災情報を機動的に取材、また、地域放送局とも連携して年間を通じて東日本大震災の被災地の現状を伝え続けた。／キャスター：山本哲也・出田奈々アナ／首都圏放送センター

### 『首都圏ネットワーク』 G

月～金 18:10～18:59

第1回97.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／関東地方の視聴者に向けて、その日1日の重要なニュース、生活情報、気象情報を幅広く伝えるニュース情報番組。12年度は、大型連休中に発生した7人死亡の関越自動車道のバス事故や竜巻被害をはじめ、首都圏のさまざまなニュースを発信した。12年度は、各局の取材ネットワークと機動力を生かして、その日に起きた視聴者の关心の高いニュースを深く掘り下げる「ニュースアップ」に力を入れた。また、猛暑や大雨など気象の変化にも迅速に反応し、災害に備え事前に注意を呼びかける減災報道にも力を入れた。さらに、東日本大震災2年を経た関東各地の被災地の現状や放射能汚染への不安なども継続して取材・発信した。生活者の視点で身近な疑問に応える「くらしなっとく」に加え、キャスターが関東各地の食の歴史を探訪する「食べて探検」など、くつろいで見ることができるコーナーも充実させ、50分間の番組を通してバラエティーに富んだ内容の放送を目指した。／キャスター：村竹勝司・片山千恵子アナ／首都圏放送センター

#### 『特報首都圏』 G

金 19:30～19:55

（毎月） 15:15～15:40

第1回84.4.6／関東甲信越ブロック／視聴者の关心の高いテーマを幅広く取り上げ、合わせて25本の番組を放送した。がん患者の経済的負担の悩みを取り材した「いのちの薬が使えない」、急増する認知症患者が置かれた深刻な現実を取り材した「急増300万人～追い詰められる認知症高齢者」、竹島問題で揺れる東京・新大久保をルポした「日韓に揺れる街はいま」、深刻化する子供の貧困の実態と打開策を取り材した「チャイルド・プア」など、全国的な关心事を積極的に取り上げた。また、神奈川・逗子市で発生したストーカー殺人事件、各地で頻発したクマの出没による被害、東京大空襲などで戦争孤児となった人々の人生など、関東甲信越地域のできごとから社会の深層を掘り下げる番組も放送した。ツイッターや番組ホームページを積極的に活用し、視聴者の声を番組で数多く紹介した。／キャスター：斎藤孝信アナ／首都圏放送センター

### 『首都圏スペシャル』 G

（最終） 金 19:30～20:43

（毎月） （最終） 土 10:05～11:18

第1回11.4.22／関東甲信越ブロック／首都圏の

視聴者に向け、関心の高いテーマを深く掘り下げて伝える大型特集番組として年間10本放送した。「あなたらしい老後と死は？無縁社会の中で」「命の道を守れ～首都圏大地震に備えて」「プロジェクト2030 わが街を守れますか～少子高齢社会を生き抜く」など、防災や少子高齢社会の今後などについて、識者の討論を交えた番組を放送した。また、「ぶっつけ本番！駅弁が食べた～い 大型連休スペシャル」「登れなくても楽しめる！東京スカイツリー」「夏山へGO！～達人と楽しむ日本の名峰」「達人おすすめネオ鉄道旅へ出発進行！」「特集小さな旅～ふるさとの歳月」など、地域の暮らしを見つめる番組や趣味の世界の新たな発見を家族で楽しめる番組も放送した。／首都圏放送センター

### 『キッチンが走る！』 G

金 20:00～20:43

火 15:15～15:58

第1回10.10.1／キッチンを備えた車に料理人と俳優・杉浦太陽が乗り込み、地元の人たちと触れ合いながら、旬の食材を集め、究極のオリジナル料理に挑戦する。／出演：杉浦太陽ほか／語り：高橋克実／コンテンツ開発センター、NEP

### 『首都圏ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／帰宅したサラリーマン層も意識して、政治経済を含む首都圏のその日の主なニュースや話題を放送。各地の動きがコンパクトに分かるニュース、あすの気象情報のポイントが分かるニュース番組として視聴者から支持を得ている。／キャスター：守本奈実・久保田祐佳アナ／首都圏放送センター〔長野局〕

### 『ひるとくテレビ プラザN』 G

月～木 11:40～12:00

金 11:30～12:00

地域の生活情報を会館ロビーから公開生放送。12年度は信州ゆかりのアーティストやミュージシャンが出演したほか、暮らしのヒントや市場情報を放送し、地元の人が地域情報を発信するコーナーには1年間で26市町村の関係者が出演して、地域の魅力やイベント情報を伝えた。

### 『イブニング信州』 G 月～金 18:10～19:00

県内各地で起きた災害や事件・事故、自治体の政策、それに街ネタなど、幅広い分野のニュースや話題を伝えた。特に震度6強の地震に襲われた栄村については被災者に寄り添った取材を継続し、地震から2年となる3月12日には現地から復

興の現状や課題を放送した。また、12月の衆院選では、全選挙区の選挙戦や課題をリポートで伝えたほか、複雑な制度を記者が分かりやすく解説するコーナーも設けた。さらに、スポーツコーナー「スポしん。」では、専門のキャスターを置き、サッカーやバスケットボール、野球といったプロスポーツに加え、カーリングやスキーのような県内で関心が高いウインタースポーツも詳しく伝えた。

### 『知るしん。』 G 金 19:30～19:55

金曜夜の『知るしん。』は午後8時から7時半へ移設、従来のマガジンスタイルから、1テーマを深く掘り下げる形へとリニューアルした。白馬岳遭難事故の検証や、被災地の栄村で復活した秋の絵手紙列車、技能五輪に挑んだ若者など、信州のさまざまな話題を詳しく伝えた。

### 『信州845』 G 月～金 20:45～21:00

信州の1日が分かる地域最終ニュース番組。

### 『もぎたて信州朝いちばん』 R1

月～金 7:40～8:00

ニュース・気象情報のほか、地域の話題を電話で伝えてもらう情報番組。

### 『ニュース』 R1 月～金 19:45～20:00

長野県の1日をコンパクトに伝えるローカル最終ニュース。

### 〔新潟局〕

### 『お昼はじょんのび くらし情報便』 G

月～金 11:40～12:00

くらしの安全・健康・趣味・教養などの情報をスタジオ生インタビューで紹介したほか、展覧会や祭りなどイベントのお知らせ、青果・鮮魚・花の市場情報など、暮らしに密着した情報を伝えた。

### 『新潟ニュース610』 G

月～金 18:10～19:00

県内のニュースや動きを記者リポートや記者解説、中継などを交えて多角的に伝えた。インタビュー、スポーツ、旅、ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーのほか、原発事故からの避難者に福島のニュースを伝える「福島ふるさとニュース」を継続。防災企画は時機を見て、シリーズを組んで放送した。

### 『金よう夜 きらっと新潟』 G

金 19:30～19:55

㊂火 11:05～11:30

震災が引き受け入れ問題や医師不足の課題などを取材した報道番組、県内で活躍する人物にスポットを当てたドキュメンタリー、新潟の豊かな自然・文化を伝える紀行番組など幅広いテーマの

番組を制作した。

### 『新潟ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

県内の1日のニュースをコンパクトに伝えた。

### 『新潟ラジオセンター』 R1

月～金 7:40～8:00

新潟の各分野で活躍する人が語る「朝の随想」や「防災メモ」のほか、気象情報、交通情報を伝えた。

### 『新潟・きょうの1日』 R1

月～金 19:45～20:00

県内の1日をまとめたニュースや気象情報のほか、地震や水害への備えを呼びかける「防災メモ」を伝えた。

### 〔甲府局〕

#### 『かいなび』 新 G 月～金 11:35～12:00

第1回12.4.2／サブタイトルは「甲斐の国・生活ナビゲーション」。11年度から放送時間を5分拡大し、タイトルやコーナーを大幅改編した。曜日ごとのコーナー、イベントPR、お知らせなどで構成している。

#### 『まるごと山梨』 G 月～金 18:10～19:00

きょう1日の山梨の動きが“まるごと”分かるをコンセプトにしたニュース情報番組。日々のニュースや「山梨EYE」「がんばる甲州人」「マンデーヴィアンフォーレ」など、コーナーの充実を図った。

#### 『ニュース山梨845』 G 月～金 20:45～21:00

山梨県内の1日のニュースや気象情報をコンパクトに伝えた。

#### 『金曜山梨』 G 金 19:30～19:55

放送開始から7年を経過。テーマの方向性を定め、噴火の懸念や世界文化遺産登録で話題の富士山や、12月に発生した笛子トンネル天井板崩落事故など、視聴者の関心が高く、暮らしに密着した話題を放送した。甲府局制作の番組として初めて双方向機能を使用したほか、ニュースとの連動も行った。合計15本制作。

### 〔横浜局〕

#### 『FMサウンド☆クルーズ』 FM

月～金 18:00～19:00

神奈川ゆかりのゲストのトーク、ジャズ・クラシック・ポップスの音楽紹介、そして県内の鉄道沿線からの中継なども交え、地域の文化、魅力を伝えるとともに、子育て支援情報など暮らしに役立つ情報も発信。毎月第4水曜には放送会館からジャズライブの生中継を届けた。

### 〔前橋局〕

### 『ほっとぐんま640』 新 G

月～金 18:40～19:00

第1回12.4.2／県内のニュースを中心に、身近な情報をきめ細かく伝える、生活に役立つニュース情報番組。“好きです。群馬”をキャッチフレーズに群馬の魅力を発掘・再発見し、「群馬ブランド」の魅力を伝えた。

#### 『ぐんま土曜広場』 FM

(随時) 土 14:00～16:00

ジャズの調べとともに、寄せられたリクエストやメッセージを紹介する「ぐんまりクエストカフェ」(4.28, 6.30, 9.29, 11.24, 1.26, 3.16)、群馬交響楽団の定期演奏会「群響アワー」(6.2, 11.10, 3.2)のほか、伊香保と草津で行われた「ふれあい歌謡ステージ」(7.14, 8.25)を放送した。

### 〔水戸局〕

#### 『とれたて ワイド いばらき』 G

月～金 11:30～12:00

第1回09.4.2／料理や健康など暮らしに役立つ生活情報に、リポートや中継をふんだんに交えて伝える地域応援番組。ロビースタジオで公開生放送、学校単位で見学に訪れる小学生たちの学校自慢などを生き生きと伝えた。

#### 『ニュースワイド茨城』 G

月～金 18:10～18:59

第1回09.3.30／その日の茨城県のニュースを中心に、徹底した取材と多角的な視点で背景や原因を追求するとともに、問題点や解決策を探っていくニュース情報番組。今も残る大震災の課題や国内最大規模の竜巻災害から、茨城の魅力的な場所、人、食べ物を紹介する企画まで、きめ細かく地域情報を発信した。

#### 『茨城ニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回04.10.1／茨城県のその日の出来事を、気象情報と合わせてコンパクトに伝えた。

### 〔千葉局〕

#### 『ひるどき情報ちば』 FM

月～金 11:00～12:00

音楽とともに暮らしに役立つ情報や県内のさまざまな分野で活躍する人へのインタビューを伝える番組。毎日60分の放送とした。月曜は食、火曜は暮らし・健康、水曜はイベント、木曜は観光、金曜は郷土について学ぶ「千葉を知る」と美術館・博物館の各情報をニュース、交通情報、気象予報士による気象情報とともに生放送した。

#### 『チバ☆スタ・公開生放送』 FM

4.21, 5.19, 7.7, 9.15, 10.13,

3. 2／土 14:00～16:00

千葉局1階ロビーで実施する公開生放送番組。進行役にタレントのはなわさんを加え、毎回2時間にわたり、ひとつの自治体の魅力を紹介したり、あるテーマでふだんの活動や自分の技を披露してもらうなどした。毎回100人前後の視聴者が参加。2月には千葉都市モノレール千葉駅のオープンスペースで公開収録も行った。

〔宇都宮局〕

『ときめきとちぎ』 新 G

金 11:30～12:00

第1回12.4.6／アウトドアや健康など暮らしに役立つさまざまな情報や、生活の中で発生する問題への対処法など多彩な情報を伝える地域情報番組。自宅でできる「健康体操」や自然豊かな栃木県の散策の楽しみ方、トラブルに巻き込まれないための生活上の注意点など、毎週それぞれの専門家をスタジオに招いて詳しく解説した。また、日光東照宮で開催した「合唱・世界遺産」や栃木県内各地で地域の皆さんとふれあつた「イチゴイチエプロジェクト」の様子など、宇都宮放送局主催イベントのもようも紹介した。

『とちぎ640』 新 G

月～金 18:40～19:00

第1回12.4.2／県内に在住する人をターゲットにその日の出来事をとことん掘り下げ分かりやすく伝えるニュース番組。毎週月・金曜の「スポーツ情報」ではサッカー「栃木SC」の動きをはじめ県内のプロスポーツチームの話題を中心に取り上げた。また、火曜の「とちぎ情報」ではきめ細かな地域の話題や暮らしに直結する情報、水曜の「マイビデオ」では視聴者から寄せられた映像を紹介したほか、木曜日の「震災、それから」では被災地の現状と課題についてシリーズで伝えた。

〔さいたま局〕

『日刊！さいたま～ず』 FM

月～木 18:00～18:50

埼玉県を元気にするために、埼玉にゆかりのあるさまざまな人たちをゲストに迎え、生活の知恵や埼玉を楽しむ方法などを伝えるとともに、思い出の音楽などを伝えた。

『週刊☆サッカーワンダーランド』 FM

金 18:00～18:50

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」の前節の分析と次節の展望を、聴取者からの投稿メールとコメンテーターの解説を交えて伝えた。

(2) 特集・特別番組

〔長野局〕

『信州の“長寿力”』 G 5.25／19:30～20:43

厚労省が発表した都道府県別の「平均寿命」で全国トップクラスとなった長野。長寿の源はどこにあるのか？長年にわたる県の食生活改善の取り組みや、ご長寿の生活習慣など、その秘密をさまざまな角度から取材した。

『撮るしん。スペシャル～写真で再発見！とっておき信州』 G 12.7／19:30～20:43

信州の美しい風景の投稿写真を長野局のホームページで紹介している「撮るしん。」。この1年に寄せられた5,000枚の中から、生放送中に視聴者の投票で12枚を選び、新年のカレンダーを制作した。

『温泉スペシャル』 G 2.15／19:30～20:43

200か所を超える信州の温泉地。その1つ1つに心温まる物語やエピソードがある。温泉だからこそ生まれた人間ドラマの数々を紹介するとともに、双方向システムを活用したクイズに視聴者にも参加してもらった。

『NHK長野杯長野県小学生アルペン選手権大会』

E 3. 9／12:00～15:00

野沢温泉スキー場で、小学生363人が参加して行われたアルペンスキー大会のうち、5・6年生の競技を録画で全て放送した。

〔新潟局〕

『金よう夜 きらっと新潟』(拡大版)

『徹底討論 どうする原発再稼働』 G

5.18／19:30～20:43

柏崎刈羽原発が立地する新潟県で、運転再開の前提となる安全性の問題、原発の運転停止が経済や暮らしに与える影響について生放送で掘り下げる。専門家と市民の議論を柱に、ツイッターやメールからの視聴者の声をリアルタイムで伝えた。

『笑って描いて10周年！イラスト紀行スペシャル』 G 1.25／19:32～20:45

イラストレーター木原四郎さんを旅人に、県内各地の人や風土の魅力を伝えてきた「イラスト紀行」が放送10周年を迎えた。第1回の放送で旅した新潟田城からの生放送で過去の放送を振り返り、かつて旅で出会った人との再会や、イラスト制作の舞台裏も紹介した。

『私たちの“震災2年”』 G

3. 8／19:30～20:43

東日本大震災から2年。原発事故や津波への備え、福島からの避難者の抱える課題について、取材VTRをスタジオゲストの専門家の意見とともに

に放送した。視聴者の意見も広く募集して生放送で伝えた。

### 『帰ってきた FMリクエストアワー』 FM

3.16／14:00～18:00

ラジオを通して視聴者との結び付きを強めるため、メール・FAX・ハガキで「春・卒業」をテーマにリクエスト曲を募集して生放送で送った。

### [甲府局]

### 『NHK甲府放送局 新放送会館記念特別番組 よってけし 新会館！』 G

5.26／13:50～15:00ほか

### 『かいなび年末スペシャル』 G

12.27～28／11:05～11:54

### 『まるごと山梨 まるごと2012 年末ハイライト』 G

12.28／18:00～19:00

### [横浜局]

### 『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2012』

FM

6. 2／14:00～18:00

東日本大震災の被災地にジャズを通して元気を届けようという多数のミュージシャンが放送会館ロビーに集合しジャズライブを開催し、そのもうようを神奈川県および被災地の宮城・岩手・福島県域に4時間にわたり生中継した。また、後日、再編集し年末年始特集として全国放送した。

### 『FMサウンド☆クルーズ～NHK横浜スペシャル ジャズライブ』 FM

10. 6／14:00～18:00

ジャズの町・横浜で毎年開催される大型ジャズイベント「横濱ジャズプロムナード」に合わせ、2日間にわたって会館ロビーでNHK横浜放送局主催のジャズライブを開催し、このうち1日目のもようを4時間にわたり神奈川県域で生中継した。

### [前橋局]

### 『ぐんまふるさとテレビ誕生祭』 G

4. 7／10:05～11:30, 15:05～17:30,

18:42～19:00

群馬県域放送開始を記念した特集番組。群馬出身の文化人やタレントを招いて公開収録し、クイズやトークを通して群馬の魅力を紹介した。1970年代の『新日本紀行』の再放送なども交え、テレソング形式で4時間余りにわたって放送し、県域テレビ放送のスタートを印象づけた。

### 『ロンドンオリンピックぐんま応援ガイド』 G

7.25／20:45～21:00

群馬県にゆかりのあるオリンピック代表選手とその競技日程を紹介。日本人を父に持ち、桐生市の高校で柔道を教えるフィリピン代表選手についてリポートで伝えた。

### 『ほっとぐんま640 年末スペシャル拡大版』

G

12.28／18:10～19:00

群馬県内の1年のニュースハイライトを中心とした特集番組。事件、事故やオリンピックなど注目された出来事のほか、桐生市からの中継、番組に寄せられた絵手紙をめぐるリポートなどを交えて50分間にわたって放送した。

### [水戸局]

### 『茨城スペシャル』 G

「自宅からクイズ参加・茨城スゴいんですTV」

4.27／19:30～20:45

茨城の“スゴイ”を徹底調査しクイズ形式で紹介。データ放送、パソコン、携帯端末から解答できる双方向サービスを使った視聴者参加型番組。

### 『マットから跳び立て～大子町・少女たちの挑戦』

7. 6／20:00～20:43

茨城県大子町で、レスリングに青春をかける2人の女子中学生が挑んだ全国大会。今後も続けていくか悩みながら戦う日々を追った。

### 『準・メルクル指揮 水戸室内管弦楽団演奏～追悼・吉田秀和館長』

G (サブ) 7. 7／18:10～20:29

病気療養中の小澤征爾に代わって準・メルクルが水戸室内管弦楽団を指揮した。ピアニスト・児玉桃も共演。番組では演奏会の中継のほか、急逝した吉田秀和水戸芸術館館長を追悼する貴重な映像もV構成で放送。曲目はワーグナー：ジークフリート牧歌、サン=サーンス：ピアノ協奏曲第2番、児玉桃、ベートーベン：交響曲第1番。

### 『至高の技 集う～生中継・土浦全国花火競技大会』

10. 6／19:30～20:43

全国58の業者が日本一の栄冠を目指す「花火のコンクール」。日本伝統の割物花火から、音楽に合わせてさまざまな花火を組み合わせるスターマインまで趣向を凝らした花火が打ち上げられる。大会のもようを、優勝を目指す茨城の花火師への取材も交え生中継で伝えた。

### 『自宅からクイズ参加！茨城スゴいんですTV』

11. 4／13:05～14:35

4月に放送した双方向クイズ番組の第2弾。今回は開局70年を記念した会館公開のメインイベントとして、公開生放送で実施した。

### 『冬のおくりもの～こころひらくとき』

第1部 2. 8／19:30～20:43

第2部 2. 9／14:00～15:47

恒例の朗読コンサートを収録。俳優の渡辺裕之さん、ピアニストの加羽沢美濃さんをゲストに迎

え、水戸アナウンスグループ総出で多彩な作品を紹介。母親への感謝、人生節目の選択、男女の機微などさまざまな物語を朗読と音楽でつづった。

### 「眠れる資源を掘り起こせ～再生可能エネルギー

—最前線— 3.28／19:30～19:58

茨城県で、太陽光、風力、小水力など再生可能エネルギーが急速に広がっている。異業種の企業や地元町工場などが参入。特に太陽光発電ではメガソーラーの建設ラッシュが続く。こうした動きは地域の活性化につながるのか？ ゲストに茨城大学教授の小林久さんを迎えて今後の可能性を展望した。

### [千葉局]

#### 『若い芽のαコンサート』 FM

7.15／14:00～16:00

#### 『震災復興コンサート』 FM

3.23／14:00～16:00

#### 『千葉県少年少女オーケストラ定期演奏会』

FM 3.31／19:20～21:00

千葉県出身の若手演奏家が地元オーケストラと共に演じる「若い芽のαコンサート」、被災地浦安市で行った「震災復興コンサート～ふるさとに想いを馳せて」、千葉県少年少女オーケストラがプロのピアニストと共に演じる定期演奏会を収録して放送した。

### [宇都宮局]

#### 『ミヤ・ジャズ プレミアム～渡辺貞夫 ふるさとで育む音』 G

4.27／19:30～20:43

宇都宮市出身の世界的なサックス奏者・渡辺貞夫さんと栃木県の子どもたちによるスペシャルコンサート。渡辺さんの60年におよぶ音楽への思いを演奏とともに伝えた。

#### 『ミヤ・ジャズ プレミアム～ジャズとシネマの黄金時代～ジャズ評論家 野口久光の世界』

G 4.29／13:50～14:55

宇都宮市出身のジャズ評論家・野口久光の功績をたどり、ジャズの名曲や「第三の男」など珠玉の映画音楽を豪華出演者のセッションで伝えた。

#### 『どすこい！スイーツ旅～とちぎの恵みにごっつあんです』 G

2.8／20:00～20:43

スイーツ親方こと芝田山親方とフランス料理シェフ・音羽和紀、宇都宮市出身の演歌歌手・森山愛子が、栃木県内の魅力的なスイーツとその材料を味わい尽くすとともに、その誕生秘話を伝えた。

#### 『第22回ピアノコンクール入賞者演奏会』 FM

3.2／14:00～16:00

栃木県総合文化センターで行われた「第22回ピ

アノコンクール入賞者演奏会」のもう1つを収録して放送した。栃木県内4つのピアノコンクールで優秀な成績を収めた小学生から社会人までの17人の若きピアニストたちの演奏を紹介した。

### [さいたま局]

#### 『“週刊☆サッカー王国スペシャル” Jリーグさいたまダービー 浦和VS大宮』 FM

4.21／18:00～19:00, 19:20～20:30

9.1／18:00～19:00, 19:20～20:10

サッカーを応援する放送局として、Jリーグ「浦和VS大宮」のさいたまダービーや、県民の注目が集まる試合を放送。試合中に応援メールを紹介するなど、聴取者の参加感を高める新たな手法を工夫した。

#### 『鉄道の日！埼玉の鉄道で楽しもう！』 FM

10.10／12:15～14:00

大宮の鉄道博物館で初めての公開番組。展示車両をバックに、埼玉の鉄道の歴史に関するクイズや、鉄道メロディーとクラシック音楽を融合させたコンサートなど、家族ぐるみで楽しんでもらえる内容とした。また、投稿された「鉄道風景写真」の表彰も行った。

#### 『埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会決勝』 FM

12.23／12:45～14:00

小学生サッカーの埼玉県チャンピオンを争う大会を生中継。サッカーの盛んな土地ならではのハイレベルな試合を伝えた。

#### 『“週刊☆サッカー王国スペシャル” 2013開幕戦 広島VS浦和』 FM

3.2／14:00～16:00

大型補強で優勝候補の筆頭となった浦和レッズ。注目の開幕戦を生中継。解説者にレッズ関係者を起用し、メールによる応援メッセージも交えるなど、レッズ応援を徹底した。

### [各局共通]

#### 『NHK全国学校音楽コンクール』

### [各局共通]

東京都	FM	小学校	8.27／ 9:20～11:30
		中学校	8.28／ 9:20～11:50
		高等学校	8.29／ 9:20～11:50
長野県	E		9.8／12:30～14:40
			9.9／12:00～13:50
新潟県	E		8.31／11:00～11:32
			9.1／12:00～13:18
			9.1／13:30～14:47
	FM		8.31／18:00～18:50
			9.1～2／16:00～18:50
山梨県	FM		8.27・31／18:00～19:00
			8.28～30／18:00～18:50

神奈川県	FM	8.27~28 / 9:20~11:30 8.28 / 14:00~16:19 8.29 / 9:20~11:00 14:00~15:09
群馬県	FM	8.25 / 14:00~17:00
茨城県	FM	小学校・高等学校 8.28 / 9:15~11:00 中学校 8.29 / 10:00~11:30
千葉県	FM	予選 小学校 8.20~23 / 18:00~18:50 中学校 8.27~29 / 18:00~18:50
	FM	本選 (小・中・高等学校) 9.1 / 13:00~18:50
栃木県	G	8.14~17 / 18:40~18:52
	FM	8.27~31 / 18:00~18:50
埼玉県	FM	高等学校の部 8.27 / 9:20~11:50 中学校の部 8.28 / 9:20~11:50 小学校の部 8.29 / 9:20~11:50

### 3. スポーツ中継

#### 〔高校野球〕

##### 全国高校野球選手権大会・地区大会

東京都	西東京大会・決勝	G・E・R1 / 7.28
	東東京大会・決勝	G・R1 / 7.29
長野県	準々決勝	FM / 7.18~19
	準決勝	E・R1 / 7.21
	決勝 E・R1 (一部FM)	/ 7.22
新潟県	準々決勝	R1・FM / 7.22
	準決勝	E・FM / 7.24
	決勝	E・FM / 7.25
山梨県	準々決勝	FM / 7.18
	準決勝	G・E・R1 / 7.21
	決勝	G・E・R1 / 7.22
神奈川県	準決勝	FM / 7.28
	決勝	FM / 7.29
群馬県	準決勝	FM / 7.26
	決勝	E・FM / 7.27
茨城県	準決勝	FM / 7.25
	決勝	G・FM / 7.26
千葉県	準決勝 FM	7.24 / 10:00~15:55
	決勝 E	7.25 / 10:00~12:25
	FM	7.25 / 10:00~12:30
栃木県	準決勝	FM / 7.28
	決勝	G・FM / 7.29
埼玉県	準決勝	FM / 7.27
	決勝	G・FM / 7.28

秋季高校野球・県大会		
長野県	3位決定戦・決勝	R1 / 10. 2
新潟県	準々決勝	R1 / 9.19~20
	準決勝	R1 / 9.22
	3位決定戦	R1・FM / 9.23
	決勝	R1 / 9.23
山梨県	準決勝	R1 / 10. 4
	3位決定戦	R1 / 10. 5
	決勝	R1 / 10. 5
茨城県	準決勝	FM / 10. 8
秋季高校野球・関東地区大会		
	準決勝 前橋・水戸・宇都宮・さいたま局	FM / 10.31
	決勝 さいたま局	FM / 11. 1
秋季高校野球・北信越地区大会		
	準決勝 長野・新潟・福井局	R1 / 10.20
	決勝 新潟・福井局	R1 / 10.21

#### [サッカー]

##### サッカーJ1リーグ

新潟×横浜F・M	新潟局	G / 4. 7
大宮×浦和	さいたま局	FM / 4.21
広島×新潟	広島・新潟局	G / 5. 3
浦和×大宮	さいたま局	FM / 9. 1
新潟×神戸	新潟局	G / 10. 6
新潟×札幌	新潟局	G / 12. 1
鹿島×柏	水戸局	G / 12. 1
新潟×札幌 (アンコール)	新潟局	G / 12.31
新潟×C大阪 (開幕戦)		
	大阪・新潟局	G / 3. 2
鳥栖×鹿島	佐賀・水戸局	G / 3. 2
甲府×仙台	仙台・甲府局	G / 3. 2
広島×浦和	さいたま局	FM / 3. 2
甲府×大阪	甲府局	G / 3. 9
サッカーJ2リーグ		
水戸×草津	水戸局 G (メイン) / 4.22	
草津×栃木	前橋・宇都宮局 FM / 5.13	
水戸×栃木	水戸・宇都宮局 G / 6. 2	
水戸×北九州	水戸局 G (サブ) / 9.30	
甲府×徳島	甲府局 G / 10. 7	
栃木×京都	宇都宮局 G / 10. 7	
甲府×福岡	福岡・甲府局 G / 10.21	
水戸×岡山	水戸局 G / 10.28	
岡山×栃木	岡山・宇都宮局 G / 11. 4	
甲府×熊本	甲府局 G / 11. 4	
松本山雅×大分	長野局 G / 11.11	
水戸×群馬	水戸・前橋局 G / 3. 3	

天皇杯全日本サッカー選手権 地区大会			
長野県 決勝	長野局	G／	8.26
新潟県 決勝	新潟局	G／	8.26
山梨県 決勝	甲府局	E／	8.19
茨城県 決勝	水戸局	G／	8.26
埼玉県第4種サッカーリーグ選手権			
決勝	さいたま局	FM／	12.23
[バスケットボール]			
bjリーグ			
信州×千葉	長野局	G／	1.27
新潟県高等学校総合体育大会バスケットボール			
男子・女子決勝	新潟局	E／	6. 3
WJBL・女子バスケットボール Wリーグ			
山梨×トヨタ紡織	甲府局	G／	10.20
[プロ野球]			
BCリーグ			
新潟×石川	新潟局	R1／	4.21
[その他のスポーツ]			
NHK長野杯長野県小学生アルペン選手権大会			
	長野局	E／	3. 9

## II. 技 術

### [長野局]

#### 〈地デジ化〉

- ・アナログ放送の終了に伴いアナログ中継局15局を撤去。(真田・菅平・佐久町上・山ノ内湯ノ原・飯山奈良沢・飯山愛宕・富士見・白樺湖・佐久・鬼無里・天龍平岡・遠山・南牧・中野長丘・車山)
- ・牟礼中継局のDE (Eテレ) の改善リパックを実施した。

#### 〈災害に備えた放送設備の強化〉

- ・災害時の放送機能継続のために、ラジオ11局と美ヶ原基幹放送所に無線中継設備の整備を実施した。(岡谷諏訪・島立・飯田・伊那・木曽福島・上田・駒ヶ根・白馬・小諸・大桑・富竹)
- ・中継放送所の信頼性向上のため放送機の2台化工事を7局について実施した。(明科・麻績・岡谷川岸・信濃町・信州新町・大岡西・軽井沢)
- ・災害時の長時間に及ぶ停電対策として放送所の地下燃料タンクの增量工事を3局について実施した。(美ヶ原・島立R・上田R)

#### 〈設備維持・整備〉

- ・放送機の老朽劣化に伴い信頼性を維持するためFM放送機の更新を3局について実施した。(聖・小海・信濃阿南)
- ・第1スタジオの副調整室のハイビジョン化によ

り汎用HVスタジオを整備した。

- ・ラジオニューススタジオ設備の信頼性の維持のため老朽更新を実施した。
- ・ラジオ運行装置の代替系の更新によりシステムの信頼性の維持向上を図った。

#### 〈緊急報道関連〉

- ・県の河川情報をデータ放送に反映し、安全安心に向けた情報発信を開始した。
- ・軽井沢のロボットカメラのハイビジョン化更新を実施した。
- ・CSKおよび会館受信設備の狭帯域化更新を行い、効率的な通信衛星の電波利用と装置の2系統化により信頼性の向上を確保した。
- ・衛星電話のワイドスターのサービス終了に伴い、7台をワイドスターⅡに更新した。

#### 〈番組制作〉

- ・飯田市の市街地にハイビジョンロボットカメラを設置。季節の桜天カメとして上田城趾、冬の白馬天カメと活用した。
- ・J2リーグに昇格した松本山雅のサッカー中継を実施した。

#### 〔新潟局〕

放送網の課題解決として、秋田親局とのダクト混信問題は、10月に秋田側の旧波が停波。3月に弥彦親局の送信パターン抑制を解除。永年の混信問題は収束した。また、10月に高千局の改善リパックを実施。佐渡地区の受信環境改善を図った。

放送網の整備と機能強化として、12年度は7か所の中継局放送機2台化工事と3か所のNHK共聴大規模改修を実施。7月に弥彦親局の予備自家発電機を新規整備した。

緊急報道対応として、5月に南魚沼市トンネル内ガス爆発事故とトキの38年ぶりの巣立ちを3台のCSKで対応した。

放送設備の維持管理に向け、新潟局の設備更新ロードマップを作成し、計画的な更新・補修計画の策定を図った。また、「カメラ構図自動調整システムの開発」など機材の改善・開発に取り組んだ。

地域貢献への取り組みとして、移動天気カメラを県内7か所に仮設し、地域の季節情報の発信に努めた。また、出前授業を県内5校236人の小学生を対象に実施。公開派遣番組でフォトサービスを4か所、延べ1,700人に対して行った。

送受信技術業務の再構築として、7月より送信業務の分業化を実施。保守業務をアイテックへ委託した。13年度の受信業務分業化に向けて、共聴業務の勉強会を実施した。

### [甲府局]

5月21日、新放送会館からの放送を開始し、「地域に開かれた放送局」のシンボルとなるハートプラザと汎用スタジオを設け、12年度中に5回の公開放送と12月16日の衆議院議員選挙速報を実施した。

映像伝送が困難であった富士五湖から通信会社のIPネットワークを利用してお天気カメラの映像伝送を実施し、5つの湖すべてから美しい富士山の姿を放送した。

NNS甲府CATVとNHK放送技術研究所が、ケーブルテレビでのスーパーハイビジョン伝送実験に世界で初めて成功した。2月24日にはNNS甲府CATV本社からNHK甲府放送会館までのケーブルテレビ伝送実験をデモンストレーションした。

紙の原稿をアナウンサーが読む代わりにタブレット端末に原稿文を表示させることで、原稿めぐりの雑音解消と紙の節約を実現した「ニュース原稿ペーパレスシステム」を開発し、渋谷放送センターで2月に開催された番組技術展で展示した。

### [横浜局]

オウム容疑者逮捕、京浜急行脱線事故、日揮・日本人拘束事件、台風中継等の災害・緊急報道、衆議院選挙の政見・経歴放送を放送中の緊急地震速報の送出、北朝鮮ミサイルの緊急ニュース対応を含めて迅速・的確に対応した。

ラジオでは、『ラジオ深夜便』、『横浜から届けようジャズの元気』(東北3県連携生)はじめ、神奈川フィルハーモニー、音楽コンクール、高校野球、月1回の公開ジャズライブ等を放送した。

テレビでは、『のど自慢』『BSプレミアム』『歴史秘話ヒストリア』『ゆく年くる年』『小さな旅』などの番組で、神奈川の文化・情報の発信に取り組んだ。

大みそかの「紅白SHVパブリックビューイング」では、SHVの魅力を視聴者に体感してもらった。会館公開イベントでは、技術提案でEV中継車を東京から借用し、親しまれる放送局を目指した。

横浜マリエン、横浜山手、JR桜木町のロボカメを設置して、安心・安全を守る放送機能の強化整備を行った。

地デジ難視解消対策では、みなとみらい中継局、藤野中継局の2局を新規に置局し、小田原中継局、相模湖中継局で送信チャンネル変更や送信出力の増力を実施した。併せて、高性能等アンテナ対策など受信側対策も取り進めた結果、新たな難視地

区76地区、約3,300世帯の難視を解消した。

大規模災害時における電波安定確保策として、既存ITインフラを活用した非常用プログラム回線を整備したり、長時間停電対策として携帯発電機を中継局に設置したりするなど、中継局の非常災害時の機能強化を図った。

中継局の放送機の2台化やNHK共聴の光ファイバー化など放送の安定確保を推進した。また、中継局7局、NHK共聴10施設でアナログ放送設備の撤去をデジタル設備に影響がないよう行った。

### [前橋局]

前橋局のテレビ県域放送開始に伴う、DG総合テレビの識別信号「ネットワークID」の変更作業を完遂した。群馬県内と県外の県境隣接地域を合わせて86万世帯全てのテレビが対象となる大きな取り組みであったが、関連部局と協力して無事終了した。また、県域放送の受信環境整備のため、太田、太田金山、藤岡鬼石の3地域のテレビ中継局が新たに開局し、県内のローカル難視はほぼ解消した。設備整備面では、群馬県庁のロボットカメラと浅間山監視カメラをSD標準カメラからハイビジョンカメラに更新し、緊急・災害報道と県域テレビ放送の充実に努めた。データ放送関連では、国土交通省のデータを活用した県内各地の河川水位、雨量情報に加え、冬季は県内の積雪情報を掲載した。また、夏季は民間気象会社のデータを利用した落雷情報も放送した。

### [水戸局]

県域テレビ放送のエリア拡大のため、筑西中継局と神栖中継局を新規開局させるとともに、県南部や西部で県域放送(G単中継局)の受信普及活動を展開した。また、常陸鹿島中継局、日立神峰中継局の送信諸元変更により受信状況を改善した。前橋局と宇都宮局のネットワークIDの変更では県境地域で対策を実施した。

5月、つくば市で発生した竜巻では、迅速な対応で視聴者が撮影した映像を報道した。

番組では、水戸局初の双方向クイズ番組『茨城スゴいんですTV』で、クイズバラエティー番組の新しいデジタル技術に取り組んだ。

季節ロボカメは、潮来(あやめ園)、北茨城(五浦海岸)、常陸太田(竜神峡)、水戸(偕楽園)と移動させ、竜神峡では公衆IP網を利用した。

設備では、竜巻災害を教訓に視聴者提供映像の受信利用装置を独自開発。大洗ロボカメのHV化、CS受信設備・CS車の狭帯域化、ニューススタジオ照明設備のLED化、会館の太陽光発電装置整

備、テレビ基幹局の監視回線二重化、奥久慈男体中継局の放送機2台化、日立FM中継局の放送機などを更新した。

会館公開等では、中継車公開やカメラマン体験の企画で技術面から地域放送局のPRに努めた。

#### 〔千葉局〕

デジサポ関越をはじめとした内外の関係組織との連携を一層強化し、地上デジタル放送の普及促進や、県内42市町村の約3万3,000世帯で確認された地デジの新たな難視対策を継続実施した。

鴨川宮、市原牛久、大多喜三条、鴨川平塚、富浦、館山竜岡、館山南、和田の8中継局の新規整備や富山中継局の送信出力アップにより送信対策を進め、千葉県内の地上デジタル中継局は31局所となった。受信対策提案地区については説明会等を開催し、対策手法についての合意形成を図った。

NHK共聴施設は、1施設の設備更新を実施した。

東日本大震災で津波により被災した旭市など、県北東部の取材体制を充実させるため銚子報道室の新規整備を進め、1月28日に開設した。また、旭市にロボットカメラを設置し、九十九里浜など沿岸部における緊急報道に万全を期すとともに、地域サービスの充実を図った。

首都直下地震等により本部が機能停止した場合の取材・伝送機能強化を図るため、千葉放送会館に可搬型衛星伝送装置を整備した。

放送の安定送出と電波確保のため、FM親局の電源設備を強化し長時間の停電に備えたほか、定期点検の確実な実施と基本事項の徹底により人為的な放送事故ゼロを8年間継続した。

#### 〔宇都宮局〕

12年度は、4月1日から総合テレビ放送の県域放送を開始した。県域放送開始にあたっては、東北のアナログ放送終了等による視聴者の混乱を避けるため、ネットワークIDは東京広域のままとし、北関東受信相談センターなどで県域放送の視聴方法などの相談に対応した。また、ネットワークID変更については、13年1月25日の放送終了後に実施し、電話相談約3万5,000件、訪問対策約8,000件に対応して無事終了した。

県域放送開始により、益子町の竜巻災害、茂木町のバス事故、日光市北部震度5強地震など、災害等の詳細情報を県民に伝えることができた。また、県知事・宇都宮市長選挙のデータ放送とウェブでの開票速報、J2サッカーライ生中継での応援メッセージなど、新しいデジタルサービスも行った。

設備整備面では、小山報道室の天気カメラの移

転とハイビジョン化を行ったほか、会館の原稿支援装置、スタジオ照明、番組ノンリニア編集機の整備、空調装置の更新などを行った。

デジタル難視については、セーフティネットによる仮衛星対策を行っている地域に対する恒久対策を進めるため、5つの地上デジタル中継局を開局した。また、ローカル難視解消のため、みかも山中継局を設置した。受信対策関係では、12年度もデジサポや栃木県をはじめとする自治体と良好な関係を保ちながら、さまざまな受信対策を推進した。特に県北部の難視地域に向けた対策では、野岩鉄道の協力による線路脇への添架など難視解消に向けて大きく前進したほか、NTTの光ファイバーの利用により13年度内の解消の目処もたつた。

#### 〔さいたま局〕

衆議院議員選挙の政見放送・開票速報ともに正確かつ迅速に実施した。また、北朝鮮のミサイル発射対応、高速自動車道での事故、宇都宮線の踏切事故、川島町での現金輸送車襲撃事件等の緊急報道を迅速、的確に伝えた。

番組設備面では、ニューススタジオの完全ハイビジョン化、堂平FPU基地のハイビジョン化とヘリ追尾化、県内の報道室の伝送設備や天カメのハイビジョン化を行った。また、首都圏の機能強化で局敷地内に有事に備える新たな別館の建設を開始した。

地デジ難視対策衛星放送（セーフティネット）受信世帯等への恒久対策を推進し、NHK共聴2施設（中津川・中双里）を含む30地区350世帯の対策が完了した。

12年4月の群馬県域放送開始に伴い、上里町や本庄市北部等県境地域における関東地方向け総合テレビの安定受信を図るよう、13年1月に本庄テレビ中継放送所を置局した。

平野原FM放送所の自家発設備や受配電設備等を更新するとともに、局舎の屋根や外壁等の大規模補修工事を実施した。児玉テレビ中継放送所には自家発設備を整備した。

アナログ放送終了に伴い不要になった荒川テレビ中継放送所を全面撤去し、鬼石、秩父栎谷、秩父定峰、横瀬根古谷、風布、飯能上赤工、飯能原市場、飯能唐竹テレビ中継放送所のアナログ放送設備を撤去した。

### III. 視聴者

#### 1. 広報

##### 〔長野局〕

BSプレミアムの特集番組『発見！体感！千曲川紀行』の放送に合わせ、長野県域でも『プレマップ』やスポット、『イブニング信州』でのインタビューコーナーなどでPRしたほか、地域的魅力を伝える番組ポスターを独自に制作し、営業と連携して観光協会や温泉街・ケーブルテレビなどへの営業対策を行った。また、長野局のホームページで信州の風景を紹介する写真投稿サイト「撮るしん。」を特集した双方向番組（『知るしん。』と連動）では、番組で選ばれた12枚の写真で壁掛けカレンダーを作成して視聴者に抽選でプレゼントし、幅広い認知につなげた（応募総数1,539件）。12年度、「撮るしん。」に寄せられた写真は5,002枚、このうち2,030枚をホームページで紹介した（いずれも11年度より増加）。局内見学は、小学生の団体は114件、5,573人。一般団体は46件、1,328人だった。

##### 〔新潟局〕

会館のろびースタジオ・キッズスペースの充実を図るとともに、子ども向けのイベント（8.10, 17, 24, 31）や保護者向けの託児サービス付きイベント（2.19）を行うなど視聴者の満足度向上に取り組み、1年間で2万125人の来館者があった。（11年度比8,631人増）

新潟の話題が紹介された『千人の力』（BSP, 9.29）では、新潟市内の旅館やホテルに番組のチラシを配布したりロケが行われる「にいがた総踊り」会場にNHKブースを設置して番組PRを行うなど、広報活動を展開した。

NHKファンの新規開拓を目指し、5月1日からツイッターを開始。ローカルニュースや番組広報、イベント告知のほか『金よう夜 きらっと新潟～徹底討論 どうする原発再稼働』（5.18）の意見募集をツイッターで行う番組連動も実施した。

また、Jリーグ「アルビレックス新潟」の応援サイトを3月1日から新潟局のホームページに開設し、NHKの接触者率向上に努めた。

##### 〔甲府局〕

新放送会館オープンに向けてPRスポットを放送したほか、PR資材としてシール、ポケットティッシュなどを制作した。甲府局の広報冊子「よ

ってけし」を作成し、新放送会館オープン記念イベント「やまなし応援団！」等で配付した。

富士山プロジェクトの一環として世界文化遺産登録を応援するサイト「まるごと ふじさん」を立ち上げ、富士山ニュースなどさまざまなコンテンツを公開した。地域情報番組『かいなび』の「発信！ハートプラザ」では、ハートプラザで実施する公開番組やイベント情報、お天気カメラの富士五湖巡りなどを紹介した。

##### 〔横浜局〕

県域テレビ放送がないという事情を抱えている横浜局では、視聴者サービス向上に向け、神奈川の地域情報ライブラリー「まるまるかながわ」を立ち上げ、ホームページでの動画配信や音声配信により県内情報を全国へ発信し、視聴者サービスの充実を図った。

2月には、地域の人々への感謝の気持ちを込めた「NHK横浜 感謝祭」を開催。キャラクターショー、地元中学校吹奏楽部の演奏や大道芸など地域の人々のパフォーマンスで盛り上がり、3,400人が来場した。

##### 〔前橋局〕

4月から開始した群馬県向け総合デジタルテレビ放送について、『ほっとぐんま640』を中心に番組・イベントの周知広報活動を通年で行い、県民に視聴の定着を図った。

また、10月27日の識別信号ネットワークID変更に際し、多くの受信機は自動スキャンするが一部では視聴者自身が手動でスキャンする必要がある旨と、専用に設けたNHK北関東受信センターの連絡先を大規模に周知した。その媒体は、県域放送での周知（『ほっとぐんま640』やスポット）、局ホームページおよびデータ放送への掲載、県内全世帯と事業所へのメール郵送、県内35市町村の広報誌への周知掲載、地元ケーブルテレビへのスポット素材提供、旅館ホテル業界・病院などへの周知、家電メーカー・大手電器量販店・県内電器店組合への周知、地域民生委員への周知、変更当日の全紙朝刊県版への広告掲載など、放送波のみならず多岐に及んだ。

##### 〔水戸局〕

開局70年と県域放送をPRするため、12年度の放送開始の4月2日に、県内で購読シェアの高い新聞3紙に広告を掲載。また、JR水戸駅の改札前の柱にアドビラー（柱巻広告）を展開した。

県域放送の視聴促進のために、「筑西中継局」「神栖中継局」の開局に合わせて県域放送の受信方法について新聞の折り込みチラシで周知を図った。

その結果、多くの問い合わせがあった。

4月からデータ放送で始めた「河川水位・雨量情報」について、台風や豪雨が予想される7月から8月にかけてスポットや昼前の県域番組でリモコンの操作方法を周知し、防災・減災に努めた。

#### 〔千葉局〕

新しい放送会館に移転して1年にあたる12月に「くらし元気に！新会館オープン1周年記念」として記念イベントを開催した。「忍たま乱太郎キャラクターショー」や、「くわばたりえさん」を招いた「すくすく子育てトークショー」、R1『歌の日曜散歩』の公開生放送を開催した。また、FM番組『ひるどき情報ちば』で千葉ロッテ・マリーンズ新監督の伊東勤さんをゲストに招き生放送を行うなど、開かれた会館としてアピールを行った。記念イベント期間中に約2,600人の来館があり、多くの県民の皆様と触れ合うことができた。

#### 〔宇都宮局〕

12年4月からスタートした県域テレビ放送をPRするため、県内全市町を巡るイベント企画「イチゴイチエプロジェクト」を実施した。地域で開催されるイベント会場に宇都宮局マスコットキャラクターの「いちごピーもくん」を派遣し、オリジナルのシールやクリアファイル、パンフレット配布を通じて、県域テレビ放送の開始を周知した。

#### 〔さいたま局〕

7月には、さいたま市内においてロンドンオリンピックを衛星放送で楽しんでもらうため、クイズを使用したスタンプラリー形式で、衛星放送の受信方法について説明するイベントを開催した。

10月には、鉄道の町・埼玉をアピールするキャンペーン「てったま！」の一環として、さいたま市の鉄道博物館を会場に、FM公開生放送と連動したミニスタンプラリーを実施した。ラリーポイントの一つには、12年2月から開設している「埼玉鉄道風景写真ブログ「てったま！」の投稿写真の中からスタンプラリー参加者の投票で最優秀作を選ぶポイントを設置し、2日間で延べ3,000人の参加者が投票した。スタンプラリー以降ブログへの投稿数も増加し、鉄道の町・埼玉の魅力を県外へも発信した。

## 2. イベント事業

#### 〔長野局〕

『NHKのど自慢』をはじめ9本の全国放送公開番組を実施した。12年度は県内で人気の高い「撮るしん。」写真展を長野市・松本市で合わせて3回実施（3.22～4.15、12.17～24（長野）／

1.21～26（松本）），視聴者の期待に応えるとともに地域とのつながりを深めた。「第14回長野オリンピック記念長野マラソン」（4.15）、「NHK長野杯小学生アルペン選手権大会」（1.29）などで地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴者活動を行った。

#### 〔新潟局〕

全国放送公開番組として、『BS日本のうた』（9.6、柏崎市）、『それいけ！民謡うた祭り』（11.9、加茂市）、『NHKのど自慢』（3.31、長岡市）など、テレビやラジオを含めた計7本を県内各地で実施した。

また、幼児や児童向けのイベントとして『ポコポッティト小劇場』（6.9、燕市）、『Let's try！ブレキソ英語』（10.27、新潟市）、『おかあさんといっしょ あつまれ！土曜日』（1.19、見附市）を、新潟大学と連携して大学生向けに『NHK大学セミナー』（10.18、新潟市）を実施するなど、年間を通じて幼児から若年層向けのイベントを重点的に展開した。

このほか、「わたしの尾瀬写真展」を中・下越、佐渡の県内8か所で年間を通じて開催した。

#### 〔甲府局〕

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『ふるさと自慢うた自慢』など人気歌手が出演する娛樂番組や、『ラジオ深夜便』『歌の日曜散歩』などコンパクトな会場で実施できる番組など、さまざまな全国放送番組を実施した。

新放送会館オープン記念イベント「やまなし応援団！」（6.2～3）を2日間開催し、4,034人の来場者を記録した。

ハートプラザでは、甲府放送局開局75周年記念・NHK歳末・海外たすけあいチャリティーイベント「やまなし“おすもう”応援団！」（12.15）、NHK朗読シアター「富士をよむ」（1.26）などを実施した。

甲府局キャラクター「しんげん君ファミリー」が幼稚園・保育園を訪問し、園児と触れ合うミニ番組『だってともだち』を制作し、Eテレで県域放送した。

#### 〔横浜局〕

全国放送公開番組を神奈川県内で11本実施するとともに、『島崎藤村朗読会』や『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気2012』『NHK横浜スペシャルジャズライブ』等の地域放送公開番組を17本実施した。この他、受信料支払者限定の「ポコポッティト小劇場」を2本、ケーブル事業者との共催イベント「CATVキャラバン」を3本実施し

た。

また、地域の大型ダンスイベントと連携した「斎藤友佳理トークショー」や地域の体操団体と連携した「ラジオ体操フェスタin横浜」を横浜市内で実施した。

#### 〔前橋局〕

全国放送番組の公開番組収録は『ごきげん歌謡笑劇団』(5.9, 桐生市), 『おかあさんといっしょファミリーコンサート』(7.7, 伊勢崎市), 『NHKのど自慢』(7.29, 前橋市), 『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(8.29, 安中市), 『BS日本のうた』(9.27, 渋川市), 『ふるさと自慢うた自慢』(11.2, 大泉町), 『公開すこやか長寿』(12.2, 千代田町) を実施した。

地域開催のイベントとして、「伊香保温短歌大会・俳句大会」(5.17~18, 渋川市) や「ふるさとの食にっぽんの食 群馬県フェスティバル」(10.6~7, 前橋市), 「第17回わたしの尾瀬写真展」(12.14~19, 高崎市, 1.15~21, 前橋市) を実施した。

また, 13年は、前橋放送局が開局80年を迎えることから、群馬ゆかりの童謡を後世に歌い継ぐ「親子で歌おう♪ぐんま童謡コンサート」(3.10, みどり市) を開催した。

また、放送と受信料PRを連動した「どーもくんの幼稚園訪問」を10回実施し、子どもたちが群馬ゆかりの童謡を歌い、将来の夢を語るミニ番組を31本制作した。

#### 〔水戸局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』(6.24, 稲敷市), 『BS日本のうた』(7.12, 龍ヶ崎市) など計6本を実施した。

また、水戸局開局70年にあたり、会館公開を2日間(11.2~3) 実施。Eテレで人気のワクワクさんのショーをはじめ、ご当地キャラクターとして「なつとうどーもくん」を誕生させて撮影会を開くなど子どもたちに大人気のイベントになり、2日間で2,600人を超える来館があった。

5回目を迎えた、アナウンサーによる朗読コンサート『冬のおくりもの』(1.27) には、およそ700人の来場者があった。その様子を県域テレビでも2回にわたって放送し、地域放送への理解促進につなげた。

大震災からの復興応援の取り組みとしては、震災プロジェクト「スマイルヘアキャラバン」を北茨城市や大洗町で実施。また、復興応援ソング「茨城のうた」のコンサートを日立市内の高校で行うなど、引き続き、被災地に元気を届ける活動を展開した。

#### 〔千葉局〕

開かれた放送局を目指して、12年度は、12月の新放送会館オープン1周年記念イベントや各地での多彩なイベントを実施した。『NHKのど自慢』では、予選会のBSプレミアム放送とデータ放送配信を行い、県域テレビ波を持たない中でのエリアサービスも行った。結果として、会館オープン後1年間の目標であるイベント参加者数5万人を大きく超えることができた(計8万7,316人)。

#### 〔宇都宮局〕

『NHKのど自慢』(日光市), 『BS日本のうた』(那須塩原市・宇都宮市), 『吹奏楽のひびき』(壬生町), 『ららら♪クラシック』(小山市), 『夏期巡回ラジオ体操』(那須烏山市) などテレビ・ラジオ合わせて9本の全国放送公開番組を実施した。

また、11月には県域テレビ放送開始記念として、日光東照宮を舞台にダ・カーポと県内の子どもたちによるコンサート『合唱・世界遺産～ひろがれ！日光のともしび』を開催し、県域テレビ放送の周知・広報に努めた。

#### 〔さいたま局〕

『NHKのど自慢』(4月, 川越市), 『プラボーリーケストラ』(12月, 富士見市) など全国放送公開番組10本に加え、「てったま！キャンペーン」の一環として、「鉄道の日！埼玉の鉄道で楽しもう！」など、埼玉・鉄道の魅力に迫る事業活動を展開した。夏休みに行った「鉄どーもくんを探せ！～埼玉・鉄道の旅」は、県内各所にいるオリジナルキャラクター「鉄どーもくん」を探して、鉄道でまわるスタンプラリー。7万人超が参加した。

### 3. 営業

関越ブロックでは、公平負担と営業経費抑制に向けて域内20局・センターと連携し、公開競争入札等による契約・収納業務の外部法人委託を大幅に拡大し、営業収納額を確保するための構造改革を促進した。下半期以降は初めての受信料値下げに対応し円滑に導入を図った。

「営業諸目標」達成に向け、全ての訪問対策要員に対し、生産性・取次品質向上への取り組み強化を図り各種施策を展開した結果、15局・センターが全目標を達成したほか、関越ブロック計でも全目標を達成し、全国業績を牽引する責任を果たした。

民事手続きを活用した支払督促の申し立てによる未収者削減対策と民事訴訟提起による放送受信

契約締結拒否者対策を拡大して実施した。また、確定者に対しても強制執行を継続して実施した。

危機管理については、営業系セキュリティガイドラインと個人情報保護の徹底、事件・事故の未然防止のため「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

## 中部

◇中部各局・長野局が連携して、「NHK山プロジェクト」を結成し、日本アルプスなどの山をテーマに、さまざまな番組・イベントを展開するなど、中部地方の大自然の魅力を広く発信した。

◇防災や減災に関する番組を多く制作したほか、3月には『忘れない 未来のために～東日本大震災から2年』を放送、中部地方における防災の課題や復興支援などについて紹介した。

◇三重県鳥羽市にある離島・答志島を題材にした『三重発地域ドラマ』「ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス」、若い女性をターゲットにした、『よる☆ドラ』「恋するハエ女」などのドラマを制作した。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### 〔名古屋局〕

地域に役立ち、地域から信頼される放送局として、防災・減災に役立つ放送を充実させ、人々の安全や安心のための報道に力を注いだ。また、この地域が直面する課題を的確に伝え、豊かな文化を育んできた地域の歴史や伝統を見つめ直し、放送のみならずさまざまな回路を通じてきめ細かな放送サービスを展開した。

発生が懸念される南海トラフを震源とする巨大地震や台風・豪雨などに備え、『おはよう東海』『ほっとイブニング』『ウイークエンド中部』などのニュース報道番組で継続的に防災や減災につながる情報を発信した。また、6月の台風4号、9月の台風17号に際しては、テレビ・ラジオの地域向け特設ニュースや逆L字スーパー、データ放送、インターネットなどを通じてきめ細かな情報提供に努めた。東日本大震災から2年、引き続き、被災地支援や地域の防災、原発などこの地域が抱える問題を各番組で取り上げた。『ナビゲーション』では、「巨大津波にどう備える」「なぜ進まない?がれきの広域処理」、『金とく』では、「模索～原発ができなかった町で」などを放送した。また、3月には『忘れない未来のために～東日本大震災から2年』を放送した。

12月に行われた衆議院議員選挙については、公平・公正な選挙報道や政見放送に努めるとともに、迅速かつ正確な開票速報を実施した。

地域経済の現状・医療・少子化問題などの地域の課題については、『ほっとイブニング』の企画をはじめ、『ナビゲーション』では「急増“働く世代”の生活保護」や「結婚は日本経済を救う！？」、「自動車技術」を医療福祉に生かせ」「がんになんでも子どもがほしい」など、『金とく』では「どうなる？これからのはじめ」「もの作り探訪 知られざる“強小企業”」などで多角的に取り上げた。『NHKスペシャル』「激動トヨタピラミッド」などで全国にも発信した。

さらに、この地域の豊かな自然や文化を紹介するとともに、視聴者の「見たい」「知りたい」「行きたい」に応えるために『情報フレッシュ便さらさらサラダ』『ウイークエンド中部』では、身近な話題を通して地元の魅力を再発見してもらう企画を放送した。また、『金とく』では「歴史トラベル」と題し、名古屋の大須や堀川を旅して、歴史的な視座から地域の魅力を伝えた。

名古屋局と中部各局および長野局が連携して「NHK山プロジェクト」を結成し、日本アルプスを舞台にしたさまざまな番組を制作した。『金とく』を中心に「立山カルデラ 女子ふたり～潜入！崩れの山へ」「ハギトモ 白馬三山を行く～天上のお花畠と大雪渓」「押切もえが挑む！“天空の頂”槍ヶ岳」「激走！日本アルプス大縦断」など、この地域の有する大自然の魅力を“山”をキーワードに発信するとともに、『NHKスペシャル』やBS1の特集番組などで全国放送にも展開した。

スポーツでは、ロンドンオリンピックを前に、特集番組『東海北陸スペシャル～ロンドン五輪を丸ごと楽しもう』を放送したほか、中部地方ゆかりの選手を取り上げた番組の集中編成を行った。そのほか、プロ野球やJリーグ、高校野球など関心の高いスポーツの中継を随時行った。

地域特集番組として、『東海北陸ヒューマンとキュメンタリー』で“人”に焦点をあて情感あふれる番組を4本制作した。また、この地域の“産業”をテーマに、『東海北陸スペシャル～エアロスペースドリーム』では、注目される航空産業について取り上げ、視聴者との双方向の演出を活用して番組を制作した。『東海北陸“子ども”スペシャル～ホンネで語ろうTV』では、“いじめ”問題に正面から取り組み、その反響を受け、続編をラジオでも放送した。

名古屋局制作全国放送番組として、“ひとりの夢がみんなの夢に”をキャッチフレーズに、みんなでつくる10代応援番組『ティーンズプロジェクト

ト フレ☆フレ』を新たにスタートさせた。5年目を迎えた『めさせ！会社の星』はスタジオセットを一新したほか、より幅広い層に見やすい演出に変更した。また、中部ブロックの先行放送ではクイズ形式の番組連動型データ放送を継続して実施した。ドラマでは、三重県鳥羽市の答志島を舞台にした『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス』を津局と共同で制作したほか、『よる☆ドラ』「恋するハエ女」、ラジオドラマ『徳重君の転校』などを制作した。ラジオ第1放送の『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』では、名古屋の魅力を全国に発信した。

データ放送や双方向機能、マルチ編成、パソコン・携帯・タブレット端末の利用など、デジタル放送の特性を生かし、かつ、さまざまなメディアとの連動を図り、より充実したサービスを展開した。『東海北陸スペシャル～エアロスペースドリーム』では、双方向で視聴者の意見を番組に反映、『よる☆ドラ』「恋するハエ女」では、NHKドラマでは初めての試みとなるツイッターやデータ放送と連動したソーシャル視聴対応のサービスを実施した。『東海北陸“子ども”スペシャル～ホンネで語ろうTV』では、メールなどで寄せられた視聴者の生の声にリアルタイムで応えた。プロ野球では、マルチ編成を活用しサービスの充実を図った。

地元アイドルグループSKE48を起用した新年度番組プロモーションを展開し、多面的な番組広報活動を行った。

#### [金沢局]

放送や公開番組等を通して、地域の課題に対する取り組みや、地域の再生・活性化につながる情報発信を行った。

北陸新幹線（長野～金沢）の開業まで3年を切り、地域発展への期待が高まる状況や、観光客誘致が抱える課題について丹念に取材し、『かがのとイブニング』や『ナビゲーション』などで放送した。また、志賀原子力発電所直下にある断層に注目が集まるなか、断層調査の経過や原子炉停止の影響などについて詳細に伝えた。さらに、年末に実施された第46回衆議院議員選挙についても、有権者の判断材料となるように選挙の争点などを分かりやすく伝えることに努めた。

昼前の生活情報番組では、『お～い！ことじろう』が2年目を迎える、30代主婦層が興味を抱く企画を放送し一層の浸透を図った。また、平日午後6時台の地域情報番組『かがのとイブニング』では、石川県の乗客が犠牲になった関越道のバス事

故や、東日本大震災を踏まえた防災・減災対策など地域に密着した情報提供を行った。スポーツでは、地元出身で注目が集まっている元大リーガーの松井秀喜選手の引退会見を特番で取り上げたほか、12年に活躍したプロ野球ロッテの角中勝也選手にもスポットを当てた。さらに、日本ハンドボールリーグ女子の強豪北国銀行の試合を中継した。

特集番組では、気になるうわさ話を検証し、石川の県民性を浮き彫りにした若者向け番組『真相回転！どいね寿司』を11年に引き続いて実施した。さらに、地域文化の魅力を発信すべく、『金とく 北陸スペシャル～至高の美を求める匠たち～』第59回日本伝統工芸展金沢展』を11年に引き続き放送したほか、12年5月に亡くなった人間国宝の大場松魚さんをしのんだアーカイブス番組の放送も行った。

#### 〔静岡局〕

昼前情報番組『しづおか情報ランチ』で、視聴者から寄せられた孫の写真を紹介する「ウチのまご自慢」コーナーを新設し、ホームページ、写真パネル展を展開した。

『ナビゲーション』では、時節をとらえた原発停止の波紋、放射能汚染の課題、巨大津波に対する対策などを検証。静岡の「いま」「旬」をキーワードに地域の動きやトピックを深く掘り下げて取り上げる『静岡流』を6本制作。スポーツ、原子力発電と災害対策、地域経済・雇用、地域文化など幅広い分野に及んだ。

南海トラフ巨大地震の被害想定を受け、静岡県でどのように巨大地震に備えるかを「津波」と「BCP（事業継続計画）」をテーマに考えるラジオ特集番組『防災ラジオ特集～巨大地震に備える』を放送した。

9月には、「きょうはたっぷり富士宮」として昼前情報番組『しづおか情報ランチ』、午後6時台の『たっぷり静岡』を中心に、全国放送とも連携しながら1日を通して富士宮市の魅力を伝えた。『たっぷり静岡』は、公開キャラバン「たっぷりキャラバンin“伊豆東海岸”」を実施、伊豆東海岸の多様な話題を発信した。

#### 〔福井局〕

11年に引き続き、関心の高い原発に関する情報をニュース・番組で県内外へ詳細に伝えた。特に、地下に活断層の存在の可能性が指摘されている敦賀原発2号機の問題について、『ナビゲーション』で伝えたほか、大阪局・京都局とも連携し『かんさい熱視線』（近畿ブロック・福井県域）でも取

り上げ、関西の視聴者の関心にも応えた。更に『クローズアップ現代』にも展開し、福井の事象から見える日本の原発問題を掘り下げる放送した。

この他、『金とく 北陸スペシャル』では「北陸三十三カ所観音霊場巡り」で北陸の霊場の魅力を紹介。また、『アジアで花咲け！なでしこたち』を制作、フィリピンで若者の再起のためにレストランを経営する女性の奮闘を感動的に描きBS1で全国に放送した。また、『サイエンスZERO』では、水月湖に眠る、世界でも類を見ない、地球環境の変動の歴史を読み解くことに資する奇跡的な堆積物の話題を取り上げ、福井の魅力を全国にアピールした。

3年目を迎えた午後6時台の『ニュースザウルスふくい』では、原発の問題で注目される福井の地域性を背景に、防災シリーズ「あすへ備える」を週1回のペースで放送。視聴者に定着した。

#### 〔富山局〕

富山県の乗客3人が死亡した関越道バス事故（4月）、6歳児未満の幼児で初めての脳死判定・臓器移植（6月）などのニュースが年度当初に相次いだ。富山県警警部補による殺人放火事件を他社に先駆けて報道。富山県知事選挙（11月）、衆議院議員選挙（12月）では公平・公正な選挙報道に努めるとともに、迅速で正確な開票速報を実施した。高志の国文学館開館記念として県と共に催イベントを行い、その様子を収録した。『ニュース富山人』の中でも、関連番組を隔週で放送。新たな切り口での地域の魅力再発見につなげた。

NHK山プロジェクトの一環として『あさイチ～体感・夏の立山旅』（8月）、『金とく～立山カルデラ女子ふたり』（8月）、『サイエンスZERO～立山連峰で発見！日本初の氷河』（9月）、『ナビゲーション』（10月）を放送。

『ニュース富山人』で富山の音楽の魅力を紹介するコーナー「トヤマウタ」を年間を通じて放送。その集大成として富山大学でライブイベントを実施し（1月）、そのもようを特集番組として放送した（2月）。

#### 〔津局〕

南海トラフ巨大地震による深刻な津波被害が想定される三重県。津局では県民の安全・安心を守る放送に努めた。県域ニュース情報番組『ほっとイブニングみえ』では、週1回の「知っ得防災」、月1回の「災害に備える」のコーナーで防災・減災情報を継続的に放送した。また、県域放送の特集番組『防災フォーラム』では、県知事、学者、NPO代表、地域住民を招いて公開討論を行った。

地域放送では、精神疾患の親を持つ子どもたちを取材した『ナビゲーション』、アンプティサッカー日本代表を追った『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー』、いじめ問題を取り上げた『東海北陸子どもスペシャル』などを放送。『金とくスペシャル』では「激走！日本アルプス大縦断」を制作し、『NHKスペシャル』に展開した。全国放送では、地域発ドラマ『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス』を制作。『ひるブラ』『ゆうどきネットワーク』などへの番組展開も行った。また、遷宮を迎える伊勢神宮から『ゆく年くる年』を生中継。このほか、『目撃！日本列島』などを放送した。

#### 〔岐阜局〕

岐阜の自然・伝統文化を見つめ直す番組を地域や全国向けに幅広く発信した。

『新日本風土記』で郡上八幡の徹夜踊りの魅力を伝えた押切もえさんが槍ヶ岳に挑む姿と共に北アルプスの雄大さを中部地方向けの『金とく』で伝え、編集版を『本気で山ガール～ハギトモ&もえ 北アルプスに挑む』と題し、BS1で全国に放送した。

また、震災の風化を防ぐべく11年度に引き続き被災地生まれの犬を取材。災害救助犬を目指す姿を伝えた『目撃！日本列島』は、大きな反響を呼んだ。

『ナビゲーション』では廃棄物ビジネスや企業誘致への自治体の取り組みなど岐阜の経済の“いま”を見つめ、地域の課題と向き合った。

また、47年ぶりの国体を盛り上げるため、地域情報番組『ほっとイブニングぎふ』内にスポーツコーナーを新設して積極的に地元の選手を取り上げるなど、岐阜のスポーツを手厚く紹介した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう東海』 G

月～金 7:45～ 8:00

第1回93.4.5／東海3県ブロック／東海3県の最新情報を伝える番組。ニュース、気象情報、交通情報のほか、地域の新しい動きやさまざまな課題を取り上げる「リポート」、旬の食材や季節の話題を臨場感たっぷりに伝える「中継」、躍動感あふれる「映像ウォッチ」など多彩なラインナップで、生活に密着した情報を分かりやすく伝えた。／各局タイトル：金沢『おはよう石川』、静岡『おはよう静岡』、福井『おはよう福井』、富山『おはよう富山』

#### 『情報フレッシュ便 さらさらサラダ』 G

月～金 11:30～12:00

第1回03.4.3／東海3県ブロック（一部各局単）／プラザウェーブ21からの公開生放送。話題のゲストの旬のトークや料理・園芸・ヨガ・子育て・旅など暮らしに役立つ情報満載で伝えた。また、データ放送と連動し、視聴者の期待に応える放送を届けた。11:50～12:00は各局単：津『みえ～るくん情報』、岐阜『みのひだ情報局』／各局タイトル：金沢『おーい！ことじろう』、静岡『しづおか情報ランチ』、福井『ほやはや気分』、富山『とやまおしらせたまご』

#### 『ほっとイブニング』 G

月～金 18:10～18:59

第1回01.4.2／東海3県ブロック（一部各局単）／ホットなニュースからホットとする話題まで、東海地方のすべてが分かる地域密着番組。地元経済の課題や事件・事故、地震・災害・エネルギー問題など、さまざまな課題に取り組み、東海地方の“いま”を伝えた。県内各地で公開生放送も実施。12月には「年末スペシャル」を放送した。

18:30～59は各局単：津『ほっとイブニングみえ』、岐阜『ほっとイブニングぎふ』／各局タイトル：金沢『かがのとイブニング』、静岡『たっぷり静岡』、福井『ニュースザウルスふくい』、富山『ニュース富山人』

#### 『知って解決！SKEっとネット』 G

月 19:56～19:58ほか

第1回10.4.5、最終回12.3.30／東海3県ブロック／防災・減災・健康など安心・安全につながる情報を地元のアイドルSKE48のメンバーが伝えた。放送だけでなく番組詳細をホームページ、携帯サイト、データ放送でもより詳しく伝えた。

#### 『Uta-Tube』 新 G

木 22:55～23:15

第1回12.4.19／中部ブロック／中部地方を音楽のTube（管）でつなぎ、視聴者とともに盛り上げるネット連動型音楽ライブ番組。一流アーティストのライブを届けるとともに地元の若きミュージシャンを応援、音楽への熱い思いが詰まった番組を届けた。夏と冬にはスペシャル版を放送、SKE48の紅白出場の舞台裏を紹介するなど若年層の期待に応える放送展開を図った。

#### 『ナビゲーション』 G

金 19:30～19:55

再日 8:00～ 8:25

第1回93.4.17／中部ブロック／中部7県の課題や事件・事故の背景、地域の現状など旬のテーマ

を深く、分かりやすく伝え、全国発信にも努めた。

### 『金とく』 G

金 20:00~20:43

（毎）土 10:05~10:48

第1回06.4.7／中部ブロック／中部の“見たい”“知りたい”“行きたい”に応える番組として、自然や暮らし・文化を深く取材し、多彩な内容で親しみやすい番組を放送した。

### 『ウイークエンド中部』 G

土 7:30~ 8:00

第1回85.4.6／中部ブロック（一部各局単）／中部7県の旬の話題や各地に暮らす人たちの魅力がたっぷり詰まった土曜朝の情報番組。各地のイベント情報や生中継も交え、暮らしに役立つ情報を伝えた。

### 『かんどアナの東海ピックアップ』 G

土 12:38~12:43

（毎）水 22:45~22:50

第1回11.4.9／東海3県ブロック／東海3局の経営情報・番組情報を紹介。担当したディレクターやアナウンサー、制作スタッフなども出演して、舞台裏のエピソードなどを交え、各局の取り組みなどを伝えた。

### 『中部あさいちばん』 R1

月～土 7:40~ 8:00

第1回99.4.5／中部ブロック（一部各局単）／ニュース、気象情報、交通情報や多彩なコーナー企画など、中部の朝の表情や生活情報を届けた。

### 『FMトワイライト』 FM

月～金 18:00~18:50

第1回99.3.29／中部ブロック／個性あふれるパーソナリティーが楽しいトークと音楽で夕方のひとときを演出するディスク・ジョッキー番組。リスナーからのお便りやリクエスト、ゲストとの音楽話など耳より情報満載で送った。4月には「放送3000回記念スペシャル」を放送、また、10月には愛知県田原市での公開スペシャル版を放送した。

## （2）特集番組

### 〔中部ブロック〕

#### 『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー“笑顔”でつかんだ夢の舞台 寺本明日香五輪への挑戦』 G 名古屋局 5.11/19:30~19:55

#### 『東海北陸スペシャル ロンドン五輪を丸ごと楽しもう』 G 中部各局 7.6/19:30~20:43

#### 『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー 2年ぶりの県大会出場～笑顔で復活！ソフトボール部』 G 名古屋局 7.20/19:30~19:55

### 『Uta-Tubeスペシャル～SKE48全チーム大集合！』 G 名古屋局 8.24/22:00~22:48

### 『やっぽー！日本アルプス関連 「金とく」プレミアムトークショー～山岳口ヶの現場から』 G 名古屋局 9.7/ 1:45~ 2:14

### 『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー だれかが待つとる～山村支える行商トラック』 G 福井局 9.17/18:11~18:36

### 『ゆめうつつ』 E

名古屋局 9.17~20, 24~27/23:25~23:28

### 『金とくスペシャル 激走！日本アルプス大縦断』 G 名古屋局 9.21/19:32~20:45

### 『東海北陸スペシャル エアロスペースドリーム』 G

名古屋・岐阜局 10.12/19:30~20:43

### 『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー 片足でいどむワールドカップ～アンプティサッカー・川合裕人46歳の挑戦』 G

津局 12.14/19:30~19:55

### 『山が教えてくれたこと～ハギトモ 白馬三山を行く』 G

名古屋・岐阜局 12.21/19:30~20:43

### 『アイディア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012～東海北陸地区大会』 G

名古屋局 11.23/13:05~13:59

### 『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2013』 G

名古屋局 1.11/19:30~20:43

### 『Uta-Tube SKE48紅白歌合戦密着スペシャル』 G

名古屋局 1.14/22:00~22:48

### 『東海北陸“子ども”スペシャル ホンネで語ろうTV』 G

名古屋・津局 1.18/19:30~20:45

### 『ドラマスペシャル ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス～特別編+メイキング』 G

名古屋・津局 1.25/19:32~20:45

### 『Uta-Tubeスペシャル～new-tubeグランプリ～』 G

名古屋局 2.28/22:00~22:45

### 『東海・北陸文学紀行 新美南吉生誕100年～東海北陸ゆかりの児童文学』 R1

名古屋局 3.2/ 9:05~ 9:55

### 『忘れない 未来のために～東日本大震災から2年』 G

中部各局 3.8/17:11~17:57, 19:30~20:45

### 『東海北陸“子ども”スペシャル ホンネで語ろうラジオ』 R1

名古屋局 3.16/21:05~21:55, 22:10~23:00

### 〔東海4県ブロック〕

### 『家族で学ぼう クイズ！防災SHOW』 R1

名古屋局 9.8／9:05～9:55  
**[東海3県ブロック]**  
『NHK名古屋児童劇団公演 青い鳥』 E  
名古屋局 8.26／15:00～15:55  
『NHK名古屋青少年交響楽団 第47回定期演奏会』 E  
名古屋局 9.15／13:00～13:59  
『どう備える都市型災害』 R1  
名古屋局 10.11／17:00～17:55  
『衆院選2012開票速報』  
名古屋・津・岐阜局  
G 12.16／20:17～21:00ほか  
R1, FM 12.16／20:21～21:00ほか  
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』（愛知・三重・岐阜県） E  
名古屋局 12.17～24／15:35～15:40ほか  
『ほっとイブニング2012東海スペシャル～東海経済・不況打破への処方箋』 G  
名古屋局 12.28／18:10～19:00  
『がんばれ！グランパス！～2013年シーズン開幕特番』 R1  
名古屋局 3.1／20:05～20:55  
**[各局共通]**  
『第79回NHK全国学校音楽コンクール』  
(中部) 東海北陸ブロック E  
「小学校・中学校・高等学校」  
9.30／14:30～16:50  
**(東海3県ブロック)**  
愛知県コンクール E 9.8／12:00～13:55  
三重県コンクール E 8.25／13:00～14:45  
岐阜県コンクール E 9.1／12:30～13:59  
**(県域)**  
石川県コンクール E 9.1／12:30～13:50  
静岡県コンクール FM 8.25／14:00～15:27  
福井県コンクール FM 8.28／9:20～11:50  
E 9.1／13:00～15:00  
富山県コンクール E 8.25／13:00～14:58  
**[北陸ブロック]**  
『金とく 北陸スペシャル』 G 20:00～20:43  
「トップスピードで駆け抜けろ」  
富山局 6.23／17:30～17:55  
「北陸観音靈場巡り～若狭・越前編」  
福井局 7.20  
「至高の美を求める匠たち～第59回日本伝統工芸展金沢展」 金沢局 10.26  
「歌う喜び 天まで届け～福井ソアーベ合唱団の8か月」 福井局 12.14  
「トヤマウタ♪LIVE」  
富山局 2.15／19:30～20:43

「松井秀喜 父からの言葉」  
金沢局 3.29／19:30～20:13  
『FM北陸ウイーク』 FM 18:00～18:50  
「トヤマウタ女子部。」 富山局 11.19  
「編曲で夢を叶える ～音楽プロデューサー 中村タイチ」 福井局 11.20  
「イクメンで行こう！」 金沢局 11.21  
「がんばれ！ゴジラ松井秀喜」 金沢局 11.22  
「恋歌特集」 福井局 2.18  
「トヤマウタRadio」①② 富山局 2.19～20  
「ポップでジャジーでクラシック！？おしゃれな創作和太鼓の世界！」 金沢局 2.21  
「北陸ご当地アイドル特集」 金沢局 2.22  
『FM北陸スペシャル』 FM 3.15／18:00～18:50  
**[石川県域]**  
『石川アーカイブス 追悼 人間国宝 大場松魚』 G 10.21／13:50～14:55  
『特番 松井秀喜選手が引退』 G 12.28／16:50～18:00  
『石川朗読ひろば in 中能登』 R1 10.14／13:05～14:00, 14:05～14:55  
『石川朗読ひろば in 野々市』 R1 2.23／13:05～14:00, 14:05～14:55  
『FMジャーナルBOX』 FM 18:00～18:50  
4.27, 5.25, 6.29, 8.31, 9.28, 1.25  
『まちスタ×ジャーナルBOX』 FM 10.26, 12.21／18:00～18:50  
**[静岡県域]**  
『静岡流』 G 19:30～19:53  
「この足と 世界へ～義足のランナー夢へのラストチャンス」 4.13  
「食卓からウナギが消える～“国産ウナギの聖地”浜松の苦闘～泣いて笑って舞う」 7.20  
「「働きたい」に寄りそつて～“伴走支援”的現場から」 9.17  
「伊豆 “ふるさと鍋”の旅」 12.14  
「富士山LOVE！」 2.2  
「浜岡原発 災害時の備えは～密着 中電の対策と揺れる周辺地域」 2.8  
『しづメン☆しづジョ』 G 19:55～19:58  
「あなたのパワーの源は？@静岡県立農林大学校①」 4.27  
「これだけは守りたいものは？@静岡県消防学校①」 5.25  
「もう無理と思った瞬間は？@静岡県消防学校②」 6.1  
「無人島に持っていくしたいものは？@静岡イン

ターナショナル・エア・リゾート専門学校】 6.29  
「こんなロボット作りたい@沼津工業高校」 7.20  
「富士山のふもとで○○をさけぶ@日本建築専門学校」 9.14  
「今までに“これは美しい”と感じたモノは？@静岡県美容専門学校」 10.26  
「あなたの性格動物に例えると？@専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー」 12. 7  
「地球最後の日 あなたは？@専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー」 12.14  
「私の親の○○が好き@浜松大学」 1.18  
「あなたにとって“男らしさ”とは？@浜松大学」 2.22  
『キャンパスDJ』 FM 18:00～18:50  
「大学生のお財布事情」 6. 7  
「大学生になってから」 10.25  
「今年はこんな年にしたい」 1.24  
『認知症フォーラム あきらめない～最新医療と社会の支え』 E 10.13／13:00～14:00  
『たっぷりキャラバンin“伊豆東海岸”』 G  
伊東市(2.21), 河津町(2.22) 18:10～19:00  
『ディープトークシズオカ～LOVE！高校野球の巻～一次会, 二次会』 G  
1.13／20:00～20:43, 22:55～23:20  
『防災ラジオ特集 巨大地震にそなえる（1・2部）』 R1  
3.16／13:05～13:55, 14:05～15:00  
〔福井県域〕  
『中部あさいちばん 人権インタビュー』 R1  
12. 5／ 7:46～ 7:55  
『衆院選2012開票速報・福井』  
G 12.16／20:11～20:30ほか  
R1・FM 12.16／20:21～20:41ほか  
『FUKUIアニソンまつり！』 FM  
1.19／20:10～22:00  
『FM特集』「名作を楽しむ～梶井基次郎」 FM  
3.21／18:00～18:50  
〔富山県域〕  
『衆院選2012開票速報・富山』  
G 12.16／20:00～20:11ほか  
R1・FM 12.16／20:16～20:18ほか  
『トヤマウタスピノフ』 G  
3.26／ 0:45～ 1:15

## 〔三重県域〕

『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス～届けます！島の元気』 G  
9.18／11:05～11:30  
9.26／15:17～15:42  
『三重防災フォーラム 最大級の想定にどう備えるか～巨大津波から生き抜くために』 G  
1. 9／15:15～15:58  
『(43分版) 片足でいどむワールドカップ～アンブティサッカー 川合裕人46歳の挑戦』 G  
2. 9／10:05～10:48  
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ～熊野編』 G 2.13～14, 2.21／10:40～10:50  
『フレッシャーズ』 FM 3.21／18:00～18:50  
〔岐阜県域〕  
『ぎふスペシャル』「双方向クイズ！あなたの知らない長良川」 G 7.20／19:30～20:43  
『NHKハートフォーラム』「認知症新時代in岐阜」 G 10. 6／10:05～10:48  
『ぎふスペシャル』「敦士が行く！ギフトフラッグ自転車旅～国体でふるさと再発見」 G  
10.19／20:00～20:43  
『ぎふスペシャル』「FC岐阜2012 監督・選手が語るこの1年」 G 12.30／17:10～17:55  
『岐阜発ドラマ「父の花、咲く春」もっと楽しみ隊！』 G 3.29／19:30～19:53  
『ぎふスペシャル』「笑う岐阜に福来る～第10回全日本学生落語選手権』 G  
3.29／20:00～20:43

## 3. スポーツ中継

## 〔高校野球〕

## 第94回全国高校野球選手権大会

愛知県	準決勝	E・R1／ 7.28
	決勝	E・R1／ 7.29
石川県	準々決勝	FM／ 7.24～25
	準決勝	E・FM／ 7.27
	決勝	G・R1／ 7.28
静岡県	4回戦	R1／ 7.22
	準々決勝	FM／ 7.24
	準決勝	E・FM／ 7.25
	決勝	E・FM／ 7.27
福井県	準々決勝	R1／ 7.27
	準決勝	E・R1／ 7.29
	決勝	G・E・R1／ 7.30
富山県	準々決勝	FM／ 7.24
	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	E・FM／ 7.27

岐阜県	(東海3) 準決勝 (岐阜県域) 決勝	E・FM / 7.27 G・FM / 7.28	(東海3・静岡) 「ベガルタ仙台」対「ジュビロ磐田」	G / 3.2
三重県	準決勝 決勝	E・FM / 7.27 G・FM / 7.28	静岡県域 / 4.7 「清水エスパルス」対「横浜F・マリノス」	静岡県域 / 5.26
第57回全国高校軟式野球選手権大会			「ジュビロ磐田」対「名古屋グランパス」	静岡県域 / 11.17
	(東海3・近畿・熊本) 決勝	R1 / 8.29	「清水エスパルス」対「横浜F・マリノス」	静岡県域 / 3.9
第65回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会	静岡県 3位決定戦 決勝	R1 / 9.30 R1 / 10.6	J2リーグ	
第65回秋季東海地区高等学校野球大会	(東海4) 準決勝 決勝	R1 / 10.27 R1 / 10.28	「ギラヴァンツ北九州」対「カターレ富山」 福岡・富山県域 / 3.3	
北信越地区高等学校野球大会	石川県 準決勝 3位決定戦・決勝	FM / 10.20 FM / 10.21	「FC岐阜」対「徳島ヴォルティス」 (岐阜・徳島県域)	G / 11.4
	福井県 準決勝 3位決定戦・決勝	R1 / 9.29 R1 / 10.2	bjリーグ	G
	富山県 準決勝 3位決定戦・決勝	R1 / 9.29 R1 / 9.30	「富山グラウジーズ」対「宮崎シャイニングサンズ」 宮崎・富山県域 / 4.22	
第127回北信越地区高等学校野球大会	(新潟・長野・福井) 準決勝 (新潟・福井) 決勝 [その他のスポーツ]	R1 / 10.20 R1 / 10.21	「富山グラウジーズ」対「千葉ジェッツ」 富山県域 / 2.17	
プロ野球	「中日」対「楽天」(中部) 「中日」対「DeNA」(中部)	DG1 / 6.8 (マルチ編成) G / 8.17 (マルチ編成)	BCリーグ	R1 福井県域 / 5.11, 5.12
	「中日」対「ヤクルト」 ※クライマックスシリーズ ファーストステージ (東海3)	R1 / 10.13~15	全国高校総体バスケットボール福井県予選	E
	「巨人」対「中日」 ※クライマックスシリーズ ファイナルステージ (東海3)	R1 / 10.17~19	女子決勝・男子決勝	福井県域 / 6.3
	「中日」対「DeNA」(東海3)	R1 / 3.29	日本ハンドボールリーグ女子	
各県サッカー選手権大会 決勝	愛知県 静岡県 石川県・福井県・富山県・三重県・岐阜県	G / 8.25 G / 8.26 G / 8.26	「北国銀行」対「ソニーセミコンダクタ」 鹿児島・石川県域 / 2.3	
高校総体サッカー静岡県大会 決勝	(静岡県域)	E / 6.3	II. 技 術	
Jリーグ	「名古屋グランパス」対「サガン鳥栖」 (東海3・佐賀)	G / 4.7	1. デジタル放送の拡充と普及	
	「名古屋グランパス」対「横浜マリノス」 (東海3)	G / 10.27	(1) 地上デジタル放送のネットワーク拡充	
	「名古屋グランパス」対「ジュビロ磐田」		中部では、静岡県にて新たに3局のデジタル中継局（袋井、三ヶ日都筑、伊豆東海岸）を開局した。03年から9年かけてデジタル親局7局、デジタル中継局198局を開局した。これですべての放送所整備が完了し、地上デジタルネットワークが完成した。	
			(2) デジタル放送の普及促進	
			新たな難視地域やデジタル化困難共聴に対して、域内各地域の地上デジタル放送推進協議会と連携して地デジ受信対策を推進した。	
			NHK共聴について、老朽化大規模改修9施設、小規模改修27施設、無停電電源装置の整備4施設を実施し、安定な受信確保に努めた。	
			デジタル時代に即した受信相談体制を試行し、より迅速できめ細かなお客様対応ができた。	
			BS受信サポート活動により、電器店からBS未	

受信の世帯に対して受信方法を提案することでBSアンテナ設置を促し、BS受信普及を進めた。

また、電器店や量販店延べ2,234店を訪問し、衛星契約取り次ぎの拡大に向けた営業支援を実施した。

### (3) 地上デジタル放送のサービス向上

デジタル放送の特徴を生かしたデータ放送による双方向番組等の取り組みが増加した。名古屋局では『東海北陸スペシャル～エアロスペースドリーム』、福井局では『年末ハイライト～お天気QQ箱』、岐阜局では『あなたの知らない長良川』において双方向クイズを実施した。

スマートフォンなど携帯端末の急激な普及を背景に、ソーシャルメディアを活用した新しいサービスの開発にも取り組んだ。名古屋局では全国放送の『よる☆ドラ』「恋するハエ女」において、ドラマの裏話や主人公の心情をドラマの放送中にリアルタイムにデータ放送とツイッターで「つぶやく」ソーシャル視聴サービスを実施し、大きな反響を呼んだ。また、メールやツイッターで募集した視聴者の意見を放送中に画面スーパーする視聴者参加型の番組を多く制作した。名古屋局では特番で4回実施し、『東海北陸子どもスペシャル』においては、1,000件を超える意見が寄せられ、番組中に125回の画面スーパーを実施した。静岡局『ディープトーク静岡』、金沢局『真相回転！どいね寿司』でも同様のサービスを実施した。

## 2. 放送設備の充実

南海トラフを震源とする巨大地震に備えるため、三重県総合文化センター内に報道拠点の開設、津局会館屋上非常用発電機の整備、熊野無線伝送ルートのハイビジョン化更新を進めた。三重県尾鷲港、愛知県師崎、静岡県浜岡原発、安倍川河口、沼津港、足柄サービスエリアにハイビジョンカメラを整備し機能強化を図った。また、金沢局会館、静岡局会館、津局会館、ラジオ放送所（8か所）の非常発電機用燃料タンクの倍増化整備を行い、大規模・長時間停電時の事業継続を可能とした。

万一の障害復旧時間を短縮するため、地上デジタル親局（金沢・観音堂、静岡・日本平、浜松、福井・足羽山、富山・呉羽）および中継局（11局）に非常用設備を整備した。また、名古屋局会館の受配電・変電設備を更新し、保守性向上と放送安定化、機能強化を併せて実現した。

新たな放送サービスへの展開、より良いサービスの提供に向け、名古屋局で5件（「アクティブ・テレビジョン」「高出力LEDライト」「マルチア

ングル対応音響システム」「U-Padロボカメコントローラー」「ACロボカメ・基地局リモート制御」）、富山局で1件（「小型高効率中波受信アンテナ」）の新技術開発に取り組んだ。

## 3. 緊急・災害報道の取り組み

東日本大震災に対する東海北陸域内からの支援は2年経過後も継続し、福島局衛星伝送車からのローカル中継とニュース伝送業務に従事している。

11月の豊川信用金庫蔵子支店にて「立てこもり事件」が発生し、衛星伝送車2台、ニュースカー3台、緊急用小型伝送装置2台などで複数の伝送路を確保して約13時間にわたる緊急報道対応を実施した。また、12月の中央道笛子トンネルでの天井崩落事故では中日本高速道路本社（名古屋）での会見を安定に伝送できるよう設備を仮設して対応した。

設備面では岐阜県の飛騨無線伝送ルートのハイビジョン化と船山ヘリ自動追尾装置整備、会館衛星受信設備、無線回線集中制御卓更新整備を推進した。また、災害対策訓練として報道部と連携して中部ブロック協議会訓練（国の出先機関、自治体、ライフライン企業等が参加）に合わせて名古屋・津・岐阜局の3局合同地震訓練を実施した。

## 4. 番組制作技術の取り組み

ドラマ番組では、三重県を舞台にした『ヤアになる日』、岐阜県を舞台にした『父の花、咲く春』、『よる☆ドラ』「恋するハエ女」の3本を制作。豊かな人間性・地域性を存分に表現するとともに、高品位なドラマを全国に発信、地域の活性化にも貢献した。

スポーツ番組では、大相撲名古屋場所でのワイヤレスカメラの活用、プロ野球中継ではバックスクリーン上段カメラの設置などの創意工夫を行い、スポーツ番組の迫力と感動を全国の視聴者に届けた。

12年度からスタートした、夢に挑戦する若者を描くドキュメンタリー番組『ティーンズプロジェクト フレ☆フレ』では、全国各地の若者の元気と情熱を存分に表現し大きな反響を得た。

10月6日、7日のNHK名古屋放送局の会館公開に合わせ「スーパーハイビジョン公開」を実施。1,394人のお客様に、今まで目にした事のない高精細な映像と臨場感豊かな迫力ある音声を体感してもらった。

『NHKスペシャル』「激走！日本アルプス大縱

断」や『金とく～トランス・ジャパン・アルプス・レース』を制作。富山湾から駿河湾まで415kmにも及ぶ超人レースをメディアとして初めて密着取材。また、新企画番組『ゆめうつつ』では、ハイスピードカメラや超小型カメラを使って、常識にとらわれない仮想空間の斬新な映像表現に努めるなど、満足度の高い良質な番組を数多く全国に発信した。

### III. 視聴者

#### 1. 広報

##### (1) マスコミ広報・番組広報

名古屋局では、引き続き広報番組『かんどうアナの東海ピックアップ』を制作し、東海3局の経営・番組・事業イベントなどの情報を紹介した。水曜夜に再放送を新設したこと、さらに視聴者の関心に応えることができた。

また、番組改定記者会見や三重県を舞台にしたドラマ『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス』、『よる☆ドラ』「恋するハエ女」、『Uta-Tube SKE48紅白歌合戦密着スペシャル』などさまざまな番組で取材会を実施し、地元マスコミに積極的に情報を提供した。

富山局では、ロンドンオリンピックに合わせ、路面電車のラッピング（45日間）・局舎ウンドウ広告やチラシ（5,000部）を活用し、番組の宣伝と衛星契約の理解促進を図った。

津局では、同局で初めて制作したドラマ『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス』に合わせ、さまざまな媒体を通して、番組広報活動を実施した。会館公開（10.6～7）を実施し、来場者にドラマPR活動を行った。2日間で延べ1万人の来場者があった。

岐阜局では、国体の開催に合わせて県内スポーツを応援する1分スポットを制作した。また、ドラマ『父の花、咲く春』では、ロケ取材会（2.11）、地元関係者試写会（3.23）を行うとともに、ショッピングモールでの写真パネル展、バス会社の映像広告や動画サイトへのPR映像配信、ケーブルテレビへのPR映像提供など、幅広く広報した。

##### (2) 視聴者ふれあい活動

ふれあいミーティングは、中部で計116回実施し、延べ2,930人が参加した。

富山局では、「視聴者のみなさまと語る会～経営委員とともに～in富山」を4月に開催。公募による視聴者39人と、放送や経営全般について意見

を交換した他、『大河ドラマ』「平清盛」の制作担当者による講演会も実施した。

名古屋局ではNHK視聴者会議に替わる「NHK俱楽部」を発足させた。12年度は3回（9.10、11.15、1.28）実施し、若者層向け番組や受信料制度などをテーマにメンバーから率直なご意見を聞いた。

見学施設「放送体験スタジオ わくわく」では、1年間に約13万人が訪れ、ニュースキャスターの疑似体験など楽しみながら放送を学んでもらった。また、266件7,980人の団体見学者にテレビスタジオなどを案内した。

10月には、会館公開「きてみてNHK2012」を実施。「Uta-Tube」セット公開やライブショー、スーパーハイビジョン公開、名古屋放送局制作番組のアナウンサー・キャスターによるトークショーなどを実施した。来場者は2日間で1万人を超えた、大盛況だった。

豊橋支局、金沢局、静岡局、津局、岐阜局でも会館公開を実施、視聴者との交流を深めた。

金沢局では、テレビ放送開始60年記念イベントを開催（2.23）し、SHV、ハイブリッドキャストなどを体感してもらった。ホームページやスポットでのお知らせ、開催前日の新聞広告効果もあり、大盛況となった。

また、放送会館の見学時に開催する「ふれあいミーティング」に加え、金沢市内、小松市、輪島市などの各地に出向いて、アーカイブ上映会と合わせたふれあい活動も実施。地域の視聴者との結び付きを強め、公共放送の価値を高めた。

福井局では、「一福丸アニメ」の放送、ダンスの普及活動、イベント会場での着ぐるみとのフォトサービス、地元イベントへの参加など、自局のマスコットキャラクターを活用したさまざまなCS活動を展開した。

岐阜局では、ロンドンオリンピックの開催に合わせ、出張会館公開「ふれあい祭2012」（7.14～15）を実施した。全競技の放送日時をパネル展示したほか、環境セミナーや朗読ライブなど2日間で5つのステージイベントを行い、1,792人の参加があった。また、ドラマ『父の花、咲く春』に関連し「笑顔」にまつわる視聴者のエピソードと写真を募集し、特設サイトで公開したほか、43のエピソードを放送で紹介した。

##### (3) デジタル放送の普及・理解促進活動

金沢局では、4月に『NHKのど自慢』を行った加賀市文化会館、2月にハンドボール「北国銀行VSソニーセミコンダクタ」戦を生中継した金

沢市総合体育館の両会場で「デジタル体感ランド」を開催し、デジタル放送の魅力、次世代テレビとして期待される3Dの可能性を広く視聴者に伝えた。また、七尾の能登和倉万葉の里マラソンでは、デジタル放送のPRチラシを配布し、デジタル放送に関わる放送サービスの多様性を広くアピールした。

## 2. イベント事業

中部ブロックでは、公開番組をはじめ、公共放送キャンペーン、こども・青少年、教育・教養、美術、音楽、スポーツなど、さまざまな分野・対象のイベントを実施した。約57万人の視聴者と触れ合い、公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興に努めた。

〔名古屋局〕

### (1) 公開番組

『オンバト+』『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『ごきげん歌謡笑劇団』などの全国放送番組と、『FMトワイライトSP』『金とく出前コンサート』などの地域放送番組も含め、中部で113本を実施した。

### (2) 公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「防災キャンペーン」「ハートプロジェクト」「ふるさとの食にっぽんの食」「環境キャンペーン」など、公共放送ならではのキャンペーン・イベントを中部各局で展開した。

名古屋局では、「防災キャンペーン」の一環として在名民放ラジオ局各社と連携した『クイズ! 防災SHOW』や『めざせ! 会社の星～防災SP』を防災の日（9.1、名古屋放送センタービルほか）に実施。また、「ハートプロジェクト」では、NHKハートフォーラム（5.20、名古屋市、6.17、長久手市、10.8、津島市）を開催した。

### (3) こども・青少年イベント

「第79回NHK全国学校音楽コンクール」「第59回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第29回NHK杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ! NHK放送体験クラブ」を中部各局で実施した。

また、ファミリーで楽しめるステージショーとして、チャリティーコンサート「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（1か所）、「いないいないばあっ! あつまれ! ワンワンわんだーらんど」（2か所）や、「おかあさんといっしょ宅配便～ポコポッティイト小劇場」（9か所）を中部各地で開催した。

名古屋局では夏休み中の親子を対象に「NHK

こどもサマースクール2012」（8.7～12、名古屋放送センタービル）を実施し、自由研究のヒントを提供したほか、番組キャラクターが大集合するファミリーイベント「あそぼう! NHK夢いっぱいわーるど」（3.23～24、名古屋放送センタービル）を行った。

### (4) 教育・教養イベント

学校に向いて行う「NHKこども音楽クラブ～N響が学校にやってきた」「NHK朗読ひろば」「Let's try! プレキソ英語」など、教育イベントを中部4か所で実施。

また、学校放送番組の研究委嘱を行い、教育現場での番組利用の推進を図った。

教養イベントでは、「NHK公開セミナー」として『大河ドラマ』『平清盛』をテーマにセミナー（2か所）を実施した。

### (5) 美術展・展覧会

「アントワープ王立美術館所蔵 ジェームズ・アンソール」（4.14～6.17、豊田市美術館）、「グエッリーノ・トラモンティ展」（6.9～7.29、瀬戸市美術館）、特別企画展「ボストン美術館 日本美術の至宝（前期 6.23～9.17、後期 9.29～12.9、名古屋ボストン美術館）、「日本伝統工芸展」（10.3～8、名古屋三越栄店、10.26～11.4、石川県立美術館）、企画展示「眼で愉しむ 源氏と平家の物語」

（11.17～12.13、徳川美術館）を中部各地で主催し、地域の文化振興に寄与した。

### (6) 音楽イベント

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2013』（1.3、名古屋市）、「N響定期演奏会」（2.24、名古屋市）を主催・共催したほか、「NHKなごや芸能音楽祭2012」（9.25～26、名古屋市能楽堂）では、クラシック音楽や伝統芸能番組の公開収録も実施した。

### (7) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各地で実施したほか、「NHKジュニア野球教室」

（1か所）、「NHKジュニアバレーボール教室」（1か所）、「NHKジュニアサッカー教室」（1か所）を実施した。

また、名古屋局では、「第22回日本シニアオープンゴルフ選手権競技」（10.25～28、東名古屋カントリークラブ）を開催した。

### (8) その他のイベント

名古屋局制作番組『金とく』の山シリーズと連動し、トークショー（8.12、名古屋、富山、岐阜）や中部地方の各局が連携したコンサートなど実施

した（9.4、名古屋、9.8、静岡・岐阜、9.17、富山）。また、新美南吉生誕100周年記念として、新美南吉の作品や生涯を紹介するコンサートや朗読イベント（2.22～23、半田市）を企画・実施した。

#### 〔金沢局〕

地域の視聴者に親しまれる放送局を目指し、県内各地でさまざまな公開番組や公開イベントを実施した。加賀市での『NHKのど自慢』（4.8）、小松市での『歌の散歩道』（12.7）など全国放送公開番組は9本開催した。金沢市で実施した「NHK交響楽団演奏会」（2.2）では、県内外のクラシックファンが一流の演奏を楽しんだほか、内灘町では「NHKこども音楽クラブ」（5.8）としてNHK交響楽団が町内の小学校でミニコンサートを開催した。この他、認知症をテーマにした「NHKハートフォーラム」（9.1）を開催。寸劇と講演で認知症の人との共生について考えるイベントを実施した。ラジオの地域公開番組として『石川朗読ひろば』を中能登町（9.9）と野々市市（2.10）で実施。アナウンサーヤキャスターと直接触れ合えるイベントとして好評だった。

#### 〔静岡局〕

24回目を迎える「NHK富士山写真コンクール写真展」（9.5～10、静岡市）に合わせて、富士山をテーマにした「登る！撮る！富士山トークショー」（9.8、静岡市）を、女優の市毛良枝さん、山岳写真家の白旗史朗さんの出席で実施した。

地域に根ざし開かれたNHKを目指し、「災害報道」と「防災」をテーマに会館公開「NHK静岡ふれあいデー」（10.6～7、静岡局）を実施し、2日間で1,500人の来場者があった。地震体感シミュレーター体験、防災絵本の読み聞かせ、防災人形劇などを通して防災への関心を高めた。

若者を対象としたイベントとして、県内の大学生に参加してもらう「キャンパスDJ」（5.30、静岡市、10.9、三島市、1.15、浜松市）を東海大学海洋学部、順天堂大学保健看護学部、浜松大学の各大学キャンパスで公開収録し、若者層への接触者率拡大に寄与できた。

#### 〔福井局〕

13年1月から福井局が80周年イヤーに入ることを機に、直前のイベントとして「FUKUIアニソンまつり！」（12.22、坂井市）を実施。観覧客だけでなく、出演者にも自身のブログで「楽しかった」と言ってもらうなど大変な好評を得ることができた。このイベントを収録し、1月にFMで放送（1.19、福井単）。2月11日にはFMで全中にも展開でき、福井局80周年のスタートを全国に

PRすることができた。この他、福井ケーブルテレビとの共催で「お笑いオンステージ」（2.22、福井市）を実施。イベントを通じてCATVとの協力関係を深めることができた。

#### 〔富山局〕

高志の国文学館開館記念として富山県と共に「NHK万葉恋活講座」（8月、富山市）を開催。新たな切り口で地域の魅力再発見につなげ、満足度は89%と高い数字となった。

また、中部7局と長野局で展開する「山プロジェクト」と連動して放送やイベントを実施（8～9月）。アナウンサーによる朗読と山岳カメラマンのトークショーでは10代から40代の参加者も多く、全体の98%が「山岳番組を今後見てみたい」と回答し、山への関心の高さが表れた。関連の番組・イベントをスポットやチラシなどでPRした。

『ニュース富山人』では月1回の企画コーナーのスペシャル版として富山大学で「トヤマウタライブ」を実施（1月、富山市）。学生を中心に500人が参加し、アンケートの満足度は93%と高い数字となった。

#### 〔津局〕

津局制作ドラマ『ヤアになる日～鳥羽・答志島パラダイス』に関連し、島の人々や地元の高等専門学校生とともに、海や島の豊かな自然や歴史文化を体験する「鳥羽・答志島パラダイスツアー」を実施（9.16）。県内外の親子連れが参加した。その他、県内4か所でドラマPR展に合わせてお客様とのふれあいイベントを実施（9月毎週末）した。

防災に関する取り組みでは、県南部の小学生向けに、楽しみながら放送の仕組みと防災に関する知識を学ぶ「放送体験クラブ～防災編」を県の防災室と協力し実施（10.29～11.1）、200人の参加があった。また、県・地元新聞社と共同主催した「防災フォーラム」（12.9）では、400人の参加者の前で、南海トラフ地震の被害想定を基にNHK解説委員や知事らが話し合った。

#### 〔岐阜局〕

高山支局の開局70周年と中部の各放送局が取り組んだ「NHK山プロジェクト」の一環として、9月に放送した槍ヶ岳の番組を広報するイベント「北アルプス朗読紀行」（9.8、高山市）を開催した。『槍ヶ岳開山』はじめ生誕100年となる作家・新田次郎の小説の名シーンなどを、10年前に飛騨を舞台とした『連続テレビ小説』「さくら」に主演した高野志穂さんによる迫真的朗読で聴かせた。

BS1のランニング情報番組『ラン×スマ』で「いびがわマラソン」のロケが行われたことに合わせ、大会前日に番組の出演者でプロランニングコーチの金哲彦さんらを招いてトークイベントを実施した（11.10、揖斐川町）。

10回目の節目を迎えた「全日本学生落語選手権」（2.23～24、岐阜市）では、過去最多の全国55大学・大学院から、学生280人が参加した。

### 3. 営業

#### （1）全体状況

12年度は、「平成24年～26年度NHK経営計画」の初年度として、公平負担と営業経費抑制に向けた営業改革に取り組み、中部ブロックとしての責任を果たすべく、営業業績の確保に努めた。

10月にはテレビ受信機だけを対象にした受信料体系に移行してから初めてとなる受信料の値下げを行い、受信契約の促進と口座・クレジット支払利用の促進を図った。

中部ブロックの13年3月末の受信契約総数は、563万4,000件、そのうち、衛星契約は256万3,000件となった。この1年で、契約総数（有料）は7万件の増加となった。

#### （2）契約収納業務の法人委託の拡大

営業改革の大きな柱である「効率的な業務体制の構築」に向けて、法人委託の拡大に取り組んだ。12年10月、中部ブロックとして2地区目となる公開競争入札による業務委託がスタートし、13年8月と10月にさらに2地区の運用を予定している。13年3月末現在、域内全体で28社の法人委託が稼働している。今後も拡大する公開競争入札による業務委託の実効性を高めるため、外部委託法人の開発・育成に取り組んでいく。

#### （3）受信料の公平負担と取り組みの強化

製造業が集積する中部経済の中核であるトヨタ関連企業の景気は、国内事業が円高是正の追い風もあり、5年ぶりに黒字化する見通し。生産量・輸出量も増加しているため、全般的には雇用拡大の方向となっている。

12年度は訪問要員一人ひとりの生産性の向上を活動の柱とし、取り次ぎ総量確保と衛星放送受信者から適正に衛星契約を取り次ぐことや、受信料の口座振替やクレジットカード継続払いを促進することにより、業績確保を目指す活動を推進した。

とりわけ、年度スタートの4月から5月にかけての大量移動時期には、集合住宅が集中する地域の効率的な訪問要員の対策地域運用により、総数增加・衛星増加とも過去10年間で最高の業績確保

ができた。ただ、年間を通じては、契約総数取り次ぎ数は劇的な向上を実現するには至らなかった。

民事手続き関係では、12年度も中部域内において支払督促を着実に実施した。

## 近 畿

- ◇「平成24~26年度NHK経営計画」で掲げられている“放送機能の強化”的一つである「本部のバックアップ機能」の整備に向けて、設備等の準備を進めるとともに、『お元気ですか 日本列島』を大阪局から生放送するなど、さまざまなシミュレーションや訓練を重ねた。
- ◇金曜午後8時台の地域放送番組を大幅に刷新して『ええトコ』とし、関西各地を旅し、関西の魅力をたっぷりと紹介した。
- ◇『連続テレビ小説～純と愛』は、大阪市大正区と本土復帰40周年を迎えた沖縄県の宮古島を舞台に、ヒロインの純とその夫・愛の奮闘ぶりを描くラブストーリー。脚本は、遊川和彦。
- ◇2年目を迎えた「子どもを守れ！キャンペーン」は、将来を担う子どもたちを取り巻く環境を少しでも改善していくよう、放送だけでなく、イベントやウェブ企画の充実を図るなど、多角的に展開した。
- ◇NHKと民放連の共同ラジオキャンペーン“ラジオにタッチ！”を実施し、共通のラジオ情報サイトを立ち上げたほか、特集ラジオドラマを共同で制作・放送した。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### (1) 豊かで安心、たしかな未来へ災害からの復旧・復興

近い将来その発生が想定される南海トラフ巨大地震については、金曜夜7時台の番組『かんさい熱視線』(G、年間34本)で、「巨大津波から命を守れるか」(4.13),「津波が大都市を襲う」(5.18),「巨大津波からどう逃げる」(1.25)のほか、原発関連で、「揺れる大飯原発の運転再開」(4.27),「関電株主総会“脱原発”は出来るのか」(6.29),「揺れる大飯原発 活断層調査のゆくえ」(11.17),「敦賀原発は動かせない」(1.11)を放送した。また、全国放送では、『クローズアップ現代』で、「どうする原発 運転再開～不安は解消されるのか」(4.5),「原発運転再開“政治決断”を問う」(6.18),「津波火災知られざる脅威」(9.3),「原発直下に活断層？問われる国の判断」(11.21),「原発と活断層～規制委調査の波紋」(2.4)を放送したほか、『NHKスペシャル』で、

「MEGAQUAKE II 巨大地震第2回～津波はどこまで巨大化するのか」(4.8)に制作参加した。発生から18年を迎えた阪神・淡路大震災については、『かんさい熱視線』で「終わらない震災～遺族たちの18年」(1.18)を放送したほか、『NHKスペシャル』で「阪神・淡路大震災18年～大都市被災その時日本は」(1.17)を放送した。11年9月に発生した紀伊半島豪雨災害については、『かんさい熱視線』で「いまだ終わらぬ豪雨災害」(8.31)を放送したほか、『NHKスペシャル』で「崩れる大地～日本列島を襲う豪雨と地震」(9.2)に奈良局が制作参加し、全国に発信した。

本部のバックアップ機能強化については、『お元気ですか 日本列島』を年4回(5.11, 7.6, 10.12, 1.25)大阪局のニューススタジオから生放送したほか、設備の整備に向けた準備を進めた。

#### (2) より地域に根ざした番組展開と各番組のさらなる充実

金曜夜8時台を紀行情報番組『ええトコ』(G、年間31本)に刷新し、関西のさまざまな魅力を再発見する旅をテーマに、大阪局の編成部(編成制作)が事務局となり、大阪局をはじめ、近畿管内の各放送局が制作した。また、好評を博した11年度後期の『連続テレビ小説～カーネーション』の1週間ダイジェスト版『もういちどカーネーション』(G)を年度前半期に放送したほか、『ぐるっと関西おひるまえ』(G)は、平日のキャスターに大平サブローさん、土曜に宝塚歌劇団のタカラジェンヌを起用するなど、観覧者数も増加し、公開放送としてより楽しめる内容となった。平日の夕方5時台に放送している『あほやねん！すきやねん！』(G、年間169本)では、ツイッターとの生連動を実施したほか、810プロジェクトとも連携した『学園祭スペシャル 2012』(11.4)を放送するなど接触者率の拡大に努めた。このほか、6年目を迎えた『ビジネス新伝説 ルソンの壺』(G)や、『上方落語の会』(G)、『西方笑土』(G)を放送した。定時の全国放送番組では、新たな視聴者の獲得を目指す『歴史秘話ヒストリア』(G)は、“全国の名所を訪ねる”“女性史”“大河・朝ドラとの連動”などを強化したほか、障害者のための情報バラエティー『バリバラ』(E)と『バリバラR』(R2)を新設し、障害者だけでなく健常者が気になる内容も取り上げるなど、大きな反響を呼んだ。このほか、『バラエティー生活笑百科』(G)、『西方笑土』(BSP)、『かんさい土曜はっとタイム』(R1)、『上方演芸会』(R1)などを主管・制作した。

### (3) 関西の“今”を迅速・的確に報道、鋭く検証

夕方6時台の各府県向けのニュース情報番組（G、月～金）では、6時40分から12分間、大阪のスタジオから近畿のニュースとスポーツを伝えるコーナーを新設し、関西広域情報の充実を図った。大阪局は『ニューステラス関西』を継続、各局は『ニュース610京いちにち』（京都）、『ニュースKOBE発』（神戸）、『あすのWA！』（和歌山）、『ならナビ』（奈良）、『おうみ発610』（大津）をそれぞれ継続した。

金曜午後7時30分からの報道番組『かんさい熱視線』（G）では、関西で今起きている問題や課題など、さまざまテーマを熱く伝えた。警察の捜査に至った大津市の男子中学生が自殺した問題をはじめ、相次いだ学校でのいじめや体罰の問題については、「なぜ真実がわからない～大津市中学校自殺問題」（7.20）、「隠される“子どもの自殺”」（10.5）、「通報続出 いじめをなくせるか」（10.12）、「なぜ教訓を生かせない～繰り返される学校事故」（11.30）、「問われる体罰～高2男子部員 自殺の波紋」（2.8）、「いじめと自殺の真相は～大津・第三者委の報告から」（2.15）などで伝えた。このほか、南海トラフ巨大地震や原発問題、“子どもを守れ！キャンペーン”関連にも継続的に取り組んだ。また、人の生命にかかわる技術革新やその課題については、「いのちをめぐる決断～出生前診断 ある家族の記録」（4.20）、「予想外こそチャンス～山中伸弥 ノーベル賞への道のり」（12.14）、「がん治療が変わる～知られざる“がん幹細胞”の脅威」（3.15）などで伝えたほか、全国向けには、『クローズアップ現代』で、「夢の医療」は実現するか～iPS細胞 実用化前夜」（7.3）、「ノーベル賞受賞 山中伸弥さんに聞く」（10.10）、「NHKスペシャル」で、「出生前診断～そのとき夫婦は」（9.16）、「ノーベル賞・山中伸弥 iPS細胞“革命”」（10.21）を放送した。

### (4) 信頼に応える選挙報道

11月16日に衆議院が解散され、第46回衆議院選挙は、12月4日公示、12月16日投票日となった。近畿を拠点とした「日本維新の会」「日本未来の党」の2つの党が結党されるなど、候補者数が前回と比較して大幅に増えたことに伴い、政見・経歴放送の総放送時間も、大幅増となった。投票日の開票速報のほか、公示日には、特集番組「2012衆院選公示」を放送するなど、迅速かつ、公平・公正な放送を実施した。

### (5) “放送局のちから”で、地域の再生・活性化

2年目を迎える“子どもを守れ！キャンペーン”では、地域特集番組として『パパとママがほしい』（G、8.23）や『ダンスで心の復興を』（G、8.24）、『虐待、どう減らしますか』（G、11.22）、『子育てガンバロ！コメディー』（G、11.23）、『泣き笑い 俺たちと先生の就職活動』（G、3.25）のほか、視聴者から寄せられた体験談や子どもの写真などの関連ミニ番組を制作・放送した。また、『かんさい熱視線』でも、「“家族”がほしい～養子縁組望むこどもたちは今」（6.1）、「子どもの居場所を守りたい」（7.13）、「子どもの愛し方 教えます」（11.2）、「繰り返される悔恨」（11.9）など、子どもを取り巻くさまざまな問題について取り上げたほか、夕方6時台の『ニューステラス関西』でも関連企画を放送した。ラジオでも、『関西ラジオワイド』や『関西発ラジオ深夜便』の中で、子どもへのメッセージや朗読など関連企画を放送した。NHK大阪ホールを活用した番組では、金曜夜8時台に『ふたりは最高！大阪SHOW TIME』（年6本）を新設したほか、地域特集番組『漫才祭り』（年2本）や『上方落語の会』などの収録を実施し、一層の充実と定着化を図った。また、BKプラザスタジオでは、地域特集番組として、春の会館公開と連動した『ぐるっと関西おひるまえ 祝日スペシャル』（5.3～5）や『あほ！すき！学園祭スペシャル2012』（11.4）などを公開で生放送した。大阪市大正区と沖縄の宮古島が舞台となった『連続テレビ小説』「純と愛」では、金曜夜8時台の『ええトコ』で、ドラマゆかりの地を訪ねる企画やドラマ出演者が関西各地を訪ねる企画を放送したほか、沖縄局の地域特集番組を近畿管内でも放送するなど、ドラマの盛り上げや地域の活性化に努めた。6年目を迎えた日曜午前7時台の地域経済情報番組『ビジネス新伝説 ルソンの壺』（G、年38本）は、11年に引き続き、関西以外でも、徳島・香川・鳥取・津局のほか、福井・岡山局でも随時放送し、停滯した関西経済を活性化させるヒントを探った。また、7月に桂三枝さんが六代桂文枝を襲名したのにあわせて、『桂三枝のすべて～六代桂文枝襲名』（BSP、7.29）を全国に放送したほか、地域特集として『三枝（文枝）の落語創世記』（年3本）などを放送。さらに、『笑福亭仁鶴と訪ねる 大阪の笑い100年』（G、1.5）を全国向けに放送した。『奇跡の庭 京都・苔寺』（G、1.1）では、初めて許可されたカメラ取材で、京都・西芳寺の苔庭の美

を1年にわたって記録するなど、関西ならではの文化や芸能を地域だけでなく全国に伝えた。

### (6) スポーツソフトの活用

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向けて積極的に発信した。ロンドンオリンピックの代表選考会を兼ねた『第96回日本陸上選手権』(G, BS1, 6.8~10) を中継したほか、『第94回全国高校野球選手権大会』(G, E, R1, FM, 8.8~23) や、『第14回全日本学生柔道体重別団体優勝大会』(E, 11.3), 『関西大学ラグビー「天理」対「同志社』(E, 12.1)などのアマチュアスポーツを伝えた。駅伝では、『女子第24回・男子第63回全国高校駅伝』(G, R1, 12.23), 『第31回全国都道府県対抗女子駅伝』(G, R1, 1.13)を放送し、インターネットへのサービス展開として、静止画によるレース速報に加え、パソコンとスマートフォンサイト向けには、全チームの中継所動画、レース展開を伝える動画クリップを制作した。このほか、『第68回びわ湖毎日マラソン』(G, R1, 3.3), 『第85回選抜高校野球大会』(G, E, R1, FM, 3.22~4.3), 競馬の『第73回菊花賞』(G, 10.21)などを中継した。

地域放送では、『第46回織田記念国際陸上 兼ロンドンオリンピック代表選考会』(G, 4.29)を中継したほか、関西にゆかりのある代表選手を徹底紹介する地域特集番組『ロンドン五輪直前 全力応援！かんさい』(G, 7.1)を放送するなど、オリンピックへの関心を高める番組の放送に努めた。

また、プロ野球(G), サッカーJリーグ(G), bjリーグ・バスケットボール(G)などのプロスポーツを生中継したほか、『サッカー女子 なでしこリーグ「INAC神戸レオネッサ」対「日テレ・ベレーザ」～長居スタジアム』(G, 11.12)を収録で伝えた。このほか、『第41回関西学生サッカー選手権～決勝』(E, 6.2), 全国高校野球選手権大会の関西2府4県大会の決勝戦(G, E, R1, FM), 『第57回全国高校軟式野球選手権大会～決勝』(R1, 8.29), 『第17回大阪サッカー選手権大会～決勝～天皇杯大阪代表決定戦』(G, 8.26), 『関西大学ラグビー「関西学院」対「同志社』(E, 10.14), 『秋季近畿地区高校野球大会』(R1, FM, 10.27~11.4), 『関西学生アメリカンフットボール「関西学院大」対「立命館大』(E, 11.25)などを中継した。

### (7) 注目をあつめるアジアの情報を、アジアの各放送局とともに発信

3年目を迎えた『まるかじり！ アジアン食堂』

(G, 年8本)は、日曜午前7時台への移設に伴い、関西で活躍するアジア人にスポットを当て、彼らの故郷の食文化や日本への思い、人生の夢を語ってもらう番組にリニューアルした。関西とアジアの深い関係を、より身近に感じさせる内容で、関連ミニ番組を制作するなど、番組の認知度向上、アジア諸国との相互理解の深化に取り組んだ。

### (8) デジタル放送と新しいメディアで多角的な地域サービスの展開

フルデジタル化から2年目を迎えるにあたり、夕方6時台の各局のニュース情報番組内に管中パートを設け、関西の広域情報を伝えた。一方、全国高校野球選手権大会の各府県大会については、各府県域の放送とするなど地域サービスの向上に努めた。マルチ編成については、プロ野球中継で、ニュース時間帯などで実施したほか、プロバスケットボールのbjリーグを総合サブチャンネルで放送するなど、多様な視聴者ニーズに応えた。また、大阪局の“声プロジェクト”と連動したワンセグ2のミニ番組を制作したほか、金曜夜8時台の新番組『ええトコ』で連動データを実施し、番組関連情報を提供するなど、デジタルサービスの効果的な活用に努めた。3月11日からは、平日夜8時台のニュースで生字幕放送を開始するとともに、夕方6時台の字幕放送化に向けて準備を進めた。平日夕方5時台の『あほやねん！すきやねん！』では、地域の定時番組としては初となるツイッターライ生連動を実施したほか、1週間分の関西のニュース動画が視聴できる「関西NEWS WEB」を開始。あわせて、大阪局ホームページ(HP)については、スマートフォンやタブレット端末に対応したレスポンシブ・デザイン化を実施した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

**『おはよう関西』 G 月～金 7:45～ 8:00**

第1回93.4.3／近畿ブロック／朝一番に知りたくなる関西のニュースや気象情報を伝える番組。今朝一番のニュースや天気、経済、教育、行政問題など、視聴者が知りたいさまざまなテーマ、関西の今を深く掘り下げたりポートを届けた。

**『ウイークエンド関西』 G 土 7:30～ 8:00**

第1回92.4.11／近畿ブロック／土曜の朝、週末に向けての関西各地のさまざまな情報を伝える番組。視聴者が撮影した季節の映像の中から、とておきの映像を紹介する“旬だより”，週末のお出かけの参考になる関西各地の催しの情報や気象情報などを伝えた。

## 『ぐるっと関西 おひるまえ』 G

月～金 11:30～12:00

土 11:20～12:00

第1回03.4.3／近畿ブロック／関西2府4県の各局を結んで届ける情報番組。月曜から木曜は、関西地方各局の女性キャスターが参加し、日替わりでスタジオにも登場。金曜は、関西各地の“ご当地ゆるキャラ”がスタジオにやってくる「ゆるバラ」、週末の日帰りお出かけ情報「コレいく？」などのコーナーで、週末気分をゆるーく演出。土曜は、“いまだから話を聞きたい”各界の大物ゲストをスタジオに招き、週末昼のくつろいだミュージシャンによる、スタジオ生ライブも発信した。

## 『あほやねん！すきやねん！』 G

月～金 17:05～17:57

第1回08.3.31／近畿ブロック／10～20代を応援する情報バラエティー。5年目は学校に“行く”，学生と“つながる”，学生と“つくる”をモットーに掲げ、これまで以上に学生たちに親しみやすい番組を目指した。目玉は、アナウンサー志望の大学生が週2回ほど日替わりで担当するMC。12年度は、ホームページへの投稿や携帯投票に加え、ツイッターも導入した。BKプラザスタジオからの公開生放送。

## 『ニューステラス関西』 G

月～金 18:30～18:59

第1回08.3.31／大阪単（一部、近畿ブロック）／大阪をはじめ関西のニュースを“より早く、より深く、より身近に”伝える夕方のニュース番組。「人に寄り添い、出来事の本質に迫る」ニュースリポートを毎日放送。40分からの「関西Focus&Sports」コーナーでは関西全域に向け、最新のスポーツ情報を伝えた。このほか街のトレンドや旬の食材を伝える中継や、気象予報士ならではの解説など、暮らしに役立つ情報を豊富に伝えた。（『ニュース610京いちにち』（京都）、『ニュースKOBE発』（神戸）、『あすのWA！』（和歌山）、『ならナビ』（奈良）、『おうみ発610』（大津））

## 『関西845』 G 月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1／近畿ブロック／関西の1日をコンパクトにまとめたニュース。京都局は『京都ニュース845』、神戸局は『兵庫ニュース845』、奈良局は『なら845』、大津局は『おうみ845』、和歌山局は一部県域で放送。

## 『もういちど“カーネーション』 新 G

木 12:20～12:43

第1回12.4.5／近畿ブロック／11年度後期に放送し、好評を博した大阪局制作の『連続テレビ小

説』「カーネーション」の1週間ダイジェスト版を、近畿ブロックに向けて再び放送した。（全25回）

『上方落語の会』 G 金 15:15～15:58<sup>はなし</sup>

第1回11.4.20／近畿ブロック／旬の若手の漸家から、ベテラン漸家、そして上方落語会を代表する重鎮の落語家まで、多彩な出演者がとっておきのネタを披露。バラエティー豊かな内容で上方落語の魅力を届けた。

## 『かんさい熱視線』 G 金 19:30～19:55

第1回08.4.4／近畿ブロック／“関西でいま何が起きているのか”を見つめる情報番組。12年度も関西で起きている問題に鋭く迫り、視聴者の「知りたい」に応えた。一本一本丁寧に取材し、番組名の通り、熱く伝えた。

## 『ええトコ』 新 G 金 20:00～20:43

第1回12.4.13／近畿ブロック／関西のええトコに旅し、ええトコを見つける新番組。紀行あり、歴史あり、うまいものあり、関西ならではのおもろい人の魅力も満載、さまざまな演出で関西の魅力をたっぷり紹介した。

## 『ふたりは最高！大阪SHOWTIME』 新 G

金 20:00～20:43

第1回12.4.27／豪華なゲスト歌手と日本を代表する吹奏楽団・大阪市音楽団の演奏で届ける大阪発の歌謡ステージ番組。毎回、演歌から歌謡曲、ポップス、洋楽に至るまで幅広いジャンルの名曲をたっぷり楽しんでもらった。（年6本）

## 『やまとの中宝』 G 土 11:15～11:20

第1回10.4.10／近畿ブロック／奈良県にある国宝の魅力を、宝物を守る人々の談話を交えて紹介したミニ番組。放送時間を土曜午前に移設。

## 『西方笑土』 G 日 13:50～14:34

第1回11.4.20／近畿ブロック／大阪を中心とした「西の笑い」を、若手芸人による漫才「トップギアライブ」、クセのあるコントとミニドラマが同時進行する「踊るカマドウマ」、人気漫才師などがロングサイズの漫才をたっぷり演じる「上方漫才師列伝」の3つの切り口で届けた。

## 『ビジネス新伝説 ルソンの壺』 G

日 7:45～8:10

第1回07.4.8／近畿ブロック／独自の発想や着眼でビジネスチャンスを生みだした企業にスポットを当て、停滞した経済を活性化させるヒントを探る。人気お笑い芸人や演出家などさまざまな分野で活躍する関西ゆかりのナビゲーターが取材し、独自の視点で企業の強さ、ビジネスのツボに迫った。11年度から、津局でも放送開始。10年度から字幕放送。

**『まるかじり！アジアン食堂』 G**

(月1回程度) 日 7:45~ 8:10

第1回10.10.29／近畿ブロック／大好評のアジアン食堂が営業時間を変更してリニューアル。関西で活躍するアジアの人々にスポットを当て、彼らの思い出がいっぱい詰まった自慢のごちそう“ソウルフード”と一緒に食べながら、故郷の食文化や日本への思い、人生の夢まで語り合う。アジア各地の最新情報を詰め込みながら、食文化豊かな関西の魅力をたっぷり発信した。原則最終日曜に、年間8本放送。

**『関西ラジオワイド』 R1**

月～金 16:05~18:00

第1回00.4.3／近畿ブロック／楽しく聴ける情報満載の安心ラジオを目指し、関西のニュースと地域に密着した生活情報・文化情報をキャスターの楽しいおしゃべりと音楽を交えながら伝えた。2時間の生ワイド番組。

**『FMサウンドポケット なみはな』 FM**

月～金 18:00~18:50

第1回09.3.30／近畿ブロック／リスナーからのメッセージやリクエスト中心のFMエンターテインメント番組。J-POPなど曜日でジャンル分けするほか、毎週テーマを設けて、聴取者の思い出の曲を寄せてもらう「私のオールディーズ」も好評。ホームページも充実し、幅広い世代のリクエストに応えた。

**(2) 主な特集番組****『ロンドン五輪直前 全力応援！かんさい』 G**

7.13

ロンドン五輪を1か月前にして、サッカー女子の「なでしこ」をはじめ、関西ゆかりの注目選手や見どころを紹介した。

**『三枝（文枝）の落語創世記』 G**

7.14, 1. 5, 2. 9

桂三枝（文枝※7月～）とゲストの創作落語をたっぷり届けた。1回目のゲストは、立川志の輔。2回目は、月亭八方。3回目は、春風亭小朝。

**『かんさい特集・夏 “君が代条例”の波紋』 G**

8.15

学校の教職員に対して君が代の起立斉唱を義務付けた大阪の「君が代条例」。条例の制定によって、教育現場はどのように変わったのか、歴史を振り返りながら考えた。

**『パパとママがほしい～大阪・乳児院の日々』 G**

8.23

大阪の乳児院に密着し、子どもたちに家族を見つける糸口を探った。“子どもを守れ！キャンペーン” 関連番組。

“漫才夏祭り2012” G 8.24

ベテランから若手まで、いま一番おもしろい関西の漫才が大集合。司会は、西川きよし・月亭八方。

**『ダンスで心の復興を～南三陸と京都・悩める子どもの第一歩』 G**

8.24

東日本大震災で傷ついた東北の子どもたちがダンスを通じて、閉ざしていた心を開いていく変化と、そのそばで寄り添おうとする京都の子どもたちの姿を見つめた。“子どもを守れ！キャンペーン” 関連番組。

**『おめでとう 大阪桐蔭～甲子園 春夏連覇』 G**

8.24

史上7校目の春夏連覇を達成した大阪桐蔭高校の軌跡を伝えた。

**『桂三枝のすべて～六代桂文枝襲名』 G**

9.17

桂三枝～六代桂文枝のすべてを届ける3時間の特別番組。笑福亭鶴瓶や明石家さんま他多数出演。

**『まもなくスタート！連続テレビ小説「純と愛」スペシャル』 G**

9.29

10月1日からスタートする『連続テレビ小説』「純と愛」の見どころをたっぷり紹介。BKプラザから公開生放送。

**『あほ！すき！学園祭スペシャル2012』 G**

11. 4

BKプラザスタジオと、大阪大学&近畿大学の各学園祭会場を生中継で結び、どちらの学園祭がおもしろいか視聴者が判定した（携帯・スマートフォン）。

**『虐待、どう減らしますか～アメリカから探る虐待対策』 G**

11.22

今、虐待相談は年間6万件。虐待をどう減らせばいいのか？最先端の治療や予防活動で虐待を減らしているアメリカから探った。“子どもを守れ！キャンペーン” 関連番組。

**『子育てガンバロ！コメディー』 G**

11.23

“笑ってスッキリ！子育ての悩み”をテーマにした子育て応援コメディー。よしもと新喜劇のメンバーと、NHKのストレッチマンやまゆお姉さんも出演。“子どもを守れ！キャンペーン” 関連番組。

**『ええトコスペシャル ふるさと再発見！あなたのええトコ in 大阪』 G**

12.21

視聴者から“あなたのええトコ”的写真を募集。写真で教えてくれる“ええトコ”をリポーターが訪ね、知られざる大阪の魅力を紹介。810プロジェクト関連企画。

- 『漫才祭り2013』 G 2.11  
 漫才の祭典。ベテランから若手まで、いま一番面白い漫才が勢ぞろい！「恋のほんちシート」など懐かしの漫才も紹介。
- 『笑福亭仁鶴と訪ねる 大阪の笑い100年・完全版』 G 2.23  
 懐かしの貴重映像で振り返る大阪100年の笑いと社会現象。案内役は笑福亭仁鶴。
- 『第43回NHK上方漫才コンテスト』 G 3. 1  
 厳しい予選を勝ち抜いた6組のいま一番面白い芸人が頂点を目指して勝負ネタを披露し、ウーマンラッシュアワーが優勝した。NHK大阪ホールからの生放送。
- 『センバツ直前 甲子園でやったるで！期待の関西6チーム』 G 3.20  
 第85回選抜高校野球大会に、関西から出場する6校の戦力や見どころをたっぷり紹介した。
- 『泣き笑い 僕たちと先生の就職活動』 G 3.25  
 就職を控えた大阪府立西成高校3年生と、彼らを支える教師の奮闘の1年間を追った。“子どもを守れ！キャンペーン”関連番組。
- (3) 主な府県域番組  
 [京都局]  
 『J2リーグ「京都サンガ」対「モンテディオ山形」、「京都サンガ」対「FC岐阜」、「京都サンガ」対「ヴァンフォーレ甲府」、「京都サンガ」対「大分トリニータ」、「京都サンガ」対「ヴィッセル神戸』 G  
 京都府 6. 9, 京都府 10.21, 京都府 11.11, 京都府・大分県 11.18, 京都府・兵庫県 3.20  
 『bjリーグ「京都ハンナリーズ」対「大阪エヴェッサ』 G 京都府域 2.23  
 『NHK朗読ひろば in 京都』 FM 京都府域 9.29  
 『戦争を考えるのってかっこ悪くない！！！～学生とともに考える戦争』 FM 京都府域 1.20  
 〈開局80周年関連番組〉  
 『京都思い出散歩 あのころへ』 G 京都府域 月2本を基本に放送 年間22本  
 『京都スペシャル～新日本紀行ふたたび』 G 京都府域 5. 3  
 『陰翳礼讃～谷崎潤一郎の見た京都』 G 京都府域 6.24  
 『京都スペシャル～知られざる巨人～動物行動学者・日高敏隆』 G 京都府域 6.24  
 『京都スペシャル～都大路は世界に通ず』 G

- 京都府域 7.26  
 『京都のこれから』 G 京都府域 10. 6  
 『京都スペシャル～世界遺産条約採択40周年記念～未来への叡智みつめて～京都からの提言』 G 京都府域 11.10  
 『京都スペシャル～今甦る方丈記のメッセージ』 G 京都府域 11.29  
 『京都スペシャル～竹内栖鳳～日本画に革命を起こした男』 G 京都府域 3.17  
 『青春替え歌ショー～ロバミミ』 G 京都府域 3.30  
 [神戸局]  
 『Jリーグ「ヴィッセル神戸」対「柏レイソル」、「サンフレッチェ広島」対「ヴィッセル神戸』 G 兵庫県域 4.21, 兵庫・広島県域 5.19  
 『兵庫特集～新・兵庫史を歩く～第22回KOBE発清盛の平安へ～神戸市』 G 兵庫県域 6.21  
 『兵庫のうまいもん紀行』 春・夏編～原木しいたけ・沼島のアジ・播州百日どり』 G 兵庫県域 8.31, 9. 7, 28, 11.11  
 『清盛★アコースティックライブ』 FM 兵庫県域 10. 7  
 『なでしこリーグ「INAC神戸」対「日テレヴェレーザ』 G 兵庫県域 11.11, 近畿ブロック（除く神戸）11.12  
 『兵庫特集～新・兵庫史を歩く～天空の城 古の栄華をたずねて～朝来市』 G 兵庫県域 11.29  
 『ひょうご安全の日～1.17のつどい』 G2 兵庫県域 1.17  
 [和歌山局]  
 『紀の国スペシャル～いのち照らす大松明～水害から10か月・那智の火祭』 G 和歌山県域 8.13  
 『あの日の和歌山～夏の風景より』 G 和歌山県域 8.13  
 『紀の国スペシャル～犠牲者“ゼロ”をめざして～巨大津波を生き抜く授業』 G 和歌山県域 11.29  
 『紀の国スペシャル～私たちがふるさとを守る～釜石で過ごした3日間』 G 和歌山県域 2. 9  
 『和歌山発ラジオドラマ～わたしの稻むらの火』 FM 和歌山県域 4.30  
 『紀南は元気！コンサート』 FM 和歌山県域 10.15～17

『ゴスペル・ニューイヤーライブ』 FM  
和歌山県域 2. 4

〔奈良局〕

『奈良特集～解脱上人 貞慶』 G  
奈良県域 5.17

『奈良特集～こころの風景を旅して～松坂慶子が  
行く 奈良 万葉の道』 G 奈良県域 10.20

『奈良特集～古事記を描く～画家・絹谷幸二が挑  
む神話の世界』 G 奈良県域 10.27

『奈良特集～SONGS FOR KIDS～NHK奈良兒  
童合唱団とめくる歌のアルバム』 G  
奈良県域 2. 9

『ラジオ特集～“防災知恵袋”スペシャル』  
FM 奈良県域 2.23

〔大津局〕

『クイズで知るびわ湖』 G 滋賀県域 4. 8  
『文珍・南光のおでかけ演芸会～高島市』 G  
滋賀県域 6.23, 7. 7

『おうみ発スペシャル～原発～滋賀はどう向き合  
うべきか』 G 滋賀県域 7. 5

『ショートドラマ～石坂線物語』 G  
滋賀県域 9.21, 12. 7, 3.15

『文珍・南光のおでかけ演芸会～彦根市』 G  
滋賀県域 12.25, 1.10

『おうみ i』 FM 滋賀県域 (毎月最終) 金  
『まるごと体験！上方落語(前・後)』 FM  
滋賀県域 7.14, 21

『滋賀防災ラジオ2012～ラジオのチカラ』  
FM 滋賀県域 9. 1

滋賀県ラジオ局共同特別番組『防災ラジオ滋賀  
2013～地震災害から身を守る』 FM  
滋賀県域 2.11

〔各局共通〕

『NHKのど自慢予選会』 G  
「京都府」(12.20), 「兵庫県」(7.18, 24), 「和  
歌山県」(10.4), 「滋賀県」(3.17)  
※「大阪府」「奈良県」は放送なし。

『天皇杯サッカー・各府県代表決定戦』 G  
大阪・京都・和歌山・神戸・大津 8.26  
奈良 8.25

『第79回NHK全国学校音楽コンクール・各府県  
コンクール』

大阪府域	FM / 8.27~29
京都府域	FM / 8.27~29
兵庫県域	FM / 8.27~29
和歌山県域	G / 8.29, 9. 2, FM / 8.27~28
奈良県域	G / 8.29~31, FM / 8.28~29
滋賀県域	G / 8.27~28, 9. 2, FM / 8.27~28

### 3. スポーツ中継

全国放送では、プロ野球、社会人野球、Jリーグ、天皇杯サッカー、センバツ高校野球・全国高校野球選手権、全国高校駅伝、全国女子駅伝、びわこ毎日マラソン、大相撲春場所、競馬、Vリーグ、WJBL、大学ラグビー、学生柔道、甲子園ボウルなどをテレビ・ラジオで中継した。

地域放送では、広島で行われる織田記念陸上に関西ゆかりのトップアスリートが出場し、インターローカルで伝えた。以下、地域放送実績。

#### (1) 高校野球

第94回全国高校野球選手権大会

〈県域放送〉

大阪大会	準決勝	G・R1 / 7.28
	決勝	G・R1 / 7.29
京都大会	4回戦～準決勝	
		FM / 7.19, 22~23, 25
	決勝	G・FM / 7.26
兵庫大会	準々決勝～準決勝	FM / 7.25~27
	決勝	G / 7.28
和歌山大会	準決勝	FM / 7.27
	決勝	G / 7.28
奈良大会	準々決勝	FM / 7.25~26
	準決勝	G・FM / 7.28
	決勝	G / 7.29
滋賀大会	準決勝	FM / 7.27
	決勝	E / 7.28

第56回全国高校軟式野球選手権大会 決勝

R1近畿・東海ブロック・熊本単 / 8.29

秋季近畿地区高校野球大会

〈近畿ブロック放送〉

準々決勝	R1 / 10.27, 29
準決勝	R1 / 11. 3
決勝	R1 / 11. 4

〈県域放送〉

京都大会	準決勝・決勝	FM / 10. 6 ~ 7
兵庫大会	準決勝・決勝	FM / 10. 7, 13
滋賀大会	準決勝	FM / 10. 8
奈良大会	準決勝・決勝	FM / 10. 8, 13

#### (2) プロ野球

〈近畿ブロック独自編成〉

「オリックス」対「楽天」	G / 4. 7
「阪神」対「DeNA」	G / 6.22

「オリックス」対「日本ハム」	G / 9. 8
「阪神」対「DeNA」	G / 9.17

※マルチ編成サブチャンネルで放送

「オリックス」対「巨人」	R1 / 3.14
--------------	-----------

**(3) Jリーグ・天皇杯サッカー**

〈近畿ブロック放送〉

J1「C大阪」対「神戸」 G／ 5. 6

J1「C大阪」対「新潟」 G／ 3. 2

〈県域放送〉

J1「神戸」対「柏」 G神戸／ 4.21

J1「神戸」対「広島」 G神戸・広島／ 5.19

J2「京都」対「山形」 G京都／ 6. 9

J2「京都」対「岐阜」 G京都／10.21

J2「京都」対「甲府」 G京都／11.11

J2「京都」対「大分」 G京都／11.18

J2「京都」対「神戸」 G京都・神戸／ 3.20

天皇杯サッカー各府県代表決定戦

第17回和歌山県サッカー選手権大会

G和歌山単／ 8.26

第17回サッカー奈良県選手権大会

G奈良単／ 8.25

第17回大阪サッカー選手権大会

G大阪単／ 8.26

第17回京都サッカー選手権

G京都単／ 8.26

第15回兵庫県サッカー選手権

G神戸単／ 8.26

第17回滋賀県代表決定戦

G大津単／ 8.26

**(4) その他のスポーツ**

なでしこリーグ「神戸」対「日テレ」

G神戸単・近畿ブロック／11.11

第41回関西学生サッカー選手権 決勝

「関西大」対「大体大」

E近畿ブロック／ 6. 2

関西大学ラグビー

「関西学院」対「同志社」

E近畿ブロック／10.14

関西学生アメリカンフットボール

「関西学院」対「立命館」

E近畿ブロック／11.25

プロバスケットボール bjリーグ

Gサブ大阪／12. 2

「大阪」対「福岡」

Gサブ大阪／ 2.17

「大阪」対「浜松」

G滋賀・京都／12.16

「大津」対「京都」

G京都・松江／11.27

「京都」対「大阪」

G京都・神戸／ 2.23

(特集番組)

ロンドン五輪直前特番

「ロンドン五輪直前～全力応援！かんさい」

G

近畿ブロック／ 7.13

選抜高校野球開幕特番

「2012センバツ開幕直前～甲子園で輝け！関西

勢」 G

近畿ブロック／ 3.18

高校野球全国優勝特番

「おめでとう大阪桐蔭～甲子園春夏連覇」 G

近畿ブロック／ 8.24

## II. 技 術

### 1. 番組制作

デジタル一眼レフカメラを用いた新たな映像表現やツイッターを利用した双方向番組開発など、新たな技術を用いた質の高い番組制作と地域サービスの充実、また、迅速・的確な緊急報道など視聴者第一主義の番組制作に取り組んだ。

#### (1) ドラマ番組

『連続テレビ小説～純と愛』は人気脚本家が描く新感覚の家族ドラマを、独自のカメラ調整を行った映像で表現し、好評を得た。

『高橋留美子劇場』は全編をデジタルシネマカメラで撮影し、高橋留美子の原作が持つ独特な世界観を奥行きを生かした高画質な映像で表現した。

『猿飛三世』では、映画系のアクション監督に対して、アイデアとさまざまな特殊機材を駆使した多彩な映像アングルを提供し、かつて無いティストのアクション時代劇に仕上げた。

#### (2) 一般番組

NHK大阪ホールでの公開番組『わが心の大坂メロディー』『ふたりは最高！大阪SHOW TIME』『西方笑土』などの音楽芸能番組や、『歴史秘話ヒストリア』『生活笑百科』『きらっといきる』『まるかじり！アジア食堂』といった番組を大阪から全国に発信し、視聴者から高い評価を得た。

#### (3) スポーツ中継

全国高校駅伝（12月）、女子駅伝（1月）、びわ湖毎日マラソン（3月）において、安定した電波伝搬を実現して高画質のハイビジョン映像と、5.1サラウンド音声による臨場感あふれる放送を行った。このほか、恒例の「春夏・高校野球」や「プロ野球」「サッカー」などの中継放送を実施、スポーツの感動をお茶の間に届けた。

#### (4) 地域番組

独創的な発想で成功を収めている地元中小企業を紹介し、関西経済を元気づける『ビジネス新伝説 ルソンの壺』、地域の社会問題などをホットに伝える『かんさい熱視線』などで、関西ならで

はの地域情報を発信した。このほか、10代の視聴者層に向けた『あほやねん！すきやねん！』など多様な番組を放送した。

### (5) 3-Screens展開

より幅広くNHKとの接触者を増やすため、放送に加えて「インターネット」のサービスを展開した。全国高校駅伝（女子・男子）中継では、データ放送（12セグ、1セグ）、VOD動画配信（PC向け、スマートフォン向け）、高画質動画配信（IPTV向け）でサービスを行い、効率的なコンテンツ制作による3-Screens展開をした。

一方、月曜から金曜まで生放送の『あほやねん！すきやねん！』において、毎日視聴者からのツイートを紹介するとともに、毎週月曜には携帯、スマホからの視聴者投票を行う視聴者参加型の双方向番組を制作した。

### (6) 選挙放送・緊急報道

12月の衆議院選挙は、既成政党に加え新党が多く立ち上がり、全国的に注目される国政選挙となつた。政見・経歴放送では、近畿全小選挙区、比例区について総合テレビ・ラジオ第1放送で、大阪局から近畿域内に送出した。新党の増加によって、総放送時間は、テレビ：26時間45分（前回より5時間44分増）、ラジオ：31時間19分（前回より3時間4分増）と大幅増となったが、いずれも異常なく放送した。開票速報では、本部ならびに域内各局と連携し、深夜に及ぶ放送を開票状況表示を含めミスなく無事送出した。また、データ放送・インターネットでも開票状況をほぼリアルタイムに送出した。なかでも、日本維新の会の選挙本部は大阪に設置されたため、政党中央継リレーでは、地方で初めて大阪から全国発信した。

放送機能強化の取り組みとして、『お元気ですか日本列島』を不定期に4回（5.11、7.6、10.12、1.25）、大阪から生放送を行った。東京上空からのヘリコプター中継映像や全国各放送局からの映像を大阪局に直接引き込むなど、訓練要素を組み入れ、関西から的情報発信とともに首都直下地震発災時の大坂局バックアップ機能の検証を行つた。

「JR福知山線脱線事故から7年」「阪神・淡路大震災から18年」を全国発信するとともに、「夏季電力会社の計画停電および電力逼迫情報」「京都・自動車暴走事故」「尼崎殺人・死体遺棄事件」

「いじめ・体罰問題」など全国から注目の近畿発のニュースを、ヘリコプターやCSKなど取材伝送機材を駆使し、いち早く着実に伝えた。

ローカルニュースでの生字幕システムを、本部

以外で初めて整備し、3月11日から『関西845ニュース』で字幕放送を開始した。

## 2. 視聴者とのふれあい（CS活動）

CS活動として、5月および11月の「BKワンダーランド」において、「スタジオ公開」や「最新技術展示」を実施し、NHK放送技術の理解促進に努めた。

小学5年生を対象に、放送局の仕事についての理解促進を目的とした「出前授業」には、大阪府内3校6クラス、173人の参加があり、児童・学校側からも大変好評だった。

また、「のど自慢予選会」では域内にも出向き、「時差再生」や「中継車公開」などで視聴者とのふれあい活動を行い、番組に関連する視聴者サービスに努めた。

## 3. 設 備

### (1) 放送網機能強化、地上デジタルネットワークと放送網の安定に向けた取り組み

大規模災害に備えた放送網の非常対策および、「あまねく」の達成に向け、大量に整備した放送設備の安定運用に努めた。また、リパックや送信機2台化などの補完整備を取り進め、ネットワークとシステムの高信頼化を図った。

- ①デジタル中継局の整備により、地形的要因によるローカル放送の難視地域をカバーした。（大阪・箕面千里丘DG、DE：2.28開局、奈良・高取DG：3.27開局）
- ②デジタル混信対策としての送信チャンネル変更による改善リパックを行つた。（和歌山・新宮DG、DE、串本DG、DE、新宮佐野DG、DE）
- ③中継送信機の2台化整備により、地上デジタル放送の安定したサービスを確保した。（大阪・岬深日DG、DEほか4局所）
- ④自家発燃料タンク容量増強により、稼働時間を約2倍（約200時間）とした。（京都・宮津Rほか8局所）
- ⑤放送安定確保のため、現状の有線のみの監視に加え、無線との併用による回線冗長化を図つた。（和歌山・木ノ本TV）
- ⑥放送電波の安定確保のため、全てのFM中継局にBF装置を整備した。（神戸・波賀FMほか6局所）
- ⑦首都圏における非常災害時のBSデジタル放送確保のため、BSデジタル大阪副局のアップリンク設備を更新した。
- ⑧老朽化（1969年建設）した羽曳野Rの150m鉄

塔支線を更新した。

- ⑨全国一斉（5年毎）の固定局再免許申請を完了した（近畿76局）。

## （2）NHK共聴の安定運用に向けた取り組み

完全デジタル化後のNHK共聴の安定運用に向けて、12年度は施設老朽に伴う大規模改修（光化）17施設、小規模改修（部分補修）を38施設について取り組んだ。

また、放送網機能強化関連整備のバックアップ用UPS整備を9施設、アナログ施設撤去を94施設について行った。

加えて、地上デジタル放送導入後にフェージングによるデジタル混信が発生していた京都府伊根町の5施設について、3か年に及ぶ対策計画を策定し、国庫助成手続きを行いながら、初年度の整備工事を完了させた。

施設運用上の弱点排除に向けて、雷害に対する高速避雷器や雪害に対する融雪アンテナなど、改善研究案件にも取り組み、人材育成を推進した。

## （3）番組制作・送出設備の整備

老朽化した和歌山局、奈良局、大津局のスタジオ照明設備更新に合わせてLED照明器具を導入し、消費電力の抑制を図った。大阪R-3スタジオを更新し、安定運用を図った。

大阪局にリアルタイムでの音声認識によるニュース字幕設備を整備し、ニュース番組での生字幕放送を実現した。また、ニュース動画配信設備の整備を行い、近畿各局で制作したニュースコンテンツのネット配信を開始した。

## （4）災害・緊急報道対応設備の整備

紀伊半島での重要な伝送拠点である護摩壇FPU基地局にヘリ自動追尾装置の整備を行った。緊急報道時におけるヘリ取材伝送対応の安定的な運用を可能とした。

局外に設置している天気カメラのハイビジョン化更新を行った。12年度は、阪神百貨店、大阪会館南、堺市役所、舞鶴五郎、近鉄奈良駅前、嵐山の整備を実施した。また、田辺と南あわじに新たに簡易ロボカメを設置し、南海トラフに端を発する地震や津波発生時の緊急報道に備えた。

## 4. 送受信技術

### （1）視聴者の視点に立った地上デジタル放送への対応と良好な受信環境の確保

近畿広域地上デジタル放送推進協議会（以下、近畿協議会）の一員として、「地上デジタル放送難視地区対策計画」に登録されている難視地区の対策計画策定に取り組んだ結果、衛星による暫定

受信対策（衛星セーフティネット）世帯のうち恒久対策が困難となった世帯は、13年3月末時点で近畿で約230世帯となっている。

また、和歌山県新宮、新宮佐野、串本のデジタル混信対策としての周波数リパックを近畿協議会として地元自治会、総務省テレビ受信者支援センター（以下、デジサポ）等と連携して円滑なチャネル移行を推進、約1,000世帯のデジタル混信を解消した。

## （2）衛星セーフティネット終了に向けた取り組み

15年3月末で終了する衛星セーフティネットの恒久対策を、近畿協議会、デジサポ等と連携して推進した。その結果、近畿の必要対策世帯数は13年3月末時点で約2,100世帯となっている。

## （3）ケーブル移行支援策等への取り組み

NHK共聴の施設のケーブルテレビ移行に伴う助成は11年度で終了したが、引き続き自主共聴のデジタル化、新設に対して助成を行っている。近畿域内の12年度実績は15施設で約3,000世帯となった。

## （4）VHF帯周波数移行対応

デジタル完全移行により跡地となったVHF帯の利用について近畿V-Low実証実験協議会、ジャパンモバイルキャスティングと総務省近畿総合通信局、在阪民放等と連携して隣接混信に関する実験等を実施し、引き続き安定した受信環境の維持に取り組んでいる。

## III. 視聴者

### 1. イベント事業

12年度近畿ブロックでは、309件のイベントを実施。視聴者サービスの充実と視聴者結び付きの強化に努めた結果、参加者は143万6,610人となった。

大阪局では、後期の『連続テレビ小説』「純と愛」と連動して、大阪局はもとよりドラマの舞台である大正区や沖縄でも、ファンミーティング等の関連イベントをこれまでにない規模で開催。2年目となる「子どもを守れ！」キャンペーンでは、NHK大阪ホールで「子育てガンバロ！コメディー」(11.4)を実施した。また、「プロジェクト810」の取り組みのひとつとして、営業重点地域である大阪府北部の“彩都エリア”で、NHK大阪ふれあい広場「ええトコ in 彩都」を実施した。

## (1) 全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『それいけ！民謡うた祭り』『ザ少年俱楽部』『わが心の大坂メロディー』『上方演芸会』など76本をNHK大阪ホールと近畿各地で実施した。

## (2) 展覧会

「NHK大河ドラマ50年特別展『平清盛』」(2.25~4.8, 神戸市立博物館, 6.16~7.17, 京都文化博物館), 「王朝文化の華 陽明文庫名宝展」(4.17~5.27, 京都国立博物館), 「古事記1300年 出雲大社大遷宮『大出雲展』」(7.28~9.9, 京都国立博物館), 「近代洋画の開拓者『高橋由一』展」(9.7~10.21, 京都国立近代美術館), 「エル・グレコ展」(10.16~12.24, 国立国際美術館), 「特別展『中国 王朝の至宝』」(25.2.2~4.7, 神戸市立博物館), 「第59回日本伝統工芸展」(10.10~15, 高島屋京都店, 10.17~22, JR大阪三越伊勢丹)などを実施した。

## (3) 教育・子どもイベント

「第59回NHK全国高校放送コンテスト府県大会」「第29回NHK杯全国中学校放送コンテスト府県大会」「第79回NHK全国学校音楽コンクール府県コンクール」「同ブロックコンクール」を6月から9月に、「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を年間を通じて近畿各府県で実施したほか、「NHK朗読ひろば」(11.21, 大阪府豊中市立東丘小学校), 「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(12.21~24, NHK大阪ホール)などを実施した。

## 2. 営業

### (1) 全体状況

12年度の近畿ブロック受信契約の増加数は5万4,000件、衛星増加は12万1,000件を確保。11年度に比べ総数増加については、2,500件の増加となったが、衛星増加については、11年度を上回ることはできなかった。

### (2) 受信料の公平負担に向けた取り組み

12年度活動は、3か年経営計画の初年度「支払い、収納率の向上」「営業経費の抑制」に貢献するため、訪問要員の効果的・効率的な運用に向けて、地域スタッフの生産性・品質の向上、法人委託のさらなる開発と育成強化による委託地域拡大への取り組みを推進し、ブロック全体で3年連続となる全営業諸目標を達成することができた。

また、困難事業所、ホテル・旅館等の契約適正化に向けた取り組み強化にも努め、事業所増加1万7,000件を確保。営業収納額については、12年

10月からの受信料値下げの影響もあったが、946億6,000万円を確保。

さらに、民事手続きによる支払督促を計画的に推進するため、大阪放送局受信料特別対策センターの機能強化を図り、民事手続き業務をブロック内で原則完結できる体制を構築し、公平負担の徹底に努めている。

引き続き、地域スタッフの少数精銳化と法人委託拡大による業績確保体制を継続。業務品質向上に向けた法人委託の育成強化を図り地域スタッフと法人委託の二元体制の更なる構築を推進する。

## 3. 広報

### 〔大阪局〕

#### ① 経営広報・番組広報

毎月1回、関西放送記者会加盟18社を対象に局長定例会見を開催し、大阪局および域内局の放送を中心とした幅広い事業内容について広報した。

番組広報では、大阪局制作の『連続テレビ小説』『純と愛』について「純と愛委員会」を発足させ全局体制でPRに取り組んだ。

新たな試みとして、ロケで使用した大阪市の市バス（路線バス）の車体に主人公の写真を貼付したラッピングバスを12年9月24日から13年3月24日まで、大阪駅と大阪港周辺の間で運行させた。

また、大阪局で12月28日と13年3月9日の2回「ファンミーティング」を開催した。

ドラマの舞台となった大正区では、9月8日と9日に開かれた「与那原大綱引き・エイサー祭」にPRブースを出し、トークショーを行った。また、10月6日放送の『土曜スタジオパーク』は、大正区から中継し、地元の商店街などを紹介した。

さらに、宮古島ロケ風景や大阪市ロケ風景の写真パネル展を大正区役所で実施した。(12.11.1~13.5.31)

『純と愛』の関西の期間平均の視聴率は、17.1%であった。

『純と愛』のPR用のグッズ（独自ポスター、うちわ、クリアファイル、タオル、キーホルダー、旗、飴）を作成し、イベントを盛り上げた。

このほか、『上方漫才コンテスト』(3.1), 『BSプレミアムドラマ』『ただいまかあさん』(2.24), 『BS時代劇』『猿飛三世』(10.5~11.23)の取材会や試写会を実施するなど、関西地域の番組と大阪局制作の番組PRに努めた。

#### ② 視聴者広報

視聴者向けのイベントとして、アトリウムを会場に夏休み恒例の「BKなつ祭り」を開催し、「ば

くの絵わたしの絵」展を実施した（8.17～26）。

また、『連続テレビ小説』「純と愛」終盤の3月には、「純と愛祭り」を開催した（3.8～17）。セット公開と小道具の展示を行ったほか、ドラマ『猿飛三世』関連の展示と催しや、子どもを守れキャンペーンの一環として一般から公募した写真を展示する「いちおしキッズ☆フォト写真展」を併せて実施し、会期中に、およそ2万2,000人の来場者があった。

局外イベントでは、大阪市が主催する「あきない祭り」などに参加し、直接視聴者とふれあいながら、番組PRや接触率向上につながる、視聴者広報を実施した。

大阪局見学コース「BKプラザ」には、12年度1年間に30万8,000人余りが訪れ、01年11月の開館以後の来館者の累計は473万人に達した。見学コース9階には、大阪局屋上から眺望する360度のパノラマ映像を撮影し、見学者が専用のパソコンで見ることのできる「スカイビュー」を新設した。

公開番組スタジオ「BKプラザスタジオ」では「あなたもキャスター 君もカメラマン」（体験見学）や「3Dハイビジョン映像体験」などを定期的に開催したほか、イベントに合わせて絵本の読み聞かせを行うなど、家族連れや子どもたちが楽しめる催しを開催した。

特別見学では、関西27大学の放送人を目指す学生が組織する「関西学生放送連盟」から30人が訪れ、NHK担当者と番組制作や緊急報道などについて懇談を行った。職場体験学習は、大阪市の中学校を中心に31校から116人が参加し、リポートや撮影・音声など番組制作の基礎について学習した。

12年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は、電話・手紙・来局・メールなど合わせて11万7,000件余りだった。

#### 〔京都局〕

開局80周年を迎えた京都局では「ひろがる絆つながる未来」をテーマに、放送やイベント等を通じて記念事業を効果的に展開した。『ニュース610京いちにち』に開局80周年記念コーナーを設け、京都の懐かしい映像を紹介する「京都いまむかし」や、京都在住の著名人の人生を支えた言葉を紹介する「私を支えたことば」、職人の手技に迫る「名匠のてのひら」「おでかけライブ」など多彩なラインナップで編成した。

イベントでは6月24日の開局記念日に合わせて「カラスマOK？」を開催した。若者対策を意識

した内容で大学生が制作したラジオの公開放送や若物向けのアトラクションなどツイッターとの連動も図り、多くの若者たちに参加してもらった。

年度末には開局80周年記念イベントの締めくくりとして「春の感謝祭」（会館公開）を実施し、ドラマのご当地として関心が高い『大河ドラマ』「八重の桜」のトークショーやセット公開・カメラ体験や開局から80年を振り返るパネル展と新放送会館の紹介など盛りだくさんの内容で地域の皆さんに楽しんでもらった。

これらについては80周年記念事業特設ホームページを設けて掲載するとともに、「80周年のあゆみ」「番組アーカイブス」など独自コンテンツを展開した。

また、フォロワーが1万3,000件を上回ったツイッターも最大限に利用して80周年記念を盛り上げた。

#### 〔神戸局〕

「JR福知山線脱線事故から7年」「阪神・淡路大震災から18年」など、兵庫県が抱える課題を掘り下げて取材し、地域放送で重点的に伝えながら、ブロック放送や全国放送へも幅広く発信した。

また、12月の衆議院議員選挙では、民主党と自民党のほかに日本維新の会を筆頭とした第3極が加わって混沌とした情勢のなかで、12区ある選挙区の開票速報を迅速・的確に放送した。

#### 『ニュースKOBE発～我が町ケーブルテレビ』

『神戸新聞共同企画～ミニ番組・兵庫うまいもん紀行』など地元マスコミやケーブルテレビと協力しながら、きめ細かな地域の情報を発信した。

また、県内の話題をくまなく伝えるべく、『ニュースKOBE発～ふるさとキャラバン（作用町、上郡町、宍粟市）』『新兵庫史を歩く～神戸市・朝来市』の実施や、『ニュースKOBE発～兵庫ぶらり旅（県下各地）』などの放送・イベントの編成により、情報発信を強化し、地域に根ざす神戸局の存在感を高めた。

「いのちを守る放送局」として、阪神・淡路大震災の教訓を引き継ぎ、被災者の思いや、東日本大震災へ生かす取り組みなどを伝えるために、「震災いのちのきずな」やニュース企画などを、年間を通して発信した。また、震災の日を中心に、『おはよう日本』や「ひょうご安全の日1.17のつどい」の中継をはじめ、『NHKスペシャル～都市機能が麻痺するとき～阪神・淡路大震災からの警告』『かんさい熱視線～終わらない震災～阪神・淡路大震災18年の遺族』などを制作し、ブロック放送や全国放送へ発信した。

9月29日に発生した姫路市の日本触媒化学工場の爆発事故や、10月に行方不明者の遺体が次々と発見された尼崎連続死体遺棄事件などの事件・事故に対しては緻密な取材を重ねてニュースで放送したほか、『かんさい熱視線～なぜ被害が拡大したのか～検証・姫路工場爆発』や、『クローズアップ現代～“疑似家族”の闇～新証言・尼崎事件』などで掘り下げて解説した。

『大河ドラマ～平清盛』を神戸局でも盛り上げるべく、『ニュースKOBE発』で積極的に取り上げたほか、関連イベント「清盛★Carnival」をFM収録して放送した。また、ドラマの舞台が神戸市に移る9月から10月にかけては、地元の盛り上がりを紹介してドラマの宣伝に繋げる1分スポットを2種類制作して放送した。10月に14年『大河ドラマ』が播磨地方にゆかりの戦国武将・黒田官兵衛を主人公とする「軍師官兵衛」に決定した際には、地元の盛り上がりをニュースで伝えた。

インターネットのコンテンツの充実を図るために、ホームページのトップページへの神戸局制作番組やニュースコーナーの掲載を充実した。

データ放送を使った防災情報伝達の仕組み「公共情報コモンズ」を運用し、兵庫県と連携して年2回の訓練を行った。

#### 〔和歌山局〕

12年度は、11年9月に発生した台風12号による豪雨水害からの復興を応援するため、民放2局と合同で立ち上げた「紀南へ行こう！」キャンペーン関連のCS活動を多く行った。6月には嶋津地区の清掃ボランティアツアーや開催。7月にはキャンペーンをPRするため、和歌山から新宮に向かう特急列車1本を「紀南へ行こう！列車」とし、3局のキャスターが乗り込んでちらしや記念乗車証を配った。また、9月には那智勝浦町の漁港で「紀南は元気！！コンサート」を開催した。

12年度は会館公開に代わって、大阪局1Fアトリウムにて「NHKわかやまカレンダー」フォト・コンテスト入賞作品の写真展と、県や観光連盟の協力を得て全市町村から観光PRポスターとパンフレットの提供を受けた観光PR展を1週間行った。

マスコットキャラクター「わかまる」については、新たにクリアファイルやぬいぐるみストラップを製作し、キャラクターの普及に努めた。また、視聴者の皆さんに自由な発想で「わかまる」をデザインしてもらい、優秀作品を週替わりで『あすのWA！』のスタジオに展示する「わかまるデザインコンテスト」も実施した。

『あすのWA！』では、2組の旅人が週替わりでくじで引き当たる地域を旅する「わびたび」がスタート。旅日記や旅マップをハートプラザに展示するなど人気コーナーとなった。

#### 〔奈良局〕

奈良局は12年9月16日に開局75周年を迎えた。奈良局を身近に感じてもらう取り組みとして毎年実施している会館公開は、9月15日、16日の2日間「NHK奈良 わくわくステーション」と題し、例年よりパワーアップした形で実施した。中でも、

『大河ドラマ』『平清盛』の衣装を着て記念撮影ができるコーナーは、実際に撮影に使用した衣装を着用できるということもあり人気を博した。また、奈良局では、東日本大震災を受けて、日本の精神風土の原点とも言える奈良の豊饒な文化に光を当て、現在と未来を生きる上での指針となる知恵を伝えていく「こころの都」プロジェクトに取り組んできた。この一環として、松坂慶子さんをゲストに、万葉集に詠まれた奈良の魅力をテーマにトークショーを開催した。

奈良局のホームページ「まほろばオンライン」でも「こころの都」特設サイトを開設。「奈良を心の都と思うこと」をテーマに、奈良にゆかりのある著名人からのメッセージを収録した1分間のスポットを県内向けに放送し、ホームページでも動画を配信した。また、ホームページ閲覧者との双方向性の強化を目的に、「こころの都」「防災知恵袋」「番組の疑問解決します！」「防災知恵袋スペシャル」の4コーナーでメールフォームを開設し、視聴者からのメッセージや写真を募集し、ホームページや番組で紹介した。加えて、「ロンドン2012オリンピック」の開催に伴い、奈良県にゆかりのある選手を応援するページを作成、写真やプロフィール、競技のスケジュールを掲載した。また、新たに「奈良県の河川水位・雨量情報」や奈良県のニュースを動画で配信するサービスも始めた。

奈良局のスタジオなどで放送局の仕事を体感してもらう会館見学には、12年度29団体557人の参加があった。

イベントでは、「こころの都」関連で、田原本町で公開番組『ラジオ深夜便のつどい』(12.8)を実施。ほかにも、奈良局独自イベントとして、「SONGS FOR KIDS～NHK奈良児童合唱団とめくる歌のアルバム～」(1.20 奈良市)を実施した。

#### 〔大津局〕

12年度の県域放送『おうみ発610』は、「県民の安心・安全を守る」を「放送局のちから」の目標

の一つに掲げ、各地の防災の取り組みを紹介する「防災ピックアップ」のコーナーを新設するなど、防災や減災に役立つ放送や情報を充実させた。地球環境を映し出す鏡とも言える「びわ湖」をクイズを通して考える「クイズで知るびわ湖」や、湖の多様性を紹介する「びわ湖生き物図鑑」で環境問題を多角的に伝えた。古くから和歌に詠まれてきた近江を訪ねる「おうみ歌紀行」や、旬の伝統食材を紹介する「おうみ食探訪」で豊かな歴史を再発見した。

12年度大津局では、「地域の活性化に貢献する」を「放送局のちから」のもう一つの目標に掲げ、地域の人たちの足として親しまれてきた京阪電車石山坂本線を舞台に、地域ドラマ『石坂線物語』を3本制作して、9月と12月と3月にそれぞれ県域で放送し、地域の視聴者との絆を深めた。

大津局と滋賀県内の民放4局が共同で制作した『防災ラジオ滋賀2012～ラジオのチカラ』を9月に、『防災ラジオ滋賀2013』を2月に県域FM放送で放送し、滋賀県の災害の特徴や避難をするまでの課題、災害時のラジオの重要性を伝えた。

大津局が制作した地域ドラマ『石坂線物語』に連動して、ボランティアエキストラ募集、ドラマのストーリーやロケ地、地元大学生が制作したメッセージムービーなどをホームページで紹介した。また、地域ドラマの上映会やドラマと地域を語る会を、地元まちづくり団体などを対象に開催し、『おうみ発610』で地域ドラマの制作状況や関連イベントを紹介し、番組ポスターを電車内や京阪電車石山坂本線の全駅舎に掲出するなど、多くの県民にアピールする多彩なPR活動を展開した。

## 中 国

- ◇『大河ドラマ』『平清盛』に連動し、平清盛の実像に迫るドキュメンタリーや紀行番組を年間通じて放送。視聴者の关心や地元の期待に応えた。
- ◇被爆から67年が経過し、被爆体験の記録・継承が喫緊の課題となる中、あらゆる世代に向けた多彩な核・平和関連番組を放送。核無き世界の実現を訴えるメッセージを強く発信した。
- ◇東日本大震災の被災地・被災者を支援する動きや中国地方の原発リスク・防災減災の課題を、年間を通じ多角的に伝えた。
- ◇地域の宝を再発見する旅番組『あいたい』を年間10回放送し、さらなる定着を図った。
- ◇5月に広島県福山市で7人が死亡したホテル火災や、9月に山口県の岩国基地で米軍の輸送機オスプレイが国内初の試験飛行をした際には、中継などを交え迅速かつ的確に情報を提供した。
- ◇衆議院選挙では注目選挙区の選挙戦を詳しく伝え、比例代表も含め全国的に見ても速やかな当確を打ち出した。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### 〔広島局〕

金曜夜間を“地域をみつめる時間帯”とし、多彩な番組を編成した。『大河ドラマ』『平清盛』に連動して『平清盛 日宋貿易にかけた夢』(G, 9.7, 中国ブロック)などの関連番組を多彩に放送。清盛関連の話題はニュースでも数多く伝え、ホームページではご当地サイトも展開した。旅番組『あいたい』(G, 中国ブロック)では、中国地方各地の自然や風土・文化の魅力を再発見した。また、地域局競作のオムニバス番組『スリーストーリーズ』(G, 中国ブロック)を新たに開発し放送した。『フェイス』(G, 中国ブロック)では、東日本大震災の被災地・被災者支援の動きを「夏休みをヒロシマで～密着 福島の母子支援」(G, 9.7), 「熱き心 1000キロをこえて」(G, 10.19)などの番組で継続的に取材し伝えた。「原発事故～災害弱者をどう避難させるか」(G, 2.15)では、中国地方の原発リスクへの対応の課題を検証した。地域経済の活性化や中国地方ならではの資源

活用の在り方を深く取材した『フェイス グランデ～里山資本主義』は年間を通じてシリーズ展開した。

夕方6時台の『お好みワイドひろしま』は、県民の関心の高いニュースを分厚く伝えるなど、地域に密着し幅広い話題を取り上げた。視聴者からの身近な疑問に答えるコーナー「あなたの声リポーターです！」を新設、視聴者とのつながりも深めた。

昼前の『ひろもり』では、県内各地の話題や暮らしを豊かにする情報をきめ細かく伝えた。

R1に移設した『ぶち☆なま』は、若者の本音に向き合う双方向番組として若年層との結び付きを深めた。

核・平和関連番組は、『NHKスペシャル』「黒い雨～活（い）かされなかつた被爆者調査』（G, 8.6, 全国）や『「平和」が生まれるとき』（G, 8.16, 中国ブロック）で知られざる事実を掘り起こして伝えたほか、平和の願いを歌に込めた『いのちのうた2012～ヒロシマから明日へのメッセージ』（G, 7.21, 中国ブロック）、子どもたちへ向けた『えほんでつたえる げんばく』（G, 8.4, 中国ブロック）、6年目の『ヒバクシャからの手紙』（E, 8.4, 中国・九州沖縄ブロック）、『原爆の日ラジオドキュメンタリー』「いま“遺品”が語る～あるアメリカ人詩人のヒロシマ」（R1, 8.6, 全国）、『FMシアター』「八月六日 上々天気」

（FM, 8.4, 全国）など、多彩な番組で幅広い世代へ被爆の記憶を継承し、平和へのメッセージを発信した。

スポーツでは、「サンフレッチャ広島」のJリーグ初優勝を祝し『悲願の初優勝～栄光への軌跡～サンフレッチャ広島・Jリーグ初制覇』（G, 12.7, 中国ブロック）を放送。1月20日には「第18回全国都道府県対抗男子駅伝」を全国放送した。

#### 【岡山局】

11年度に全面刷新した地域放送番組の一層の充実に努めた。夕方6時台の『岡山ニュースもぎたて！』は、その日のニュースを掘り下げて分かりやすく伝えた。新たに「安全・安心キャンペーン」をスタート、防災・減災から詐欺や感染症対策まで幅広く展開した。『ひるまえ もぎたて！』は各地の話題や暮らしに役立つ旬な情報を日替わりで伝えた。金曜夜間の『現場に立つ』は地域と人を見つめるドキュメンタリーを多彩なテーマで10本制作した。また、岡山で活躍するミュージシャンをミュージック・クリップと視聴者からのツイッターの“つぶやき”を交えて紹介する双方向番

組『LIVE BOX』を8本制作する等、放送と連動したネット展開にも注力した。スポーツでは「ファジアーノ岡山」の試合を2本、「岡山湯郷ベル」の試合を1本中継した。全国放送番組では『サイエンスZERO～植物パワーが未来を変える！夢の人工光合成』（E, 6.24）、『新日本風土記～瀬戸大橋』（BSP, 7.20）、『アスリートの魂～粘っこく走り抜け～女子マラソン・重友梨佐』（BS1, 7.23）、『小さな旅～土と炎 ただひとつ～岡山県備前市』（G, 10.7）、『BS1スポーツドキュメンタリー～自分だけの一本』（BS1, 1.6）、『ドキュメント20min.～中南米“ゆるキャラ”奮闘記』（G, 1.9）等を制作し、“岡山”を全国に発信した。

#### 【松江局】

夕方6時台の『しまねっとNEWS 610』では、県民の安全安心に直結する島根原発関連のニュースを丹念に伝え続けたほか、地域医療や若者の就職問題など島根県の課題を繰り返し伝えた。また3日間にわたる「隠岐キャラバン」や「神話博しまね」関連のニュース企画などで地域活性化に貢献した。さらに、女子大生が殺害され未解決のまま3年がたった「浜田事件」や「原発事故を想定した避難訓練」、それに「竹島の日」については全国にもニュースを伝えながら、中国ブロックの番組『フェイス』に展開した（浜田事件G, 10.26、避難訓練G, 2.15、竹島の日G, 2.22）。

また、ロボットカメラの前に偶然、営巣したミサゴの生態記録を3月から開始。6月から『しまねっとNEWS 610』で子育ての様子を連日伝え、中国ブロックの番組『フェイス』（G, 7.13）や『ダーウィンが来た！』（G, 12.23, 全国）に展開し、多くの好評意見を得た。

このほかにも番組では、『海士町の改革はなぜ次々に成功するのか？』（G, 7.6, 中国ブロック）、『ドキュメント20min.～運転士はわたし』（G, 8.14, 全国）、『カラフル～ぼくは真ん中』（E, 8.17, 全国）、『目撃！日本列島～熱闘・隠岐古典相撲』（G, 9.1, 全国ほか）、『ひるブラ～魅力いっぱい！縁結びの地』（G, 10.1, 全国）、『新日本風土記スペシャル～出雲』（G, 10.8, 全国）、『歴史秘話ヒストリア～出雲 縁結びの旅へ！』（G, 11.7, 全国）、『あいたい～抹茶は楽しいあったかい』（G, 2.15, 中国ブロック）など多彩な題材を取り上げた。加えて中国ブロックの『金曜スペシャル』の「スリーストーリーズ」や「里山資本主義」にも4回制作参加した。

#### 【鳥取局】

夕方6時台の『いちおしNEWSとっとり』で

は、県民の関心が高いニュースを、随時記者解説を交えながら厚く伝えたほか、スポーツコーナーでは、J2「ガイナーレ鳥取」の情報を中心に、各種スポーツ競技をきめ細かく放送するなど、地域に密着した幅広い話題を伝えることで番組の定着を図った。「ガイナーレ鳥取」の試合は、4試合中継した。鳥取市役所の庁舎建て替えの是非を巡る住民投票や、75日間にわたる不審死事件の裁判員裁判は、金曜夜間にも番組展開した。朗読イベント「とっとり朗読シアター」では、編さんから1,300年となる「古事記」をテーマに、芥川龍之介などの作品を取り上げた。全国放送では、園舎を持たず森の中で子どもを育てる新しい形の保育園を、2年間にわたって追いかけた『輝け！森の子どもたち』(G, 5.4), 鳥取砂丘を歴史や文化、人々の暮らしなど、多角的な側面から見つめた『新日本風土記～鳥取砂丘』(BSP, 6.29), 「成年後見人」という視点から、孤立化する高齢者の実態を浮き彫りにした『ハートネットTV～後見人が足りない』(E, 8.28) を放送した。中国ブロックでは、中山間地の小さな町が、予算の少なさを町民のアイデアで解決しようという取り組みを追った『フェイス～町民8,000人のアイデアで町を救え！』(G, 12.14) を放送、『目撃！日本列島』(G, 12.15, 全国) へと展開した。

このほか、お笑い芸人が県内をぶっつけ本番で旅する若者向け番組『√るーとhigh↑』を計28回放送した。さらに『√るーとhigh↑』で蓄積した制作ノウハウを生かし、『√るーとhigh↑中国地方めぐっちゃいますスペシャル』として、データ放送と連動した管中番組も制作した。ホームページでも『いちおしNEWSとっとり』から選んだ動画を毎週1～2本配信、『√るーとhigh↑』の最新放送回を載せるなど、動画配信を効果的に行った。独自イベント「マンガコンテスト」の表彰式をJR鳥取駅で開催。「アニメおしおりかじり虫ショード」や、「BS体感ランド」などを同時実施、来場者は3,400人。若者を中心に86作品の応募があり、グランプリ受賞作品はアニメ化して県域で放送した。

### [山口局]

長期県政後の新県政スタートとなった山口県知事選、政権交代を引き起こした衆院選など、注目の選挙を正確・迅速に伝えた。また、米軍岩国基地に駐機されたオスプレイの問題について手厚く取材。その他、三井化学工場爆発事故、下関女児殺害事件裁判員裁判、岩国錦帯橋空港開港など、多くの注目ニュースを、全国ニュースを含めさま

ざまに放送した。夕方6時台の県域番組『情報維新！やまぐち』では、地域密着の情報を伝えるとともに、県内の風景と暮らしをプロモーションビデオ風につづった「やまぐち風をあつめて」、伝統工芸の今を切り取った「技を受け継いで」の2シリーズを放送。1月と3月の平均視聴率は同時に県内1位となった。

11年度から始めたツイッター連動番組『スゴつぶ』はFM県域生放送(4.14)、公開イベント(10.20)、中国ブロック・テレビ生放送(G, 3.16)などさまざまな形で展開。データ放送との連動など新たな演出手法も試みた。また、県域放送としては珍しい5.1chサラウンドのジャズ番組『渡辺貞夫ライブin下関』(G, 1.18, 県域)を放送。最終的にBSプレミアムでの全国放送にまで展開した。

全国放送としては、『第63回植樹祭やまぐち2012』生中継(G, 5.27)、女性の萩焼作家の奮闘を追った『目撃！日本列島～萩焼宗家 女性当主の挑戦』(G, 7.7)、男性起因の不妊症治療を取り上げた『ハートネットTV～男性不妊 患者たちは今』(E, 10.24)、女性フリークライマーの挑戦を追った『アスリートの魂～誰も見たことのない頂きへ』(BS1, 1.28)など多くの番組で山口の情報を全国発信した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

『NHKニュース おはよう○○ (県名)』 G

月～金 7:45～ 8:00

第1回93.4.5／県域／県内のニュースやきょうの動き、気象情報に加え、各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。また、企画シリーズ「エネルギー最前線」「未来に伝える戦争」「災害に備える」や、中継シリーズ「わが街の味自慢」などを随時放送した。

『NHKニュース おはようちゅうごく』 G

土 7:30～ 8:00

第1回93.4.10／中国ブロック・一部県域／中国5県の朝の表情を伝える中継やリポート、週末のイベント情報や生活情報、そして「西日本の旅」など、多彩な内容のニュース・情報番組。

『ひろもり』(広島局) G

月～金 11:30～12:00

(岡山) 11:40～12:00

(松江) 11:45～12:00

(鳥取) 11:40～12:00

(山口) 11:45～12:00

第1回08.4.4／各県域／生活・文化・健康など、くらしに役立つ情報番組。

(各局タイトル)

- |             |       |
|-------------|-------|
| 『ひるまえもぎたて！』 | (岡山局) |
| 『ひるまえしまねっと』 | (松江局) |
| 『いちおし情報便』 新 | (鳥取局) |
| 『カフェのんた』    | (山口局) |

『お好みワイドひろしま』(広島局) G

月～金 18:10～18:59

第1回84.4.2／県域／広島県内のニュースを視聴者目線に立って詳しく、分かりやすく伝え、県民の関心が特に高いテーマは「ニュースアップ」「特集」で分厚く放送。旬の食べ物などの身近な話題は「情報BOX」等で紹介した。地域に密着して幅広い話題を取り上げるニュース番組として定着を図った結果、民放を抑え5年連続で視聴率1位となった。

(各局タイトル)

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 『岡山ニュースもぎたて！』   | (岡山局) |
| 『しまねっとNEWS 610』 | (松江局) |
| 『いちおしNEWSとっとり』  | (鳥取局) |
| 『情報維新！やまぐち』     | (山口局) |

『ひろしまニュース845』(広島局) G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1／各県域／県内の1日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。

(各局タイトル)

- |               |       |
|---------------|-------|
| 『岡山ニュース845』   | (岡山局) |
| 『しまねっと845』    | (松江局) |
| 『とっとりニュース845』 | (鳥取局) |
| 『やまぐち845』     | (山口局) |

『フェイス』 G 金 19:30～19:55

第1回11.4.1／中国ブロック・随时各県域／タイムリーな話題・情報を機動的に伝え、中国地方の“いま”を深く、鋭く切り取る番組。経済・産業・環境・社会・医療・スポーツなど、さまざまな視点で地域を見つめた。

『NHK中国地方放送番組審議会』 G 随時

第1回97.11.16／中国ブロック／番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』 R1 月～土 7:40～7:58

第1回89.4.3／中国ブロック／気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース、旬の人や時の話題を電話インタビューで構成。

『ぶち☆なま』 R1 月 21:05～21:55

第1回10.4.2／最終回13.3.25／広島県域／恋愛・受験・就職等をテーマに、若者の本音に向き合う双方向番組。ポッドキャスティングやツイッター

も展開。

『√るーとhigh↑』 G

日 22:50～23:00

第1回11.4.17／鳥取県域／お笑い芸人が県内をぶつけ本番で旅する若者向け番組。

(2) 特集番組 (核・平和関連番組を除く)

[中国ブロック]

『金曜スペシャル～あいたい』 G

(年10回) 金 / 20:00～20:43

「だんじり好きの血が騒ぐ～広島県三原市幸崎」 広島局 / 4.13

「唄は人をつなぐ～音楽家マムドウ・ジャバテの旅」 岡山局 / 5.11

「浜の女の心意気～鳥取県浦富海岸」 広島局 / 6.15

「鉄道のふるさと」へようこそ！～乗り鉄・六角精児 下松の旅」 山口局 / 7.13

「まじめに遊ぼう！水内川～広島・湯来町」 広島局 / 9.14

「我がふるさとの魚 “ゴギ”～広島・庄原市」 広島局 / 10.12

「佐伯」でみつけた景弘の心～広島市佐伯区旅人・温水洋一」 広島局 / 11. 9

「森の恵みは無限大～岡山・美作」 広島局 / 1.11

「抹茶は楽しいあったかい～ルーダ柴 “お茶どころ” 松江を訪ねる」 松江局 / 2.15

「雪国のぬくもりを探して～鳥取・若桜町の旅」 鳥取局 / 3. 8

『金曜スペシャル～スリーストーリーズ』 G

金 20:00～20:43

「田舎に集う」 広島・岡山・鳥取局 / 4.20

「家族」 広島・松江・鳥取局 / 9.21

「ふるさと」 広島・岡山・山口局 / 11.16

「笑顔」 松江・鳥取・山口局 / 2.22

『金曜スペシャル』 G 金 20:00～20:43

「思い出をきざむ～島の時計屋物語」 広島局 / 4.27 / 19:55～20:43

「泣いて 笑って～鳥取 森のようちえん」 鳥取局 / 5.18

「平成の清盛さんを探せ！」 広島局 / 6. 1

「美の心を受け継ぐ～萩焼宗家 女性当主の挑戦」 山口局 / 6.29

「海士町の改革はなぜ次々に成功するのか？」 松江局 / 7. 6

「ロンドンで輝け！ふるさとアスリート」 広島局 / 7.20 / 19:55～20:43

「“日本最強”を受け継ぐ～鳥取城北高校相撲

部の200日」 鳥取局／ 8.31  
「平清盛 日宋貿易にかけた夢」広島局／ 9. 7  
「平成の清盛さんを探せ！ローカルが未来をつくる」 広島局／10.19  
「√るーとhigh↑～中国地方めぐっちゃいますスペシャル」 鳥取局／10.26  
「カキ屋たちの復興」 広島局／11.30  
「悲願の初優勝 栄光への軌跡～サンフレッチェ広島・Jリーグ初制覇」 広島局／12. 7  
「誰も見たことがない頂へ～スポーツクライマー・小田桃花」 山口局／12.14  
「自分だけの一本～古賀稔彦とIPU女子柔道部」 岡山局／ 1.18  
「尾道人情物語」 広島局／ 1.25  
「それぞれの本番」 広島局／ 3. 1  
『フェイス グランデ』 G  
「里山資本主義～若者は“放棄地”を目指す」  
　広島・松江・鳥取局／ 6.22／19:30～20:43  
「里山資本主義～神様を活（い）かせ」  
　広島・松江・鳥取局／11. 2／19:30～20:43  
「里山資本主義～世界をつなぐ幸せのネットワーク」  
　広島・松江・鳥取局／ 3.15／19:32～20:45  
『応援コンサート』 FM 土 14:00～16:00  
　「第319回定期演奏会」 広島局／ 5.26  
　「第322回定期演奏会」 広島局／ 9.29  
『Nコン2012第79回NHK全国学校音楽コンクール～中国ブロックコンクール』 E  
　広島局／ 9.30／14:00～17:00  
『交響組曲 平清盛～大河ドラマ音楽の世界へ』 G  
　広島局／10. 6／16:00～17:13  
『広島発短編ドラマ』「卵」 G  
　広島局／11.10／16:00～16:25  
『高専ロボコン2012～中国地区大会』 G  
　広島局／11.23／13:05～13:59  
『スゴつぶ～スゴいつぶやきを詠む深夜の句会』 G  
　山口局／ 3.16／22:55～ 0:00  
〔県域〕  
『わたしのベストショット～発表！平成23年度年間大賞』 G  
　広島県域／ 4.30／13:30～14:15  
『わたしのベストショット』 G  
　広島県域／（年10回）土／5:15～ 5:40  
　　5.12, 6. 9, 7.14, 9. 8, 10.13,  
　　11.10, 12. 8, 1.12, 2. 9, 3. 9  
『がんばれ！サンフレッヂ！』 R1  
　広島県域／ 4.16／21:05～21:55

『金曜スペシャル』 G  
「あなたの声リポーターです！スペシャル」  
　広島県域／ 5.25／20:00～20:43  
「あなたの声リポーターです！スペシャル～今夜はみんなで「歴史ロマン」！」  
　広島県域／ 2. 8／20:00～20:43  
『HEART ROCK CAFE～電大ラヂオ！ビリビリピリアワー』 R1  
　広島県域／ 6. 4／21:05～21:55  
『勝克喝カープ2012』 R1  
　広島県域／ 6.21／20:05～20:55, 21:05～21:30  
『NHK広島オリンピック特集～輝け！地元の星』 R1  
　広島県域／ 7. 9／21:05～21:55  
『防災の日 ラジオ特集』 R1  
　広島県域／ 9. 1／16:05～16:55  
『フェイス グランデ～今こそ問いたい！カープ魂』 G  
　広島県域／10. 5／19:30～20:43  
『初優勝おめでとう！サンフレッヂ広島』 G  
　広島県域／11.24／23:40～ 0:10  
『Heart Rock Cafe 2012』 R1  
　広島県域／12. 1／13:05～13:55  
『投げた！打った！走った！～第14回NHK広島カップ少年野球広島県大会』 E  
　広島県域／12. 2／14:25～14:50  
『がんばれ！ふるさとランナー～全国男子駅伝あすスタート』 G  
　広島県域／ 1.19／11:30～11:54, 12:17～12:45  
『勝克喝カープ！2013開幕前スペシャル』 R1  
　広島県域／ 3.16／13:05～13:55, 14:00～15:55  
『熱唱！NHKのど自慢予選会』 G  
　島根県邑智郡邑南町  
　　島根県域／ 6.17／ 1:20～ 4:10  
　岡山県笠岡市　岡山県域／11.24／ 2:00～ 3:28  
　　11.25／ 0:15～ 1:42  
　山口県周南市　山口県域／11.24／ 2:00～ 3:22  
　　11.25／ 1:05～ 2:27  
　広島県呉市　　広島県域／ 3.29／ 1:45～ 4:13  
『岡山の伝統漁』 G  
　岡山県域／ 4. 7, 28／12:40～12:45  
『現場に立つ』 G　岡山県域／19:30～19:55  
　「肩の荷をおろしてほしい～福島から来た親子たち」 4.13／19:42～20:07  
　「薬剤師が命を救う」 5.11  
　「孤独のメッセージ～総社・日系ブラジル人たちのSOS」 6. 1  
　「粘りの走りの先に～女子マラソン・重友梨佐

選手」	7. 7	『あなたにだんだん～音楽がつなぐたすけあいの心』 FM	
「心の傷に向き合う～虐待を受けた児童の養育」	9. 7	島根県域／12.22／21:00～23:00	
「ことばのお守り～僧侶・天野こうゆうのメッセージ」	10. 5	『ドキュメント鳥取発』 G	
「理想の性と現実のはざまで～性同一性障害と就労の壁」	12. 7	「働きたくない2人」	
「翔べ！岡山シーガルズ～市民クラブ 躍進の秘密」	2. 8	鳥取県域／4.13／19:42～20:07	
「現場に立つ×LIVEBOX 密着！エンターテイメントチャレンジ」	11. 2／19:30～20:43	「山のちいさな若女将」	
「目指すは世界ブランド～密着！岡山ジーンズ・パリ展示会」	3. 8／19:30～20:13	鳥取県域／9.28／19:30～19:55	
『フェイス～200万人の足を守れるか～井笠バス廃止の波紋』 G	岡山県域／11.30／19:30～19:55	「光と岩といのちと～浦富海岸を撮る」	
『フォーラム認知症新時代』 G	岡山県域／11.10／10:30～11:13	鳥取県域／10.19／19:30～19:55	
『第59回日本伝統工芸展 岡山展』 E	岡山県域／11.24／12:00～12:47	「鳥取不審死裁判～裁判員の75日間」	
『LIVE BOX』 G	岡山県域／4.25, 5.30, 6.27, 8.29, 9.26, 1.30／22:55～23:20	鳥取県域／12. 7／19:30～19:55	
『フェイス～特集島根自慢～身近なふるさとの自慢見つけませんか』 G	岡山県域／3. 1／19:30～20:45	「仏に恋する女の子」	
島根県域／3. 8／19:30～19:55	鳥取県域／3. 8／19:30～19:55	鳥取県域／3. 8／19:30～19:55	
『熱闘 隠岐古典相撲～島民が燃えた1か月』 G	島根県域／8.24／20:00～20:43	『鳥取文芸館』 FM	
『地域を創る』 G	島根県域／4. 7, 5. 5, 6. 2, 7. 7, 8. 4, 9. 1, 10. 6, 11. 10, 12. 8, 1.12, 2.16, 3. 2／12:40～12:45 (8.4は13:50～13:55)	鳥取県域／5.27, 7.29, 8.26, 9.30, 10.21, 11.25, 1.27, 3.31／11:00～11:50	
『島根の匠』 G	島根県域／5.26, 11.17, 12.15, 3.23, 30／12:40～12:45	『とっとり朗読シアター2012～古事記の物語り』 G	鳥取県域／10.12／20:00～20:43
『島根防災情報～津波から命を守るために』 G・E	島根県域／9.10～9.23／10:54～10:55ほか随時	『鳥取市住民投票開票速報』 G・R1	鳥取県域／5.20／20:55～24:10
『“八雲紀行” ふたたび』 E	島根県域／8.20～23, 27～29／10:25～10:30	『鳥取民藝夜話』 G	鳥取県域／12.14／20:00～20:43
『FMスペシャル～銅鐸の音に魅せられた僕らのライブ&トーク』 FM	島根県域／5.19／20:10～21:00	『√るーとhigh↑』 G	
		鳥取県域／4. 1, 8, 15, 29, 5. 6, 13, 6.10, 17, 8.26, 9. 2, 16, 10. 7, 14, 21, 11. 4, 11, 18, 25, 12. 2, 1.20, 27, 2. 3, 10, 17, 24, 3.17, 24, 31／22:50～23:00	
		『√るーとhigh↑ 中国地方めぐっちゃいますスペシャル～アナザーストーリー①②』 G	
		鳥取県域／①10.25／2:15～2:35 ②10.26／1:45～2:05	
		『アニメ カンパニュラの花言葉 ナツノトモ』 (6分) G・E	
		鳥取県域／3.16, 19～20, 26	
		『アニメ ナツノトモ』 G	
		鳥取県域／3.31／18:35～40	
		『YAMAGUTIC』 G 山口県域／19:30～19:55	
		「わたしは町のカメラマン～アマチュアビデオこの1年」 4.13／19:42～20:07	
		「帰郷～タイガーマスクと長州力～故郷のリンク」 6.15／19:33～19:58	
		「美の心を受け継ぐ～萩焼宗家 女性当主の挑戦」 6.29／20:00～20:43	
		「子どもができない～男性不妊 医療現場からの報告」 8.31	
		「海底が砂漠化する～山口県沿岸 “磯焼け前線” 北上中」 11. 9	

「スゴつぶ@キャンパス」 11.30  
 「渡辺貞夫ライブin下関～音楽の履歴書」  
 1.18／20:00～20:43 (5.1chサラウンド)  
 「やまぐち風をあつめて～心に残るふるさとの  
 風景」 3. 8  
 『スゴつぶ@FM～スゴいつぶやきを味わう深夜  
 の句会』 FM  
 山口県域／4.14／23:00～ 1:00  
 『やまぐち 風をあつめて』(2・3分) G  
 山口県域／4.17～ 1.29／50回  
 『スゴつぶ@キャンパス』(2分) G  
 9.17～18, 20, 22, 25, 27, 29, 10. 1～ 3  
 『防災特集～いざという時、NHKラジオ』  
 R1・FM 山口県域／11:50～12:00  
 9. 3 「分かりやすい気象情報とは？」  
 9. 4 「中継・学び舎が避難所に」  
 9. 5 「中継・自分たちの身は自分たちで守る」  
 9. 6 「効果的な防災対策とは？」  
 9. 7 「ライフラインを守るために」  
 『三輪壽雪さんを偲んで』 G  
 12.28／15:15～15:58  
 『にっぽん縦断こころ旅～おつかれさまスペシャ  
 ル「山口県」』 G 3.21／11:05～11:34  
 [各局共通]  
 『第79回NHK全国学校音楽コンクール』 E  
 「広島県コンクール」  
 小学校の部 8.25／13:00～15:00  
 中学校・高等学校の部 8.26／14:00～16:00  
 「岡山県コンクール」  
 小学校・中学校・高等学校の部  
 9. 1／12:30～14:00  
 「島根県コンクール」  
 小学校・中学校の部 9. 1／12:00～13:55  
 高等学校の部 9. 8／12:30～14:00  
 「鳥取県コンクール」 FM  
 小学校・中学校・高等学校の部  
 9. 1／19:20～21:00  
 「山口県コンクール」 E  
 小学校・高等学校の部  
 8.25／12:30～14:50  
 中学校の部 8.26／14:00～15:55

### 3. 核・平和関連番組

#### (1) 地域番組

[中国ブロック]

『フェイス』 G

「続報 黒い雨～放影研トップに聞く」

広島局／5.18／19:30～19:58

「“被爆遺品”は語る 詩人アーサー・ビナー  
 ド フクシマ後の世界へ」  
 広島局／6.29／19:30～19:57  
 『いのちのうた2012～ヒロシマから明日へのメ  
 ッセージ』 G  
 広島局／7.21／19:30～20:43  
 『えほんでつたえる げんばく』 E  
 広島局／8. 4／ 9:20～ 9:49  
 『「平和」が生まれるとき』 G  
 広島局／8.16／22:00～22:48  
 『金曜スペシャル～除染された故郷へ～ビキニ核  
 実験・半世紀後の現実』 G  
 広島局／9.28／19:55～20:43  
 『ヒロシマから世界へ～平和コンサート2012』  
 G 広島局／10. 8／14:00～14:59  
 『10代へ送る ヒバクシャからの手紙』 G・E  
 6.20～ 8.10 ※6本を19回放送  
 『伝え続けたい「ヒバクシャからの手紙」』  
 R1・FM 9. 1～12.23 ※17本を46回放送  
 [中国ブロック, 九州沖縄ブロック]  
 『ヒバクシャからの手紙』 E  
 8. 4／22:00～23:29  
 [広島県域]  
 『ヒロシマ あくなき“未解明”との闘い』 G  
 8. 6／16:35～17:00  
 『お好みワイドひろしま～“原爆の日”特集』  
 G 8. 6／17:00～17:45  
 『被爆の記憶』 G  
 10.12, 11.13, 2. 7, 25／19:56～19:58

#### (2) 全国放送

『平成24年 広島平和記念式典』

G 8. 6／ 8:00～ 8:39  
 G 中国ブロック 8. 6／ 8:00～ 8:55  
 R1 8. 6／ 8:00～ 9:00  
 『NHKスペシャル～黒い雨～活（い）かされな  
 かった被爆者調査』 G  
 8. 6／20:00～20:49  
 『FMシアター～八月六日 上々天気』 FM  
 8. 4／22:00～22:50  
 『原爆の日 ラジオドキュメンタリー～いま“遺  
 品”が語る～あるアメリカ人詩人のヒロシマ』  
 R1 8. 6／21:05～21:55  
 『いのちのうた2012～ヒロシマから明日へのメ  
 ッセージ』 G 8.14／ 1:40～ 2:53  
 『ヒバクシャからの手紙』 G  
 8.23／ 2:10～ 3:39

『ヒロシマから世界へ～平和コンサート2012』  
BSP 8.28／23:45～ 0:44

#### 4. スポーツ中継

〔高校野球〕 \*ブロックと特記した以外は県域放送  
第94回全国高校野球選手権大会・地区大会

広島県 準々決勝	E・FM／ 7.24
準決勝	E・FM／ 7.25
決勝	G・R1／ 7.26
岡山県 準々決勝	R1・FM／ 7.23～24
準決勝	G・E・R1／ 7.26
決勝	E・FM／ 7.27
島根県 準々決勝	R1／ 7.23
準決勝	E・FM／ 7.25
決勝	G・R1／ 7.26
鳥取県 準々決勝	R1／ 7.26
準決勝	G・E・R1／ 7.28
決勝	G・R1／ 7.29
山口県 準々決勝	FM／ 7.25
準決勝	G・E・R1／ 7.26
決勝	E・R1／ 7.28

平成24年度秋季高校野球・地区大会

広島県 3位決定戦・決勝	R1／10. 7
岡山県 準決勝	R1／10. 8
3位決定戦・決勝	R1／10. 9
島根県 準決勝	R1／ 9.29
3位決定戦・決勝	FM／10. 1
鳥取県 3位決定戦	R1／10. 1
決勝	FM／10. 1
山口県 準決勝	R1／10. 7
3位決定戦・決勝	R1／10. 9

第119回秋季中国地区高等学校野球大会

(中国ブロック)	
準決勝	G・E・R1／11. 3
決勝	E・R1・FM／11. 4

#### 〔プロ野球〕

(中国ブロック)	
「広島」対「巨人」	R1／ 4. 5
「広島」対「阪神」	G2／ 4.11
「広島」対「中日」	R1／ 4.20
「広島」対「西武」	R1／ 5.31
「広島」対「巨人」	R1／ 6.28
「広島」対「DeNA」	R1／ 6.29
「広島」対「阪神」	G／ 8.24
「広島」対「DeNA」	R1／ 9. 7
「広島」対「中日」	R1／ 9.14
(中国・東北ブロック)	
「広島」対「楽天」	R1／ 5.17

(広島・東北ブロック)

「楽天」対「広島」 R1／ 6. 3

(広島県域)

「広島」対「中日」 G／ 4.22

「広島」対「ヤクルト」 R1／ 7. 7

「広島」対「DeNA」 G／ 9. 8

「広島」対「ヤクルト」 R1／ 9.19

「広島」対「ヤクルト」 G／10. 4

(山口・九州ブロック)

「ソフトバンク」対「阪神」 G／ 5.25

[Jリーグ]

(広島・新潟ブロック)

「広島」対「新潟」 G／ 5. 3

(広島・兵庫ブロック)

「広島」対「神戸」 G／ 5.19

(広島県域)

「神戸」対「広島」 G／12. 1

(岡山・栃木ブロック)

「岡山」対「栃木」 G／11. 4

(岡山・長崎ブロック)

「岡山」対「長崎」 G／ 3. 3

(鳥取県域)

「鳥取」対「横浜」 G／ 5.27

「鳥取」対「福岡」 G／11.11

「鳥取」対「熊本」 G／ 3. 3

「鳥取」対「水戸」 G／ 3.17

[その他のスポーツ]

第46回 織田記念国際陸上 兼ロンドンオリンピック代表選考会  
G／中国・近畿・松山・北海道ブロック／ 4.29  
なでしこリーグ

「岡山湯郷ベル」対「日テレ・ベレーザ」  
G／中国ブロック／ 5.20

山口県高校総体バレーボール男女決勝  
G／山口県域／ 6. 4

第65回広島県高校総体サッカー男子決勝  
E／広島県域／ 6.10

2012年度全広島サッカー選手権・決勝  
～第92回天皇杯広島県代表決定戦～  
G／広島県域／ 8.26

第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会  
岡山県代表決定戦 G／岡山県域／ 8.26

第17回島根県サッカー選手権大会  
～第92回天皇杯島根県代表決定戦～  
G／島根県域／ 8.26

平成24年度 山口県サッカー選手権大会 決勝  
～第92回天皇杯代表決定戦～  
G／山口県域／ 8.26

## 第18回全国男子駅伝ハイライト

G／広島県域／ 1.20

## 第37回日本ハンドボールリーグ・男子

「湧永製薬」対「トヨタ紡織九州」

G／広島・佐賀ブロック／ 2.23

## II. 技 術

### 1. 安全・安心を守る機能強化

全国的な機能強化に連動し設備整備・保守・補修による安全・安心の確保を図った。

- ・祇園ラジオ、三次ラジオ、松江局、鳥取局の自家発燃料タンク増量。

- ・天気カメラのハイビジョン化（岡山県津山、鳥取県鳥取港、倉吉、山口県宇部、岩国、長門）

### 2. 地上デジタル放送

国内混信対策として、西ノ島デジタル局（7月）と西郷デジタル局（8月）を改善リパッケージし、外国波混信対策として、浜田浅井デジタル局（2月）と大社デジタル局（2月）を改善リパッケージした。

「新たな難視」世帯について対策を進めた。散在する難視世帯に対し共聴新設での対策が順調に進み、年度当初より難視件数が半減した。共聴新設提案がまとまらなかった地区ではアンテナ対策に切り替えるなどの対策を講じており、現在、広島・山口県では約500世帯の対策未完了世帯を残している。

### 3. 選挙報道、緊急・災害報道

衆議院議員選挙では、解散から選挙まで1か月という短期間の中、政見収録や事務所中継などの準備を整え、「衆議院選開票速報」を確実に放送した。

また、「公共情報コモンズ」を活用し、河川水位と雨量情報（4月）と県防災情報（6月）をデータ放送とホームページに掲載した。

岩国市三井化学工場の爆発（4月）、福山市ホテル火災（5月）、大竹市明新化学工場の爆発（6月）への初動対応。オスプレイの岩国基地搬入（7月）と飛行訓練続報、沖縄への移動（9月）、沖縄以外での飛行訓練開始（3月）などの緊急報道に迅速・的確に対応した。

東日本大震災報道への支援を継続するとともに大阪局機能強化整備に伴う緊急報道対応の支援にも対応した。

## 4. 地域放送

広島局では、『平和記念式典中継』『NHKスペシャル』『ヒバクシャからの手紙』など、核・平和関連番組を数多く放送した。“ふるさと再生”を掲げて、里山の活性化への取り組みを紹介した。

- ・スポーツ番組や公開派遣音楽番組を中心に、12年度も広島局では22番組で5.1サウンド制作に取り組んだ。

- ・サブチャンネル放送を利用したカーブ中継によりローカルサービスの充実を図った。

- ・「サンフレッチェ広島」が初優勝を決めた対「セレッソ大阪」戦を中継（11.24）するとともに『佐藤寿人 優勝へのワンタッチゴール』

- （10.12）、特番『初優勝おめでとう』（11.24）、『悲願の初優勝 栄光への軌跡』（12.7管中、視聴率9.7%）などで県民の期待に応えた。

- ・プロ野球中継における応援メッセージをツイッターやメールで実施した。『NHK全国学校音楽コンクール』中国ブロック大会（9月）や『高専ロボコン』（10月）のライブストリーミング動画配信、「全国都道府県対抗男子駅伝」（1月）でダイジェスト動画配信を実施した。岡山局では月1回の定時番組『LIVE BOX』、松江局は『しまねっとNEWS610～年末ハイライト』、山口局は『スゴづぶ』をそれぞれ放送した。鳥取局では旅番組『くるーとhigh↑』で番組連動データ放送を実施した。

## 5. 開 発

放送番組の運行を担当する勤務者向けに、運行情報やアラームをリアルタイム表示するタブレット型の端末「携帯型運行サポートシステム（MOSS）」を松江局が開発した。

局外中継など、番組伝送に利用する無線基地局を現場でいち早く発見するためのタブレット型のビジュアルツール「AR技術を用いたFPU基地局探索システム」を開発した。

岡山局では、より簡単に誰でもボタン操作で使える専用端末「らじる★らじる簡易受信機（らい太郎）」を開発した。

SNSを活用した番組において、効率的な番組制作に向け、従来よりシステムの準備期間の短縮が可能な「Web版Selector」を開発した。

データ放送ニュースで、誤字の可能性がある場合に担当者に注意喚起のメールを送る「ニュース誤字検出システム」を開発した。

## 6. 視聴者活動

中国域内での『NHKのど自慢』予選会の会場で来場者に向けて「中継車見学・カメラ操作体験」を3回実施。「予選会の時差再生視聴」を4回開催し、放送事業への理解促進に努めた。

## 7. 放送設備の更新

広島局の通信衛星による映像ハイビジョン伝送車（CSK）を更新するとともに、ニュースセンターの照明装置の更新、データ放送設備の更新、放送会館冷凍機更新などを実施し、放送サービスの安定送出確保と番組制作・緊急報道機能の充実を図った。

# III. 視聴者

## 1. イベント事業

12年度、中国地方では151件のイベントを実施し、視聴者サービスの充実とNHKへの理解促進に努めた結果、76万人を超える参加者があった。

広島局では「フラワーフェスティバルNHKシクラメンパーク」（5.3～5広島局）、「いのち」や「平和」の尊さを伝える「いのちのうた2012」公開録画（7.7広島市）などを実施。また、元特攻隊員が「生命」をテーマに描いた絵画展「吉田堅治～祈り・生命の輝き」展（7.26～8.26広島局、廿日市市）を開催し、被爆地の放送局として「平和の大切さ」を考える機会を提供した。

また、『大河ドラマ』「平清盛」の放送に合わせ、平家納経を模した巻物を制作する体験型イベント「体感！平清盛 平安絵巻」（5.3～5広島局）や清盛の世界をオーケストラの演奏でたどる「交響組曲『平清盛』コンサート」（9.20呉市）のほか、因島出身の天才棋士・本因坊秀策の没後150年を記念した囲碁イベント「レッツGO！囲碁ひろば」（10.8尾道市）など地元の題材を活用したイベントを実施した。

### （1）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『BS日本のうた』『歌謡チャリティーコンサート』などの全国放送公開番組を中国各局で30本実施した。

### （2）教育・こどもイベント

「NHK放送体験クラブ」「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」を中国各局で、また、「中国地方放送教

育夏期特別研究交流大会」（8.8島根県松江市）、「高専ロボコン」中国地区大会（10.7鳥取県米子市）などの学校・教育関係イベントを実施したほか、「おかあさんといっしょ宅配便ポコポッティト小劇場」（中国各局）、「おかあさんといっしょあつまれ！土曜日」スタジオ収録（10.13広島局）、「ワンワンわんだーらんど」（12.9福山市）、「おかあさんといっしょファミリークーンサート」（2.16山口県周南市）などのファミリー向けイベントを実施した。

### （3）スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会（天皇杯各県代表決定戦）」を中国各局で実施。「天皇盃第18回全国男子駅伝」（1.20広島市、廿日市市）および関連イベント「駅伝ふるさとひろば」（1.19～20広島局）を実施。福祉関連では「NHK歳末・海外たすけあい」（12.1～25）、「東日本大震災義援金受付」（通年）を中国各局で実施したほか、「NHKハート展&介護百人一首展」（12.1～9広島局）、「NHKハートフォーラム（広島・鳥取局）を実施。キャンペーン関連では、「環境」（広島・松江・鳥取・山口局）、「ふるさとの食にっぽんの食」（広島・鳥取・山口局）、「防災」（岡山・松江局）に関するイベントを各地で実施した。

### （4）展覧会

特別展「平清盛」（4.21～6.3広島県立美術館）、「第59回日本伝統工芸展」（11.22～12.9岡山県立美術館、12.12～25島根県立美術館、2.27～3.17広島県立美術館）などの展覧会を開催した。

## 2. 営業

12年度は、全国の都道府県別推計世帯支払率（11年度末）を初めて公表した。中国ブロックでは、広島県83.2%、岡山県77.7%、島根県90.9%、鳥取県89.2%、山口県87.2%であり、全国水準72.5%と比較して高位にある。

12年度の中国ブロック営業業績は、事務情報処理業務の委託拡大への準備や下半期からの受信料額改定（値下げ）の対応などで業務が転換したものの、全ての営業目標を達成することができ、全国営業業績と受信料収入の確保に貢献できた。

こうした業績を残せたのは、経営計画に掲げる4つの営業改革に着実に取り組んできたことが最大の要因である。特に新規法人委託の開発を中心に、契約・収納業務体制の改革に積極的に取り組むとともに、域内会議や研修などの機会を通して、営業職員に営業改革の意義や目的を浸透させ、各

職員の意識やスキル向上のための人材育成に取り組んできたことが実を結んだ。

「民事手続き」については、引き続き誠心誠意のお客様対応を行いながら、窓口変更数を増加させるなど、公平負担の徹底を図った。

外部団体との連携については、日本ケーブルテレビ連盟中国支部と各種研修や番組コンクール審査などを通じて、良好な関係を保った。

また、ホテル旅館組合との連携についても、中国ブロックの受信料まとめ支払いの参加状況は、全国でも高位にある。引き続き、こうした団体との連携を深め、効果的・効率的な営業活動を進めていく。

### 3. 広 報

#### [広島局・福山支局]

12年度は、『大河ドラマ』「平清盛」を広報活動の軸に置き、番組視聴促進はもとより、ゆかりの地として、番組連動の広報活動を積極的に展開した。4月に広島カープ戦の中継に合わせ、ドラマ出演者による始球式を実施。5月は全国屈指の来場者でにぎわうフランクフェスティバルに、番組出演者がオリジナル花車に乗ってパレードに参加。その他、営業対応重点エリアでドラマ出演者のトークショーを実施するなど、「清盛ゆかりの地広島」の環境醸成に取り組んだ。また、地元民放の要請に応え「清盛」情報を提供することで、放送局の垣根を越えた新しいコラボ番組を実現した。さらに、広島県と連携し番組連動企画「盛絵」の巡回展を東京銀座や県内3か所で開催するなど、意外性・話題性の高い独自イベントを実施した。

視聴者ふれあい活動として、広島局オリジナルキャラクターを活用した「広島カープ応援隊」「サンフレッチェ広島応援隊」を実施した。特に、サンフレッチェの初優勝が決定した日も応援隊が出動し、地元盛り上げに一役買うことができた。

なお、広島局・福山支局の12年度のハートプラザ来場者数は18万3,041人。電話などで視聴者から寄せられた意見・要望は1万5,969件あった。

#### [岡山局]

東日本大震災から1年を機に「安全・安心キャンペーン」を始め、夕方6時台を中心スポット、ホームページ等で年間を通して展開した。公開番組は、『NHKのど自慢』『ふるさと自慢うた自慢』等18本と『LIVE BOX』8本の計26本、イベントや展覧会等は、「NHK公開セミナー 大河ドラマ平清盛」「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」

「ジェームズ・アンソール展」「忍たま乱太郎キャラクターショー」等16本実施、約3万9,000人が参加した。また、より多くの人々にNHKに親しんでもらえるよう、会館ロビーをリニューアル(3.15)、子どもたちが楽しめるコーナーを新設した。このほか「番組公開ライブラリー」の利用は962人、岡山局に寄せられた意見・要望は1万7,158件に上った。

#### [松江局]

地域から信頼され親しまれる放送局として、公開番組やイベントを通して地域を元気づけるほか、開かれた放送局の“広場”的提供に努めた。

「公開セミナー きれいの魔法」「NHK防災セミナー 非常時の情報活用法」「チャリティーステージ『あなたにだんだん』公開録音」など独自企画に加え、『NHKのど自慢』『BS日本のうた』などの公開派遣番組、「生誕100年 松本竣介展」「第59回日本伝統工芸展」など年間を通じて多彩なイベントを実施した。12月から1月にかけては、東京の放送博物館で「こんにちはふるさと・地域放送局のちから」を開催し、展示やイベントで松江局や島根県の魅力をPRした。

また、毎年恒例となっている「水郷祭」での会館公開や、1Fロビーのギャラリースペースを視聴者の作品の発表の場として活用、夏休み期間中には「ぼくの絵わたしの絵展」を開催するなど来館のきっかけづくりに努めた。ハートプラザには年間8,423人が訪れた。

#### [鳥取局]

鳥取放送局の独自イベントとして、鳥取県が実施する「国際まんが博」に連動して、「NHKマンガコンテスト」を実施。県内外から86作品が寄せられ、表彰イベントをJR鳥取駅で開催し、3,400人が来場した。グランプリ作品はアニメ化し、県内向けに放送した。

視聴者から寄せられるラジオやFMの周波数の問い合わせに答えるため、県内の中継局や周波数を紹介するパンフレット「とっとりテレビ・ラジオ受信ナビ」を作成し、「道の駅」等に設置して幅広く広報活動に取り組んだ。

技術職員が小学校に出向き、放送機器に触れてもらいながら番組作りを体験する「出前授業」を実施。参加した68人の児童に、楽しみながら放送について学んでもらった。

会館ロビー充実の取り組みとして、県域番組『√るーとhigh↑』の動画を楽しむことができ、番組関連グッズがもらえるイベントコーナーを設置。加えて、マンガパネル展や3D展示のリニュ

一アルを行い、来館者の増加につなげた。

また、イベントや番組収録、会館見学と連動した「ふれあいミーティング」を年間42回開催し、1,156人が参加した。

#### 〔山口局〕

山口局は、『大河ドラマ』「平清盛」ゆかりの地として俳優・上川隆也をゲストに迎えた「公開セミナー」(9.15、山陽小野田市)や「パネル巡回展」(11月)を実施。また、大学生を中心とする若者との接触率の向上をねらい、ツイッターと連動した自由律句の句会『スゴつぶ』を、山口大学での公開イベント(10.20)、ネット上でタイムライン句会(随時)、山口情報芸術センターでの公開生放送(3.16 G、中国ブロック)など多様に展開した。ゲストは、ピース又吉、山里亮太、富永鳩山ほか。山口県立大学でも『仕事ハッケン伝』就職セミナー(5.15)を実施。子ども向けイベントとしては、有料イベント「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(2.16、周南市)を開催、倍率は30倍を超えた。会館公開では「ワンワンとあそぼうショー」(11.23)を局舎隣接の中央公園で実施。約4,000人の家族連れで終日につながった。また、小学校を訪問し朗読を楽しむ「朗読みろば」(12.18、長門市)も金子みすゞをテーマに実施し好評を得た。

山口局イベント本数は、公開番組6本を含む年間25本で、延べ2万9,774人が参加。ハートプラザ「番組ライブラリー」は3,666人が利用した。

## 四国

◇南海トラフ巨大地震に備えて、放送機能の強化に努めた。緊急報道の体制強化のほか、長時間の停電対策として、会館の自家発燃料タンクの増強や、津波による自家発電装置の浸水リスク対策を行うなど放送設備の強化を図った。

◇四国唯一の伊方原発を巡る四国電力や県、地元自治体などの動きを、国の動向と併せてニュースなどで詳しく伝えるほか、防災・減災に向けた対策について多角的に検証する番組を制作し、地域の安全・安心の情報発信を強化した。

◇地域の発展に結び付くよう、「四国の底力」を再発見する番組や地域発のドラマを制作し、全国に発信した。

◇ロンドン五輪や地域発ドラマ『歩く、歩く～四国 遍路道』、『大河ドラマ』関連のイベントをはじめ、「学校にN響がやってきた」「会館公開」など多彩なイベントを展開し、視聴者の皆さんとの結び付きを強めるとともに、地域の活性化や文化振興に寄与するよう努めた。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### 〔松山局〕

松山局は、四国各地の個性豊かな文化や産業、自然など、さまざまな分野で、まだ知られていない“ふるさとの宝”を掘り起こす「地域の底力」キャンペーンを継続し、さらに発展深化させた。遍路宿を舞台に、女性の生き方を見つめるヒューマンドラマを7年ぶりに制作し、BSプレミアムで全国発信した。また、四国4局が協力し制作してきた双方向の大型生番組を、4県から高校生が集うクイズ番組に刷新。デジタル放送の特性を生かし、視聴者もデータ放送やインターネットから参加して、楽しみながらふるさとの魅力を再発見でき、地域の活性化につながる番組とした。

東日本大震災の教訓から、国の検討会は南海トラフ巨大地震の新想定を公表し、四国で震度7の地震が起こる可能性があると想定された地域は全体の6割にあたる58市町村に、巨大津波が襲うと想定される地域は沿岸部の28市町村にも及び、深刻な事態に見舞われる恐れがあるとされた。四国各地で実施された対策の見直しについて検証し、被害を最小限にとどめるために何が必要か考える

番組を放送した。また、伊方原発の運転再開を巡る動きを検証するとともに、夏の電力不足の危機を回避するために、数値目標が掲げられた節電の影響と対策を伝えた。

ロンドンオリンピックでは、四国から出場する選手を紹介する番組を放送したほか、柔道男子73キロ級で銀メダルを獲得した愛媛出身の中矢力選手の勝負の裏側に迫る特集番組を放送した。

12月の衆議院議員選挙に際しては、政見放送、開票速報を順調に放送した。

金曜午後7時30分からの『四国羅針盤』では、南海トラフ巨大地震の国の新想定を受けて、被害を最小限にするための対策や取り組みを、さまざまなケースで検証したほか、東日本大震災から2年となる3月にはCGによるシミュレーションを駆使して四国の被害の特徴や“いのち”を守るために何が必要かを考える73分のスペシャル番組を放送した。また、伊方原発の安全性と運転再開を巡る動きがどこまで進んでいるのかを検証する番組や、電力需要が増す夏の時期に7%以上の数値目標を掲げた節電対策の影響を検証する番組を放送した。その他、全国に先駆けて進む少子高齢化と過疎化、長引く不況の中で、地域医療や介護、インフラの老朽化、急増する生活保護の受給など四国の直面する課題に対する取り組みや、新たな価値観で地域の経済や産業の再生に挑む動きも紹介した。

双方向で視聴者がリモコンやインターネットでアンケートに参加する報道トークバラエティー『四国のいいぶん』は2年目を迎える、「地域医療」(5月)、「買い物弱者」(9月)、「若者の雇用」(2月)をテーマに年3回放送した。

金曜夜8時からの『しこく8』は、3年目を迎えた。新しい双方向番組「四県対抗 しこクイズ」では、伝統高校対決(4月)、商業高校対決(9月)、工業高校対決(1月)と年3回の放送を行い、生放送中にメールやソーシャルネットワーキングサービスで視聴者から出場校への応援メッセージを受け付けたり、リモコンやインターネットでクイズに参加した人の正答率をチーム得点に反映するなど、より視聴者と一体感を感じる演出をして、高校生世代から多くのアクセスを得た。四国各地の謎や伝承を徹底的に解明する「四国なぞ解き行脚」(年4本)や、ゲストが、言葉やモノに託された人の思いを受け取り、手紙で届ける「ココロお届け隊」(年3本)をシリーズで放送した。8月には、高知県の「よさこい祭り」と徳島県の「阿波おどり」を73分の拡大版として2週

連続で放送したほか、西日本最高峰の石鎚山を年間取材した『神さんの山 石鎚』を4月と12月の2回シリーズで放送。「近づら。」では、ゲストが地元・松山を散歩しながら身近な街の歴史や文化の奥深さを知って楽しむスタイルで好評を得た。「濁れる水の流れつつ澄む」では、俳人・種田山頭火の四国の旅の足跡をドラマ演出も組み入れながら紹介し、句に込められた魂の言葉を見つめた。その他、「四国山中“千年の里”物語～祖谷・大歩危」「耐えて花咲く富太郎～時代に愛された植物学者」「建築家はやめられない～安藤忠雄・71歳直島に挑む」など、四国4県の自然、人、歴史などの魅力をしっかりと伝えた。年8本、最終金曜に放送した『伊予路で行く』では多彩なゲストが愛媛県内を旅し、その土地に暮らす人々との交流を通して、地域の魅力を伝えた。

BSプレミアムで1月に放送した松山局制作のドラマ『歩く、歩く～四国 遍路道』は、10月の制作発表から1月20日の放送直前まで、平日午後6時10分からの『いよ×イチ』や、午前11時40分からの『えひめ おひるのたまご』で、出演俳優のインタビューや関連企画をシリーズで放送したほか、その他の時間帯でも関連番組を集中的に編成した。視聴者の要望に応えて2月に金曜夜7時30分から四国向けに総合テレビでも特別版を放送した。

平日夕方の地域ニュース情報番組『いよ×イチ』は、愛媛の“安心・安全”を守る最前線のニュース情報番組として、南海トラフ巨大地震の新想定を受けての県内の新たな取り組みや、伊方原発の動向、夏季の電力需給見込みや節電対策、さらには地域経済の動向など暮らしに直結する情報を届けたほか、年末の総選挙のリポートや政権交代の影響など、県民の知りたい情報をきめ細かく伝えた。また「気象コーナー」を刷新し、気象予報士が天気の疑問に答えたり、外を歩いて身近な視点から天気を紹介する企画も放送した。

午前11時40分からの『えひめ おひるのたまご』では、新たに「耳より情報」コーナーを新設し、防災や環境、身近に家のなかで出来る暮らしの知恵など、すぐ生活に役立つ情報を幅広く取り上げた。また、新キャラクターを公募で採用し、親しみを持って見られるようミニコーナーなどで展開した。

BS2で1995年から16年間、11年からはEテレで全国放送され、親しまれてきた松山局制作の定時番組『俳句王国』が、年10回の特集番組『俳句王国がゆく』として生まれ変わり、全国各地で公開

収録を実施した。松山で活躍する俳人が中心の俳句王国チームと、訪れた地の地元チームに分かれ、前半は地元の景勝地や名産をテーマに句を競い、会場の皆さんのがその勝敗を判定する「ご当地俳句バトル」、後半は「テレビ句会」を中心とした構成で、幅広く楽しめるようにした。また『しこく8』では「俳句甲子園2012~17音に“思い”をこめて」(9.14)、「燃えろ！五・七・五～学生俳句チャンピオン決定戦」(10.19)を、県域特集で『それ行け！俳句キッズ』(2.2)を放送。R1では季語にとらわれない身近なテーマで、自由に575作品を投稿してもらう番組『つぶや句575』を年4回全国放送する(5.30, 8.29, 11.24, 1.30)など、俳句の魅力を伝える番組を放送した。

スポーツ中継は地域スポーツを中心に放送した。サッカーJ2の「愛媛FC」の4試合を総合テレビで中継し、野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「愛媛マンダリンパイレーツ」の3試合をR1で放送した。夏と秋の高校野球地区大会はテレビとラジオ中継を実施。秋の県大会と四国大会はインターネット、携帯端末、地上デジタルのデータ放送で独自の試合速報を行った。

#### [高知局]

11年度に引き続いて、12年度も祝日特集『光る森』や『サイエンスゼロ』『さわやか自然百景』などで、高知の森や海など、豊かな自然の貴重な姿を鮮烈な映像で表現し、全国に向け発信した。さらに旧物部村の“いざなぎ流”と呼ばれる独自の民間信仰を丹念に描いた『新日本風土記』や、アイスリンクを持たず、連戦連敗を繰り返しながら勝利への執念を燃やし続けるアイスホッケーの男たちを描いた『にっぽん紀行』など、高知独特的文化や人の魅力を掘り起こした全国放送番組も好評を博した。また、高知の山間部で漢方薬の原料となる植物の栽培が行われていることを端緒に『クローズアップ現代～漢方薬に異変あり』を制作、話題となった。

近い将来発生するといわれる南海トラフ巨大地震で、県内に30メートル以上の津波が襲ってくる可能性がある場所があるなど、甚大な被害が予想されることが分かり、その衝撃を伝えるとともに、生き延びるために何ができるかを問う番組・企画を機会あるごとに放送した。

夕方のニュース『こうち情報いちばん』は3年目に入り、同時間帯で県内最高の視聴率を維持し、県民に最も親しまれる地域のニュース情報番組として定着した。「オスプレイ飛行ルートの住民の不安」や「死者の出た下水道事故」「過疎の宅配

サービス」など県民の関心の高いニュースを詳しく分かりやすく伝えただけでなく、毎週放送する中継やインタビュー企画などに番組制作・アナウンスが参加し、報道と一体となって取り組んできたことが大きい。

11年度に引き続いて、12年度も6・9月と大型台風の接近が相次いだ。その都度、生中継で、状況をきめ細かく伝えた。そのほか集中豪雨や竜巻、落雷などの発生に対しても機敏に対応した。

12月の衆議院議員選挙開票速報では、小選挙区のすべてで午後8時に当確を出し、深夜まで開票結果と情勢分析を手厚く伝えて、県民の要望に応えた。

金曜夜の県域放送『とさ金8』は、12年度8回放送した。県内の知られざる名所・絶景を紹介したり、高知ゆかりの偉人の素顔をクイズ形式で楽しく伝えたり、ニホンカワウソがなぜ絶滅しなければならなかつたかを探るなど、毎回バラエティーに富んだ内容で、県民の関心に応えた。

公開番組では、9月の『BS日本のうた』(高知市)、1月の『のど自慢』(須崎市)の入場希望者がそれぞれ15倍・10倍の倍率になり、会場も大いに沸くイベントとなった。

#### [徳島局]

12年度は、南海トラフを震源とする巨大地震をはじめとした防災・減災報道に万全の体制で臨み、重点的に取り組んだ。国や県から甚大な被害想定が出され、徳島の課題やその対応策を精力的に取材、9月放送の『NHKスペシャル』では、津波に備えて消防団が中心となって行う「率先避難」や自分たちで逃げ道を確保する「マイ避難路」など、県民独自の取り組みを全国に発信した。また、金曜夜間の特集番組『阿波スペシャル』では、避難時の行動と役割をまとめた「アクションカード」を作った幼稚園の取り組みなどを追加取材し、身近にできる減災の取り組みを伝えた。さらにミニ番組『明日からできる防災』を放送するなど、暮らしに役立つ防災情報を求める県民のニーズにも応えた。

地域を活性化させる取り組みとして、「第27回国民文化祭」の県民の活動を午後6時台の地域番組『とく6徳島』で集中的に取り上げたほか、『阿波スペシャル』では、双方向のクイズ形式で県民の関心を高めた。10月の「国民文化祭総合フェスティバル」のもよは全国放送し、徳島の伝統・文化を発信、県内外から好評を博した。

金曜の夕方、若者向け音楽情報番組として放送していた『あわメロ』は、特集番組としてリニュ

一アル。学生の番組制作参加やリアルタイムの新たな双方向サービスを実施するなど、若年層の関心を高める取り組みも行った。

ラジオでは、地元FM局との共同制作による防災特集番組や、ラジオを身近に活用してもらう取り組みとして地域情報をコンパクトにまとめた特集番組『トクするラジオ』を放送。「防災ラジオ」としての活用にも積極的に取り組んだ。

#### 〔高松局〕

県内の防災の課題や自治体などの取り組みをニュースや番組で多角的に伝えた。『四国羅針盤』では、ため池崩壊による災害について県内の現状を2度にわたって取り上げ、防災の在り方に警鐘を鳴らした。また、4月の低気圧による暴風や6月の台風4号では、特設ニュースのはかL字、ホームページなどできめ細かく情報を伝えた。

高松空港で1月に起きたボーイング787型機緊急着陸では、ヘリコプターを使って空と地上の双方から生中継を展開し、全国に刻一刻と状況を伝えた。

12月の衆議院議員選挙は、県内各小選挙区とも激戦となったが、綿密な事前取材を基に1区と3区では開票直後に当選確実を速報した。また、小選挙区の政見・経歴放送をテレビ、ラジオ合わせて3時間2分にわたって放送し、県民に判断材料を提供した。

香川の魅力を広く紹介し地域振興に貢献する番組制作にも力を入れた。金曜夜の県域番組は、2年目に入った『まちカラ』を年度前半に、6年目を迎えた『笑ってうたって しあわせ家族』を年度後半に4本ずつ放送した。『まちカラ』では、取り上げた地域を応援しようと番組内容を編集したフリーペーパーを毎回発行し、公共施設などで無料配布した。

『大河ドラマ』「平清盛」の放送に合わせて高松局独自の番組・イベントを展開した。6月には崇徳上皇にゆかりの深い坂出市で、上皇役の出演者による公開セミナーを開き、収録した番組は県域および全国放送に續いてテレビ国際放送で海外にも発信した。また、ご当地サイトは出演者のインタビューなどが人気を集め、高松局ホームページの総アクセス数を倍増させた。

9月には三豊市を舞台にしたラジオドラマ『海を渡る日』をFMで全国放送するとともに、地元出演者の起用やパネル展の開催など地域密着の取り組みを進めた。7月の『新日本風土記』ではうどん、11月の『ひるブラ』では高松市の栗林公園や丸亀の骨付き鳥について掘り下げて伝えた。

「第2回瀬戸内国際芸術祭」が3月に開幕し、『ゆう6かがわ』と『おはよう四国』で1週間にわたって各会場からの中継キャラバンを放送した。また、芸術祭に参加した建築家・安藤忠雄さんの世界に迫った特集番組を放送するとともに、高松局ホームページに芸術祭サイトも開設するなど集中的に情報発信した。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『おはようえひめ』 G

各県域 月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5／最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか、天気カメラリレーで四国4県の朝の表情を伝えた。企画や中継などで構成。随時、四国4県や西日本各局と共同で季節の中継や企画シリーズを放送した。／各局タイトル：『おはようこうち』高知局、『おはよう徳島』徳島局、『おはようかがわ』高松局

#### 『おはよう四国』 G

四国ブロック 土 7:30～8:00

第1回93.4.10／週末の朝にふさわしくさわやかさを大切に、休日に役立つ情報を伝えることが番組コンセプト。四国の魅力を再発見する企画「四国プラス」では、各局のリポーターが、季節の風物詩や伝統の技、そして旬の食べ物などを取材し、スタジオで紹介した。週末のイベント情報を案内する「ウイークエンド・ナビ」や西日本各地を巡る紀行「西日本の旅」を継続して放送した。

#### 『えひめ おひるのたまご』 G

県域 月～金 11:40～12:00

第1回07.4.4／暮らしに役立つ生活情報を伝える番組。メインは、月曜は健康や花など生活を豊かに過ごすための情報、火曜は映像を基に俳句を募集する「つくって映像はい一句」や気軽に楽しめる絵手紙の紹介、水曜は旬の青果や地場産の食材を使った料理、木曜は防災や家の中の生活の工夫などすぐ役立つ「耳寄り情報」、金曜は県内各地にあるケーブルテレビで放送する地域の情報を紹介する他、地域で活躍する人を紹介する「えひめホット自慢」を放送した。「お知らせ」のほか、「地デジ普及促進」「ふれあいミーティング」なども紹介した。

#### 『いよ×イチ』 G

各県域 月～金 18:10～18:59

第1回11.4.4／愛媛県域／“愛媛のできごと、話題をいちばん分かりやすく伝える”をコンセプトに「第46回衆議院議員選挙」や「アメリカ軍の

新型輸送機オスプレイによる本土初となった四国土空オレンジルートでの飛行訓練」など、視聴者の関心に応えるニュースを連日発信。各市町村にある「県内のイチバン」を掘り起こす「えひめイチバン」のコーナーでは、県内の自治体を一巡し、地域住民の知られざる「誇り」を伝えた。イチバン輝いているアスリートを紹介する「いよ×スポ」では、夏にロンドン五輪特集を展開。銀メダルを獲得した男子柔道の中矢力選手など地元出身選手の活躍を詳しく伝えたほか、冬にはサッカーJ2の「愛媛FC」特集を放送した。このほか、地域の旬な話題を伝える「いよ×イチ中継」、県内の小学校を巡って歌い継がれる校歌を紹介する「校歌の旅」、大地震・大津波に対する防災・減災の取り組みを伝える「くらしを守る」、報道室記者によるリポート「えひめピックアップ」などを各曜日に配置。愛媛の人々が元気になる名物コーナーとして幅広い支持を得た。／各局タイトル：『こうち情報いちばん』高知局、『とく6徳島』徳島局、『ゆう6かがわ』高松局

### 『四国羅針盤』 G

四国ブロック 金 19:30~19:55  
 (毎土) 10:05~10:30

第1回00.3.31／“四国のいまを追い続ける”をモットーに各県が抱える課題や、事件・事故の背景などを伝えた。12年度は、南海トラフ巨大地震の関連で「耐震化が命を守る」「陸の津波」はどう備える」「津波新想定はどう備える」「南海地震の前兆をつかめ」などを放送。また、「電力危機を乗り越えられるか」「検証・宝石サンゴ漁」「ご神木」が狙われる」など、関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送した。

### 『しこく8』 G 四国ブロック

(除く最終週) 金 20:00~20:43

第1回10.4.9／家族そろって“元気”と“感動”そして“笑顔”を充電！地域を舞台に活躍する人々や地域の文化、風俗、歴史、自然など多彩なテーマで個性豊かな四国の魅力を再発見していく番組。12年度は“人と人の絆”“大自然の魅力”を再発見する番組を展開。四県の高校生が集い、クイズで“四国への愛”を競い合う73分の双方向新設番組「四県対抗 しこクイズ」(年3回)や、四国各地の謎や伝承を解明する「四国なぞ解き行脚」(年4回)などのシリーズの番組も含まれる。

### 『四国おはようネットワーク』 R1

四国ブロック 月~土 7:40~ 7:58

第1回93.4.5／最新の気象情報、ニュース、交通情報のほか、四国各地の朝の様子や話題を、各

県の「おはようリポーター」に電話で伝えてもらった。このうち月曜は「防災ネットワーク」として、松山局の防災ポータルサイト「防マガ」と連動。各地の学識者、防災関係者と電話をつないで震災からの教訓や新たな備えの必要性などを具体的に聞いた。原稿や放送は「防マガ」に掲載した。土曜は「俳句ネットワーク」として、四国各地の結社の方に季語にまつわる話題を中心に作品の奥深さを伝えてもらった。祝日は「四国を読む」として、各局のアナウンサーが四国ゆかりの文芸作品を朗読した。

### (2) 特集・特別番組

#### [四国ブロック]

『四国のいいぶん』 G	19:30~20:43
「地域医療を守れるか」	5.11
「“買い物物語”は救えるか」	9.7
「若者の雇用は生み出せるか」	2.8

#### 『しこく8』 G

「四県対抗 しこクイズ～公立伝統高校対決！」

松山局・徳島局 4.13/19:42~20:50

「神さんの山 石鎚～冬から春」

松山局 4.20/20:00~20:43

「四国なぞ解き行脚・春編」

四国地方4局 5.18/20:00~20:43

「ココロお届け隊～高知県・グッチ裕三」

松山局 6.1/20:00~20:43

「四国山中 “千年の里”物語～祖谷・大歩危」

徳島局 6.15/20:00~20:43

「これであなたも さぬきうどん通！」

高松局 6.22/20:00~20:43

「ロンドン五輪で輝け！四国のアスリートたち」

松山局 7.6/19:30~20:43

「近づら。」

松山局 7.13/20:00~20:43

「四国なぞ解き行脚・夏編」

四国地方4局 7.20/20:00~20:43

「土佐の夏2012 よさこい祭り」

高知局 8.17/19:30~20:43

「心ざわぐ “踊る祝祭” 徳島・阿波おどり」

徳島局 8.24/19:30~20:43

「俳句甲子園2012～17音に “思い”をこめて」

松山局 9.14/20:00~20:43

「四県対抗 しこクイズ～商業高校対決！」

松山局・高松局 9.21/19:32~20:45

「光る森～神秘の発行を追う」

高知局 10.5/20:00~20:43

「波に乗って輝きたい～女性サーファーの熱き戦い」

徳島局 10.12/20:00~20:43

「燃えろ！五・七・五～学生俳句チャンピオン  
決定戦」 松山局 10.19／19:30～20:43  
「濁れる水の流れつつ澄む」  
松山局 11. 2／20:00～20:43  
「四国なぞ解き行脚・秋編」  
四国地方4局 11. 9／20:00～20:43  
「耐えて花咲く富太郎～時代に愛された植物学者」 高知局 11.16／20:00～20:43  
「神さんの山 石鎚～夏から秋」  
松山局 12. 7／20:00～20:43  
「ココロお届け隊～フリースタイルフットボール世界一～愛媛・徳田耕太郎さん」  
松山局 12.14／20:00～20:43  
「四国なぞ解き行脚・冬編」  
四国地方4局 1.11／20:00～20:43  
「四県対抗 しこクイズ～工業高校対決！」  
松山・高知局 1.18／19:30～20:43  
「ドラマ『歩く、歩く、歩く～四国 遍路道』」  
松山局 2.15／19:30～20:29  
「ドキュメント『歩く、歩く、歩く』」  
松山局 2.15／20:29～20:43  
「建築家はやめられない～安藤忠雄・71歳直島に挑む」 高松局 3. 1／20:00～20:43  
「ココロお届け隊～フードコーディネーター・水谷建治×芸“農”タレント・林マヤ」  
松山局 3.15／20:00～20:43  
『Nコン2012 第79回NHK全国学校音楽コンクール・四国ブロックコンクール～小・中・高等学校の部』 E  
松山局 9.30／14:30～17:00  
『アイデア対決 高専ロボコン2012～四国地区大会』 G 松山局 11.23／13:05～13:59  
〔県域〕  
『Nコン2012 第79回NHK全国学校音楽コンクール・各県コンクール』  
「愛媛県」E 8.25 「高知県」FM 8.25  
「徳島県」FM 8.28 「香川県」FM 8.26  
〔愛媛県域〕  
『伊予路くてく』 G  
「さかなクンが大洲市に行く！」  
4.27／20:00～20:43  
「藤岡弘、が西予市に行く！」  
10.26／20:00～20:43  
「麒麟・田村裕が八幡浜市に行く！」  
2.22／20:00～20:43  
『中矢力 激闘を語る』 G  
8.16／22:55～23:25

『それいけ！俳句キッズ』 G  
2. 2／15:05～16:00  
『巨大地震～その時あなたは』 R1  
2.23／13:05～14:55  
〔高知県域〕  
『とさ金8』 G  
「大型連休にオススメ！ 高知の歩き方」  
4.27／20:00～20:43  
「マンガ青年の戦争」  
9.28／20:00～20:43  
「南海地震に備えちよき 2013」  
1.25／20:00～20:43  
『NHK高知放送局開局80周年記念番組』 R1  
4.28／ 9:05～ 9:55  
『中継 土佐の夏2012～よさこい祭り』 E  
8.10／19:25～20:30  
8.11／19:00～19:55, 20:00～20:45  
『防災特番 南海地震に備えちよき』 R1  
1.26／13:00～14:55  
『心の音色を描く～片岡鶴太郎 高知の旅』 G  
3.31／18:10～18:39  
〔徳島県域〕  
『阿波スペシャル』 G  
「あきらめない～認知症フォーラムin徳島」  
4.27／20:00～20:43  
「あすからできる防災～南海トラフ巨大地震に備える」  
9.14／20:00～20:43  
「立木義浩 “モラエスの徳島”を撮る」  
2.22／20:00～20:43  
『あわ☆メロ』 G 4.29, 9. 6, 3. 3  
『熱演！真昼の阿波おどり2012』 G  
8.21～ 8.23  
『生中継 国民文化祭総合フェスティバル』 G  
10.28／13:05～14:55  
『第22回 リオテ徳島音楽祭』 FM  
11.17／16:00～18:00  
〔香川県域〕  
『まちカラ』 G  
「第6号 琴平町」 4.27／20:00～20:43  
「第9号 三豊市」 9.28／20:00～20:43  
『笑ってうたって しあわせ家族』 G  
「伍代夏子さん・松原のぶえさんとゆく 観音寺市の旅」 10.26, 11.30／20:00～20:43  
「山本譲二さん・鳥羽一郎さんとゆく ぽっかぽかスペシャル」 2.22／20:00～20:43  
『朗読 壱井栄賞』 R1 8.25／20:05～20:55  
『Song For You』 FM  
3.12～14／18:00～18:50

### 3. スポーツ中継

#### 〔高校野球〕

全国高校野球選手権大会・各県大会（各県域）

愛媛県	2回戦	R1・FM／ 7.19, 21～22
	3回戦	R1・FM／ 7.23～24
	準々決勝	G・E・R1・FM／ 7.25～26
	準決勝	G・E・R1／ 7.28
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.29
高知県	3回戦	R1・FM／ 7.17～18
	準々決勝	G・E・R1・FM／ 7.19～21
	準決勝	G・E・R1／ 7.23
	決勝	E・FM／ 7.24
徳島県	2回戦	R1・FM／ 7.21～23
	準々決勝	FM／ 7.24～25
	準決勝	E・FM／ 7.27
	決勝	G・E・R1／ 7.28
香川県	3回戦	R1・FM／ 7.19～21
	準々決勝	R1・FM／ 7.22～23
	準決勝	E・FM／ 7.25
	決勝	G・R1／ 7.26

秋季四国地区高校野球・各県大会（各県域）

愛媛県	準決勝, 3位決定戦, 決勝	R1／10.13～14
高知県	準決勝, 3位決定戦, 決勝	R1／10. 8～ 9
徳島県	準決勝, 3位決定戦, 決勝	R1／10. 6～ 7
香川県	準決勝, 3位決定戦, 決勝	R1／10. 7～ 8

秋季高校野球四国大会（四国ブロック）

準決勝	G・G2・E・R1・FM／11. 3
決勝	E・FM／11. 4

#### 〔全日本サッカー選手権〕（各県域）

〔地区大会〕	
愛媛県 代表決定戦	G／ 8.26
高知県 代表決定戦	G／ 8.26
徳島県 代表決定戦	G／ 8.26
香川県 代表決定戦	G／ 8.25

#### 〔サッカーJリーグ・JFLリーグ中継〕

愛媛県域 G	
愛媛FC戦	
対「町田ゼルビア」	3. 4
対「アビスパ福岡」	4. 8
対「ギラヴァンツ北九州」	5.12
対「ザスパ草津」	11. 4
徳島県域 G	
徳島ヴォルティス戦	

対「ファジアーノ岡山」	4. 1
対「ガイナーレ鳥取」	5.20
対「FC岐阜」	11. 4
香川県域 G	
カマタマーレ讃岐戦	
対「AC長野パルセイロ」	7. 8
対「HOYO大分」	11.18
(四国アイランドリーグplus中継) R1	
高知県域	
高知ファイティングドッグス開幕戦スペシャル	4. 7
高知ファイティングドッグス戦	
対「愛媛マンダリンパイレーツ」	6. 2
香川県域	
香川オリーブガイナーズ戦	
対「徳島インディゴソックス」	5.28
対「徳島インディゴソックス」	9.13～14
愛媛・高知ブロック	
「愛媛マンダリンパイレーツ」	
対「高知ファイティングドッグス」	7. 7
愛媛・徳島ブロック	
「愛媛マンダリンパイレーツ」	
対「徳島インディゴソックス」	9. 7
愛媛・香川ブロック	
「愛媛マンダリンパイレーツ」	
対「香川オリーブガイナーズ」	9.29

## II. 技 術

### 1. 放送機能の強化

南海トラフ巨大地震の被害想定を基に放送機能強化に向け機材整備や対策検討を行った。

高知局と高松局に屋上簡易自家発電機を設置するとともに燃料タンクを増量し、放送会館の電源設備を強化した。また、高知局は巨大地震による地盤沈下で長期間の浸水が予測されるため、浸水域外に取材・情報発信の拠点となるサブステーションを整備した。

局外天気カメラ関連では、伊方原発カメラの無停電装置増強と伽藍山FPU基地局の燃料タンク増量により、停電時の運用時間延長を行った。高知・柏尾山と徳島・牟岐町には新たにカメラを設置した。

放送所関連では、松山・針田ラジオ放送所の電源設備更新や燃料タンク増量、高知・須崎および窪川ラジオ放送所に自家発電機整備を行った。松山・宇和などラジオ放送所6か所の燃料タンク増

量を行い、停電対策を強化した。放送会館と放送所間の回線障害時でも放送を継続するため、域内のテレビ放送所（親局）4か所と域内全ラジオ放送所25か所に無線中継受信機を整備した。

域内の海岸近くにある約900の主要な避難所でラジオ・FM・ワンセグの受信状況調査を実施した。

## 2. 地域放送の充実

松山局では7年ぶりの地域発ドラマ『歩く、歩く、歩く～四国 遍路道』を制作した。12年度から全国公開派遣番組となった『俳句王国がゆく』を年間10本制作した。このほか、松山『神さんの山 石鎚』、高知『光る森』、『新日本風土記』では高知「物部 神々と棲む村」、徳島「祖谷・大歩危」、高松「うどん」などを制作した。

双方向番組では松山局の「四県対抗 しこクイズ」『四国のいいぶん』、徳島局の『あわ☆メロ』、高松局の『まちカラ』で新たなコンテンツ開発を取り組んだ。

データ放送では、四国ダム情報や河川水位・雨量情報のコンテンツを開発し、DGデータ放送やホームページで防災情報として提供した。

放送技術選奨では、ドラマ部門で高知局制作の『カゲロウの羽』、中継部門では松山局制作の『ひるブラ～大接近でわかる動物の秘密～愛媛県砥部町』が最優秀賞を受賞した。

## 3. 放送設備の整備

番組制作設備ではCS中継車（松山・ZH-32）をはじめ、松山局の伽藍・野呂・行道と高知局の安芸のFPU基地局、松山局の愛南・伊方・宇和島・来島大橋・来島海峡と高知局の室戸の局外天気カメラおよび松山局の今治・宇和島・新居浜・八幡浜と高知局の室戸の報道室をハイビジョン化した。徳島局では汎用スタジオにハイビジョン副調設備を整備した。

放送所設備では、高知・早明浦ラジオ放送所の開局や高松・観音寺ラジオの無線回線の新設ほか、徳島・眉山FM放送所のアンテナ、高松・青峰FM放送所の放送機およびSTL装置、松山・南宇和と徳島・日和佐FM放送所の中継放送機更新を行った。また、松山・土居局、高知・北川局ほか11のテレビ放送所の放送機2台化整備を行った。

## 4. 緊急報道・選挙報道

緊急報道では、「台風4号・17号」「全日空787緊急着陸」をはじめ自然災害や事件・事故などに

迅速かつ確実に対応した。10月には伊方原発の重大事故を想定した愛媛県の広域避難訓練を中継するとともに伝送対応を行った。

災害発生時に備え、域内支援ルート調査やIP機材を活用した離島中継、緊急報道機材の運用訓練を実施した。

第46回衆議院議員選挙では政見・経歴放送の収録・放送から選挙事務所中継を含む開票速報まで正確で迅速な放送を行った。

## 5. 良好的な受信環境の確保

新たな難視対策は、総合通信局・デジサボ四国・地域協議会と連携して、620地区（5,043世帯）のうち、531地区の対策を完了した。セーフティネット受信地区の恒久対策は、対策未完了89地区のうち、75地区で現地対策が進められた。

NHK共聴設備では、松山・渋草、高知・柄の木ほか9施設の光化改修を行った。

## III. 視聴者

### 1. イベント事業

#### (1) 全国放送公開番組

『NHKのど自慢』をはじめ、全国放送番組を四国4県23会場で実施し、2万1,000人余りの入場者があった。

#### (2) 公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「歳末・海外たすけあい」「ハートフォーラム」「介護百人一首パネル展」（松山局）、「ハート展」（高知局）などのNHKハートプロジェクトや、「ふるさとの食にっぽんの食」地域フェスティバル、「防災キャンペーン」「環境キャンペーン」に連動した関連の展示、新規開発の「ステージイベント」（松山局）などのイベントに地域と連携して積極的に取り組んだ。

#### (3) こども・青少年、教育・教養イベント

「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（徳島局）、「いろいろいばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（高知局）や、「放送体験クラブ」「全国学校音楽コンクール」「放送コンテスト」などの教育イベントを実施。地域の音楽文化・教育の振興を目的として、独自に開発し6回目となる「学校にN響メンバーがやって来る！」（松山局）は参加単位を広域にして開催したほか、「NHK音楽クラブ」（高松局）など学校に出向くイベントを積極的に展開し、子どもや保

護者層への理解促進に努めた。また、「おかあさんといっしょ あつまれ！土曜日スタジオ収録」（松山局、高松局）、「ワンワンとあそぼうショー」（松山局）、「ポコポッティト小劇場」（松山局、高知局、徳島局、高松局）などを受信料支払者への優待サービスとして実施した。

#### （4）美術・展博イベント

「第59回日本伝統工芸展」（松山局、高松局）では、NHKならではの「ホンモノ志向」の展覧会として入選作品とともに地元作家の作品を中心に展示し、地域文化振興と活性化に取り組んだ。

#### （5）音楽イベント

14回目を迎える地元クラシック音楽ファンからも期待の高い「N響松山定期演奏会」（松山局）を開催し、良質な生の音楽を視聴者に提供することで、地域の音楽文化向上に寄与した。

#### （6）スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会（天皇杯各県予選）」のほか、「ジュニアスポーツ教室」（松山局、高松局）や地域放送局杯各種大会を実施するなど、スポーツ文化振興と競技力の向上に寄与するとともに、大会を通じて視聴者との結びつきの強化を図った。

#### （7）BS放送PR展開

『BS日本のうた』（高知局、徳島局）開演前に大型スクリーンに、高輝度DLPプロジェクターで番組PRソフトを上演したほか、各イベント会場でもBS放送のPRを積極的に展開した。

#### （8）地域貢献

松山局では、『プレミアムドラマ』「歩く、歩く、歩く～四国 遍路道」関連の宿坊体験イベントや出演者による「トーク＆ミニコンサート」等を実施。また、俳句をテーマにした「それいけ！俳句キッズ」を小学生・ファミリー層を対象に開催した。徳島局では『大河ドラマ』「平清盛」関連事業として「ここ出る！受験に役立つ？オモシロ平家物語塾」や、高松局では「いやしの遍路道シンポジウム」を新規地域企画イベントとして開催するなど、大型番組・地域発ドラマや地域の要望に応えるイベントを域内各局で積極的に実施し、地域における“四国の底力”をアピールして経営目標の具現化に努めた。

## 2. 営業

「平成24～26年度 NHK経営計画」の初年度にあたる12年度は、10月に実質的に初めての受信料の値下げが実施され、減収が予想される中で、値下げを見据え、年度前半の前倒しによる業績確

保と、受信料制度の理解促進と増収に向けた部門を超えた「プロジェクト810」活動を展開した。

四国ブロックとしては、BS放送の普及、受信状況に応じた契約取り次ぎの拡大と事業所対策を進めることにより、人口や世帯の動態に左右されない地方圏における増加モデルの構築に取り組んだ。

具体的には、契約・収納業務における法人委託の拡大に取り組み、新たに4社が加わり、合計6社、9エリアにまで拡大し、契約取り次ぎ数を向上させた。

また、事業所割引制度や業界団体取りまとめを活用した事業所対策にも継続的に取り組むとともに、新たに会社や病院などの「寮」対策も実施した。

さらに、民事手続きによる支払督促を四国ブロック4県とも2回ずつ実施。公平負担の徹底に努めた。

## 3. 広報

### 【松山局】

#### （1）『プレミアムドラマ』「歩く、歩く、歩く～四国 遍路道」の番組広報

10月の制作発表以来、ドラマ『歩く、歩く、歩く』の広報には、さまざまな角度から取り組んだ。

制作発表会見やロケ取材会、試写会を実施し、新聞・雑誌・ウェブ等に記事掲載を図った。ポスターを作成し、JR松山駅や私鉄全駅、空港など公共交通機関連施設、地元銀行の店舗や松山市内商店街、県内JAなどで掲出した。

デパート、空港、ロケを行った新居浜市など県内5か所で衣装・パネル展を開催し、3万8,000人を超える来場者があった。このほか、放送と連動した「遍路体験」募集など一連の広報活動は51件にのぼった。

また、県域・四国ブロックの地域放送番組や松山局制作の全国放送番組などの番組広報にも努めた。

#### （2）地域の皆さまとの絆を強化

重点番組と連動したイベントや県や市、マスコミ各社と一緒にしたイベントをはじめ、多彩な広報イベントを県内各地で実施し、年間を通して幅広い視聴者層に接する機会を持った。

ロンドン五輪では、男子柔道の銀メダリスト中矢力選手の出身校でパブリックビューイングを開催し、応援風景の生中継を実施したほか、市内商店街では受信公開を行った。また、公開番組『ケータイ大喜利 全国ツアーin松山』や、県・松山

市・マスコミ各社が開催するイベントと連関した会館公開「NHKふれあい秋まつり」を初めて開催し、2日間で5,000人が来場した。

毎年開催の会館公開「NHK春のふれあい広場」では、ステージショーや「大河ドラマ『八重の桜』展」を行い、2日間で3,500人が来場した。「第37回チャリティーロビー展」は29団体が出展し、「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」に92万円が寄せられた。

会館内のアートギャラリーでは年間47回の展示（うち外部団体43団体）が行われ、入場者数は5万6,000人だった。また、団体見学者は168団体6,000人、来局者総数は8万2,000人だった。

その他、『伊予路でくてく』や『俳句王国がゆく』など松山局制作の番組・イベントから局内施設まで紹介するパンフレット等を作成した。

### （3）会館ロビーのリニューアル

会館ロビーは『スペシャルドラマ～坂の上の雲』の周知広報スペースとして活用していたが、放送が終了したため、4月にリニューアルした。3Dモニターやタッチパネル式クイズ、「坊っちゃん列車ななみちゃん」の記念撮影コーナーを設置し、局舎外観も含めてNHKキャラクターを随所に配置したファミリー向けの優しいデザインとした。親しみやすい開かれた会館としてこれらを常設展示している。

### （4）誠実、迅速、的確な視聴者対応と「視聴者からの声」

電話、来局、メール、手紙などによりハートプラザへ寄せられた質問・意見・要望は年間で1万1,639件にのぼり、各部と連携して迅速に対応するとともに、番組や業務改善などに反映させた。

### （5）「ふれあいミーティング」

「ふれあいミーティング」は年間で9回実施し、335人が参加した。『伊予路でくてく』のロケ現場となった地域からの観覧者を対象にした定例のものほか、イベント会場や大学、専門学校などで実施した。それぞれの地域事情を反映した意見や要望を受け、それに真摯に応えることで、番組や公共放送の理解促進につなげた。

#### 〔高知局〕

『のど自慢』など公開派遣番組の会場で『大河ドラマ』などのパネル展や来場者への独自のサービスを実施し、各会場とも好評を博した。また、イベント実績の少ない県西部でのキャラクターショーや、大学構内での番組連動ステージイベントなどを積極的に実施し、若い世代とふれあう機会を多く設けた。局のハートプラザギャラリーには

年間5,000人を超える来館者があったほか、団体見学も多く受け入れ、年間を通して視聴者との結び付きを強めた。

#### 〔徳島局〕

「親しまれる放送局」を目指したさまざまな取り組みを集中的に実施。8月、徳島最大のイベント「阿波おどり」の期間に合わせて番組PRを行った。昼間の阿波おどりの名所となった独自イベント「熱演 真昼の阿波おどり」には、県内外から多くの来館者があった。3月に開催した会館公開は、家族で楽しめるイベントとし、徳島局では初めて2日間開催。多くの家族に楽しんでもらった。このほか、公開派遣番組も幅広いお客様を対象に多数実施し、視聴者との結び付きの強化に努めた。

#### 〔高松局〕

『大河ドラマ』『平清盛』のご当地サイトを高松局のホームページ上で展開した。香川県ゆかりの登場人物を演じた俳優などのインタビューや、香川県内にある登場人物ゆかりの場所の紹介などを掲載したところ、局のホームページへのアクセスが前年比10倍になる月もあったほど県内外から大きな反響があった。

イベントのPRに街頭サイネージを取り入れるなど、新たな広報手段にも取り組んだ。秋の会館公開では、「ステージショー」などに家族連れが多数来場、地域の皆さまとのふれあいを深めることができた。

## 九州・沖縄

- ◇九州・沖縄各局では、九州北部豪雨災害、沖縄基地問題、原発問題、尖閣諸島問題、高齢化社会をめぐる問題、飲酒運転問題など九州・沖縄地域が抱える課題や動きを伝えた。沖縄局では、沖縄本土復帰40年にあたり『復帰40年企画 NHKが映した沖縄』として沖縄関連の番組・映像資料を基に1年間にわたり放送した。
- ◇九州北部豪雨災害が、7月11日から14日にかけて発生した。熊本、大分、福岡の3県で死者・行方不明者32人となった。福岡、熊本、大分の3局では、豪雨被害や土砂災害警戒情報、自治体の避難指示・避難勧告、河川の情報などを24時間態勢できめ細かく伝え続けた。
- ◇九州・沖縄域内では地域ドラマの制作にも取り組んだ。福岡局では10作品目となる『スイツ！～嗚呼（ああ）、甘き青春よ』、宮崎局では口でいきをテーマにした『命のあしあと』、大分局では別府の貸間旅館を舞台にした『今日も地獄でお待ちしています』を制作した。
- ◇大規模災害に備え、伝送機能強化や電源強化を図った。CS受信設備強化と放送会館・放送所燃料タンクの貯蔵量増加工事を実施した。また、気象庁から地震の際送信されるデータを基に自動的に原稿を作成する「原稿支援装置」を域内局に整備した。
- ◇営業活動の生産性向上と契約収納体制の強化により、受信料収入の確保に努めた。九州・沖縄域内における有料契約件数は426万3,489件となった。
- ◇福岡放送会館が天神から六本松に移転して20年。福岡局では「移転20周年」を記念して、さまざまなイベントを展開した。鹿児島では、見学設備の充実等を行い、06年12月新会館オープンからの累積来館者数が28万8,461人となった。

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### (1) 地域放送

平日夕方6時台のニュース番組や金曜夜7・8時台の番組など定時番組の定着を目指すとともに、多様な特集番組とあわせて地域放送の充実・強化を図った。

平日夕方6時台のニュース番組は、地域の動き

や課題を掘り下げて伝え、人々の暮らしに役立つ情報の提供に努めるとともに、アジア情報も発信して、視聴者の関心に応えた。なお、大分局が番組をリニューアルした。

金曜夜7時台は、第1週を各県ごとの放送として、各地で活躍する人々や地域の課題を取り上げた。ブロック放送では報道番組『特報フロンティア』で、九州北部豪雨関連、高齢化社会をめぐる問題、Jリーグやプロ野球関連、飲酒運転問題、いじめ問題、沖縄の基地問題、原発関連、新たな産業・文化の動向など、九州・沖縄地域が抱える課題や地域社会の新たな動きを取り上げた。金曜夜8時台は、九州・沖縄各地の魅力的な人物や文化・自然など地域の情報を、さまざまな切り口で親しみやすく紹介するスタジオベースの地域情報バラエティー番組『きん☆すた』を編成した。さらにこの時間帯では、地域の“いま”とそこに住む人々の絆を描くドラマや、地元で人気のプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」の試合中継など、多彩な番組を編成した。

また、アジア各地で活躍する日本人の姿を描くドキュメンタリー『ASIAN PASSION～アジアを駆ける日本人』は放送時間を水曜夜10時に移設して随時放送した。

このほか、戦争と平和について考える番組や、防災関連の番組、地域イベントと連動した番組など、多様な特集番組を編成し、地域視聴者の期待・関心に応えた。

#### (2) 全国発信

##### 〔テレビ〕

『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代』『ETV特集』『地域ドラマ』など多様な番組を九州沖縄各局が全国発信した。

『NHKスペシャル～戦場の軍法会議～処刑された日本兵』(G, 8.14)は、太平洋戦争末期の激戦地で日本兵の逃亡が続出したが、「死刑に値しない」兵士が処刑されていたことを記録した軍の文書を基に、兵士を裁いた軍法会議の闇に迫った。

『NHKスペシャル～発見！幻の巨大軍船～モンゴル帝国VS日本 730年目の真実』(G, 11.3)は、長崎・鷹島沖の海底で発見された、700年前の巨大軍船や出土品を手がかりに、謎の多いモンゴル襲来の実像に日本とアジアからの複眼的な視点で迫った。『クローズアップ現代～“からだの時計”が暮らしを変える』(G, 4.23)は、細胞の時計遺伝子の特性を生かすことで、治療効果が大幅に高められる時間医療研究の最前線を紹介。『クローズアップ現代～シリーズ沖縄復帰40年（1）基地

負担は減るのか』(G, 5.14)は、本土に復帰して40年経っても、軽減しない沖縄の基地負担の実態を伝えた。『クローズアップ現代～シリーズ沖縄復帰40年（2）“基地とカネ”の深層』(G, 5.15)は、復帰後、国が沖縄に投じた振興予算は総額10兆円に達するのに、今も失業率や県民所得は全国最低レベルという沖縄振興の矛盾の構図に迫った。『クローズアップ現代～国産ロケットは勝ち残れるか～衛星打ち上げビジネス最前線』

(G, 5.31)は、ロケット打ち上げというし烈な国際宇宙ビジネスに日本は勝ち残れるのか、その舞台裏に迫った。『クローズアップ現代～警報は生かされたのか～九州北部豪雨災害』(G, 7.18)は、九州北部を襲った記録的な大雨がもたらした被害の実態を探るとともに、防災情報の役立て方を検証した。『クローズアップ現代～水俣病“真の救済”はあるのか～石牢礼道子が語る』(G, 7.25)は、水俣病問題の最終解決を図るために、2年前に制定された救済策の申請受付は7月末で打ち切られるが、国が掲げる“あたう限りの救済”は実現するのか、問題の解決の仕方を検証した。

『クローズアップ現代～糖尿病の“常識”が変わる』(G, 8.30)は、次々と登場してくる糖尿病治療法の効果やリスクなど研究の最前線を追った。

『クローズアップ現代～リッチをねらえ～富裕層ビジネス最前線』(G, 9.12)は、富裕層を狙った高価格・高付加価値商品で消費を喚起できるのか、新たなるビジネスの最前線を取材した。『クローズアップ現代～オスプレイ“沖縄配備”の深層』

(G, 9.24)は、入手資料を基に米軍の新型輸送機「オスプレイ」配備の実態に迫った。『クローズアップ現代～“暴力団排除”で何が～変貌する組織犯罪』(G, 10.29)は、活発化し始めた暴力団活動の実態を探り課題を検証した。『プロフェッショナル 仕事の流儀～一步を踏み出せば、世界は変わる～糀屋女将・浅利妙峰』(G, 8.27)は、塩こうじブームの立役者・浅利妙峰さんに密着した。『第16回 熱血！オヤジバトル』(G, 3.25)は、海外からのエントリーも含め、予選を勝ち抜いた7組の中高年バンドによる決戦ライブのもとを伝えた。『ETV特集～福島のメル友へ 長崎の被爆者から』(E, 8.5)は、メールの交換で親交を深める、長崎の被爆者82歳男性と福島の17歳少女の物語を見つめた。『ETV特集～沖縄戦 心の傷～戦後67年 初の大規模調査』(E, 8.12)は、沖縄で、戦争が精神にどう影響を与えたのかをテーマにした初めての大規模な調査を基に、激しい地上戦が何をもたらしたのか、沖縄の人々の心の傷

を見つめた。『ETV特集～原田正純～水俣 未来への遺産』(E, 11.4)は、半世紀にわたった水俣病に向き合い、社会に警鐘を鳴らし続けた医師・原田正純さんの人生を探った。『趣味Dō楽～誰でも歌はうまくなる！～広瀬香美のボーカル・レッスン』(全8回)(E, 10.2, 9, 16, 23, 30, 11.6, 13, 20)は、「ロマンスの神様」等ヒット曲を持つ広瀬香美さんが歌を楽しく歌えるようになるコツを教えるシリーズ。『アスリートの魂～最後まで“一瞬に生きる”～ソフトバンク 小久保裕紀』(BS1, 10.8)は、引退を表明した福岡ソフトバンクの小久保裕紀選手の野球にかけた男の生き様を描いた。『BS1スポーツドキュメンタリー サガン、奮闘す～J1最小クラブの挑戦』(BS1, 12.16)は、ホームタウン人口、年間予算、選手年俸など、すべてJ1最小のサッカークラブ「サガソニ鳥栖」の奮闘を追った。『新日本風土記～唐津』(BSP, 12.21)は、大陸に近く、古代よりその文化を受け入れてきた佐賀県唐津の勇壮な祭り「唐津くんち」などを紹介した。『新日本風土記～別府』(BSP, 2.15)は、日本一の湧出量を誇る湯の街・別府の独特の入浴文化を紹介した。『プリンセス プリンセス～もう一度“ダイアモンド”』(BSP, 12.28)は、「Diamonds」「M」などのヒット曲で知られるプリンセス プリンセスが、被災地・仙台のステージに立つまでの4か月に密着。『プレミアムドラマ～大分局発地域ドラマ～今日も地獄でお待ちしています』(BSP, 1.13)は、温泉を“地獄”と呼ぶ町・別府を舞台にした人情ドラマ。『プレミアムドラマ～宮崎局発地域ドラマ～命のあしあと』(BSP, 1.27)は、家畜伝染病・口てい疫が流行していた当時の農家の苦悩と葛藤を描いた感動の人間ドラマ。『福岡発地域ドラマ～スイーツ！鳴呼（ああ）、甘き青春よ』(BSP, 2.10, G, 3.3)は、ケーキ作りの全国大会で優勝した飯塚市の高校の実話を基に、スイーツを通して、夢やふるさとの良さを再発見してゆく少女たちの成長を描いた青春ストーリー。

この他、『平成24年 沖縄全戦没者追悼式』(G, 6.23)や『平成24年 長崎平和祈念式典』(G, 8.9)の生中継をはじめ、『目撃！日本列島』『あさイチ』『ひるブラ』『ハートネットTV』などで全国発信した。

また、沖縄戦における日本軍の「残置工作員」の真相、年金を狙った“偽装”質屋の実態、200兆円規模のイスラム市場を巡る動向など九州沖縄ブロック向けの番組で取り上げたテーマを、『ニュースウォッチ9』や『NHKニュースおはよう

日本』などで全国向けに展開した。

### [ラジオ]

ラジオ第1放送の定時番組『博多屋台こまちやん』(福岡局制作)や『沖縄熱中俱楽部』(沖縄局制作)をはじめ、『平成24年 沖縄全戦没者追悼式』(R1, 6.23)や『平成24年 長崎平和祈念式典』(R1, 8.9)の生中継、『NHKジャーナル』『ラジオ深夜便』『ここはふるさと旅するラジオ』、FM放送『今日は一日〇〇三昧』などで全国発信した。

『長崎原爆の日ラジオ特集 被爆の記憶を伝えたい』(R1, 8.9)は、被爆者が高齢化する中、被爆体験をどのように継承していくかを模索するナガサキの今を伝えた。

『熊本発ラジオ深夜便』(R1, 5.25)は、「特集“火の国 くまもと 水紀行”」と題して熊本の魅力を伝えた。

『沖縄発ラジオ深夜便』(R1, 2.22)は、「うちなーに出会う旅」と題して沖縄の魅力を伝えた。

『聖なる夜にミスチルの歌詞について語ろう』(R1, 12.24)は、リスナーから寄せられた1,200通を超える歌詞にまつわるエピソードとともに、デビュー20周年を迎えたMr.Childrenの数々の曲を紹介した。

『今日は一日“沖縄（うちなー）SONG”三昧』(FM, 4.30)は、沖縄戦など大きな困難を乗り越えてきた沖縄の人たちを支えてきた沖縄音楽を10時間にわたって紹介。

『今日は一日“爆笑コミックソング”三昧IN福岡』(FM, 5.5)は、「電線音頭」や「スーザラ節」などのコミックソングを10時間にわたって紹介した。

### (3) 選挙報道

12年12月の衆議院議員選挙は、2大政党の対決という従来の選挙構図が大きく変わって情勢が読みにくい選挙戦となつたため、有権者の動向を探る各種調査を強化したほか、事前の情勢取材に今まで以上に力を注いだ。そして、当日の出口調査とあわせて分析した結果、ほとんどの選挙区で自民党候補が優勢に戦いを進めていることが確認された。結果は、九州・沖縄8県の38選挙区のうち34選挙区で自民党が議席を確保し、政権の奪還に結び付けた。一方で、民主党は小選挙区ですべての議席を失い、比例代表でも、自民、維新、公明に次ぐ第4党に後退した。

NHKでは、事前の情勢取材や、各種調査結果などを基に、投票終了直後の午後8時に、25選挙区で当選確実を打ち出した。そして、午後11時14

分の佐賀1区まで、38選挙区の当選確実を1つのミスもなく伝えた。

一方で、比例代表・九州ブロックでは、熊本市選管の開票トラブルの影響で、開票作業が大幅にずれ込み、午前4時55分に最終となる日本未来の当選を伝えた。

また、衆議院選挙の前の10月には、松下金融相の死去に伴う衆議院鹿児島3区の補欠選挙が行われた。衆議院選挙の前哨戦として、全国の注目を集め、自民党元議員が返り咲きを果たした。NHKでは、管内各局からの応援態勢を組み、綿密な開票所取材を実施して、自民党元議員の当選確実を他社に先駆けて打ち出した。

このほか、九州・沖縄では、7月に鹿児島県知事選が行われたほか、11月には、県庁所在地の那覇市長選と鹿児島市長選が行われた。いずれも、現職が新人を圧倒し、NHKでは、投票終了直後の午後8時に当選確実を伝えた。

さらに、6月には沖縄県議選が行われた。仲井真知事を支える与党側が過半数を占めるかどうかが焦点となつたが、議席は伸ばせず過半数を占めることが出来なかつた。

また、13年1月には、衆議院選挙後、初めての大型地方議員選挙となる北九州市議選が行われた。選挙結果は、自民が堅調に推移した一方、民主は後退した。さらに維新・みんなは擁立した候補全員が当選して初めて議席を確保するなど、衆議院選挙後の各党の勢いを反映するものとなつた。NHKでは、北九州市議選のほか、4月の鹿児島市議選や2月の大分市議選といった県庁所在地の市議選でも当選確実の情報も含め、きめ細かく報道した。

### (4) 事件、事故、災害

7月11日から14にかけ熊本、大分、福岡の3県は九州北部豪雨に見舞われた。各地で1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が断続的に降り、気象庁は「過去に経験したことがない大雨」という表現を初めて使って警戒を呼びかけた。しかし土砂災害や河川の氾濫が相次ぎ、死者・行方不明者は3つの県で32人に上った。

最初に豪雨被害を受けたのは大分県で、九州北部豪雨に先立ち3日から、日田市や中津市を中心に記録的な大雨が降り、山国川・花月川が氾濫した。さらに12日、ほぼ同じ地域が再び豪雨に見舞われ、再び2つの川が氾濫、3日以降、大分県では3人が死亡、1人が行方不明になつた。

最も犠牲者が多かったのは熊本県で12日1時間に100ミリ前後という猛烈な雨が降り続いた。阿

蘇市内では77か所で土砂災害が発生し、黒川が氾濫、阿蘇市と南阿蘇村で23人が死亡、2人が行方不明になった。熊本市でも市内を流れる白川などが氾濫し、一時およそ80人が取り残された。

豪雨被害は14日、福岡県にも及んだ。八女市などで土砂災害のため4人が死亡、柳川市では矢部川と沖端川で堤防が決壊し、建物への被害は全半壊や浸水など7,655棟に上った。

福岡局と熊本局、大分局では、豪雨被害の状況をはじめ土砂災害警戒情報、自治体の避難指示・避難勧告、河川の情報などを24時間態勢できめ細かく伝え続けた。豪雨災害の後もニュースをはじめ、『クローズアップ現代』や『特報フロンティア』など、さまざまな番組を通して、災害の検証や復興に向けた地域の取り組みなどを伝えた。

7月25日、福岡県警の東警察署の警部補が、暴力団と関わりが疑われる男らから現金を受け取ったとして収賄の疑いで逮捕された。警察は市民に対して暴力団追放に立ち上がるよう呼びかけていただけに、事件は警察に対する市民の信頼を大きく裏切るものとなった。

8月から9月にかけて、福岡県の暴力団排除条例に基づいて、暴力団の立ち入りを禁止するステッカーを掲示していた北九州市の飲食店の従業員らが刃物で顔などを切り付けられる事件が4件相次いだ。警察は、暴力団関係者の犯行とみて捜査した。

8月10日、長崎県島原市にある県立農業大学校で、20歳の男子学生が助教授を殺害して女子寮の鍵を奪った上、寮に侵入して寝ていた女子学生の首をしめて殺害しようとしたとして、強盗殺人や殺人未遂の疑いで逮捕された。

10月16日未明、沖縄本島中部で日本人の女性に乱暴をしてけがをさせたアメリカ海軍の兵士2人が逮捕された。この事件を受けて在日アメリカ軍は夜間の外出禁止令を出すとともに基地の外での飲酒を禁止したが、事件から2週間後に、読谷村で酔ったアメリカ兵がビルの3階の部屋に侵入して中学生を殴って逮捕されるなど、事件の後も、アメリカ兵の事件が相次いだ。

10月19日、ほとんど価値のない品物を預かって多額の金を貸し、法律で質屋だけに認められている高金利を取っていた福岡市の『偽装質屋』に警察の捜索が入った。実質的な担保は法律で担保にすることが禁止されている年金で、口座引き落としで返済させていた。一方、利用者の高齢者は、他に融資を受けられる所がなく高金利と知りながらも『偽装質屋』を頼っていた。福岡局は『クロ

ーズアップ現代』を制作して悪質巧妙な手口に注意を呼びかけるとともに、高齢者が安心して利用できる融資制度の必要性を伝えた。

10月20日、午前1時半ごろ、JR博多駅で26歳の無職の男が、駅のコンコースにいた人たちを包丁で次々に切り付け、男性5人が重軽傷を負った。男は殺人未遂の疑いで逮捕されたが「事件の前に睡眠薬を飲んでいて覚えていない」と話したことなどから、検察は、精神鑑定を経て、男を傷害や暴行などの罪で起訴した。

13年1月、福岡県中間市で生活保護を担当していた市の職員2人を含む5人が、生活保護を不正に受給していた疑いで逮捕された。事件の中心人物と見られる職員は「自分なら生活保護を使っていくらでも金を作れる」と話していて、個人的に受け取った金の返済の意味合いで、不正に知人に生活保護を受け取らせていたと見られる。

生活保護の在り方が大きな議論になっている中で、市の職員が個人的な利益のために不正をした事件は市民の信頼を大きく損なうものとなった。

2月8日、長崎市のグループホームが焼け、入居者5人が死亡した。この施設は面積がスプリンクラーの設置基準を下回っていたことから基準の見直しの議論につながった。また、大手電子部品メーカーのTDKが「火元は、過去に販売して発火のおそれがあるとして回収を進めている加湿器である可能性が高い」と発表した。

2月17日、大分県九重町で観光バスがガードレールを突き破ってJRの線路に突っ込み、2人が大けがをするなど約40人がけがをした。現場は長い下り坂で、運転手は事故の直前、「ギアが入らない」「ブレーキが利かない」と叫んでいたことから警察は車体トラブルの可能性もあると見て捜査した。

台風は、12年6月以降、沖縄県と鹿児島県奄美地方に相次いで接近した。沖縄地方では12年の1年間に接近した台風が11個と平年より3個多くなった。奄美地方でも9個が接近、気象台が観測を始めてから最も多くなった。

なかでも9月下旬の台風17号は、那覇市で史上3番目の最大瞬間風速61.2メートルを観測。車が次々と横転するなどして90人以上がけがをし、33万4,400世帯が停電した。鹿児島県与論島では、9月の台風16号と17号で1,600棟以上の建物が被害を受けた。

6月、鹿児島県肝付町では1時間に110ミリの記録的な大雨が降った。住宅2棟が全壊したほか各地で道路が寸断され、孤立する地区が相次いだ。

鹿児島市の桜島では活発な噴火活動が続いた。2012年1年間の爆発的噴火の回数は885回に上り、気象台が観測を始めてから3番目の多さとなった。7月には南岳の山頂火口で1年5か月ぶりに爆発的噴火が観測された。鹿児島市で1年間に降った火山灰の量は前の年に2倍に達した。

8月、国は南海トラフ付近の巨大地震と津波の新たな被害想定を公表。最悪の場合、九州では宮崎県で4万2,000人、大分県で1万7,000人が死亡するとされた。津波の高さは宮崎県で最大17メートル、大分県で最大15メートルに達し、九州の東側を中心甚大な被害が想定された。新たな被害想定を受けて各地で防災対策の見直しが始まった。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

〔県域番組〕(一部九州・沖縄ブロック)

『NHKニュース おはよう日本』 G

福岡県域	各局単	月～金	7:45～ 7:51
		土	7:30～ 7:35

九州・沖縄ブロック	月～金	7:51～ 8:00
-----------	-----	------------

第1回93.4.5／福岡県域・各局単の時間帯は、各県のニュース・気象情報。ブロック時間帯は、各局のネットワークを生かした広域ニュースやリポート、各地の朝の表情を伝える中継などで構成。

『ぐるっと8県 九州沖縄』 G

九州・沖縄ブロック	月～金	11:30～11:45
-----------	-----	-------------

福岡県域	月～木	11:45～12:00
------	-----	-------------

福岡単	金	11:45～12:00
-----	---	-------------

第1回03.9.29／九州・沖縄各局のネットワークを生かして、各地の食や文化など“ふるさと自慢”的紹介やインタビューで構成。福岡・北九州局は、11時45分から引き続き県域（金曜は単）で、料理や健康など暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：北九州局『きたきゅう たいむ』、熊本局『テレメッセくまもと』、長崎局『ながさきナビゲーター ヒルミテ』、鹿児島局『ひるまえクルーズかごしま』、宮崎局『昼前ホットみやざき』、大分局『好きっちゃ おおいた』、佐賀局『ひるまえ情報便』、沖縄局『りっかりっか沖縄』

『熱烈発信！福岡NOW』 G

福岡単	月～金	18:10～18:59
-----	-----	-------------

第1回11.4.4／単／番組のコンセプトは「今日にこだわり、明日を見つめる」「見たい、知りたいに、とことん応える」。福岡の1日の動きや事件・事故等の最新情報、人々の暮らしに直結する県内

のさまざまな重要課題の行方、東京や世界などの動きと福岡との関わり、アジア情報、スポーツ情報、街角情報などを分かりやすく伝えた。

福岡局以外の各放送局も同時間帯にニュース番組を編成。大分局が番組をリニューアルした。各局タイトル／北九州局『こんばんは北九州』、熊本局『クマロク！』、長崎局『見んと！長崎』、鹿児島局『情報WAVEかごしま』、宮崎局『ニュースWAVE宮崎』、大分局『しんけんワイド大分』、佐賀局『ニュースただいま佐賀』、沖縄局『NEWSおきなわ610』。

『ふく！なび』 G

福岡単 (月2本) 水 20:43～20:45ほか

第1回 11.10.12／福岡単または福岡県域／視聴者に親しまれる放送局を目指し、福岡局のさまざまな取り組みを紹介する経営広報番組。地域放送の目玉番組やデジタル放送の魅力、営業活動、イベント展開など、“いま知ってもらいたい福岡局のイチ押しの取り組み”を紹介した。

『玄海竜二踊る』 (4分ミニ番組) G

熊本単 第1・3土 12:40～12:44ほか

『くまもと歌物語』 (5分ミニ番組) G

熊本単 第2・4土 12:40～12:45ほか

『くまもとの石橋』 (2分ミニ番組) G

熊本単 第2・4土 20:43～20:45ほか

『PEOPLE・ぴーるる』 (4分ミニ番組) G

熊本単 第2土 13:50～13:54ほか

『ぼくらのピースの種』 (10分ミニ番組) 新

G 長崎単 (月1本) 日 22:50～23:00

12年度後半期に新設。戦後67年、戦争を知らない若い世代に、「被爆地・長崎の今」を感じてもらう。若者の素朴な疑問や悩み、葛藤する姿を描く。

『宮崎 夢追い人』 (5分ミニ番組) G

宮崎単 土 12:40～12:45ほか

『めざせ！佐賀博士』 (5分ミニ番組) G

『めざせ！佐賀博士2』 (5分ミニ番組) G

佐賀単 毎週土 12:40～12:45ほか

佐賀局開局70周年関連で11年度に開始した企画。12年度に第2シリーズを編成。NHKの映像資料を活用し佐賀県の自然、産業、文化等を紹介する5分ミニ番組。小学校社会科の教材として活用できるように制作。

『復帰40年企画 NHKが映した沖縄』 G

沖縄単 木 20:00～20:43

第1回12.1.6／沖縄の本土復帰40年企画として、NHKがこれまで放送した沖縄に関する番組を、およそ1,000本の中から選りすぐって放送。本土

復帰、基地問題、自然、芸能など、NHKの持つ数々の貴重な番組や映像資料を基に、沖縄の歴史と課題、そして多彩な魅力を紹介した。4月からは木曜夜8時台に移設して12月まで編成した。

### 『うちなーであそぼ』(5分ミニ番組) E

沖縄単 月 17:25~17:30ほか

### 『復帰40年企画 映像記録 沖縄の手仕事』

(5分ミニ番組) G

沖縄単 金 10:55~11:00ほか

### 『HYとみんなで作る!! 復帰40年テーマソング』(ミニ番組) G

(5分版) 沖縄単 月 23:20~23:25ほか

(2分版) 沖縄単 木 20:43~20:45ほか

### [九州・沖縄ブロック番組]

### 『おはようサタデー九州沖縄』 G

土 7:35~ 8:00

第1回93.4.10／九州・沖縄ブロック／九州・沖縄を舞台に活躍する人たちにじっくりと話を聞く「サタデートーク」や各地からの中継、「西日本の旅」、地域の週末情報などで構成。

### 『特報フロンティア』 G

金 19:30~19:55

(毎日) 7:45~ 8:10

第1回11.4.1／第1週：福岡単、第2～5週：九州・沖縄ブロック／スタジオをベースに、九州沖縄地域の課題や、人々が注目する出来事に正面から向き合い、検証や提言を行う報道番組。九州北部豪雨関連、高齢化社会を巡る問題、Jリーグやプロ野球関連、飲酒運転問題、いじめ問題、沖縄の基地問題、原発関連、新たな産業・文化の動向など、地域の人々にとって身近で重要なテーマをタイムリーに、分かりやすく掘り下げて伝えた。

第1週は各県域の番組を編成。／各局タイトル：北九州局『北九州×クロス』、熊本局『くまもとの風』(第1～3週)、長崎局『でんでらフライデー』、鹿児島局『かごしま熱風録』、宮崎局『いっちゃんがゴールド』(第1、3～5週)、『宮崎熱時間』(第2週)、大分局『GAP!』、佐賀局『佐賀イズム』、沖縄局『きんくる～沖縄金曜クルーズ』(第1～5週)、『沖縄の歌と踊り』(随時)

### 『きん☆すた』 G

金 20:00~20:43

(毎週) 土 10:05~10:48

第1回11.4.8／九州・沖縄ブロック／スタジオベースの地域情報バラエティー番組。“見ると元気になる”痛快な番組を目指し、九州沖縄の一番すごい人やモノ、各地の文化や自然などの地域情報を、さまざまな切り口で取り上げた。毎回、番

組の見どころを紹介するプレオープニングを19:55~19:58で放送。

### 『ASIAN PASSION～アジアを駆ける日本人』

G (年4本) 水 22:00~22:43

(毎週)

第1回10.5.14／九州・沖縄ブロック／世界経済が停滞する中、アジアは世界潮流の中心になろうとしている。そのアジアにおいて、さまざまな分野で活躍し、挑戦を続ける日本人にスポットを当て、アジアの今の姿を浮き彫りにした。12年度に放送時間を水曜夜10時台に移設した。

### 『おはよう九州沖縄』 R1

月～土 7:40~ 7:58

九州・沖縄ブロック／九州・沖縄のニュースや気象・交通情報、地域のホットな話題で構成する生活情報番組。

### 『夕べのひととき』 FM

月～木 17:20~18:00

九州・沖縄ブロック／リスナーからのリクエスト曲を中心に、福岡を訪れたアーティストをゲストに招き、話題と音楽で構成する生放送番組。また随時、福岡局のパークサイドスタジオから公開生放送を実施。12年度は放送時間を午後6時台から午後5時台に移設した。

域内放送局もFM番組を次のとおり編成した。熊本局：熊本単・年5本・金 18:00~18:50『NHK・美術館コンサート』、鹿児島局：鹿児島単・毎月最終木 17:20~18:00『かごしまの夕べ』、沖縄局：沖縄単・金(12年9月まで) 18:00~18:50『沖縄ミュージックジャーニー』、沖縄局：沖縄単・年4本 18:00~18:50『うちなあジョッキースペシャル』

### (2) 特集番組

#### [九州・沖縄ブロック]

#### 『穴場ハンター～日本はじっこ対決 北海道VS沖縄 (1)(2)』 G

※デジタル放送の双方向機能を活用した札幌局とのインターローカル特集。

(沖縄) 4.7, 14 / 23:30~23:59

#### 『九州沖縄特集～平山郁夫 祈りの旅路～九州国立博物館特別展より』 G

(福岡) 4.14 / 10:05~10:48

#### 『きん☆すたプラス～俳優・松本幸四郎&松たか子トークSPxSP』 G

(福岡) 4.21 / 0:25~ 1:23

#### 『ぐるっと8県 九州沖縄 増刊号』 G

デジタル放送の双方向機能を活用した定時番組特集。

(福岡) 4.27, 6.29, 9.28, 2.1, 22, 3.15  
/12:20~12:43

『きん☆すたプラス～ぶっつけ本番！鉄道の旅  
全部見せます 温泉・名水巡り』 G  
(福岡) 6.9 / 0:25~ 1:24

『九州沖縄特集～終わらない戦い～戦後67年  
もう一つの沖縄戦』 G  
(福岡) 6.21 / 22:00~22:48

『朗読シアター2012～復帰40年 いま沖縄戦  
をふりかえる』 G  
(沖縄) 6.23 / 10:55~11:45

『平成24年沖縄全戦没者追悼式～沖縄県糸満市・  
平和祈念公園から中継』 G  
(沖縄) 6.23 / 11:45~11:54  
※12:15~12:45で全国放送。沖縄は県域向け  
に11:54~12:15でマルチ編成

『九州沖縄特集～医師 原田正純～未来への遺  
産』 G (福岡) 7.25 / 22:00~22:49

『ヒバクシャからの手紙』 E  
※広島局とのインターローカル特集  
8.4 / 22:00~23:29

『九州沖縄特集～プリンセス プリンセス～  
2012 復活の“熱い夏”』 G  
(福岡) 8.31 / 20:00~20:43

『集まれ！おいしい町おこし～生中継！B-1 グ  
ランプリin北九州』 G  
(北九州) 10.20 / 10:05~11:18

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコン  
テスト～九州・沖縄地区大会』 G  
(福岡) 11.23 / 13:05~13:59

『特報フロンティア スペシャル～調査報告 国  
境の島で何が起きているのか』 G  
(福岡・長崎) 2.6 / 22:00~22:48

『特報フロンティア スペシャル～就活生必見！  
“ブラック企業”って何ですか？』 G  
2.16 / 17:15~17:58

『九州沖縄特集～第11回NHK朗読と音楽のタベ  
～HOME～ “愛”がはぐくむ物語』  
FM (福岡) 2.17 / 14:00~16:00  
E (福岡) 2.23 / 12:00~14:00

『九州沖縄特集～ふるさとのうた 九州沖縄のう  
た』 G (福岡) 2.23 / 10:55~11:53

『九州沖縄特集～デジタルアート on TV  
FUKUOKA』 G (福岡) 3.30 / 23:15~23:58  
[県域]  
[福岡局]  
『初夏だ！祭りだ！どんたくば～い！！～第51  
回博多どんたく港まつり～NHK福岡放送局・

パークサイドスタジオほかから中継』 G  
県域 5.3 / 13:27~14:30

『博多祇園山笠2012～福岡市・櫛田神社から中  
継』 G 県域 7.15 / 4:30~ 6:00  
※マルチ編成 (6:00~6:10)

『中継スペシャル 大濠花火大会』 E  
県域 8.1 / 20:00~20:45  
21:00~21:30

『響け歌声 ふるさとへ～密着 被災地 のど自  
慢』 G 県域 8.26 / 13:05~13:48

『ガクラジ イン 九州産業大学』 FM  
県域 11.4 / 14:00~16:00

『福高ダレセンズ～強豪ラグビー部 青春の忘れ  
もの』 G 県域 11.24 / 11:30~11:53

『熱烈発信！福岡この1年』 G  
福岡単 12.28 / 18:10~19:00

『ライフソポーター～あなたを守る防災ラジオ』  
R1 県域 3.16 / 12:15~12:55  
13:05~13:55

[北九州局]

『こんばんは北九州～2012年末スペシャル』  
G 12.28 / 18:00~19:00

[熊本局]

『くまもとの風スペシャル』 G  
「徹底討論！政令指定都市くまもと」  
4.13 / 19:42~20:55

『戦争証言 フィリピン・ルソン島 補給なき  
永久抗戦』 4.20 / 20:00~20:43

『くまもと歌物語～歌が結ぶ故郷の絆・五木の  
子守唄』 9.28 / 20:00~20:43

『映像登竜門～若きクリエイター “120秒” 一  
本勝負』 10.26 / 20:00~20:43

『カントリーゴールド～ “約束の日” 2012』  
11.17 / 10:05~11:04

『くまもと歌物語～阿蘇のすそ野に響く歌』  
2.8 / 19:30~20:13

『くまもとおはなし館』 FM  
5.2 / 18:00~18:50

『明日（あす）へのことば～母なるものを語ろう  
姜尚中さん』 R1 6.12 / 21:05~21:55

『追悼 原田正純医師～水俣病 未来へのメッセ  
ージ』 G 6.13 / 19:30~19:55

『2012 防災 命のラジオ～豪雨災害』 R1  
8.30 / 12:20~13:00

『クマロク！年末スペシャル』 G  
12.28 / 17:30~19:00

『特別番組～どう届ける？命と暮らしを守る情  
報』 R1 2.26 / 14:05~14:55

## 〔長崎局〕

- 『被爆体験記 朗読シリーズ～ナガサキ 被爆の記憶（1）～（16）』 R1・FM  
7.23／11:55～12:00ほか
- 『生中継！長崎くんち2012～長崎市・諏訪神社から中継』 E 10.7／7:00～9:40
- 『長崎くんち2012』 G 10.13／10:05～11:29
- 『見んと！長崎 年末ハイライト』 G 12.28／18:00～19:00
- 『がんばらんば！V・ファーレン長崎 開幕直前スペシャル』 G 3.8／20:00～20:43
- 『突撃！ブカツ！総集編』 G 3.28／22:00～22:43
- 〔鹿児島局〕
- 『NHK鹿児島児童合唱団 第8回コンサート』 G 4.7／17:15～17:29
- 『かごしま大作戦』 G 20:00～20:43
- 「志布志で“志”を感じよう」 4.27
  - 「阿久根の“のど自慢”を探そう！？」 6.1
  - 「頬杖でエイヤと元気になろう」 7.20
  - 「“食”の未来を支える若者に会いに行こう」 9.28
  - 「まぼろしのオオコウモリを探せ！」 10.26
  - 「謎の？クリスマス集落を探検せよ！」 11.30
  - 「肝付町で冬の彩りを探せ！」 1.25
  - 「曾於市のSO GOODを探ソオ！」 2.22
  - 「さつま町で“みんなのTRY”を探せ」 3.26
- 『かごしまのタベ～会館公開ライブ（1）（2）』 FM 5.17, 24／17:20～18:00
- 『かごしまスペシャル～第17回かごしま郷土芸能～輝き続けるふるさとの宝』 G 11.2／20:00～20:43
- 『FMスペシャル～おじやったもんせ』 FM 12.23／14:00～16:00
- 『ひるまえクルーズかごしま～年末スペシャル』 G 12.25／11:30～11:54
- 『情報WAVEかごしま～今夜は公開生放送！世界にはばたけ 年末スペシャル』 G 12.28／17:05～19:00
- 『鹿児島防災シンポジウム2013～桜島 大正大大噴火から学ぶ』 G 2.8／19:30～20:43
- 『かごしま防災ラジオ～「災害の爪痕」から学ぶ』 R1 3.3／15:05～17:00
- 『FMスペシャル～おじやったもんせ』 FM 3.23／19:20～20:10
- 『かごしまスペシャル～Nature Islands（ネイチャーアイランド）』 G 3.26／19:30～19:55

## 〔宮崎局〕

- 『開局75周年記念特番～音楽でひととく宮崎ヒストリー』 R1 4.21／13:05～14:55
- 『3局合同防災ラジオ2012～みんなの防災教育』 R1 5.30／12:30～13:54
- 『MIYAZAKI DRUMMER'S CLUB LIVE Vol.6』 FM 8.19／23:00～1:00
- 『みやざきスペシャル～泉谷しげる 家畜市場で歌う』 G 10.19／20:00～20:43
- 『ニュースWAVE宮崎～年末ハイライト』 G 12.28／18:00～19:00
- 『みやざきスペシャル～「命のあしあと」ができるまで』 G 1.18／20:00～20:43
- 『プレミアムドラマ～宮崎局発地域ドラマ「命のあしあと」』 G 3.16／21:00～21:59
- ※1月27日に放送したBSプレミアムドラマを県域で編成
- 『みやざきスペシャル～アマチュアビデオ27年～映像は地域の絆』 G 3.22／19:30～20:43
- 〔大分局〕
- 『NHK朗読ひろば「あらしのよるに」「これはのみのびこ」「つみきのいえ」』 R1 6.30／8:05～8:55
- 『防災ラジオ2012～備えよう、今』 R1 8.30／12:20～13:00
- 『GAP！～大分県を“カボス県”に改名！？』 G 9.14／20:00～20:40
- 『GAP！～日中・日韓 対立をどう乗り越えるか？』 G 11.16／20:00～20:43
- 『GAP！スペシャル～いま考えよう！大分の防災』 G 3.8／19:30～20:43
- 『好きっっちゃえふえむ』 FM 11.4／9:00～10:00
- 『J1昇格！おめでとうトリニータ』 G 11.25／18:10～18:59
- 『トップ飲酒運転～3局合同ラジオ特番』 FM 12.6／12:20～13:00
- 『しんけんワイド大分2012～年末スペシャル』 G 12.28／17:57～19:00
- 『今日は一時間“大分ソング”三昧』 R1 1.21／20:05～20:55
- 『プレミアムドラマ～大分局発地域ドラマ「今日も地獄でお待ちしています」』 G 2.15／19:30～20:25
- ※1月13日に放送したBSプレミアムドラマを県域向けに放送
- 『今日は一時間！大分・サッカー三昧』 R1 2.25／20:05～20:55

- 『大分 食の偉人達』 R1 3.25／20:05～20:55  
〔佐賀局〕
- 『かばい元気宣言』 G 20:00～20:43  
「あの夏のつづき～佐賀北甲子園優勝メンバーの今」 8.31  
「千綿&はなわの青春のススメ！！総集編」 10.19
- 『ニュースただいま佐賀～年末スペシャル2012』 G 12.28／17:05～19:00
- 『歌王さが・カラオケのど自慢～決勝大会』 G 2. 2／14:00～15:25
- 『オーレ！サガン鳥栖～深夜の開幕直前SP2013』 G 2.23／0:25～1:24
- 『ラジオ3局合同防災特集～いざという時頼れるラジオ』 R1 3. 5／12:30～13:00
- 『徹底検証 玄海原発運転再開を問う』 G 3. 8／19:30～20:43
- 〔沖縄局〕
- 『沖縄の歌と踊り』 G  
「祝儀舞踊～踊い福らしゃ」 4.13／20:07～20:50  
「創作舞踊～群舞の魅力」 7. 6／20:00～20:38  
「旧盆特集」 9. 1／14:00～14:55  
「名優名舞台～役者舞踊編」 11. 2／20:00～20:43  
「正月特集～祝儀舞踊～踊い福らしゃ」 1. 1／13:05～13:48  
「正月特集～創作舞踊～群舞の魅力」 1. 3／15:20～15:58
- 『琉球新報社・NHK沖縄放送局共催シンポジウム～復帰40年 沖縄のグランドデザインをどう描くか』 G 7.20／19:30～20:43
- 『美ら星コンサート』 FM 8.11／21:00～22:00
- 『りっかりっか沖縄～「つるかめ助産院」直前SP』 G 8.27／22:55～23:18
- 『生中継・オスプレイ配備反対県民大会～宜野湾海浜公園から中継』 G 9. 9／11:01～12:00
- 『りっかりっか沖縄～「純と愛」直前スペシャル』 G 9.28／11:30～11:54
- 『りっかりっか沖縄～「純と愛」トークスペシャル』 G 10.18／11:30～11:54
- 『HY クリスマススペシャルIN沖縄～いちばん近くにいたいから』 FM 12.23／19:20～22:00
- 『ニュースおきなわ610 年末ハイライト』 G 12.28／18:10～19:00
- 『りっかりっか沖縄スペシャル～HY 紅白への道』 G 1.11／11:30～11:54

- 『「純と愛」 ぶっちゃけトークスペシャルIN沖縄』 G 2.11／16:00～16:30
- 『40歳でおっきな輪（沖縄）！～離島結ぶ防災ネットワーク』 R1 3. 2／13:05～15:55
- 『りっかりっか沖縄 増刊号～ももクロ&純と愛スペシャル』 G 3.14／11:30～11:54
- 『「純と愛」 ファン感謝祭in沖縄』 G 3.20／13:05～13:48
- 『「純と愛」 沖縄口ケ蔵出しへスペシャル』 G 3.30／23:15～23:58
- 〔各局共通〕
- 『第79回NHK全国学校音楽コンクール』  
〔九州・沖縄ブロック〕
- 九州沖縄ブロックコンクール  
小学校・中学校・高等学校 E 9.30／14:00～17:00
- 〔各県域〕
- 福岡県コンクール  
小学校・中学校・高等学校  
FM 9. 1／14:00～18:50  
小学校・高等学校 E 9. 8／12:30～15:00  
中学校 E 9.15／12:30～15:00
- 熊本県コンクール  
受賞校発表ほか FM 8.20／18:00～18:50  
小学校 FM 8.21／18:00～18:50  
小学校・中学校 FM 8.22／18:00～18:50  
中学校 FM 8.23／18:00～18:50  
中学校・高等学校 FM 8.24／18:00～18:50
- 長崎県コンクール  
小学校・中学校・高等学校  
FM 8.25／14:00～16:00  
E 9. 1／12:00～13:50
- 鹿児島県コンクール  
小学校・中学校・高等学校  
E 9. 1／12:00～14:19
- 宮崎県コンクール  
FM 8.27～31／18:00～18:50  
E 9. 8／13:00～15:00
- 大分県コンクール  
小学校・高等学校 FM 8.25／11:00～11:55  
中学校 FM 8.26／9:00～11:00
- 佐賀県コンクール  
小学校・中学校・高等学校  
FM 8.18／16:00～18:00  
小学校 E 8.25／9:30～10:00  
中学校・高等学校 E 8.25／12:00～13:28
- 沖縄県コンクール  
小学校 E 8.25／9:30～10:45

中学校・高等学校	E	8.25/12:00~13:55
小学校	FM	8.27/10:00~11:15
中学校・高等学校	FM	8.27/14:00~15:55

### 3. スポーツ中継

〔高校野球〕

〔九州・沖縄ブロック〕

第131回九州地区高校野球大会

準々決勝	R1/10.30
準決勝	R1・FM/11. 1
決勝	R1/11. 2

〔県域〕

NHK旗(杯)高校野球大会

福岡県大会	R1・FM/ 5.13, R1/ 5.19 G・R1/ 5.20
-------	-------------------------------------

熊本県大会	R1・FM/ 5.31, R1/ 6. 2~ 3
-------	--------------------------

長崎県大会	R1/ 6. 6
-------	----------

鹿児島県大会	R1/ 5.28, 29, 31, 6. 1 G・E/ 5.31, G/ 6. 1
--------	--

宮崎県大会	R1/ 6. 7, FM/ 6.11
-------	--------------------

佐賀県大会	R1/ 6. 5~ 6, G/ 6. 6
-------	----------------------

第94回全国高校野球選手権大会・地区大会

福岡大会 4回戦	R1・FM/ 7.21
5回戦 R1・FM/ 7.22, R1/ 7.23	FM/ 7.24

準々決勝	E・FM/ 7.24~25
------	---------------

準決勝	E・FM/ 7.27
-----	------------

決勝	G・E・R1/ 7.28
----	--------------

熊本大会 4回戦	R1・FM/ 7.19~20
----------	----------------

準々決勝	R1・FM/ 7.21~22
------	----------------

準決勝	E・FM/ 7.24
-----	------------

決勝	E・FM/ 7.25
----	------------

長崎大会 準々決勝	FM/ 7.18
-----------	----------

準決勝	G・E・R1/ 7.21
-----	--------------

決勝	G・R1/ 7.22
----	------------

鹿児島大会 4回戦	R1・FM/ 7.22
-----------	-------------

準々決勝	FM/ 7.24~25
------	-------------

準決勝	E・FM/ 7.27
-----	------------

決勝	E・R1/ 7.28
----	------------

宮崎大会 3回戦	R1/ 7.16, 20
----------	--------------

準々決勝	R1・FM/ 7.17
------	-------------

	R1/ 7.21
--	----------

準決勝	R1・FM/ 7.22
-----	-------------

決勝	E・R1/ 7.24
----	------------

大分大会 準々決勝	R1/ 7.25
-----------	----------

準決勝	E・FM/ 7.25
-----	------------

決勝	E・R1・FM/ 7.26
佐賀大会 3回戦	R1/ 7.16~17
	FM/ 7.18
準々決勝	FM/ 7.19
	R1/ 7.21~22
準決勝	E・FM/ 7.24
決勝	E・FM/ 7.25
沖縄大会 準々決勝	R1/ 7.11
準決勝	G・E・R1/ 7.14
決勝	G・R1/ 7.15

第131回九州地区高校野球大会 各県大会

熊本大会	R1・FM/ 10.13, R1/ 10.14
------	-------------------------

長崎大会	R1/ 10.13, 15~16
------	------------------

鹿児島大会	R1/ 10. 6~ 7
-------	--------------

大分大会	R1/ 10. 2
------	-----------

佐賀大会	R1/ 10. 6~ 7
------	--------------

〔プロ野球〕

〔九州・沖縄ブロック〕

G

「ソフトバンク」対「楽天」	5. 4
「ソフトバンク」対「阪神」	5.25
「ソフトバンク」対「日本ハム」	6.22
「ソフトバンク」対「ロッテ」	9. 7
「ソフトバンク」対「楽天」	3.29

R1

「ソフトバンク」対「中日」	6.14
「ソフトバンク」対「日本ハム」	8.31

クライマックスシリーズ ファーストステージ

「西武」対「ソフトバンク」	
-第1戦-	10.13
-第2戦-	10.14
-第3戦-	10.15

クライマックスシリーズ ファイナルステージ

「日本ハム」対「ソフトバンク」	
-第1戦-	10.17
-第2戦-	10.18

※札幌局とのインターローカル編成

〔サッカー〕〔各県域〕

各県サッカー選手権大会決勝

福岡大会	G/ 8.25
------	---------

熊本、長崎、鹿児島、宮崎、大分、佐賀

各県大会	G/ 8.26
------	---------

Jリーグ (J1)

「サガン鳥栖」対「浦和レッズ」	
佐賀単	G/ 11.24

「サGAN鳥栖」対「鹿島アントラーズ」	
---------------------	--

福岡単・佐賀単	G/ 3. 2
---------	---------

**Jリーグ (J2)**

「ギラヴァンツ北九州」対「モンテディオ山形」	福岡県域 G／ 4.22
「ロアッソ熊本」対「東京ヴェルディ」	熊本単 G／ 5. 3
「アビスパ福岡」対「ヴァンフォーレ甲府」	福岡単 G／ 10.21
「モンテディオ山形」対「ギラヴァンツ北九州」	北九州単 G／ 10.21
「ロアッソ熊本」対「愛媛FC」	熊本単 G／ 11.11
「松本山雅」対「大分トリニータ」	大分単 G／ 11.11
「京都サンガ」対「大分トリニータ」	大分単 G／ 11.18
「大分トリニータ」対「ジェフ千葉」	大分単 G／ 11.23
「ギラヴァンツ北九州」対「カターレ富山」	福岡県域 G／ 3. 3
「ロアッソ熊本」対「ガイナーレ鳥取」	熊本単 G／ 3. 3
「ファジアーノ岡山」対「V・ファーレン長崎」	長崎単 G／ 3. 3
「アビスパ福岡」対「京都サンガ」	福岡県域 G／ 3.17

**[高校駅伝] [各県域]**

全国高校駅伝 各県予選

福岡県	R1／10.28
熊本県	R1／10.27
長崎県	R1／11. 6
鹿児島県	R1・FM／11. 2
大分県	R1・FM／11. 4

**[bjリーグ] [各県域]**

「富山グラウジーズ」対「宮崎シャイニングサンズ」	宮崎単 G／ 4.22
「ライジング福岡」対「大分ヒートデビルズ」	福岡県域・大分単 G／ 2.17

**[その他]**

第37回日本ハンドボールリーグ (女子)	
「北國銀行」対「ソニーセミコンダクタ」	
鹿児島単 G／ 2. 3	
「ソニーセミコンダクタ」対「オムロン」	
熊本単・鹿児島単 E／ 2.16	

第44回鹿児島県選抜剣道選手権大会

鹿児島単 E／ 2.11

## II. 技術

### 1. 大規模災害に備えた放送機能強化整備

東海・東南海・南海地震等への対応を中心とした伝送機能の強化、放送会館・放送所の電源強化、地震の揺れや津波を捉えるロボットカメラ等の整備など機能強化を順次進めた。12年度、九州・沖縄域内の主な機能強化整備としてCS受信設備の強化を4局所、放送会館の燃料タンク増量を2放送会館、放送所燃料タンク増量を11局所実施した。

### 2. 地域放送の充実

地域の文化などを伝える地域を舞台とした地域ドラマ、福岡局の『スイーツ！～鳴呼、甘き青春よ』、宮崎局の『命のあしあと』、大分局の『今日も地獄でお待ちしています』の3本を制作し、地域を元気にする魅力ある番組制作を推進した。

技術者が提案から制作までを担当し、郷土の貴重な財産を幅広い世代に発信する熊本局『くまもとの石橋』を11本、北九州各地域の歴史や遺産、自然など「ふるさと」の魅力を伝える北九州局『ふるさと探訪』を3本、技術者ならではの視点で“匠”たちを紹介する宮崎局『宮崎 夢追い人』を5本制作した。

プロ野球などのスポーツ中継ではマルチ放送サービスを実施した他、『ぐるっと8県 九州沖縄』では定期的に双方方向データ放送を実施するなど、デジタル放送の機能を生かしたサービスを積極的に行なった。

鹿児島局では汎用スタジオのハイビジョン化更新に合わせて、金曜夜間の県域番組で生放送を開始し、番組に寄せられたメールや番組中にFAXで届いたお便りをリアルタイムで紹介するなど視聴者参加型の番組展開を図り、ローカルサービスの充実に努めた。

九州北部豪雨の被災地から9月に柳川市と八本市で、10月には日田市、中津市、竹田市でキャラバン中継を実施し、地域を元気にする取り組みを実施した。

### 3. 放送設備の充実

尖閣諸島からヘリコプターで映像伝送できるよう石垣島と宮古島に受信設備を整備し、沖縄地域における伝送機能の強化を図った。

地震の際に気象庁から送られてくるデータを基に自動的に原稿を作成する「原稿支援装置」を各

放送局に整備した。

ホームページ上でニュースを動画で視聴できるよう、各放送局に「ニュース動画配信設備」を整備した。

民放を含めて放送局ごとの音声レベルが均一となるようラウドネスマーターを整備し、13年4月1日より運用を開始した。

域内の天気カメラを順次ハイビジョン化更新しており、12年度については5台をハイビジョン化した。

素材伝送時に使用する衛星回線の周波数を効率的に利用するために送・受信設備の整備を行った。

#### 4. 緊急報道・災害報道への対応

域内局や本部と連携し、12年7月の九州北部豪雨、オスプレイ配備対応、北朝鮮ロケット、尖閣諸島関連報道などに的確に対応した。

九州北部豪雨の際には「家電流通協議会」と連携し、避難所への「テレビ受信機の貸与・設置」を迅速に実施し、住民の安全・安心を守るという使命達成に貢献した。

鹿児島局と沖縄局では逆L字画面による情報に加えて台風進路予想図を随時画面スーパーすることで、よりきめ細かな情報提供を独自に実施し、防災放送局の役割を果たした。

#### 5. 視聴者サービスの向上

福岡局では中継車訪問授業を計7校で開催、400人を超える小学生に番組制作業務の理解促進を図り、接触者率の向上に取り組んだ。ハイビジョン放送設備を有効に活用し、技術独自のCS活動や地元視聴者へのサービス向上に取り組んだ。宮崎局では遠地（離島1校含む）を中心に全10回開催し、中継車などの放送機材の操作・説明を通して分かりやすい授業とハイスピードカメラ、クロマキーを使った興味を湧かせる授業で、児童たちの公共放送への理解に役立てた。佐賀局においては将来の「NHKファン」育成のため、放送体験クラブに参加できない遠隔地の6つの小学校で「出前授業」を実施した。

沖縄局では『純と愛』ファン感謝祭でドラマのPR、嘉手納町の『のど自慢』では予選会のプリントサービスを行いCS向上に努めた。

#### 6. 環境経営

福岡局テレビスタジオ照明のLED化、居室照明のCCFL化、間引きなどにより省エネを図るなど、環境経営を積極的に推進した。

### III. 視聴者

#### 1. イベント事業

12年度、九州・沖縄地方では、公開番組をはじめ、地域企画イベント、食料や環境などのキャンペーン、会館公開、教育、こども、福祉、スポーツなど各種イベントを実施し、約174万人の視聴者とのふれあいを行った。

##### (1) 全国・地域放送番組の公開

『NHKのど自慢』『ケータイ大喜利』『熱血！オヤジバトル』などの全国放送公開番組や、『大相撲九州場所前夜祭』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で47本実施し、約3万8,000人の参加者があった。

##### (2) 地域企画イベント

「美ら星コンサート～NHK交響楽団メンバーによる金管五重奏in石垣島（沖縄局）」「NHK Business School for さが（佐賀局）」などの新規企画イベントを実施した。また、「サンデーコンサート（北九州局）」「NHK・美術館コンサート（熊本局）」なども継続実施した。

##### (3) 教育、こどもイベント

「第61回九州地方放送教育研究大会」（10.26）を別府市・日出町内の幼稚園を中心開催し、九州・沖縄各県の幼稚園・保育園、小・中・高等学校の教師や教育関係者など498人が参加した。また、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（大分市）、「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（日向市）、「ポコポッティト小劇場」を実施し、1万4,000人を超える参加者があった。その他、各局で「NHK放送体験クラブ」を実施し、九州・沖縄全体で166校9,500人余りの小学生・教師などが参加した。また、「NHK全国学校音楽コンクール（小・中・高校）」「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」などの教育イベントを各局で実施した。

##### (4) スポーツ・福祉・キャンペーン

「第25回NHK旗福岡県選抜高校野球大会」「NHKジュニアバレーボール教室（平戸市）」を実施した。

福祉関連として「第7回NHK福岡ハートパーク」（10.23～11.18、福岡市）、「NHKハート展」（福岡市、熊本市）などを実施した。また、「第11回NHK朗読と音楽の夕べ」（福岡市）を開催し、福祉イベントに54万人を超える参加者があった。

「ふるさとの食にっぽんの食」「NHK環境キャ

ンペーン」などキャンペーンイベントを各局で実施した。

### (5) その他

主な展覧会として「平山郁夫展」(4.3~5.27), 「能のかたち NIPPON美の玉手箱展」(9.15~11.11), 「大英博物館古代エジプト展」(10.6~11.25), 「ボストン美術館展」(1.1~3.17), (以上福岡局)など5本を実施し, 47万人を超える来場者があった。

## 2. 営業

12年度は引き続き営業活動の生産性向上と契約収納体制の強化に取り組み, より効率的・効果的な活動と活性化を進め, 契約総数の増加と支払率向上を図り, 受信料収入の確保に努めた。

外部法人委託への業務拡大や業界団体, ケーブルテレビ事業者等との提携など多様な戦力の活用をさらに展開していくとともに, 職員による事業所対策を積極的に行うなど, 契約増加に取り組んだ。

10月からは初めての受信料値下げを実施した。イベントや経営広報番組を通じた受信料公平負担に対する理解促進や口座クレジット払いへの周知活動を行うなど丁寧な視聴者対応を行った。

また, 地域ドラマなど放送番組やイベントと連動した「810活動」を積極的に展開した。

12年度の九州・沖縄地方における有料契約件数は426万3,489件となった。

## 3. 広報

12年度, 九州・沖縄の各局には, 視聴者から電話などで12万1,054件の意見・要望が寄せられた。地域の皆さんからご意見を聞く「ふれあいミーティング」を計194回開催した。

### [福岡局]

12年は福岡局が天神から現在の六本松に移転して20年に当たるため, キャッチコピーやロゴを作成, マスコットキャラクターである「福岡をかんがえる」カンガルーの「ふっく」も製作した。それらロゴや「ふっく」をモチーフに会館の外観をリニューアルし, 親しみやすい放送局作りに努めた。7月の「九州北部豪雨」では災害ホームページを立ち上げ, 災害情報を発信した。10月に行われた会館公開では移転20年を記念して九州交響楽団などによるコンサートを実施した。10作目となる地域ドラマ『スイーツ! ~嗚呼, 甘き青春よ』ではロケ地・飯塚市での取材会や地元試写会, 天神でのPRイベントなどを開催した。「ふっく」は

プロバスケットやプロ野球での始球式をはじめ, 番組にも出演させるなどイベントや番組で積極的に活用し, 福岡局のPRに役立てた。

### [北九州局]

12年度は, 7月に「健康フェスタ」, 10月に「ためしてガッテンディレクター講演会と健康に関するイベント」, 3月に「歯のイベント」など健康をテーマにしたイベントを多く開催した。

その他, 11月に地域ドラマ『スイーツ!』と連動したイベントをロケ地の飯塚市で行い, ドラマ出演者によるトークショーなどで番組をPRした。

また, 「サンデーコンサート」を年18回, 「出前コンサート」を年4回, 北九州局のロビーを利用した「ギャラリーリバスター」の展示会を7回実施するなど, 地域に密着したサービスに努めた。

### [熊本局]

熊本局のキャラクター「からしれんこんどーもくん」を活用し, さまざまなイベントで県民の皆さんにNHK熊本をアピールした。キャラクターの名刺等も作成し, さらに親しまれる放送局を目指して活動した。

また, 毎年恒例の会館特別公開「つつじフェア」では, 時折雨が降る中, 2日間で7,000人を超える来場者があり, 『大河ドラマ』『平清盛』の撮影関連展示物や番組でおなじみの出演者やキャラクターなどが登場し, 子どもから大人まで楽しんでもらい大いに盛り上がった。

### [長崎局]

長崎局では, 「放送局のちから」でも掲げた, より身近な放送局になることを目指し, 10月には会館公開「ふれあい広場2012」を開催, 石澤典夫アナウンサーの講演会やおしゃりかじり虫ステージショー, バルーンアートパフォーマンスなど盛りだくさんのイベントを展開した。運営面でも, スタンプラリーや飛び出す絵本などの仕掛けを施した会場案内冊子を作成するなど工夫を凝らし, 会館公開では過去最多となる来場者数を記録した。

高校駅伝長崎県大会では, テレビやインターネット, データ放送で各学校への応援メッセージを募集する3-Screens展開を図った。寄せられた応援メッセージは番組内で紹介するだけではなく, ホームページにも掲載し好評を得た。

### [鹿児島局]

1階ロビーの展示物の刷新や4階展望スタジオ放送体験コーナーの機器更新など見学設備の充実を行った結果, 12年度は4万3,481人の来館者を迎えた。06年12月の会館オープンからの累計来館者数は, 28万8,461人となり, 13年度中に30万人

達成となる見込み。特に4月の会館公開では、鹿児島大学の協力により制作した県内の海底を探索する番組の紹介や学生による活動報告、放送体験などを実施、過去最多の1万6,000人もの人々が訪れた。その他、会館ロビーでFM公開収録を2回実施し、150人の方に地元で活躍するアーティストや鹿児島出身アーティストの生の音楽を楽しんでもらった。

#### 〔宮崎局〕

5月、夕方のニュース番組『ニュースWAVE 宮崎』で、防災をテーマに県内各地から5日間の生中継を実施した。9月には防災イベントを実施し、東日本大震災から生還したゲストによる被災体験談や防災展示・体験コーナー等により周知啓もうを行った。10月、宮崎局ホームページのアナウンサーのページをブログとして刷新、趣味の話や季節の話題等を随時紹介し、視聴者のコメントも掲載する等充実を図った。10年春に宮崎県で発生した口てい疫をテーマにしたドラマ『命のあしあと』を制作し13年1月に全国放送した。9月以降、ロケ取材会や関係者試写会、巡回ドラマパネル展、視聴者からの題字公募などさまざまな広報展開により本放送を盛り上げ、地域の復興を応援するドラマとして好評を得た。

#### 〔大分局〕

9月22日、東京のNHK放送博物館で行われた「ここにちはふるさと地域放送局のちから」イベントデーに参加し、大分県観光課と協力しNHK大分局と大分県の紹介を行った。

10月8日、9日の会館公開では『大河ドラマ』「平清盛」巡回展のほか移動放送博物館やななみちゃんランドを開催、ご家族連れに楽しんでいただくとともに、大分局横のiichikoアトリウムプラザではJICA、おおいた夢色音楽祭とコラボをしたイベントステージを行い、来場した約2,700人の皆さんに楽しんもらった。

『BSプレミアムドラマ』「今日も地獄でお待ちしています」の地元試写会では120人を招待し、地域との結び付きを深めた。

#### 〔佐賀局〕

10月末から11月にかけて開催された「2012佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」会場にNHKブースを展開し、衛星放送のPRコーナーやEテレの人気キャラクター「ワンワン」のぬいぐるみ撮影コーナーを設け、5日間に約1万人の家族連れでにぎわった。また、県内のケーブルテレビ局とタイアップし、佐賀県全域で展開した番組連動イベント「歌王さが カラオケのど自慢」の決

勝大会においては、会場ロビーで「NHK体感ランド」を展開し、新年度『大河ドラマ』「八重の桜」パネル展示や『おしん』コーナーで多くの視聴者を魅了した。

#### 〔沖縄局〕

『連続テレビ小説～純と愛』『つるかめ助産院』など全国放送ドラマを通してNHK沖縄局のイメージアップを図った。ドラマの舞台地、宮古島、竹富島で取材会やイベントを地元の人々と開催し、全国に沖縄の魅力を伝えることができた。3月には浦添市で「純と愛ファン感謝祭」を開催し852人の来場があった。夏菜さん、風間俊介さんをはじめ主な出演者6人と主題歌を歌ったHYが登場し、撮影の裏話、ミニライブ、クイズコーナーなど、きわめて満足度の高いイベントとなった。「沖縄復帰40年」では10年後にメッセージを送る“タイムカプセル”メッセージを募集、1,767通が集まった。それを基にHYが復帰40年のテーマソング「タイムカプセル」を作り、イベント、放送で展開し、幅広い層にNHK沖縄をアピールすることができた。